

港区保健福祉基礎調査

報告書

(高齢者調査)

令和8年(2026年)3月

港区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

目次

第1章 調査の実施概要	1
1 調査目的	2
2 調査対象・抽出条件	2
3 調査方法・期間	2
4 回収結果	2
5 調査内容	3
6 標本誤差	4
7 報告書の見方	4
第2章 主な調査結果のまとめ	5
1 介護予防活動の状況	6
2 認知症に関する区民の意識	8
3 地域での支え合い活動の区民意識	9
4 介護保険料に関する区民の認識について	10
5 介護保険サービスの利用と施設入所検討の状況について	11
6 区民の介護に関する状況について	12
7 災害に対する備えと避難所で望む支援	14
8 区民の終活に対する意識や意向	16
9 介護職員等の確保・育成・定着の状況	18
10 介護サービスの質と生産性の向上	20
第3章 集計結果	23
1 高齢者を対象とした調査の集計結果	24
1. 回答者自身について	24
2. 生活状況について	26
3. 日常生活全般について	40
4. 回答者自身の介護予防について	76
5. いきいきプラザ等について	79
6. 主な介護者について	80
7. 介護保険制度全般について	85
8. 情報通信機器の利活用について	86
9. 地域での支え合いや地域活動について	90
10. 災害に対する備えと災害時の行動について	101
11. 不安や悩みの相談について	105
12. 孤独・孤立について	108
13. ひきこもりについて	112
14. 人生の最終段階における医療と介護及び在宅医療について	121

15. 終活について	124
16. 保健福祉サービスに対するご意見・ご要望等について	127
2 介護サービス事業所を対象とした調査の集計結果	134
1. 回答者について	134
2. 貴事業所について	134
3. 組織・体制・人材について	137
4. 外部の評価について	160
5. サービス全般について	162
6. 経営全般について	170
7. 介護事業者に対する行政支援について	171
第4章 調査票	175
1 高齢者を対象とした調査票	176
2 介護サービス事業所を対象とした調査票	212

第1章 調査の実施概要

1 調査目的

本調査は、令和8年度に策定を予定している港区地域保健福祉計画等の基礎資料とするため、区民の生活やサービス、保健福祉施策の課題や区民ニーズ、実態を的確に把握することを目的として実施した。

2 調査対象・抽出条件

調査名称	調査対象	抽出条件
高齢者	①令和7年8月1日時点で、港区在住の65歳以上の区民 ②令和7年8月1日時点で、港区在住の65歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援・要介護1～3の認定を受け在宅生活をしている方）	①無作為抽出 2,500人 ②無作為抽出 2,500人
介護サービス事業所	区内の全ての介護サービス事業所	調査対象者全数

3 調査方法・期間

- 1 調査方法…郵送により配布、郵送又はWEBにより回収
- 2 調査期間…令和7年9月19日（金）～10月10日（金）

4 回収結果

調査名称	配布数	有効回答数	有効回答率
高齢者	5,000件	合計 3,019件 (内訳) ・郵送 2,581件 ・WEB 438件	60.4%
介護サービス事業所	279件	合計 182件 (内訳) ・郵送 73件 ・WEB 109件	65.2%

5 調査内容

調査名称	調査内容
高齢者	<ol style="list-style-type: none"> 1. あなた自身について 2. 生活状況について 3. 日常生活全般について 4. ご自身の介護予防について 5. いきいきプラザ等について 6. 主な介護者について 7. 介護保険制度全般について 8. 情報通信機器の利活用について 9. 地域での支え合いや地域活動について 10. 災害に対する備えと災害時の行動について 11. 不安や悩みの相談について 12. 孤独・孤立について 13. ひきこもりについて 14. 人生の最終段階における医療と介護及び在宅療養について 15. 終活について 16. 保健福祉サービスに対するご意見・ご要望等について
介護サービス事業所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回答者について 2. 貴事業所について 3. 組織・体制・人材について 4. 外部の評価について 5. サービス全般について 6. 経営全般について 7. 介護事業者に対する行政支援について

6 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数、回答の比率によって誤差範囲が異なります。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合です。定数 1.96 は、信頼率 95% と設定した場合の定数です。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団数、n：サンプル数（有効回答数）、p：回答比率

この計算式に従って算出される本調査の標本誤差は以下のとおりです。

調査名称	母集団 (N)	有効回答数 (n)	90% 又は 10%程度	80% 又は 20%程度	70% 又は 30%程度	60% 又は 40%程度	50%程度
高齢者	44,678	3,019	±1.03%	±1.38%	±1.58%	±1.69%	±1.72%
介護サービス事業所	279	182	±2.57%	±3.43%	±3.93%	±4.20%	±4.29%

7 報告書の見方

- 1 本報告書のグラフにおいては、選択肢の番号（「1.」「2.」など）は原則として表示していません。選択肢の全文及び番号との対応は、第4章に掲載しています。
- 2 本報告書における「前回調査」とは、令和4年度に実施した港区「くらしと健康の調査—コロナ禍における保健福祉に関する調査—」を指します。
- 3 図表内のnとは該当の設問における回答者数のことです。
- 4 集計は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 5 複数回答が可能な設問の場合、一つひとつの項目の回答比率（%）は、項目を選んだ回答者数を分子、その設問の回答者数を分母として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 6 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化しています。
- 7 全体集計では全ての回答者を含めていますが、属性別クロス集計では、その属性項目に無回答の方を除いて集計しているため、各属性の合計と全体の回答者数が一致しない場合があります。

第2章 主な調査結果のまとめ

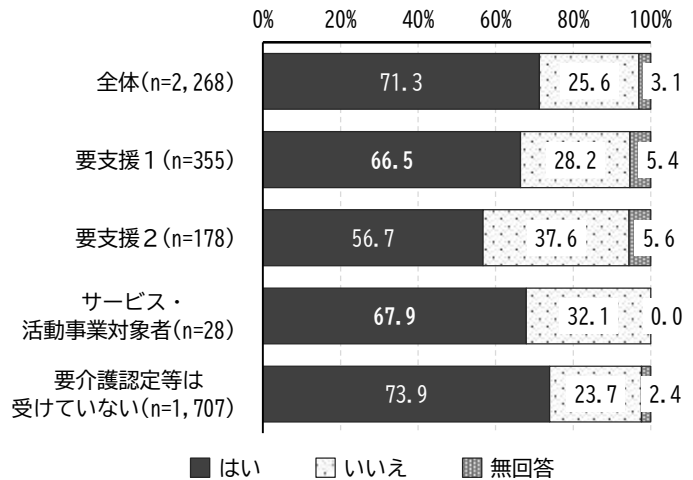
1 介護予防活動の状況

● 事業対象者、要支援・要介護認定者以外の人々の73.9%が普段の生活の中で、健康維持のために運動している。

要介護認定を受けていない人に普段の生活で健康維持のために運動しているか聞いたところ、71.3%の人が運動していると回答しています。事業対象者でもなく要支援認定も受けていない人は73.9%が運動しています。

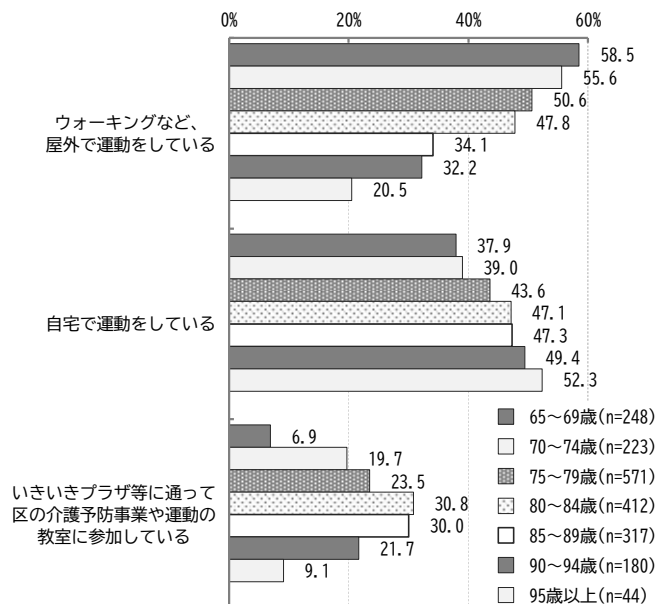
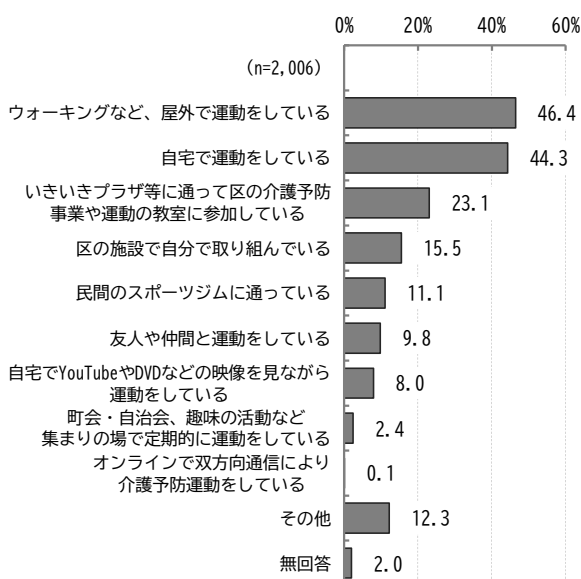
要介護認定を受けている人を除くと、前回調査と比較し、運動している人が全体で6.5ポイント増加しています。このことから、健康維持のための運動習慣が全体的に増加傾向にあることがうかがえます。

健康維持のための運動の有無（要介護度別）
※要介護認定を受けている人を除く



運動の内容では「ウォーキングなど、屋外で運動をしている」(46.4%)が最も高く、次いで「自宅で運動をしている」(44.3%)、「いきいきプラザ等に通って区の介護予防事業や運動の教室に参加している」(23.1%)となっています。「自宅で運動をしている」は年齢が高くなるにつれて多くなっている一方で、「ウォーキングなど、屋外で運動をしている」は年齢が高くなるにつれて少なくなっています。「いきいきプラザ等に通って区の介護予防事業や運動の教室に参加している」は80歳代を中心に多くなっています。

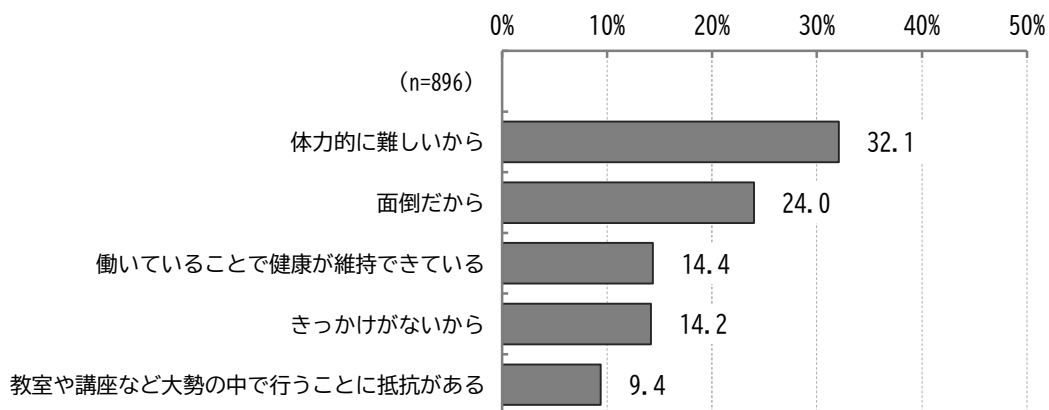
実施している運動の内容（全体及び年齢別・上位3位）



運動しない理由の上位5位は、「体力的に難しいから」(32.1%)が最も高く、次いで「面倒だから」(24.0%)、「働いていることで健康が維持できている」(14.4%)、「きっかけがないから」(14.2%)、「教室や講座など大勢の中で行うことに抵抗がある」(9.4%)となっています。

体力面での不安や消極的な意識が主な要因となっており、加えて大勢での活動への心理的な抵抗感も一定数あることもうかがえます。

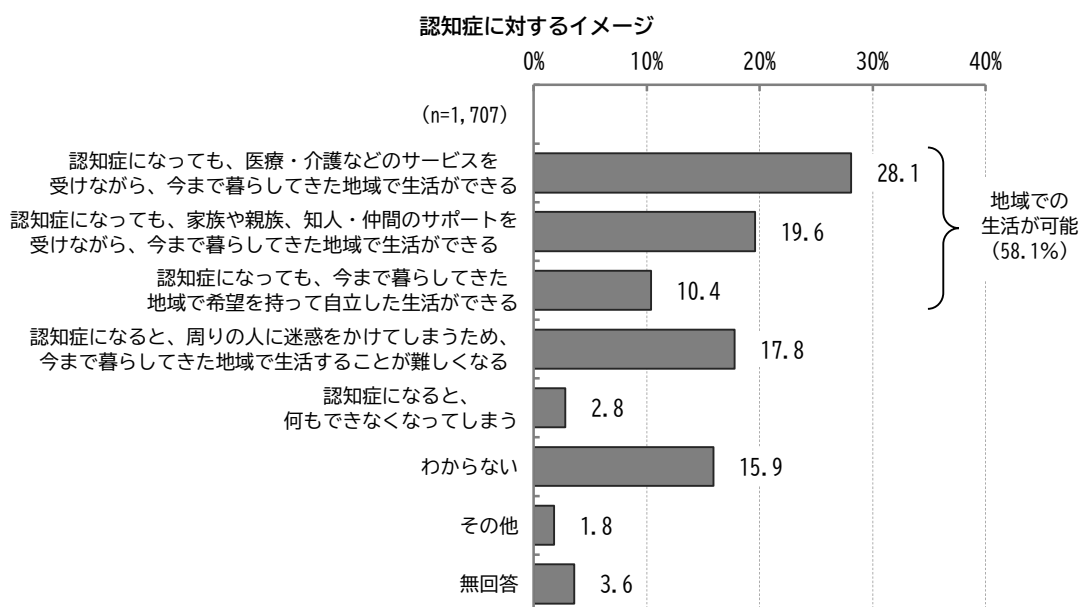
健康維持のために運動しない理由（上位5位）



2 認知症に関する区民の意識

- 認知症のイメージについて、約6割が認知症になっても地域での生活は可能だと考えている一方で、日常生活機能の低下や家族への負担などの不安を抱えていることがうかがえる。

認知症のイメージについて、「認知症になっても、医療・介護などのサービスを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる」が28.1%と最も多く、次いで「認知症になっても、家族や親族、知人・仲間のサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる」が19.6%、「認知症になっても、今まで暮らしてきた地域で希望を持って自立した生活ができる」が10.4%と『地域での生活が可能』と考える人が58.1%を占めています。



認知症になった場合に感じる不安としては、「これまでできていた日常生活のことができなくなってしまうのではないかと(64.3%)」が最も高く、次いで「家族に迷惑をかけるのではないかと(52.7%)」、「家族や友人のことを忘れてしまうのではないかと(34.2%)」となっています。また、「経済的に苦しくなるのではないかと(19.8%)」、「詐欺などの被害を受けやすくなる・受けるのではないかと(18.0%)」など、生活上の具体的なリスクへの不安も一定数見られます。

認知症になった場合に感じる不安 (上位5位)

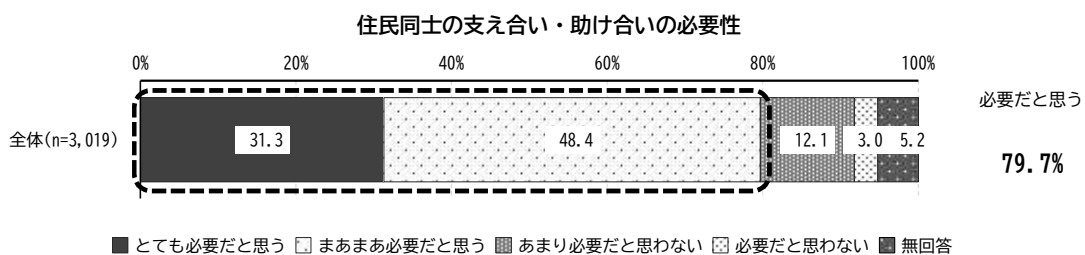
調査対象	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
高齢者 (n=1,707)	これまでできていた日常生活のことができなくなってしまうのではないかと 64.3%	家族に迷惑をかけるのではないかと 52.7%	家族や友人のことを忘れてしまうのではないかと 34.2%	経済的に苦しくなるのではないかと 19.8%	詐欺などの被害を受けやすくなる・受けるのではないかと 18.0%

半数以上の人々が認知症になっても地域での生活は可能と考えている一方で、日常生活機能の低下や家族への負担などの不安を抱えていることがうかがえます。

3 地域での支え合い活動の区民意識

- 住民同士の支え合いや助け合いの必要性については約8割が認識しており、居住年数が長い層ほど必要性の認識が強い傾向にある。
- 支え合い・助け合いが必要と考える人は、町会・自治会による交流活動や気軽な集いの場を求めており、不要と考える人は他者との関わりなく生活できる環境や個人の自立を重視している。

住民同士の支え合い・助け合いの必要性について、『必要だと思う』（「とても必要」「まあまあ必要」の合計）と考える人は全体で79.7%と高くなっており、約8割が必要性を認識しています。



住民同士の支え合いや助け合いが『必要だと思う』と回答した人に、住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりするために必要な取組を聞いたところ、「町会・自治会が中心となって住民相互の交流活動を進めること」(36.7%)が最も高く、次いで「地域の人が気軽に集まれる場所をつくること」(32.3%)、「行政において地域活動をする上での相談体制や地域活動への支援を充実させていくこと」(27.7%)となっています。このことから、町会・自治会を中心とした交流活動の推進や気軽な交流の場づくり、行政による支援体制の充実が求められていることがうかがえます。

一方、住民同士の支え合いや助け合いが『必要だと思わない』（「あまり必要だと思わない」「必要だと思わない」）と回答した人に、その理由を聞いたところ、「他人と関わりを持たなくても生活に支障がないから」「個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」(32.7%)となっており、他者との関わりを持たずとも生活できる環境があることや個人の自立や自己責任を重視する意識が、支え合いが必要ないと考える背景にあることがうかがえます。

住民同士の支え合い・助け合いに必要な取組

調査対象	第1位	第2位	第3位
高齢者(n=2,407)	町会・自治会が中心となって住民相互の交流活動を進めること 36.7%	地域の人が気軽に集まれる場所をつくること 32.3%	行政において地域活動をする上での相談体制や地域活動への支援を充実させていくこと 27.7%

住民同士の支え合い・助け合う必要がないと思う理由

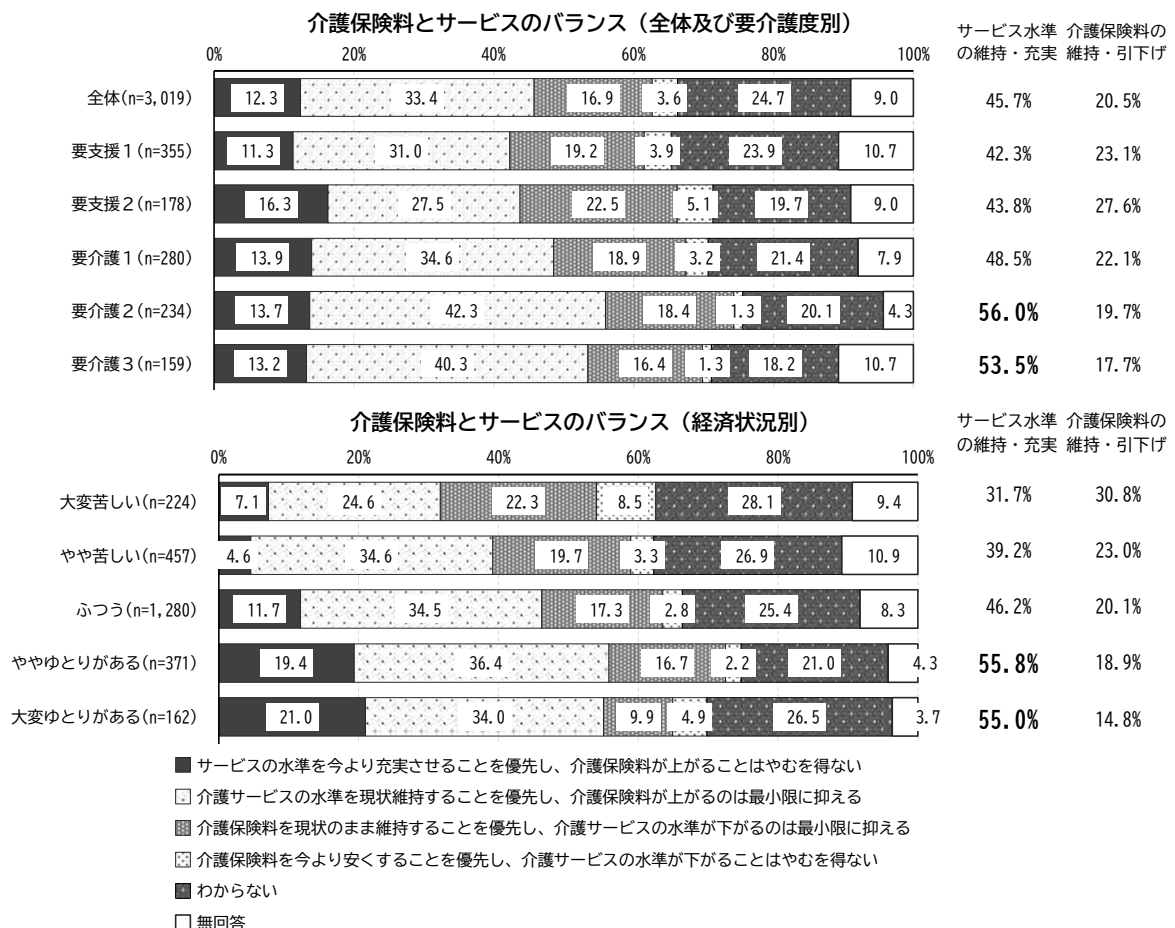
調査対象	第1位	第2位	第3位
高齢者(n=205)	他人と関わりを持たなくても生活に支障がないから 32.7%	個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから 32.7%	友人、知人との結びつきがあれば十分だから 22.0%

4 介護保険料に関する区民の認識について

- 要介護度が高く、実際にサービスを必要とする人や、経済的にゆとりがある人ほどサービス水準の維持・充実を望む傾向が強い。
- 介護保険料の負担軽減策として、公費負担の拡大を望む声が最も多く、保険料上昇もある程度は受け入れられている一方で、若年層への負担拡大については慎重な意見が多いことがうかがえる。

介護保険料とサービスのバランスについて、要介護度別にみると、「サービス水準の維持・充実」を望む割合は、要介護度が高くなるほど高くなる傾向にあり、要介護2（56.0%）と要介護3（53.5%）で特に高くなっています。要介護度が高く、実際にサービスを必要とする人ほどサービス水準の維持・充実を望む傾向が強いことがうかがえます。

経済状況別では『ゆとりがある』（「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」）層では「サービス水準の維持・充実」を望む割合が他の層と比較して高くなっています。一方、大変苦しい層では『介護保険料の維持・引下げ』を望む割合が30.8%と他の層と比べて高くなっています。



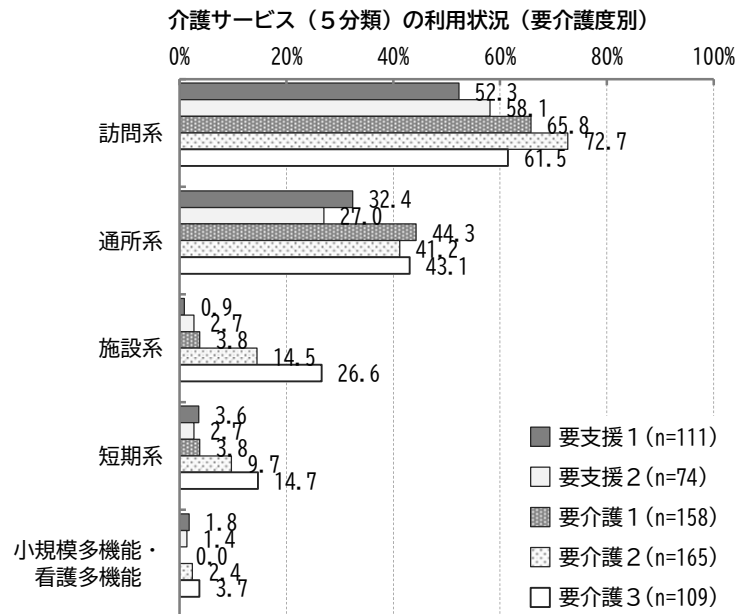
介護保険料の負担軽減については、「公費（税金）の負担割合を引き上げる」（21.9%）が最も高く、次いで「保険料の上昇は、やむを得ない」（15.9%）となっています。また、「40歳未満の若年層からも保険料を徴収する」は6.5%となっています。（p.86）介護保険料の負担軽減策として、公費負担の拡大を望む声が最も多く、保険料上昇もある程度は受け入れられている一方で、若年層への負担拡大については慎重な意見が多いことがうかがえます。

5 介護保険サービスの利用と施設入所検討の状況について

- 施設等への入所を検討している割合は、要介護度が上がるにつれて高くなり、要介護3では半数を超えている。

介護サービスの利用状況について、要介護度別にみると、全ての要介護度で「訪問系」が最も高く、要介護2で72.7%と最も多くなっています。また、「通所系」は2番目に高い利用率で推移し、「施設系」は要介護3（26.6%）で高くなっています。

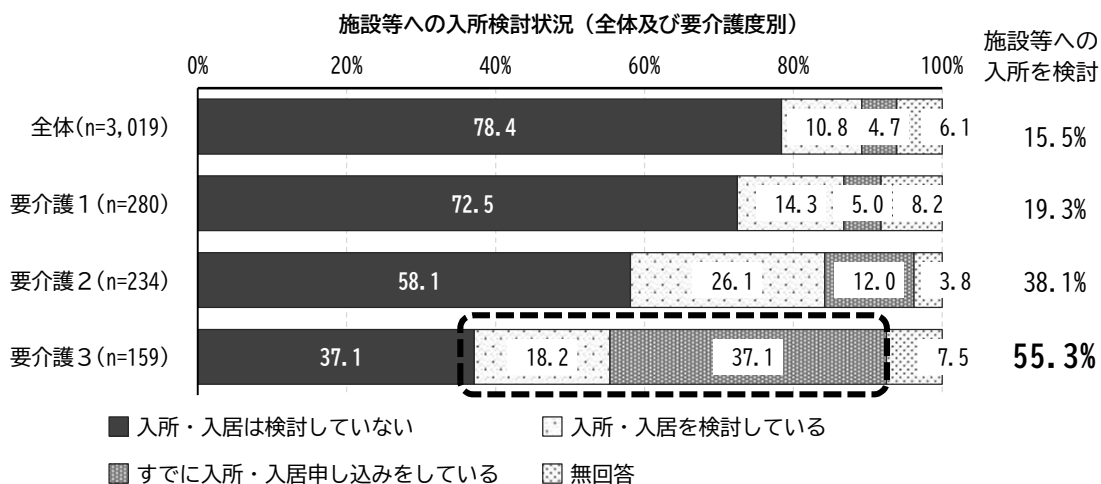
一人あたりの平均利用サービス種別数は要介護度が上がるほど増加し、要介護3では1.5となっています。



注) 介護サービス種別（5分類）は、以下の通り分類している。

- 「訪問系」…訪問介護（ホームヘルプサービス）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅療養管理指導
- 「通所系」…通所介護（デイサービス）、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）
- 「施設系」…特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）、地域密着型特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護医療院
- 「短期系」…短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）
- 「小規模・看護多機能」…小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

要介護度別にみると、『施設等への入所を検討』（「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」の合計）の割合は、要介護度が上がるにつれて高くなる傾向にあり、要介護3では55.3%と半数を超えています。特に「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は要介護3（37.1%）で顕著に高くなっています。



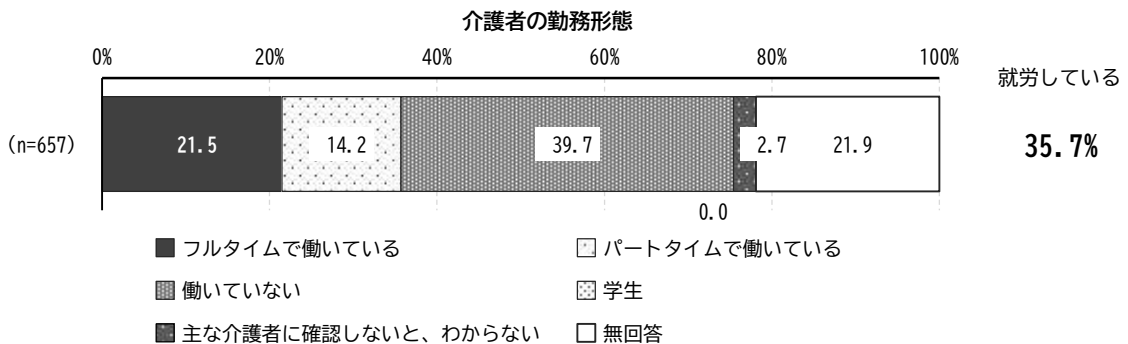
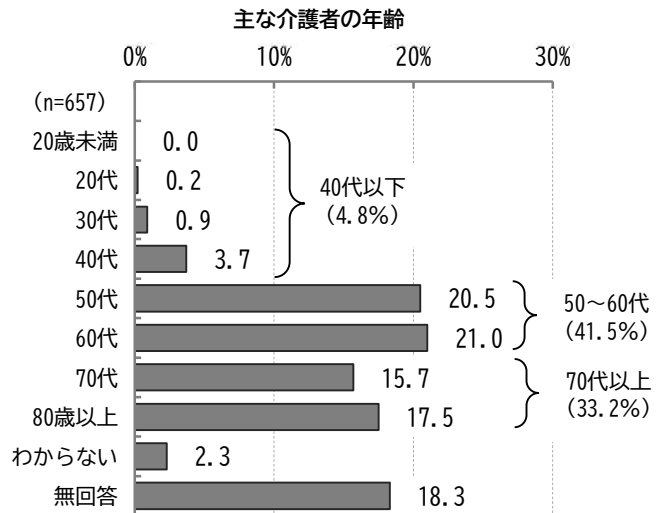
6 区民の介護に関する状況について

- 約3人に1人が仕事と介護の両方を行っている。
- 仕事と介護の両立の困難さは、訪問系・短期系サービスの利用増加として表れることがうかがえる。

介護者の年齢をみると、「60代」(21.0%)が最も高く、次いで「50代」(20.5%)、「80歳以上」(17.5%)、「70代」(15.7%)となっています。50～60代が全体の41.5%を占める一方で、70歳以上も33.2%と高い割合となっています。また、40代以下の若い世代は4.8%にとどまっています。

介護者の勤務形態をみると、「働いていない」(39.7%)が最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(21.5%)、「パート

タイムで働いている」(14.2%)となっています。就労している介護者(フルタイムとパートタイム)は合計で35.7%となっており、約3人に1人が仕事と介護の両方を行っている状況です。



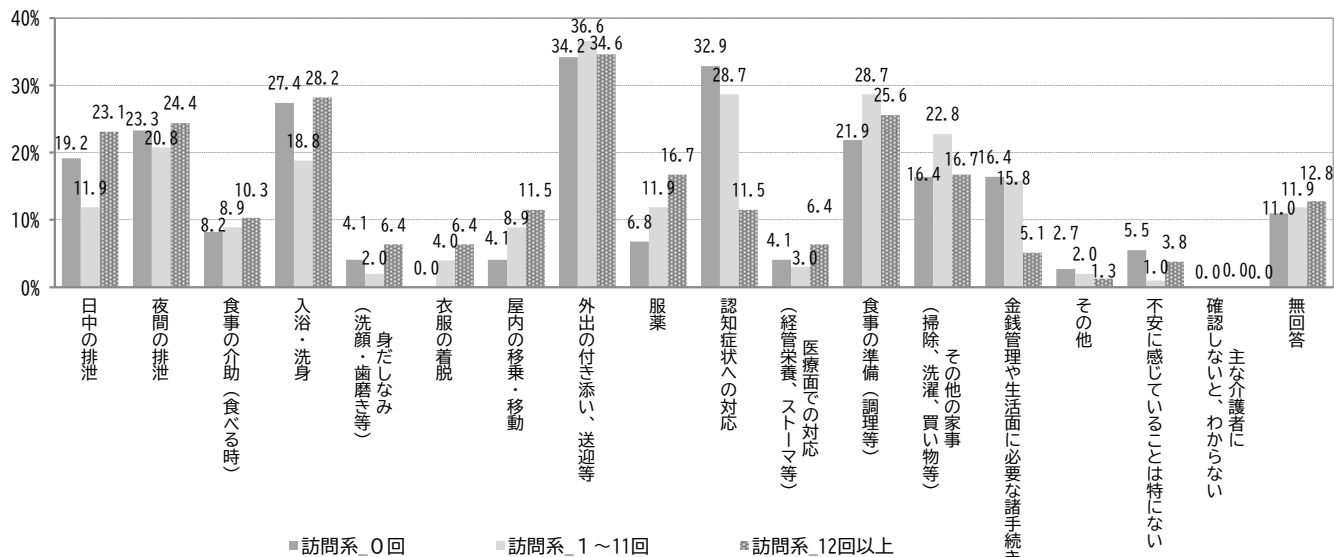
仕事と介護の両立について、「働きながら介護を続けていける」人と「続けていくのは難しい」人のサービス利用状況を比較すると、訪問系サービス(続けていける54.9%、続けていくのは難しい69.0%)と短期系サービス(続けていける5.9%、続けていくのは難しい24.1%)で大きな差が見られます。仕事と介護の両立が困難なことが、訪問系・短期系サービスの利用増加に影響していることがうかがえます。

仕事と介護の両立について(介護サービス利用状況別)

仕事と介護の両立		利用している
働きながら介護を続けていける (n=102)	訪問系サービス	54.9%
	通所系サービス	52.0%
	定期巡回系サービス	7.8%
	小規模多機能系サービス	4.9%
	看護多機能系サービス	0.0%
	施設系サービス	6.9%
	短期系サービス	5.9%
働きながら介護を続けていくのは難しい (n=29)	訪問系サービス	69.0%
	通所系サービス	51.7%
	定期巡回系サービス	0.0%
	小規模多機能系サービス	3.4%
	看護多機能系サービス	3.4%
	施設系サービス	10.3%
短期系サービス	24.1%	

要介護1～3の人の訪問系サービスの利用回数別（0回、1～11回、12回以上）に介護者の不安をみると、「認知症状への対応」（32.9%、28.7%、11.5%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（16.4%、15.8%、5.1%）など、認知症対応や生活管理に関する不安は利用回数の増加に伴い減少しています。

訪問系サービス利用回数と介護者が不安を感じる介護(要介護1～3)



注) 利用回数は月間の回数として算出。週単位で回答があったサービスについては、月換算(週回数×4)を行って集計している。

注) 「訪問系サービス」…訪問介護(ホームヘルプサービス)、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護、居宅療養管理指導

7 災害に対する備えと避難所で望む支援

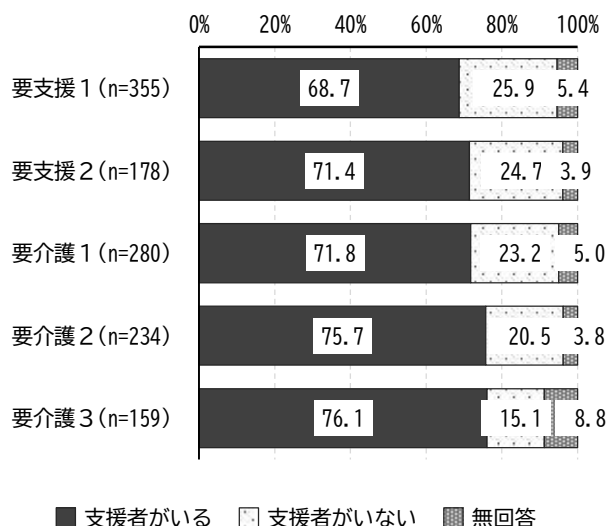
※障害者の結果は、「港区保健福祉基礎調査報告書（障害者調査）」(p.17) 参照

- 要介護3では、医療・介護面での人的支援へのニーズが特に高い。
- 災害時避難行動要支援者登録事業の認知度は2割未満と低くなっている。

災害時における支援者の有無について、要介護度別にみると、災害時の「支援者がいる」と回答する割合は要介護度が上がるにつれて高くなる傾向にあり、要介護3は76.1%と最も高くなっています。

要介護度が高くなるほど災害時の支援体制が整っている傾向がうかがえます。

災害時における支援者の有無(要介護度別)



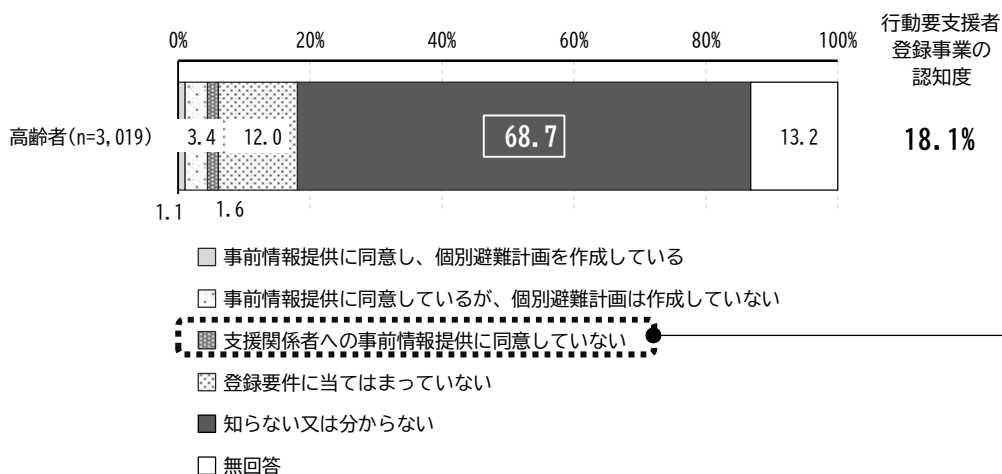
要介護度別に避難所で望む支援をみると、「必要な設備、食料、医薬品等があること」が全ての区分で最も高く、物的支援へのニーズが高くなっています。また、要介護3では「必要な相談、介護、看護を受けられること」(63.5%)が「避難所まで安全に移動」(56.0%)を上回っており、医療・介護面での人的支援へのニーズが特に高くなっています。

避難所で望む支援(要介護度別・上位5位以内)

調査対象	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
要支援1 (n=355)	必要な設備、食料、医薬品等があること 69.3%	避難所まで安全に移動 58.0%	必要な相談、介護、看護を受けられること 57.2%	感染症対策が適切であること 52.1%	災害の内容を把握できる態勢 45.6%
要支援2 (n=178)	必要な設備、食料、医薬品等があること 68.5%	避難所まで安全に移動 54.5%	必要な相談、介護、看護を受けられること 51.1%	感染症対策が適切であること 46.6%	災害の内容を把握できる態勢 42.1%
要介護1 (n=280)	必要な設備、食料、医薬品等があること 67.1%	避難所まで安全に移動 60.4%	必要な相談、介護、看護を受けられること 57.9%	感染症対策が適切であること 45.0%	災害の内容を把握できる態勢 35.0%
要介護2 (n=234)	必要な設備、食料、医薬品等があること 68.4%	避難所まで安全に移動 59.4%	必要な相談、介護、看護を受けられること 59.0%	感染症対策が適切であること 44.0%	災害の内容を把握できる態勢 34.6%
要介護3 (n=159)	必要な設備、食料、医薬品等があること 64.8%	必要な相談、介護、看護を受けられること 63.5%	避難所まで安全に移動 56.0%	感染症対策が適切であること 47.8%	災害の内容を把握できる態勢 32.1%

高齢者の災害時避難行動要支援者登録事業の認知状況をみると、「知らない又は分からない」が68.7%と最も高くなっています。事業を知っている人（「事前情報提供に同意し、個別避難計画を作成している」「事前情報提供に同意しているが、個別避難計画は作成していない」「支援関係者への事前情報提供に同意していない」「登録要件に当てはまっていない」の合計）の割合は18.1%にとどまり、災害時避難行動要支援者登録事業の認知度が低いことが分かります。

港区災害時避難行動要支援者登録事業の対象者における認知度と同意状況



同意していない理由

調査対象	家族等の災害発生時に支援をしてくれる人が既にある	事業の内容をよく理解できない	事業の内容は理解できるが、行政や地域の支援関係者に支援してほしいくない	その他・無回答
高齢者 (n=49)	44.9%	28.6%	0.0%	28.5%

支援関係者への事前情報提供に同意していない理由をみると、「家族等の災害発生時に支援をしてくれる人が既にある」が44.9%と最も高くなっています。また、「事業の内容をよく理解できない」(28.6%)が次いで高くなっています。

「行政や地域の支援関係者に支援してほしいくない」という回答が0%であり、支援関係者からの支援自体を拒否する意識はないようです。

8 区民の終活に対する意識や意向

※一般の結果は、「港区保健福祉基礎調査報告書（一般区民調査）」(p.15) 参照

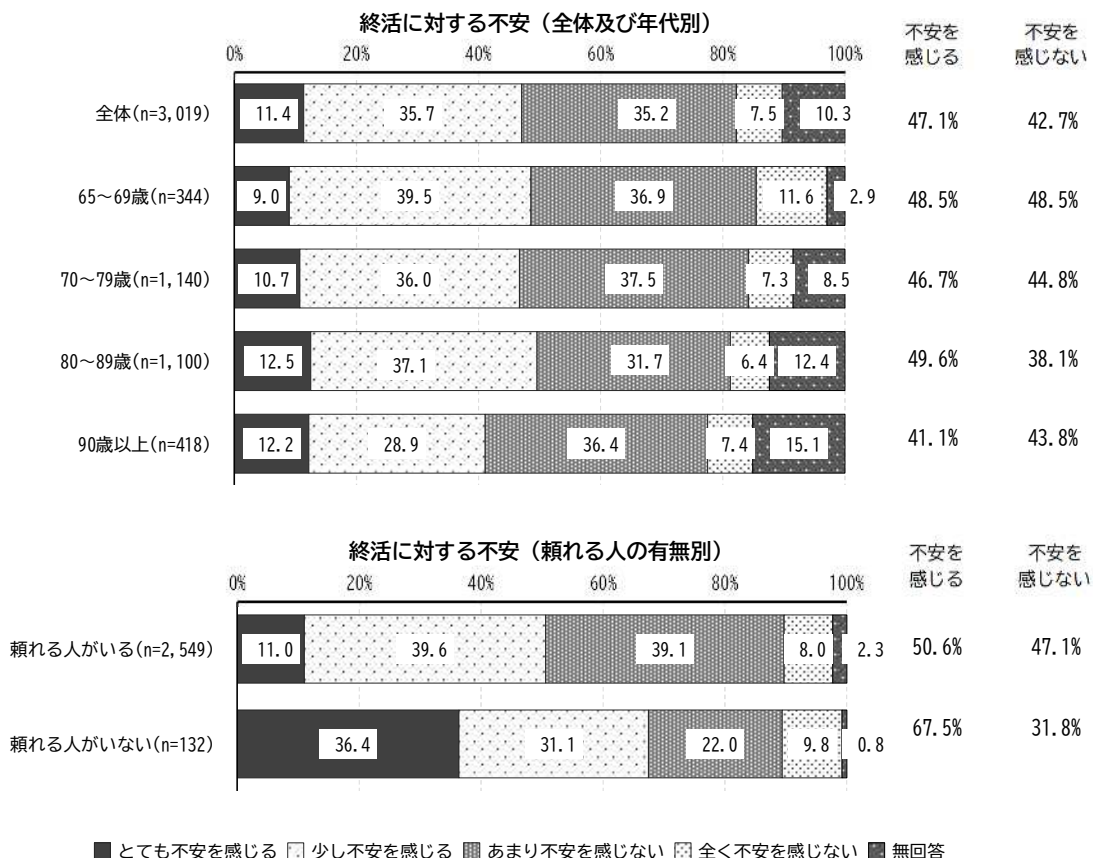
- 終活に対する不安は全体的に高い水準にあり、頼れる人がいない場合には、より強い不安を感じている。
- 終活への不安の背景には、具体的な進め方がわからないことや情報の不足といった課題が大きい。

終活に関する不安については、『不安を感じる』（「とても不安を感じる」「少し不安を感じる」の合計）割合は 47.1% となっており、『不安を感じない』（「あまり不安を感じない」「全く不安を感じない」の合計）割合の 42.7% をやや上回っています。

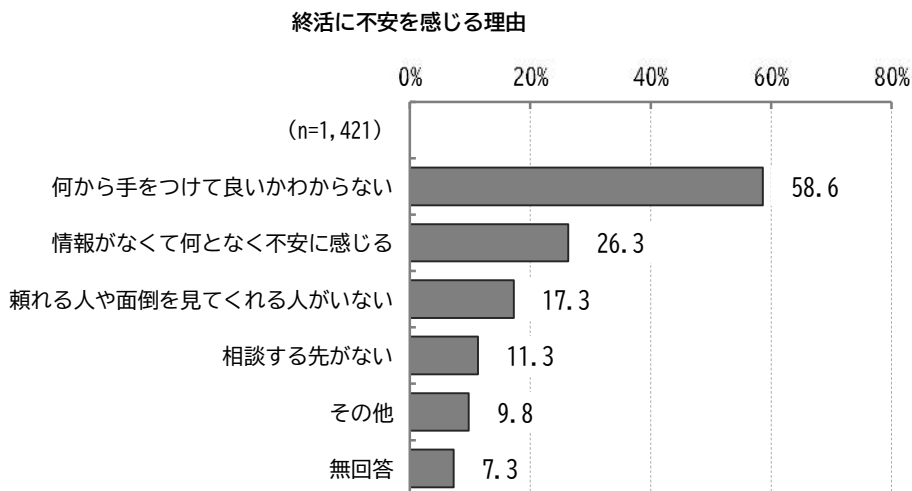
年代別にみると、不安を感じる割合は、80～89 歳（49.6%）で最も高くなっています。なかでも、「とても不安を感じる」との回答は、年齢が上がるにつれて緩やかに増加する傾向にあり、65～69 歳の 9.0% から、80～89 歳では 12.5% へと高まっています。一方、90 歳以上では、不安を感じる割合は、他の世代に比べて低くなっています。

頼れる人の有無別にみると、不安を感じる割合は、頼れる人がいる人で 50.6%、頼れる人がいない人では 67.5% と、頼れる人がいない人の方が高くなっています。特に「とても不安を感じる」の割合は、頼れる人がいない人が 36.4% と、頼れる人がいる人（11.0%）の 3 倍以上となっています。

終活に対する不安は全体的に高くなっていますが、頼れる人がいない場合には、より強い不安を感じていることがうかがえます。

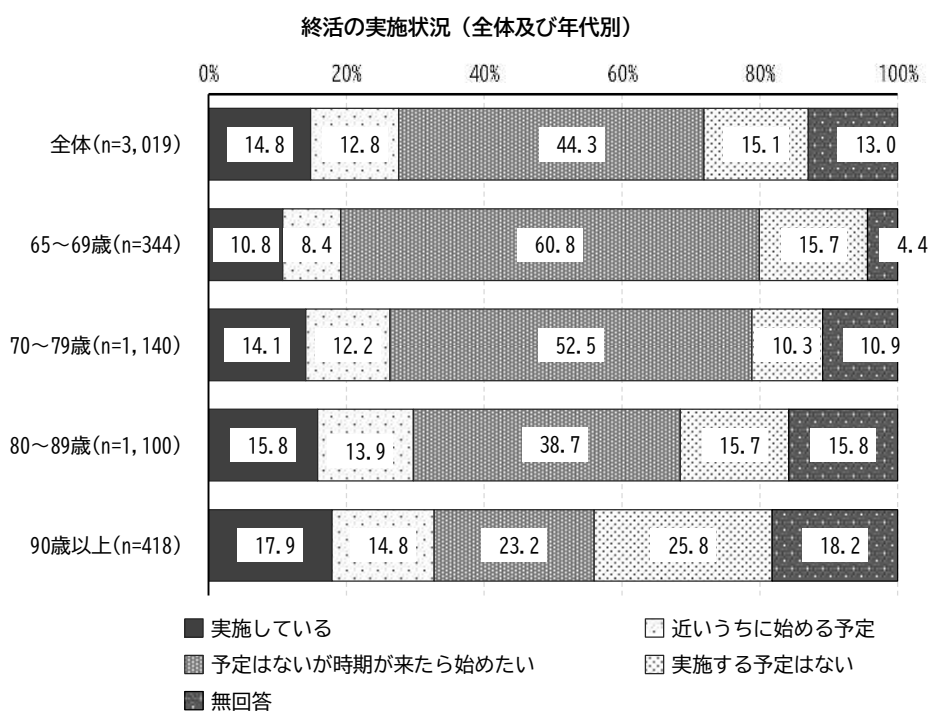


終活に不安を感じる理由として、「何から手をつけて良いかわからない」(58.6%)が最も高く、次いで「情報がなくて何となく不安を感じる」(26.3%)、「頼れる人や面倒を見てくれる人がいない」(17.3%)、「相談する先がない」(11.3%)となっています。終活への不安の背景には、具体的な進め方がわからないことや情報の不足といった課題が大きいことがうかがえます。



終活の実施状況について、年代別にみると、実施している割合は年齢が上がるにつれて高くなり、『実施又は予定あり』（「実施している」「近いうちに始める予定」の合計）の割合も年齢とともに上昇しています。一方、「予定はないが時期が来たら始めたい」との回答は年齢が上がるにつれて低下する傾向にあります。

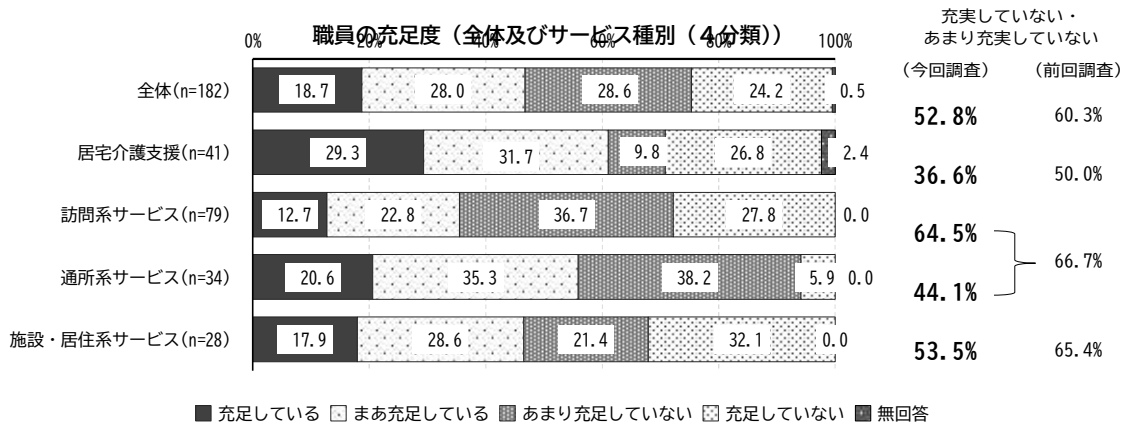
なお、90歳以上では「実施する予定はない」(25.8%)が全年代で最も高くなっています。



9 介護職員等の確保・育成・定着の状況

- 職員の不足感は、前回調査より好転しているものの5割を超えており、特に訪問系サービスで顕著であるほか、施設・居住系サービスにおいても不足感が高い傾向にある。
- 直接的なケアを担う介護職員の不足感が3割を超え、あわせて訪問介護員、看護職員、さらにケアマネジメントを担う介護支援専門員についても不足感がみられる。

職員の充足度について、訪問系サービスでは、「充足していない」「あまり充足していない」と回答した割合が64.5%、施設・居住系サービスでは53.5%と、それぞれ半数を超えています。



注) サービス種別（4分類）は、以下の通り分類している。

「居宅介護支援」…居宅介護支援

「訪問系サービス」…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護

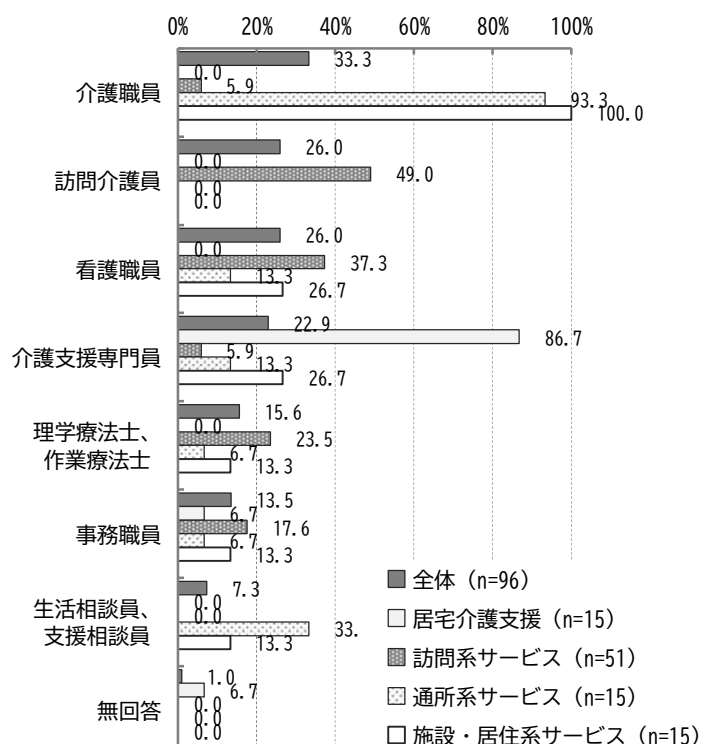
「通所系サービス」…通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

「施設・居住系サービス」…短期入所生活介護（ショートステイ）、短期入所療養介護（ショートステイ）、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設

処遇改善加算の取得（届出）状況と関連性をみると、職員が「充足している」「まあ充足している」と回答した事業所では「加算Ⅰを取得（届出）」（53.2%）が最も高いのに対し、「充足していない」「あまり充足していない」と回答した事業所では「処遇改善加算Ⅱを取得（届出）」（47.4%）が最も高くなっています。

職員が「充足していない」「あまり充足していない」と回答した事業所に、不足している職種を聞いたところ、全体では「介護職員」（33.3%）が最も高く、次いで「訪問介護員」「看護職員」（ともに26.0%）、「介護支援専門員」（22.9%）となっています。施設・居住系サービスでは、全ての事業所が「介護職員」が不足していると回答しています。

不足している職種（全体及びサービス種別（4分類））



過去1年間の採用・離職状況をサービス種別ごとにみると、訪問系サービスと通所系サービスでは20～30代の離職率が、居宅介護支援と施設・居住系サービスでは60代以上の離職率が高くなっています。

職種別の離職率・採用率をみると、「訪問介護員」（離職率6.4%、採用率14.2%）、「介護職員」（離職率13.7%、採用率22.1%）、「介護支援専門員」（離職率8.8%、採用率15.8%）となっています。特に「介護職員」は離職率、採用率、増減率のいずれも最も高く、職員の流動性が高くなっています。

年代別では、「訪問介護員」は20～30代で離職率（10.1%）が高いものの採用率も40.5%と顕著に高くなっています。「介護職員」は全年代で離職率が10%以上と高く、「介護支援専門員」は年齢が上がるにつれて採用率・離職率ともに高くなる傾向にあります。

過去1年間の採用・離職状況（全体及びサービス種別（4分類））

		離職率	採用率	増減率
		全体	合計	10.8%
	20～30代	11.2%	25.2%	14.0%
	40～50代	11.0%	17.7%	6.7%
	60代以上	9.2%	8.0%	-1.2%
居宅介護支援	合計	11.5%	21.2%	9.6%
	20～30代	0.0%	50.0%	50.0%
	40～50代	7.1%	17.9%	10.7%
	60代以上	13.3%	22.2%	8.9%
訪問系サービス	合計	6.3%	14.1%	7.8%
	20～30代	9.8%	39.0%	29.3%
	40～50代	7.5%	18.8%	11.3%
	60代以上	5.1%	3.9%	-1.2%
通所系サービス	合計	16.1%	28.2%	12.1%
	20～30代	23.0%	25.7%	2.7%
	40～50代	15.1%	24.4%	9.2%
	60代以上	11.5%	17.3%	5.8%
施設・居住系サービス	合計	12.3%	19.0%	6.7%
	20～30代	9.4%	22.2%	12.8%
	40～50代	12.7%	14.5%	1.8%
	60代以上	22.4%	6.9%	-15.5%

過去1年間の採用・離職状況（全体及び職種別）

		離職率	採用率	増減率
		全体	合計	10.8%
	20～30代	11.2%	25.2%	14.0%
	40～50代	11.0%	17.7%	6.7%
	60代以上	9.2%	8.0%	-1.2%
訪問介護員	合計	6.4%	14.2%	7.9%
	20～30代	10.1%	40.5%	30.4%
	40～50代	7.6%	18.9%	11.3%
	60代以上	5.1%	3.9%	-1.2%
介護職員	合計	13.7%	22.1%	8.3%
	20～30代	12.0%	24.3%	12.2%
	40～50代	13.7%	17.5%	3.8%
	60代以上	17.9%	12.3%	-5.7%
介護支援専門員	合計	8.8%	15.8%	7.0%
	20～30代	2.8%	2.8%	0.0%
	40～50代	7.1%	15.5%	8.3%
	60代以上	12.2%	20.4%	8.2%

採用方法をみると、居宅介護支援では「知人等の紹介」（45.5%）が最も高く、訪問系サービスと通所系サービスでは「ハローワーク・求人情報サイト」（60.9%、23.4%）、施設・居住系サービスでは「職業紹介事業者」（49.4%）が最も高くなっています。

採用方法（サービス種別）

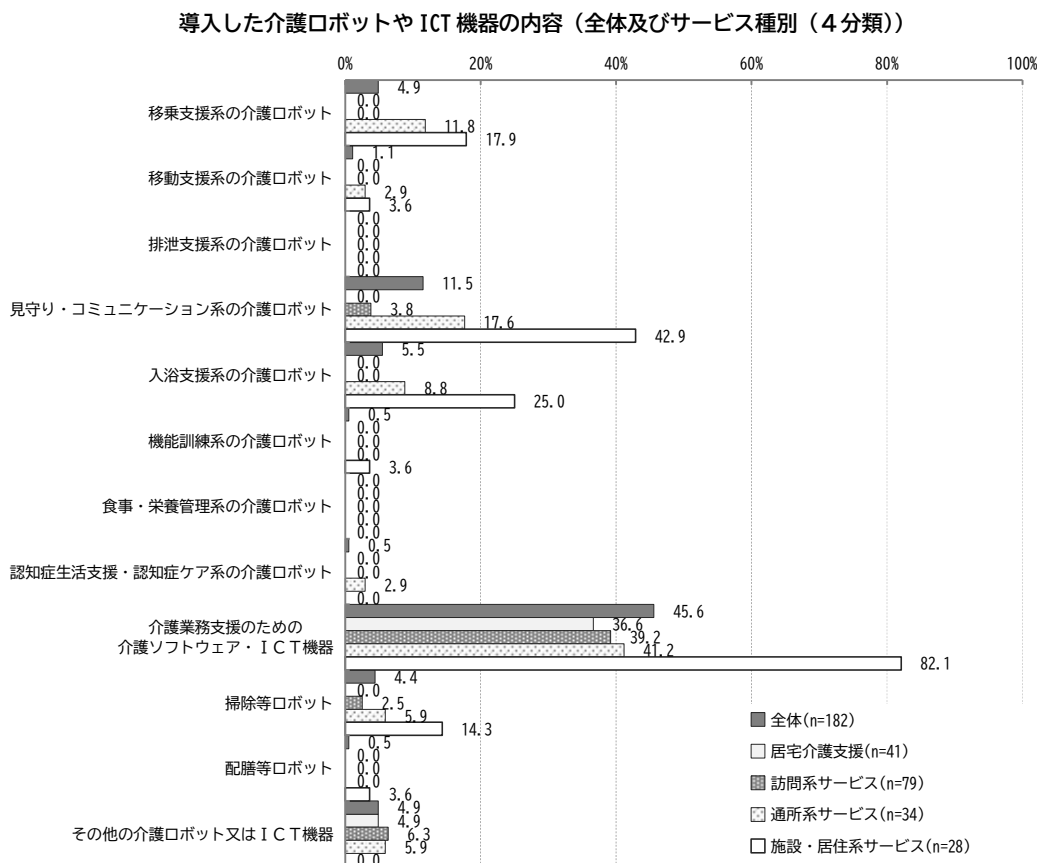
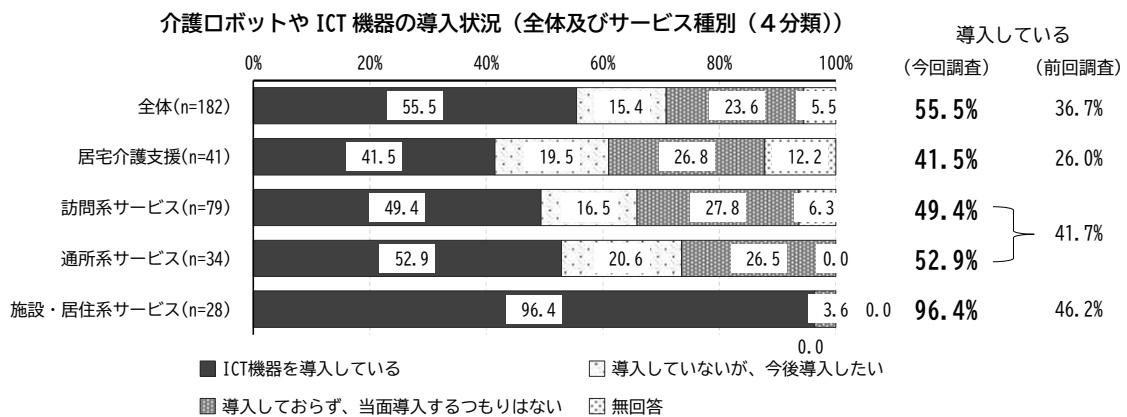
	合計 人数	居宅介護支援		訪問系サービス		通所系サービス		施設・居住系サービス	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
過去1年間の採用者数	344	22	100.0%	87	100.0%	77	100.0%	158	100.0%
1. ハローワーク・求人情報サイト	102	6	27.3%	53	60.9%	18	23.4%	25	15.8%
2. 職業紹介事業者	107	3	13.6%	15	17.2%	11	14.3%	78	49.4%
3. 合同就職説明会	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4. 学校・リクルーター	17	0	0.0%	0	0.0%	7	9.1%	10	6.3%
5. 知人等の紹介	27	10	45.5%	15	17.2%	2	2.6%	0	0.0%
6. その他	39	1	4.5%	0	0.0%	18	23.4%	20	12.7%
無回答	52	2	9.1%	4	4.6%	21	27.3%	25	15.8%

事業運営上の課題については、「職員の確保が難しい」は全ての事業所で高い割合を示し、特に訪問系サービス（74.7%）と施設・居住系サービス（71.4%）、通所系サービス（70.6%）で顕著です。また、「事務作業量が多い」は、居宅介護支援（56.1%）で高くなっています。

10 介護サービスの質と生産性の向上

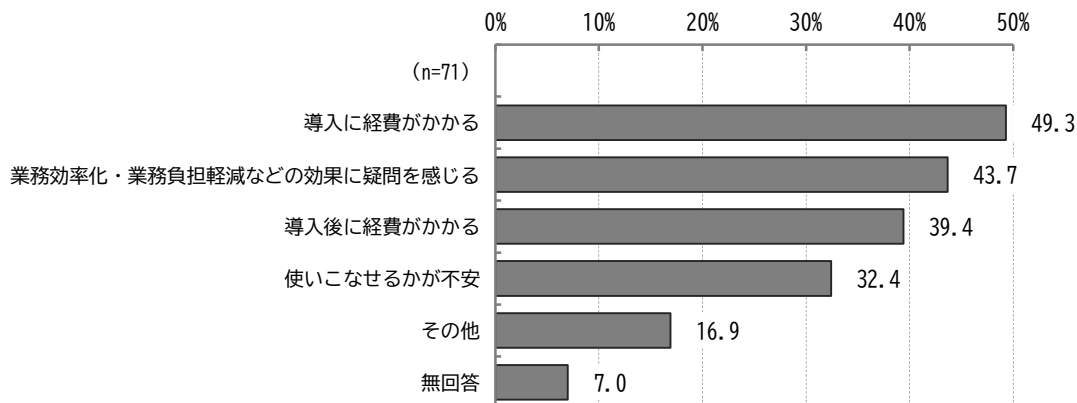
- 介護ロボットや ICT 機器の導入率は全体で半数を超え、前回調査と比べ、全てのサービス種別で導入率が大きく上昇している。
- 4割半ばの事業所が利用者やその家族からハラスメントを受けた職員がいると回答する一方で、ハラスメントを受けた職員がいない事業所では、定期的な職員研修などの予防的な取組が重視されている傾向がある。

介護ロボットや ICT 機器の導入率は、全てのサービス種別で前回調査より大きく上昇しており、中でも「介護業務支援のためのソフトウェア・ICT 機器」の導入が進んでいます。



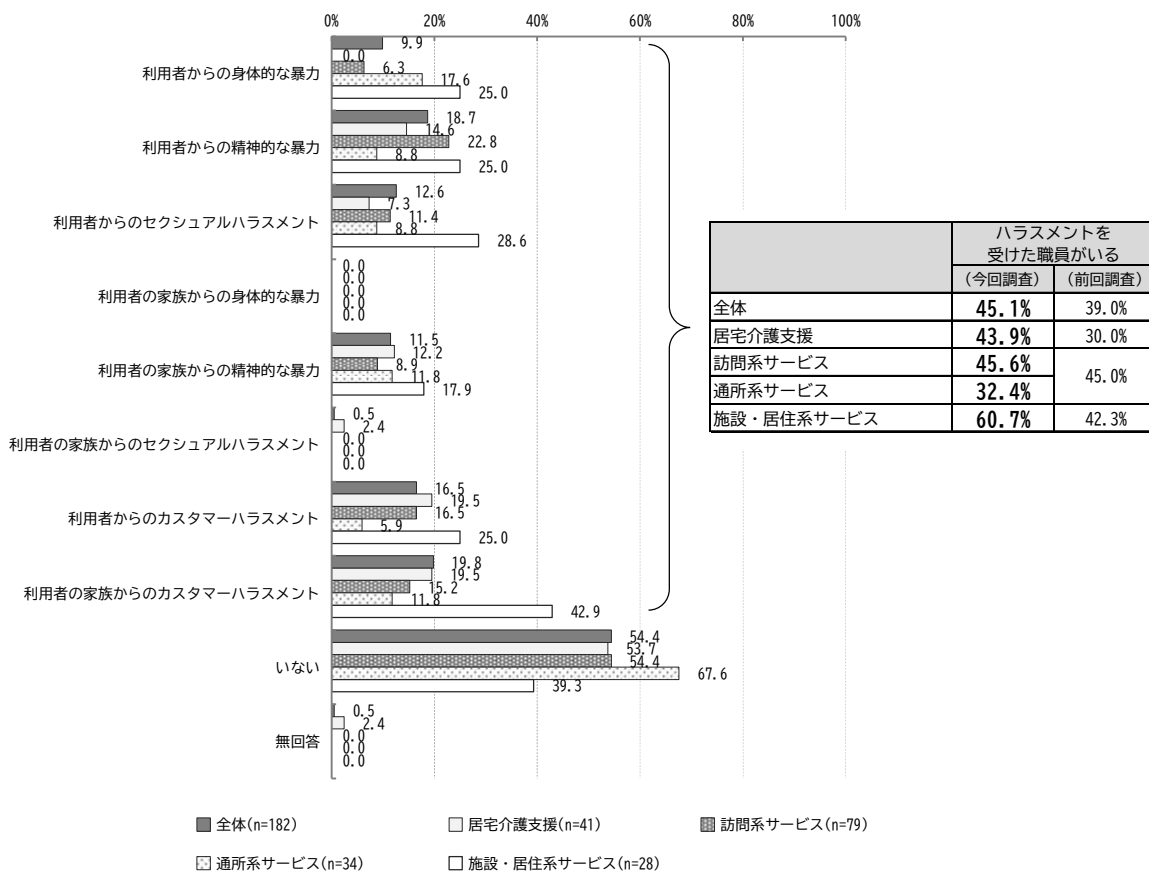
介護ロボットや ICT 機器を導入しない理由として、「導入に経費がかかる」(49.3%) が最も高く、次いで「業務効率化・業務負担軽減などの効果に疑問を感じる」(43.7%)、「導入後に経費がかかる」(39.4%) となっています。また、「使いこなせるかが不安」(32.4%) という課題も 3 割を超えています。

介護ロボットや ICT 機器を導入しない理由



利用者やその家族からハラスメントを受けた職員がいる割合は、前回調査と比べ、全体で 39.0% から 45.1% に増加しています。 サービス種別では、施設・居住系サービスが 42.3% から 60.7% へ、居宅介護支援が 30.0% から 43.9% へと大きく増加しています。

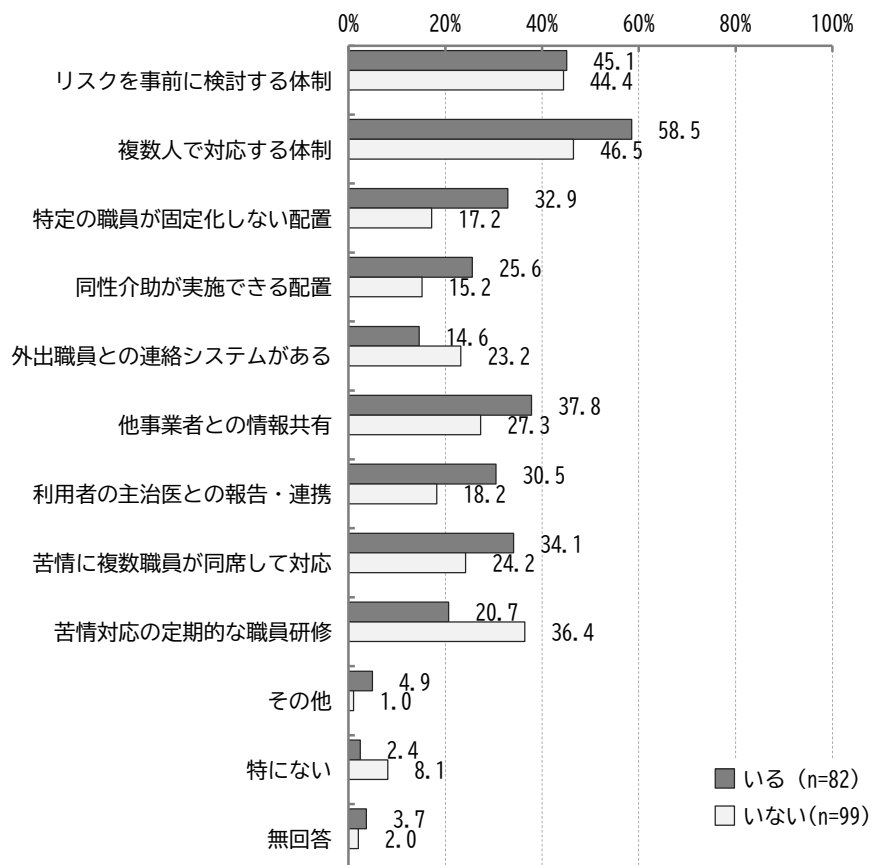
過去 1 年間で利用者やその家族からハラスメントを受けた職員の有無（全体及びサービス種別（4 分類））



ハラスメントを受けた職員がいる事業所における防止対策としては、「複数人で対応する体制」、「リスクを事前に検討する体制」、「他事業者との情報共有」の順で実施割合が高くなっています。

一方、ハラスメントを受けた職員がいない事業所では、「苦情対応の定期的な職員研修」や「外出職員との連絡システム」の実施割合が比較的高い傾向にあります。

利用者やその家族からのハラスメントに対する防止対策（ハラスメントを受けた職員の有無別）



第3章 集計結果

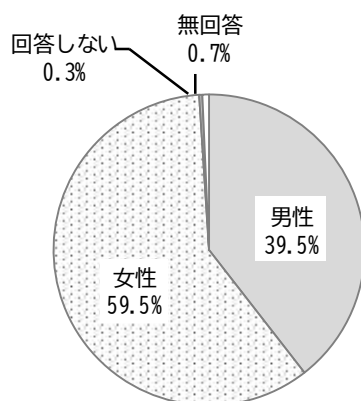
1 高齢者を対象とした調査の集計結果

1. 回答者自身について

問1 性別を教えてください。(○は1つ)

「女性」が59.5%、「男性」が39.5%、「回答しない」が0.3%となっている。

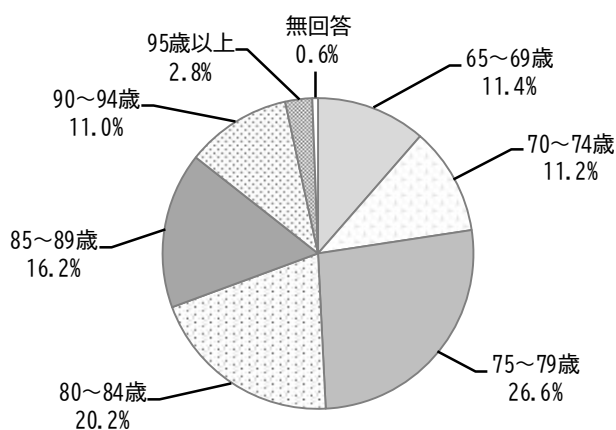
(n=3,019)



問2 年齢を教えてください。(○は1つ)

「75～79歳」が26.6%と最も多く、次いで「80～84歳」が20.2%、「85～89歳」が16.2%となっている。

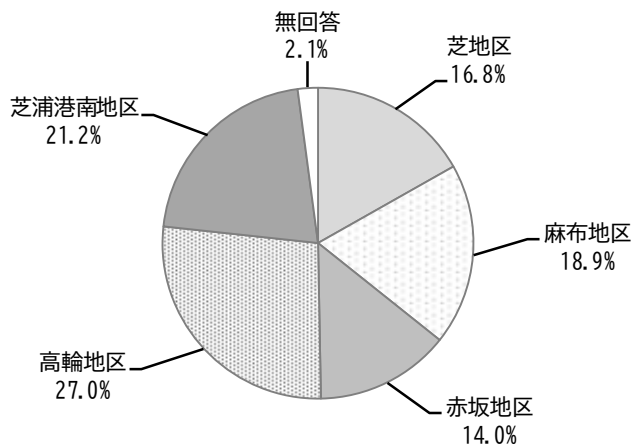
(n=3,019)



問3 お住まいの地区を教えてください。(〇は1つ)

「高輪地区」が27.0%と最も多く、次いで「芝浦港南地区」が21.2%、「麻布地区」が18.9%となっている。

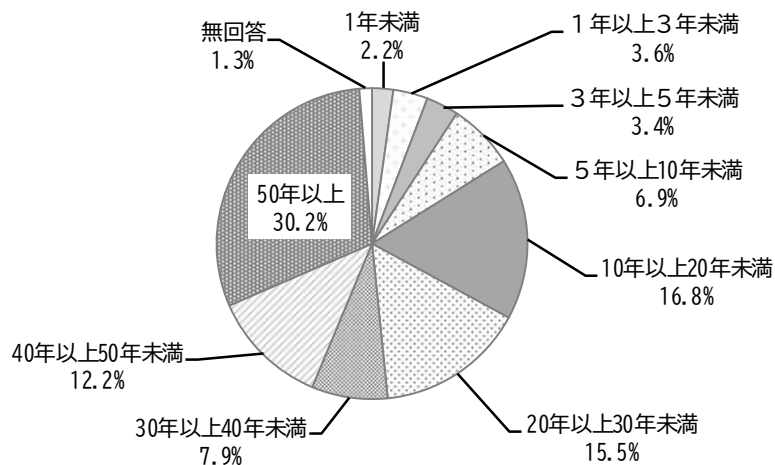
(n=3,019)



問4 居住年数(直近で港区内に連続して何年住んでいるか)を教えてください。(〇は1つ)

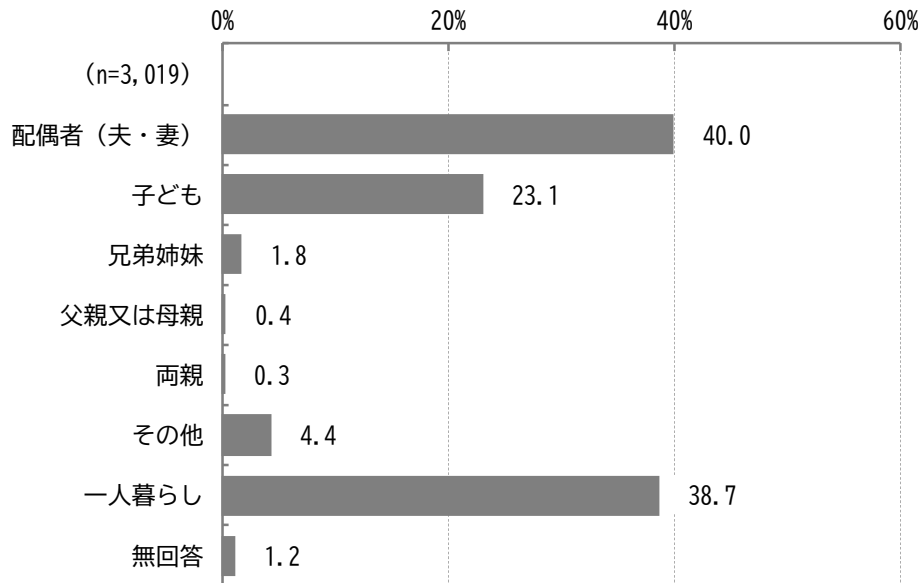
「50年以上」が30.2%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が16.8%、「20年以上30年未満」が15.5%となっている。

(n=3,019)



問5 あて名のご本人が現在、どなたと同居しているか教えてください。(〇はいくつでも)

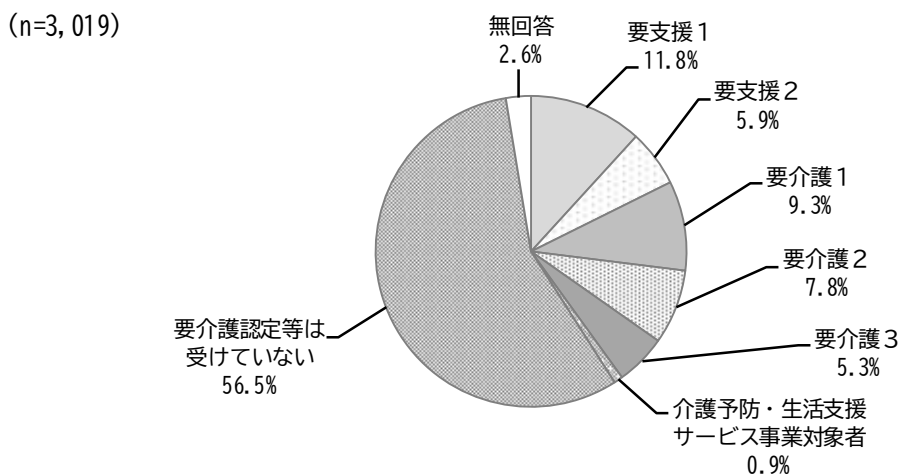
「配偶者(夫・妻)」が40.0%と最も多く、次いで「一人暮らし」が38.7%、「子ども」が23.1%となっている。



2. 生活状況について

問6 現在のあなたの要介護度について、ご回答ください。(〇は1つ)

「要介護認定等は受けていない」が56.5%と最も多く、次いで「要支援1」が11.8%、「要介護1」が9.3%となっている。

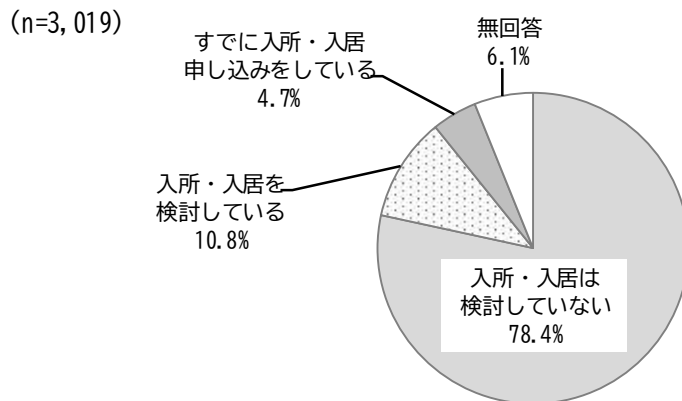


問7 現時点での、施設等※への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

※施設等とは

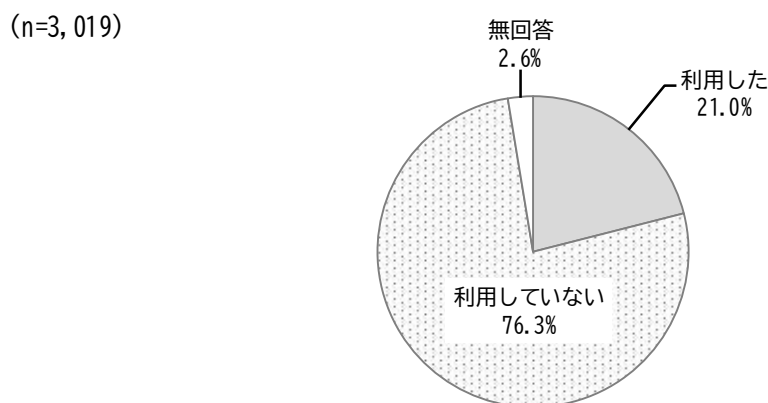
特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

「入所・入居は検討していない」が78.4%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が10.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が4.7%となっている。



問8 令和7年8月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

「利用していない」が76.3%、「利用した」が21.0%となっている。



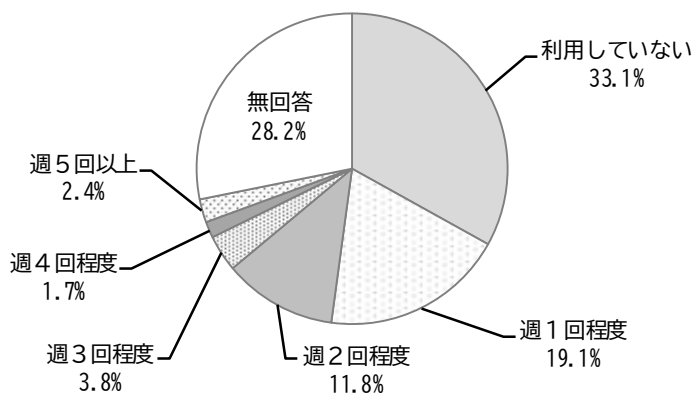
※問9は、問8で「利用した」を選択した人のみ回答

問9 以下の介護保険サービスについて、令和7年8月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つに○）

【A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)】

「利用していない」が33.1%と最も多く、次いで「週1回程度」が19.1%、「週2回程度」が11.8%となっている。

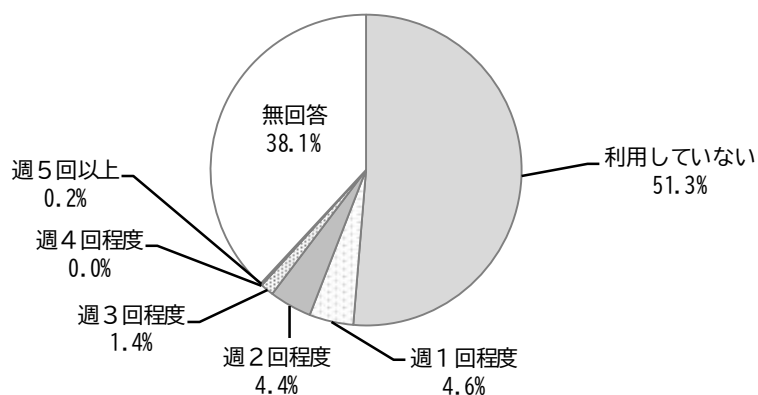
(n=635)



【B. 訪問入浴介護】

「利用していない」が51.3%と最も多く、次いで、「週1回程度」が4.6%、「週2回程度」が4.4%となっている。

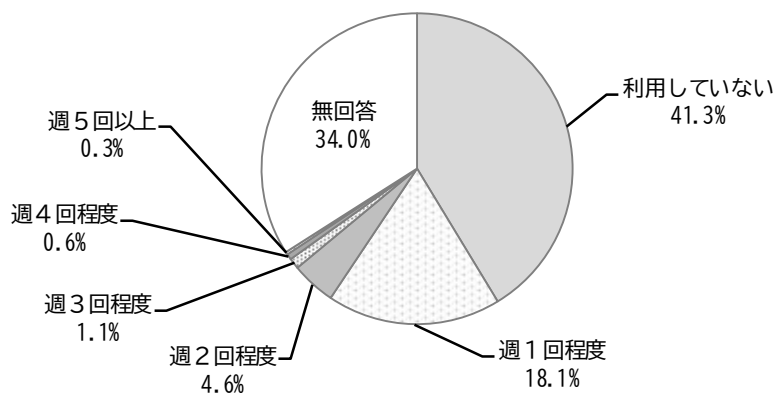
(n=635)



【C. 訪問看護】

「利用していない」が41.3%と最も多く、次いで「週1回程度」が18.1%、「週2回程度」が4.6%となっている。

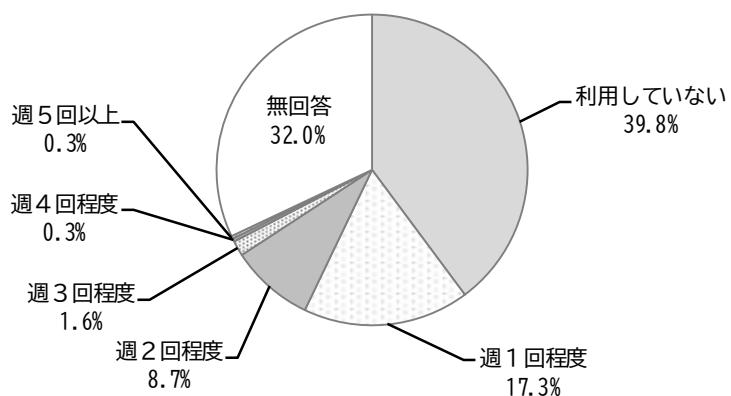
(n=635)



【D. 訪問リハビリテーション】

「利用していない」が39.8%と最も多く、次いで「週1回程度」が17.3%、「週2回程度」が8.7%となっている。

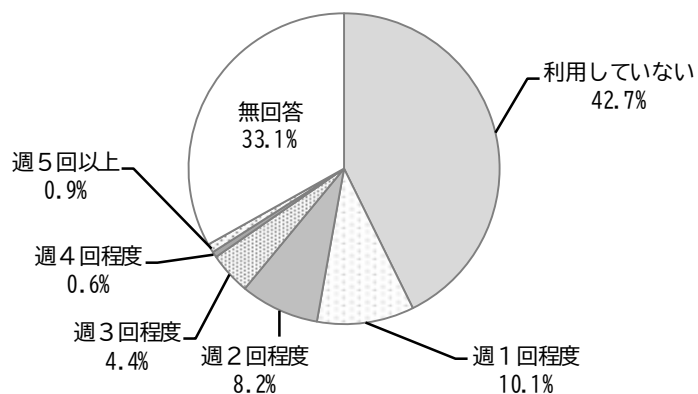
(n=635)



【E. 通所介護(デイサービス)】

「利用していない」が42.7%と最も多く、次いで「週1回程度」が10.1%、「週2回程度」が8.2%となっている。

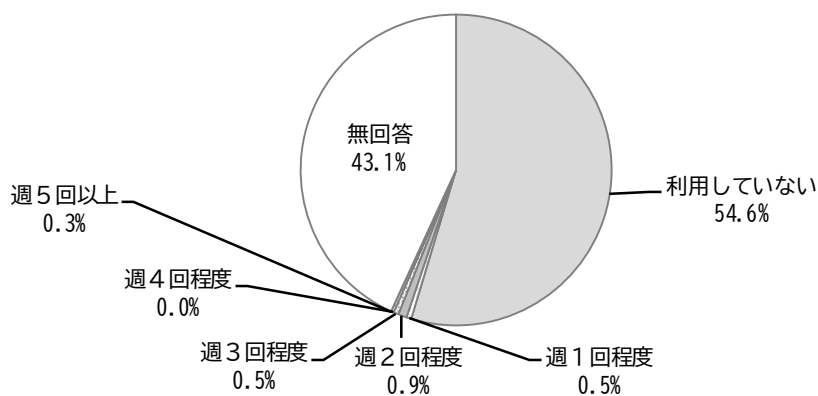
(n=635)



【F. 地域密着型通所介護】

「利用していない」が54.6%と最も多く、次いで「週2回程度」が0.9%、「週1回程度」と「週3回程度」が0.5%となっている。

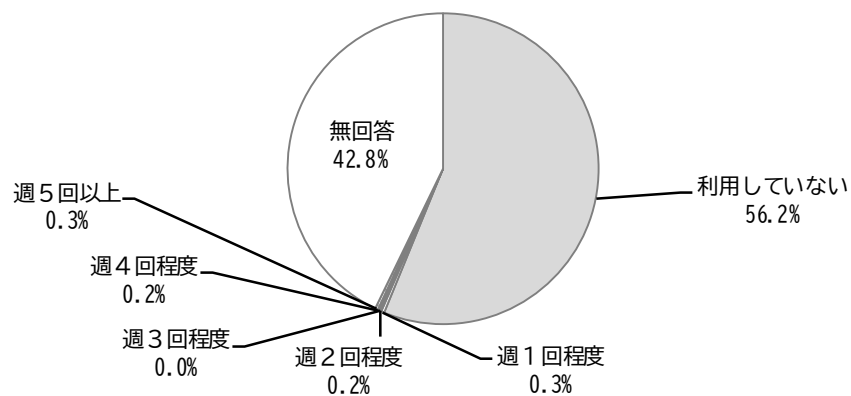
(n=635)



【G. 認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）】

「利用していない」が56.2%と最も多く、次いで「週1回程度」と「週5回以上」が0.3%となっている。

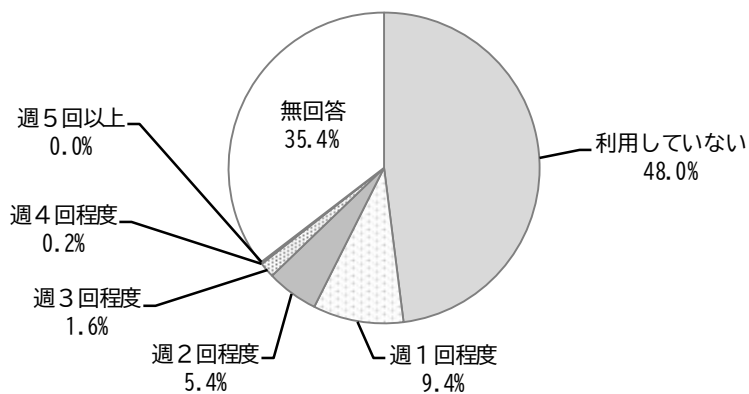
(n=635)



【H. 通所リハビリテーション(デイケア)】

「利用していない」が48.0%と最も多く、次いで「週1回程度」が9.4%、「週2回程度」が5.4%となっている。

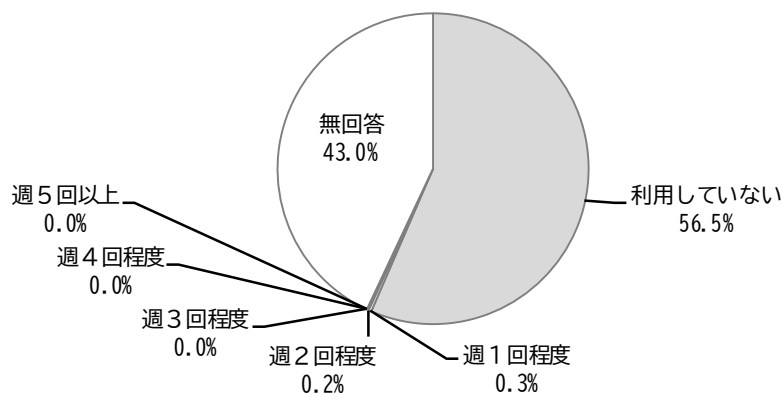
(n=635)



【I. 夜間対応型訪問介護(※訪問のあった回数を回答)】

「利用していない」が56.5%と最も多く、次いで「週1回程度」が0.3%、「週2回程度」が0.2%となっている。

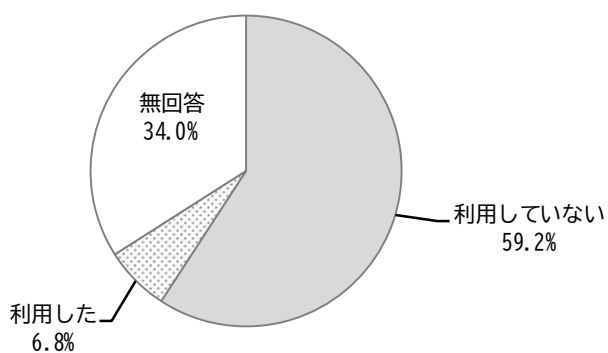
(n=635)



【J. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

「利用していない」が59.2%、「利用した」が6.8%となっている。

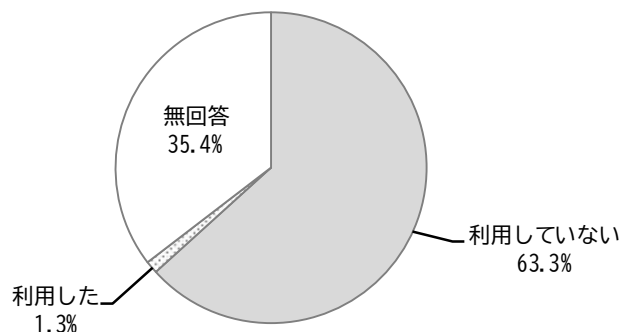
(n=635)



【K. 小規模多機能型居宅介護】

「利用していない」が63.3%、「利用した」が1.3%となっている。

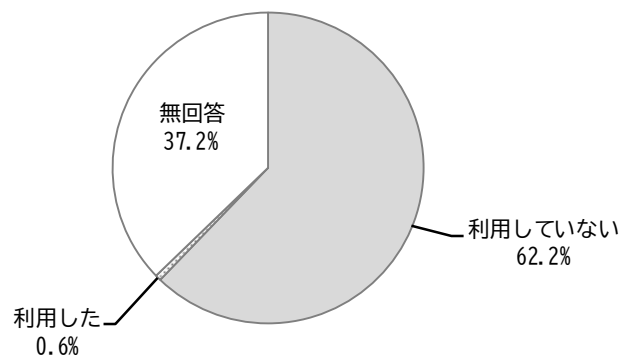
(n=635)



【L. 看護小規模多機能型居宅介護】

「利用していない」が62.2%、「利用した」が0.6%となっている。

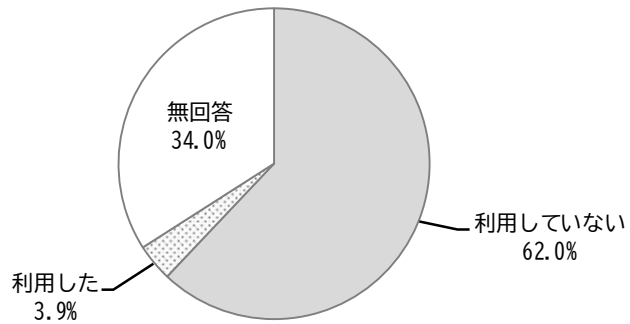
(n=635)



【M. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）】

「利用していない」が62.0%、「利用した」が3.9%となっている。

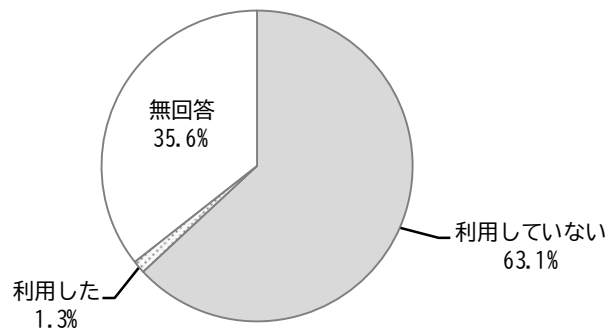
(n=635)



【N. 地域密着型特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）】

「利用していない」が63.1%、「利用した」が1.3%となっている。

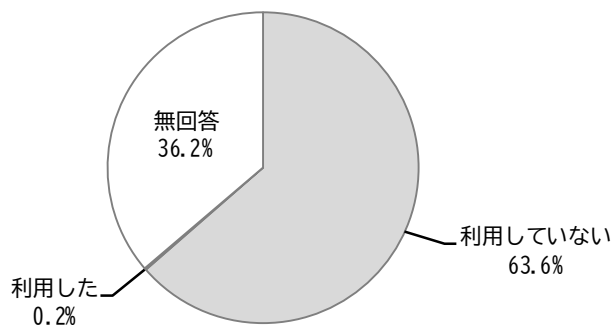
(n=635)



【O. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護】

「利用していない」が63.6%、「利用した」が0.2%となっている。

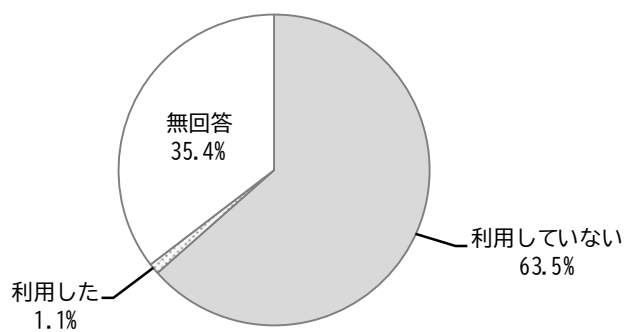
(n=635)



【P. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

「利用していない」が63.5%、「利用した」が1.1%となっている。

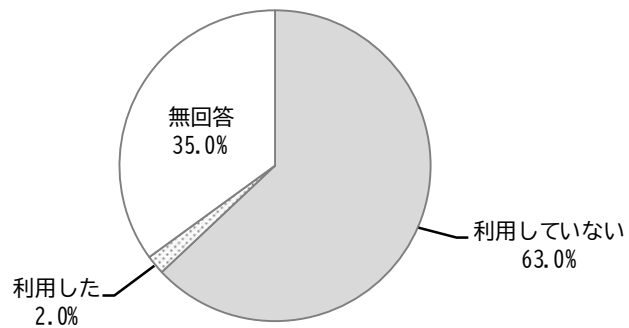
(n=635)



【Q. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】

「利用していない」が63.0%、「利用した」が2.0%となっている。

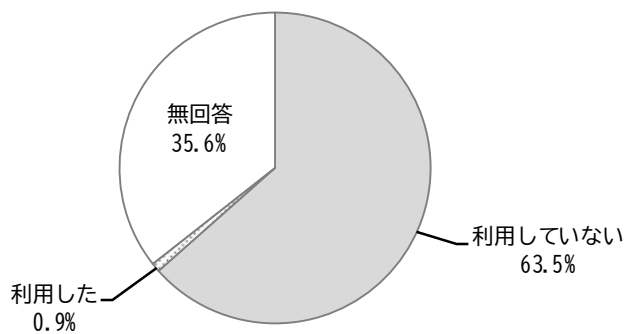
(n=635)



【R. 介護老人保健施設】

「利用していない」が63.5%、「利用した」が0.9%となっている。

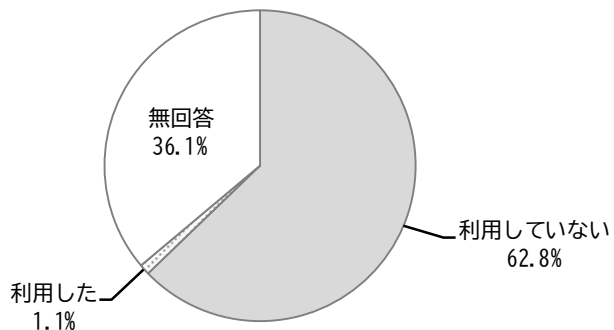
(n=635)



【S. 介護医療院】

「利用していない」が62.8%、「利用した」が1.1%となっている。

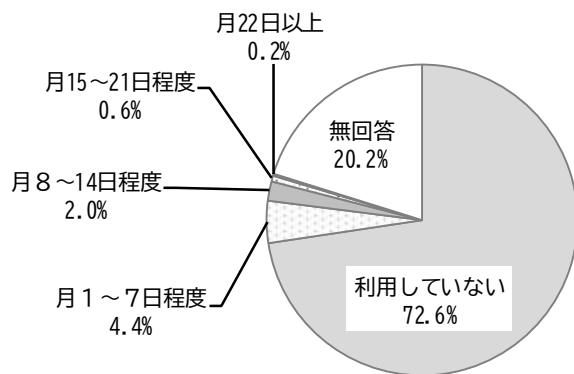
(n=635)



【T. 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）】

「利用していない」が72.6%と最も多く、次いで「月1～7日程度」が4.4%、「月8～14日程度」が2.0%となっている。

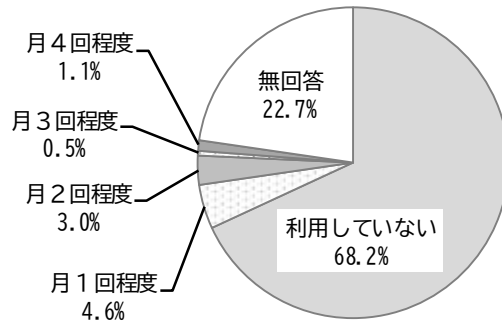
(n=635)



【U. 居宅療養管理指導】

「利用していない」が68.2%と最も多く、次いで「月1回程度」が4.6%、「月2回程度」が3.0%となっている。

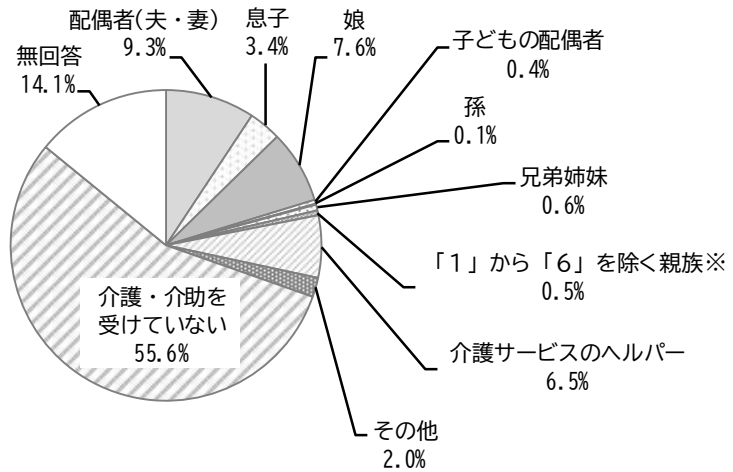
(n=635)



問10 主にどなたによる介護・介助を受けていますか。(○は1つ)

「介護・介助を受けていない」が55.6%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が9.3%、「娘」が7.6%となっている。

(n=3,019)



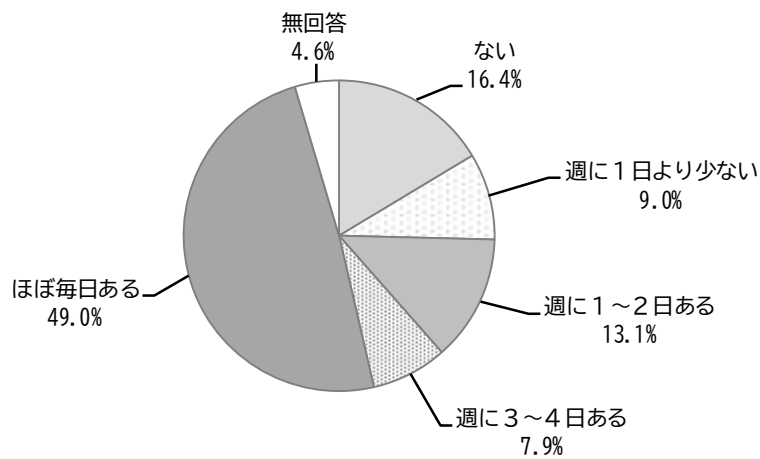
※「配偶者(夫・妻)」、「息子」、「娘」、「子どもの配偶者」、「孫」、「兄弟姉妹」を除く親族

※問11は、問10で選択肢「1.配偶者（夫・妻）」～「7.「1」から「6」を除く親族」のいずれかを選択した人のみ回答

問11 ご家族やご親族による介護・介助は、週にどのくらいありますか。
 （同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

「ほぼ毎日ある」が49.0%と最も多く、次いで「ない」が16.4%、「週に1～2日ある」が13.1%となっている。

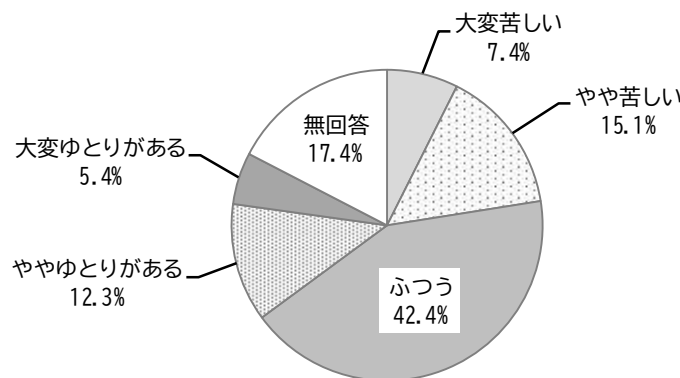
(n=657)



問12 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

「ふつう」が42.4%と最も多く、次いで「やや苦しい」が15.1%、「ややゆとりがある」が12.3%となっている。

(n=3,019)



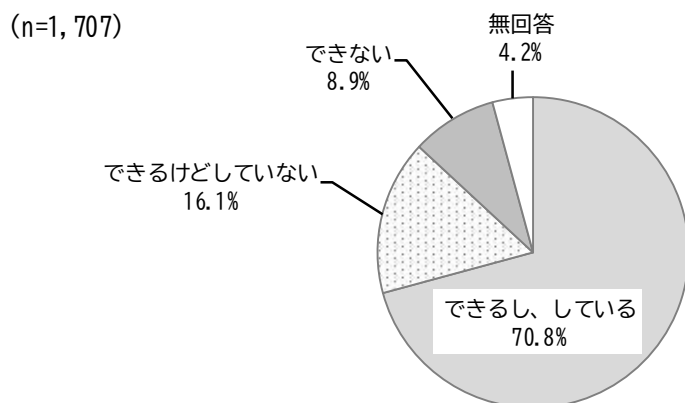
3. 日常生活全般について

※問 13～50 は、事業対象者、要支援1、要支援2、要介護認定を受けていない人のみ回答

問13 ①～③について、当てはまる番号をお答えください。(○はそれぞれ1つ)

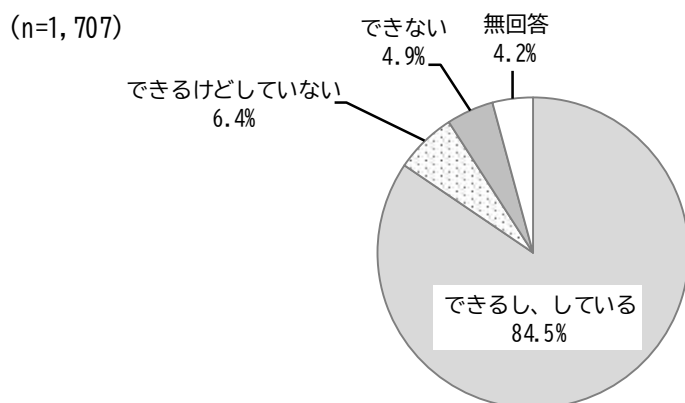
【① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。】

「できるし、している」が70.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.1%、「できない」が8.9%となっている。



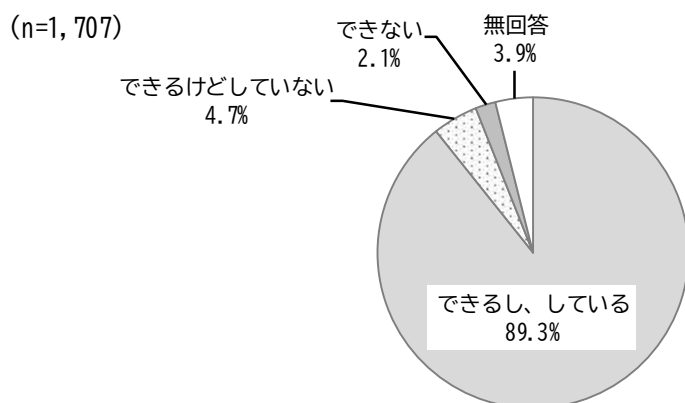
【② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。】

「できるし、している」が84.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が6.4%、「できない」が4.9%となっている。



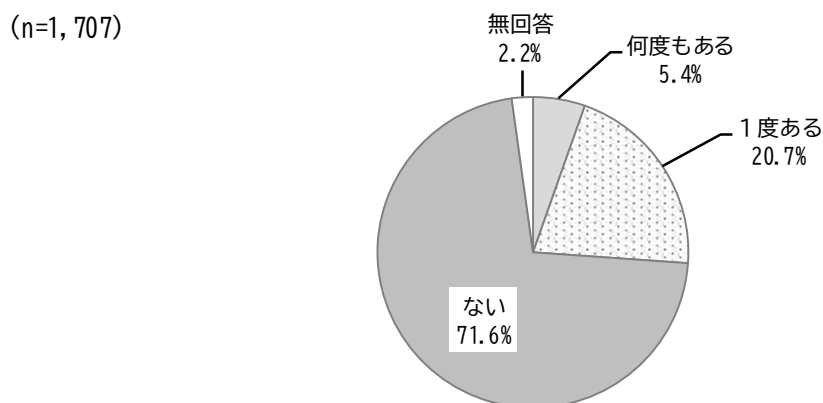
【③ 15分位続けて歩いていますか。】

「できるし、している」が89.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が4.7%、「できない」が2.1%となっている。



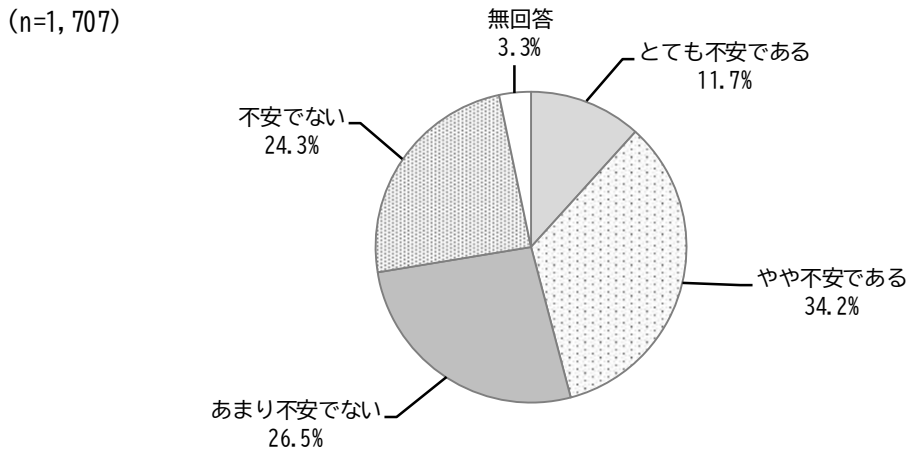
問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「ない」が71.6%と最も多く、次いで「1度ある」が20.7%、「何度もある」が5.4%となっている。



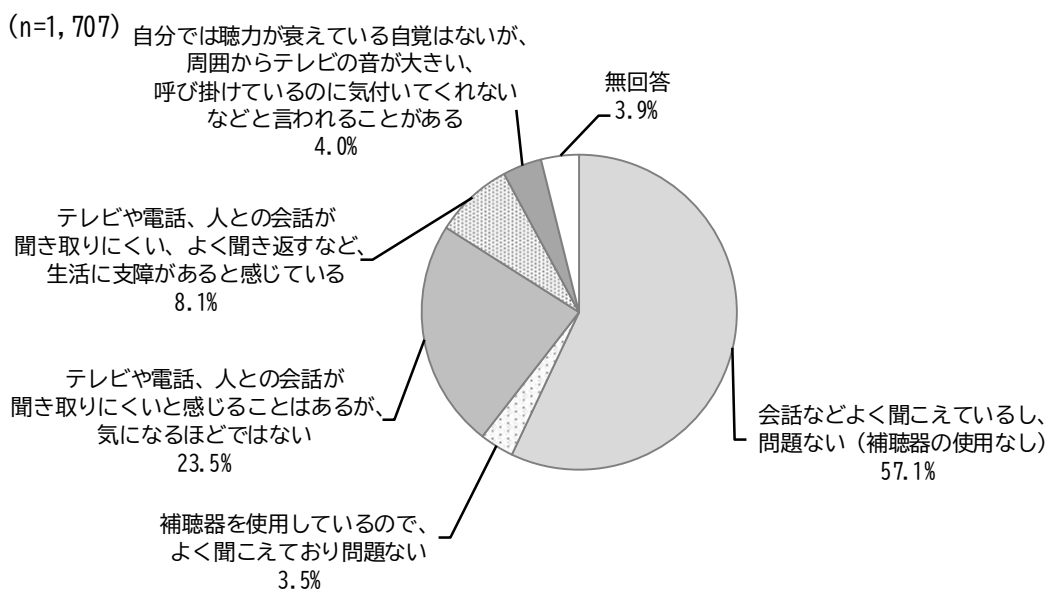
問15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「やや不安である」が34.2%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が26.5%、「不安でない」が24.3%となっている。



問16 日常生活において、聞こえ（聴力）について気になることはありますか。(○は1つ)

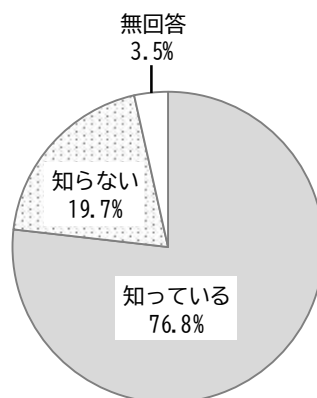
「会話などよく聞こえているし、問題ない（補聴器の使用なし）」が57.1%と最も多く、次いで「テレビや電話、人との会話が聞き取りにくいと感じることはあるが、気になるほどではない」が23.5%、「テレビや電話、人との会話が聞き取りにくい、よく聞き返すなど、生活に支障があると感じている」が8.1%となっている。



問17 加齢性難聴（加齢に伴い音が聞こえづらくなる）を知っていますか。（○は1つ）

「知っている」が76.8%、「知らない」が19.7%となっている。

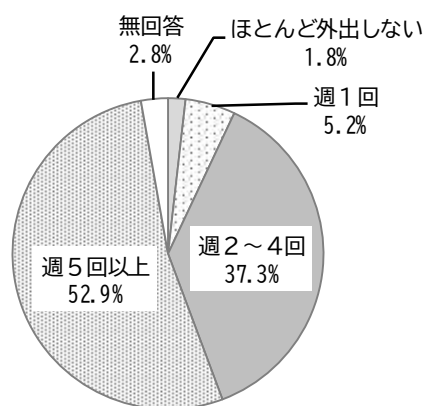
(n=1,707)



問18 1週間のうちの外出頻度を教えてください。（○は1つ）

「週5回以上」が52.9%と最も多く、次いで「週2～4回」が37.3%、「週1回」が5.2%となっている。

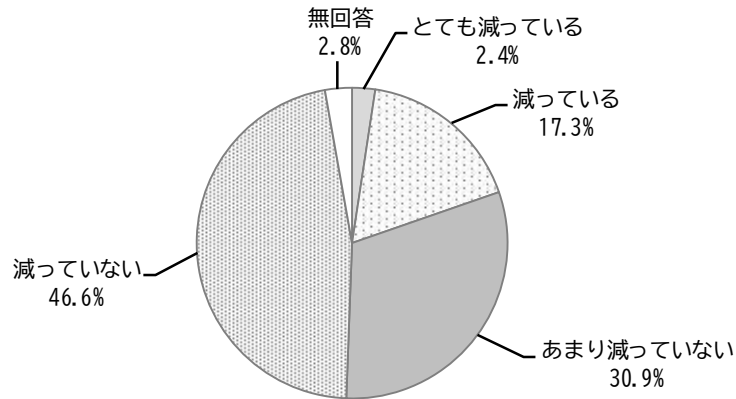
(n=1,707)



問19 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

「減っていない」が46.6%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が30.9%、「減っている」が17.3%となっている。

(n=1,707)

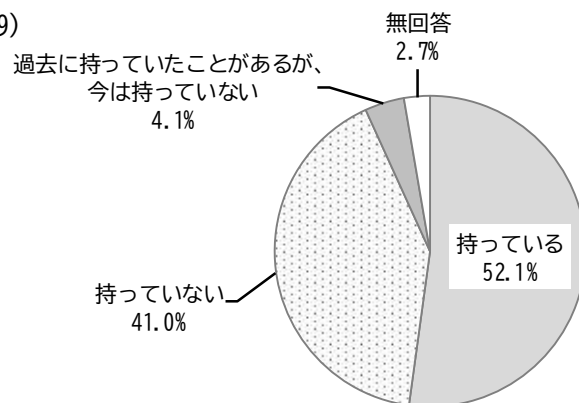


※問20～25は、70歳以上の人のみ回答

問20 あなたは、東京都シルバーパスを持っていますか。(○は1つ)

「持っている」が52.1%と最も多く、次いで「持っていない」が41.0%、「過去に持っていたことがあるが、今は持っていない」が4.1%となっている。

(n=1,389)

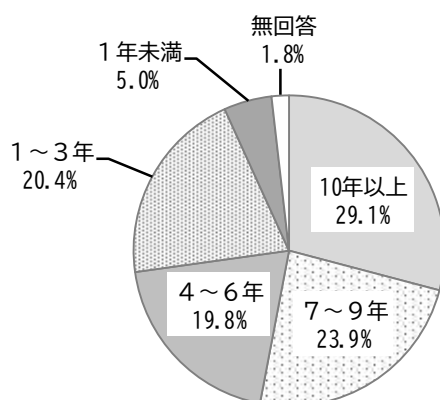


※問 21 と 22 は、問 20 で「持っている」を選択した人のみ回答

問21 シルバーパスを持っている期間は、どのくらいですか。(〇は1つ)

「10年以上」が29.1%と最も多く、次いで「7～9年」が23.9%、「1～3年」が20.4%となっている。

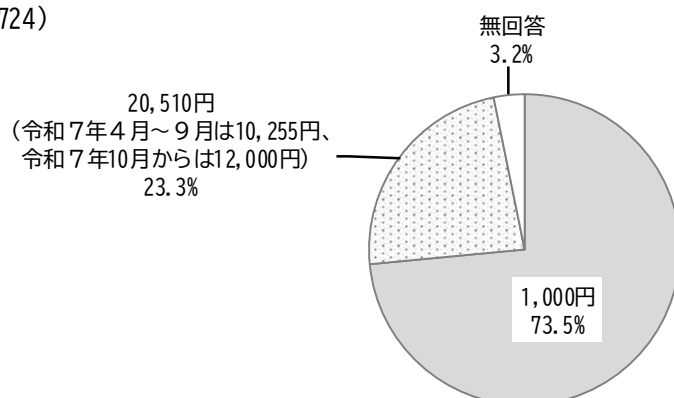
(n=724)



問22 お持ちのシルバーパスの種別はどちらですか。(〇は1つ)

「1,000円」が73.5%、「20,510円(令和7年4月～9月は10,255円、令和7年10月からは12,000円)」が23.3%となっている。

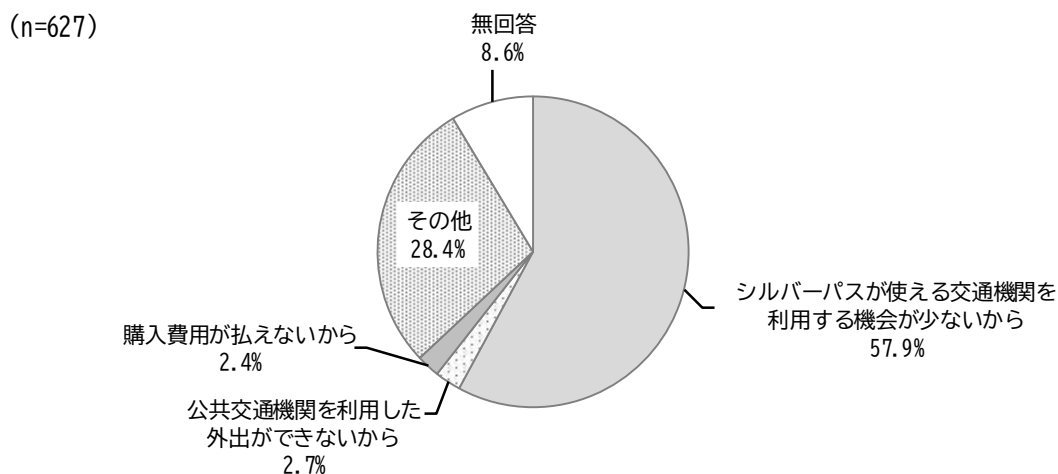
(n=724)



※問 23 は、問 20 で選択肢「2. 持っていない」又は「3. 過去に持っていたことがあるが、今は持っていない」を選択した人のみ回答

問23 シルバーパスを持たない理由はなんですか。(〇は1つ)

「シルバーパスが使える交通機関を利用する機会が少ないから」が 57.9%と最も多く、次いで「その他」が 28.4%、「公共交通機関を利用した外出ができないから」が 2.7%となっている。



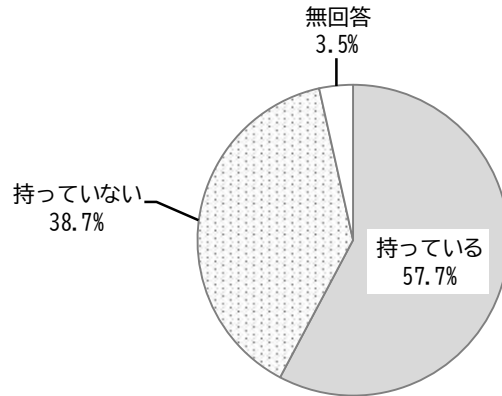
【主なその他の内容】

内容	件数
シルバーパスが使える交通機関以外を利用しているなど、不要だから	54
シルバーパスについて知らなかった、又は手続きがわからないから	37
利用条件に当てはまらないから	21
利用頻度等に対して購入金額が高額だから	16
その他	22

問24 あなたは、港区コミュニティバス（ちいばす・お台場レインボーバス）の無料乗車券を持っていますか。（○は1つ）

「持っている」が57.7%、「持っていない」が38.7%となっている。

(n=1,389)

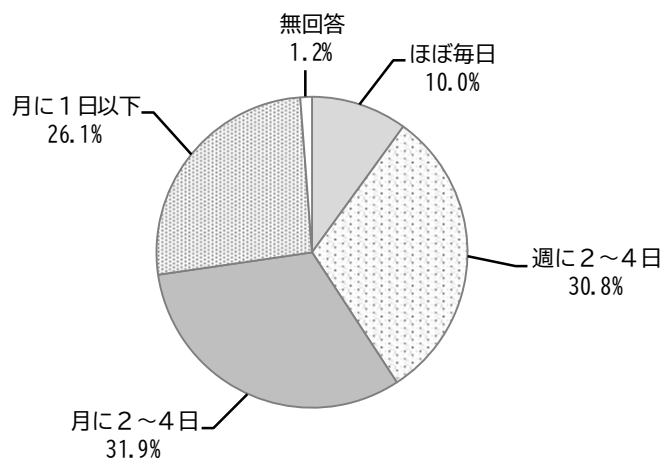


※問25は、問24で「持っている」を選択した人のみ回答

問25 あなたは、普段、どのくらいの頻度で港区コミュニティバス（ちいばす・お台場レインボーバス）に乗って外出していますか。（○は1つ）

「月に2～4日」が31.9%と最も多く、次いで「週に2～4日」が30.8%、「月に1日以下」が26.1%となっている。

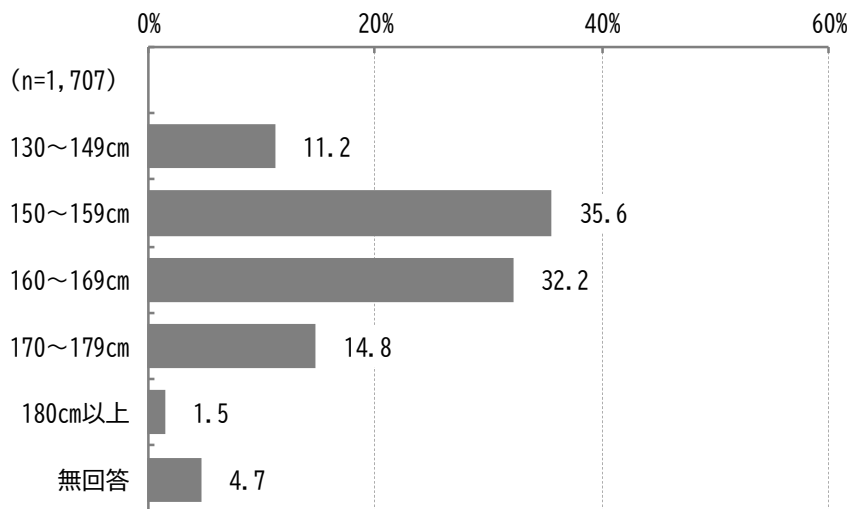
(n=802)



問26 身長・体重を教えてください。(数字を記入)

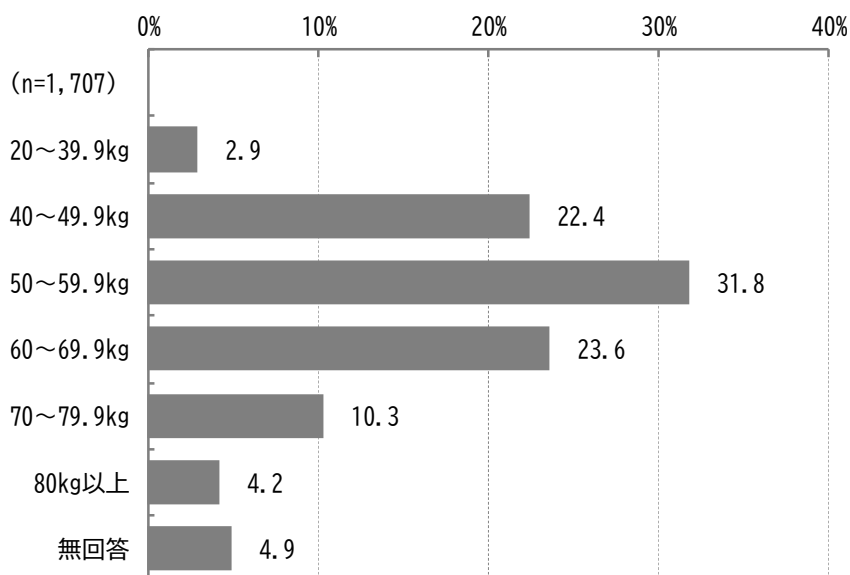
【身長】

「150～159cm」が35.6%と最も多く、次いで「160～169cm」が32.2%、「170～179cm」が14.8%となっている。



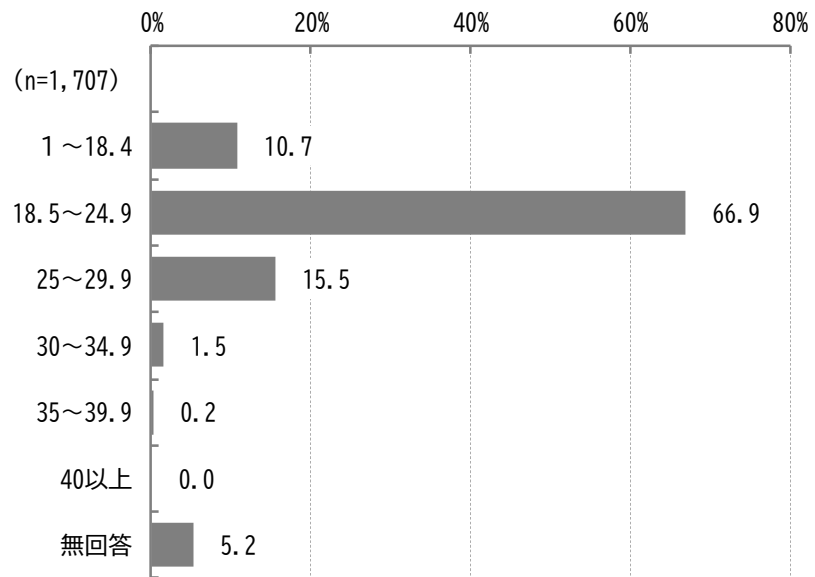
【体重】

「50～59.9kg」が31.8%と最も多く、次いで「60～69.9kg」が23.6%、「40～49.9kg」が22.4%となっている。



【BMI】

「18.5～24.9」が66.9%と最も多く、次いで「25～29.9」が15.5%、「1～18.4」が10.7%となっている。

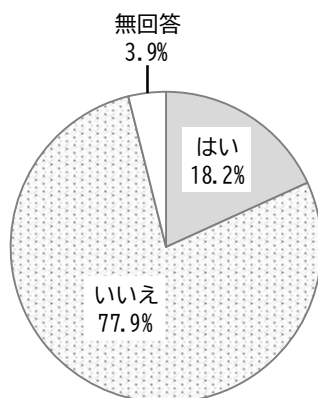


問27 ①～③について、当てはまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

【① 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。】

「いいえ」が77.9%、「はい」が18.2%となっている。

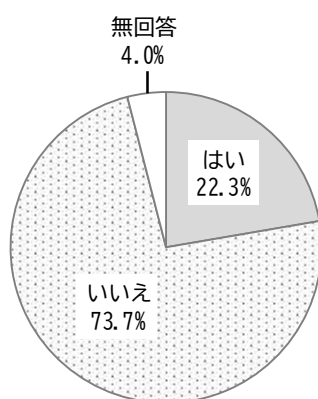
(n=1,707)



【② お茶や汁物等でむせることがありますか。】

「いいえ」が73.7%、「はい」が22.3%となっている。

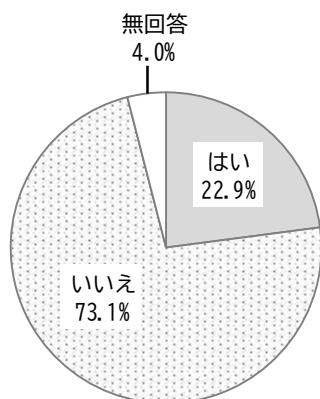
(n=1,707)



【③ 口の渇きが気になりますか。】

「いいえ」が73.1%、「はい」が22.9%となっている。

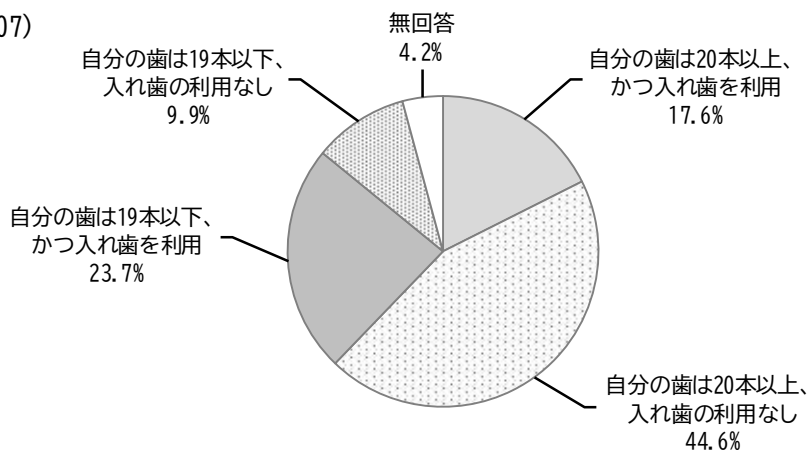
(n=1,707)



問28 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（○は1つ）

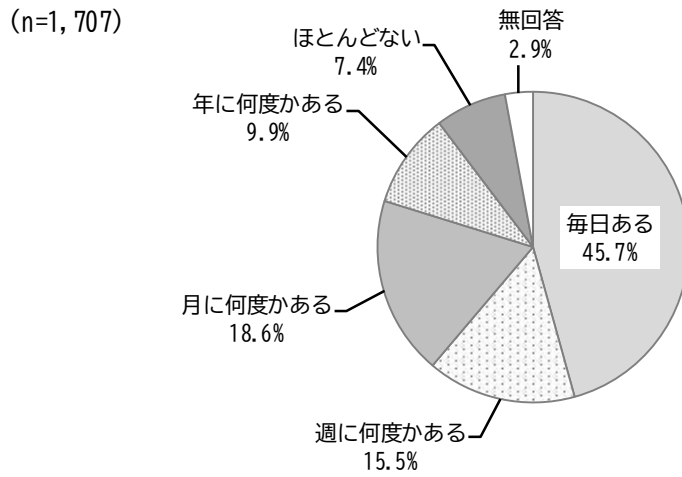
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が44.6%と最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が23.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.6%となっている。

(n=1,707)



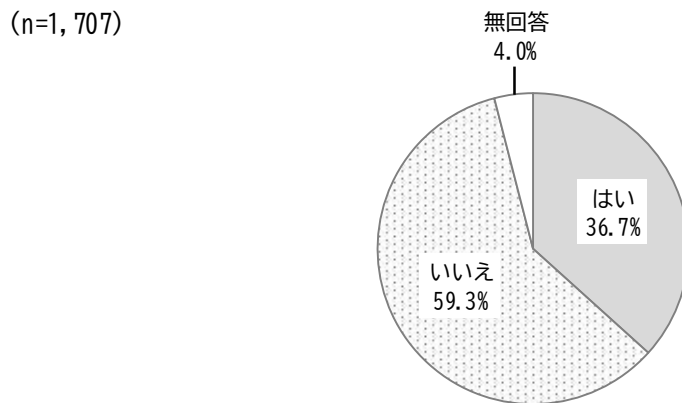
問29 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

「毎日ある」が45.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」が18.6%、「週に何度かある」が15.5%となっている。



問30 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

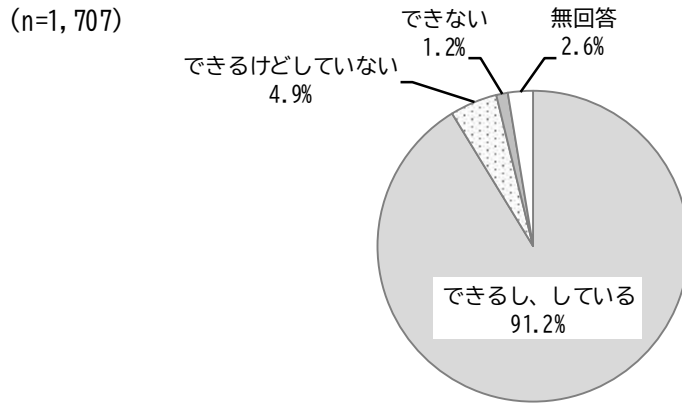
「いいえ」が59.3%、「はい」が36.7%となっている。



問31 ①～⑤について、当てはまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

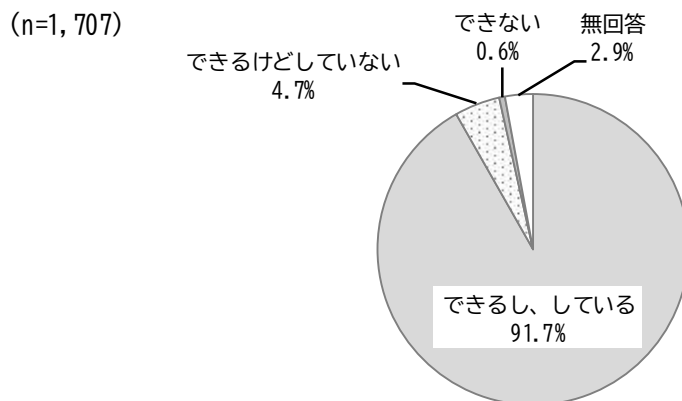
【① バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)】

「できるし、している」が91.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が4.9%、「できない」が1.2%となっている。



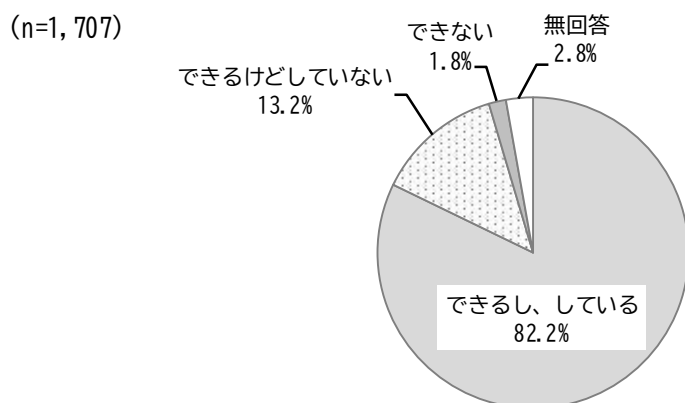
【② 自分で食品・日用品の買物をしていますか】

「できるし、している」が91.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が4.7%、「できない」が0.6%となっている。



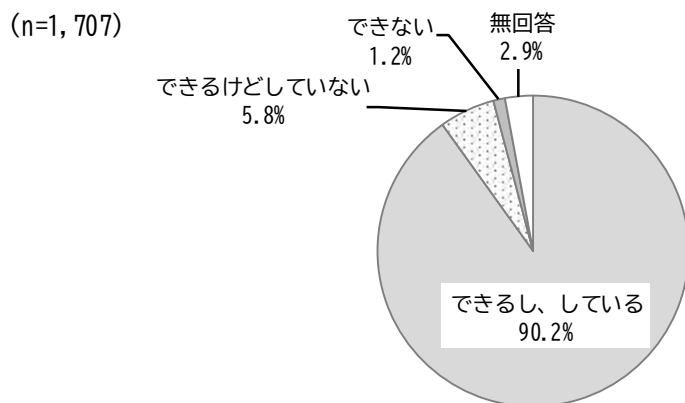
【③ 自分で食事の用意をしていますか。】

「できるし、している」が82.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が1.8%となっている。



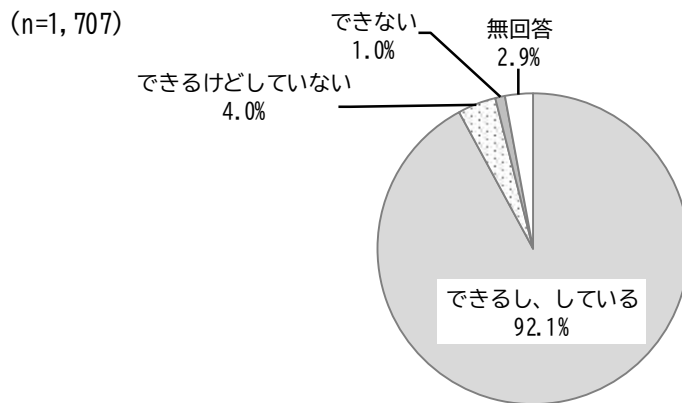
【④ 自分で請求書の支払いをしていますか。】

「できるし、している」が90.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が5.8%、「できない」が1.2%となっている。



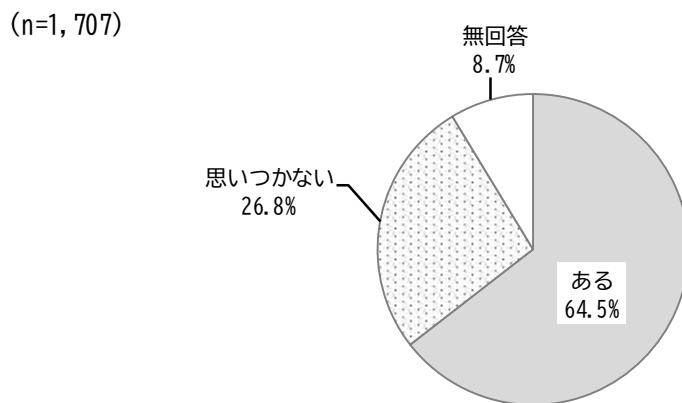
【⑤ 自分で預貯金の出し入れをしていますか。】

「できるし、している」が92.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が4.0%、「できない」が1.0%となっている。



問32 生きがいがありますか。(○は1つ)

「ある」が64.5%、「思いつかない」が26.8%となっている。



問33 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

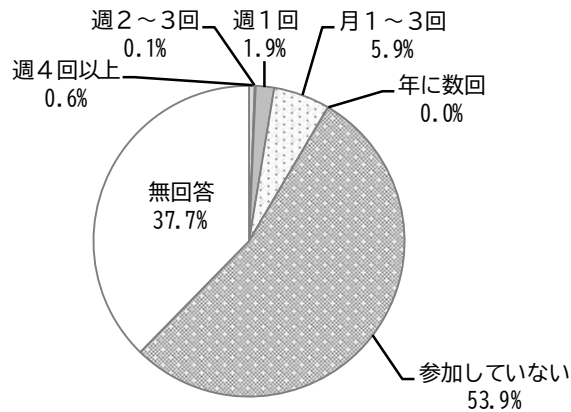
①～⑨のそれぞれで外出する頻度を記入してください。

また、外出する際の移動手段ではまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

【① ボランティアのグループ：外出頻度】

「参加していない」が53.9%と最も多く、次いで「月1～3回」が5.9%、「週1回」が1.9%となっている。

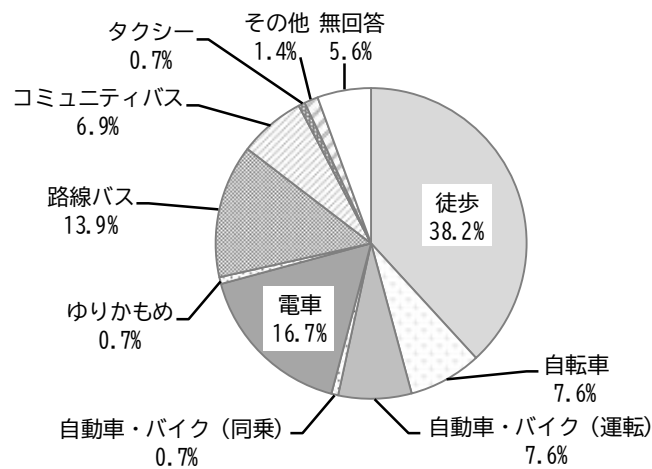
(n=1,707)



【① ボランティアのグループ：移動手段】

「徒歩」が38.2%と最も多く、次いで「電車」が16.7%、「路線バス」が13.9%となっている。

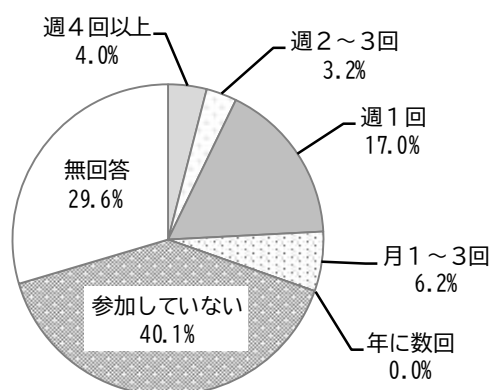
(n=144)



【② スポーツ関係のグループやクラブ：外出頻度】

「参加していない」が40.1%と最も多く、次いで「週1回」が17.0%、「月1～3回」が6.2%となっている。

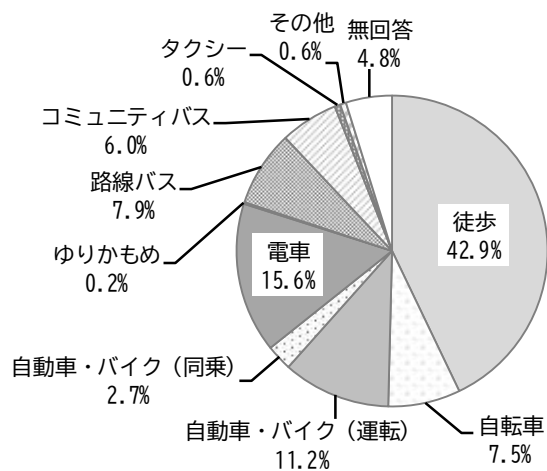
(n=1,707)



【② スポーツ関係のグループやクラブ：移動手段】

「徒歩」が42.9%と最も多く、次いで「電車」が15.6%、「自動車・バイク（運転）」が11.2%となっている。

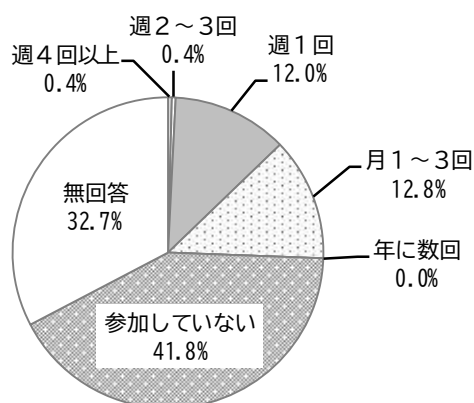
(n=518)



【③ 趣味関係のグループ：外出頻度】

「参加していない」が41.8%と最も多く、次いで「月1～3回」が12.8%、「週1回」が12.0%となっている。

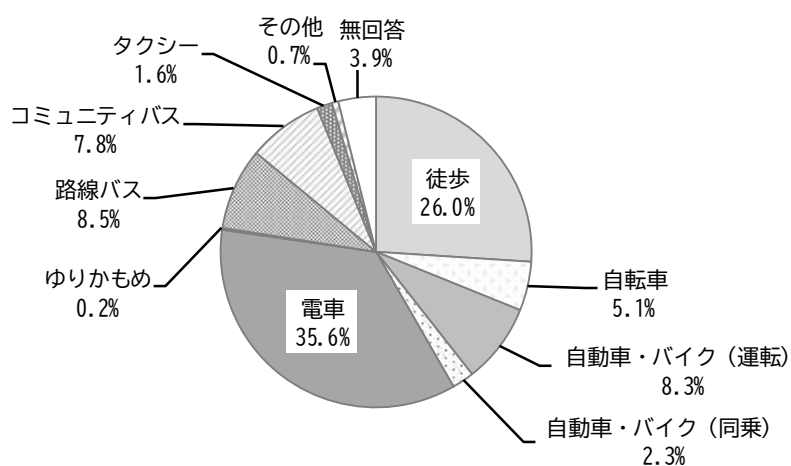
(n=1,707)



【③ 趣味関係のグループ：移動手段】

「電車」が35.6%と最も多く、次いで「徒歩」が26.0%、「路線バス」が8.5%となっている。

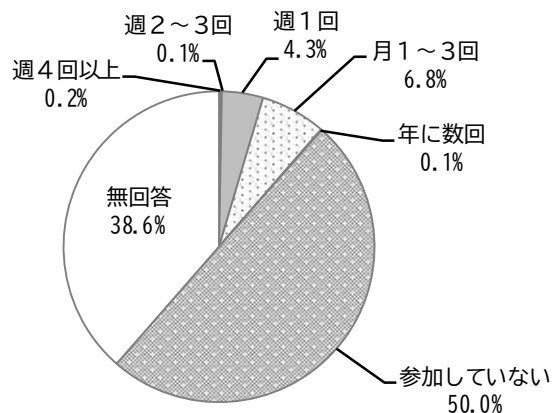
(n=435)



【④ 学習・教養サークル：外出頻度】

「参加していない」が50.0%と最も多く、次いで「月1～3回」が6.8%、「週1回」が4.3%となっている。

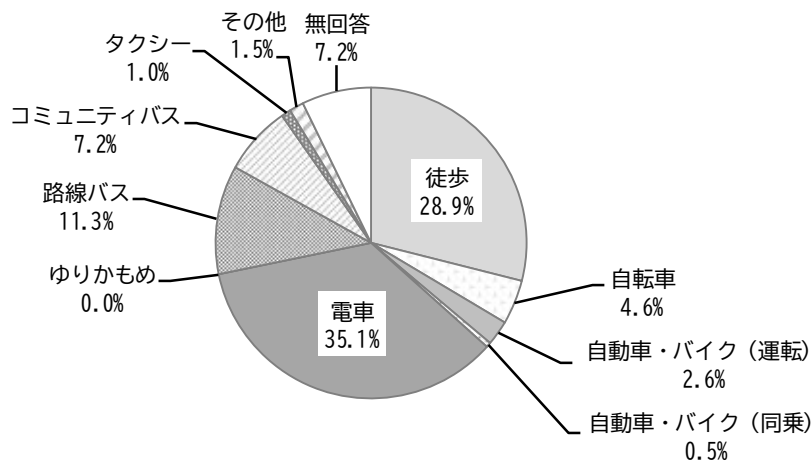
(n=1,707)



【④ 学習・教養サークル：移動手段】

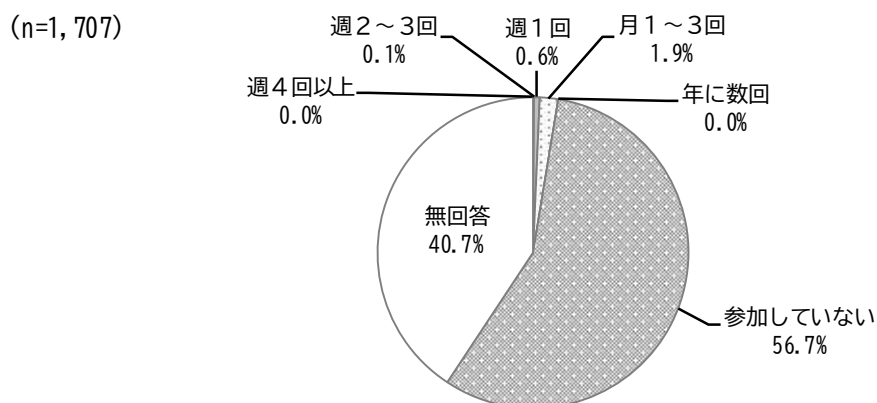
「電車」が35.1%と最も多く、次いで「徒歩」が28.9%、「路線バス」が11.3%となっている。

(n=194)



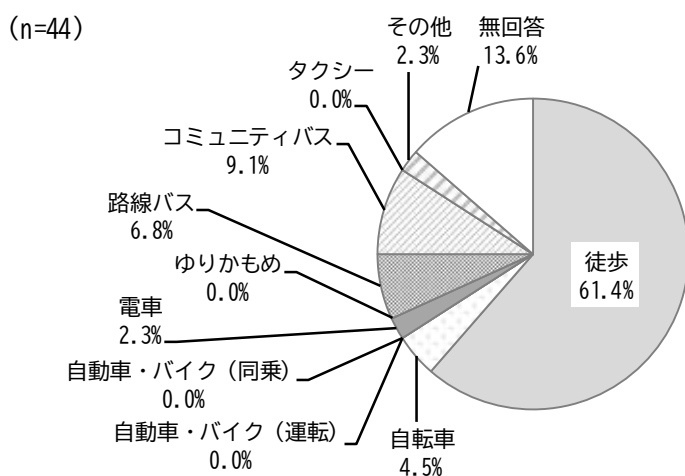
【⑤ 老人クラブ：外出頻度】

「参加していない」が56.7%と最も多く、次いで「月1～3回」が1.9%、「週1回」が0.6%となっている。



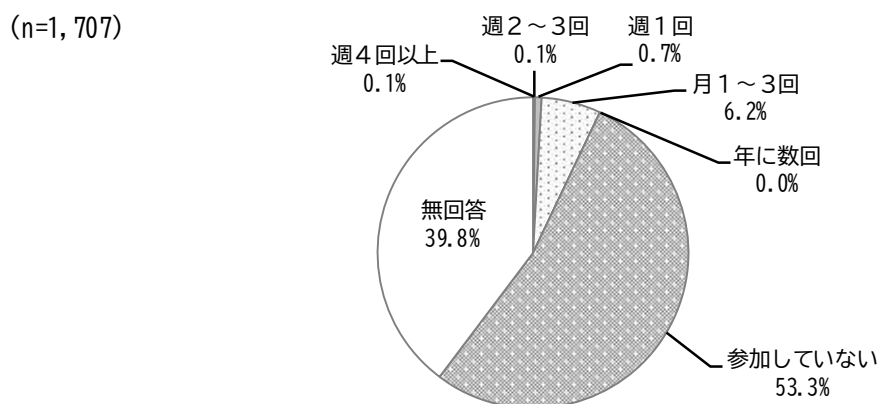
【⑤ 老人クラブ：移動手段】

「徒歩」が61.4%と最も多く、次いで「コミュニティバス」が9.1%、「路線バス」が6.8%となっている。



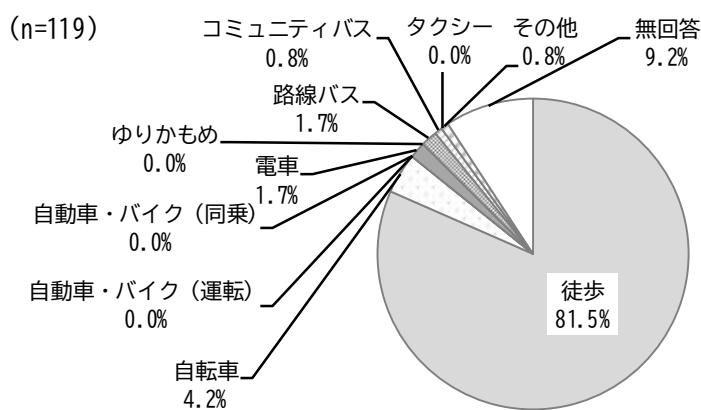
【⑥ 町内会・自治会：外出頻度】

「参加していない」が53.3%と最も多く、次いで「月1～3回」が6.2%、「週1回」が0.7%となっている。



【⑥ 町内会・自治会：移動手段】

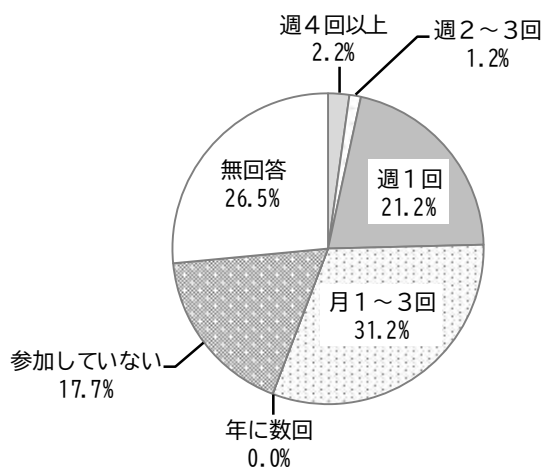
「徒歩」が81.5%と最も多く、次いで「自転車」が4.2%、「電車」と「路線バス」が1.7%となっている。



【⑦ 友人・親族との交流（外出や訪問）：外出頻度】

「月1～3回」が31.2%と最も多く、次いで「週1回」が21.2%、「参加していない」が17.7%となっている。

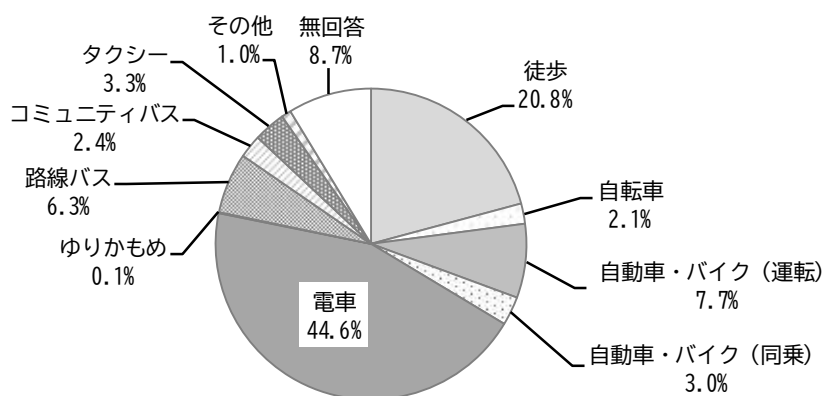
(n=1,707)



【⑦ 友人・親族との交流（外出や訪問）：移動手段】

「電車」が44.6%と最も多く、次いで「徒歩」が20.8%、「自動車・バイク（運転）」が7.7%となっている。

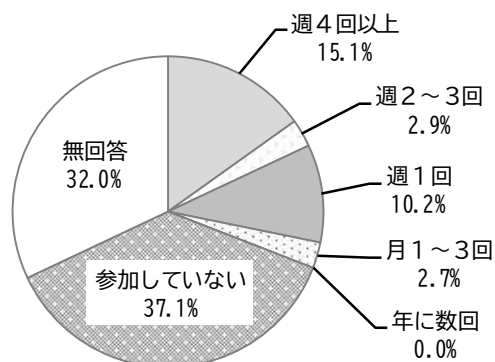
(n=953)



【⑧ 収入のある仕事：外出頻度】

「参加していない」が37.1%と最も多く、次いで「週4回以上」が15.1%、「週1回」が10.2%となっている。

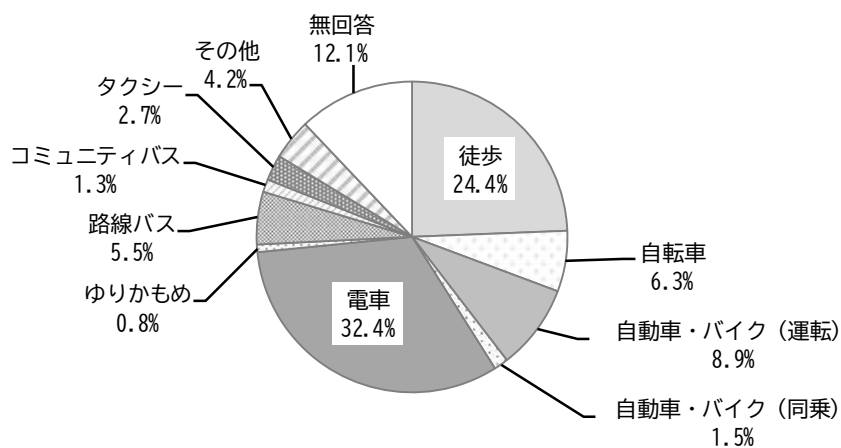
(n=1,707)



【⑧ 収入のある仕事：移動手段】

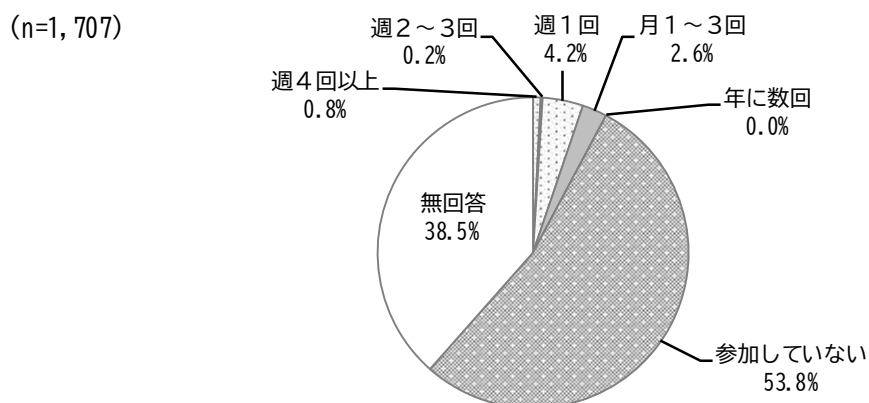
「電車」が32.4%と最も多く、次いで「徒歩」が24.4%、「自動車・バイク（運転）」が8.9%となっている。

(n=528)



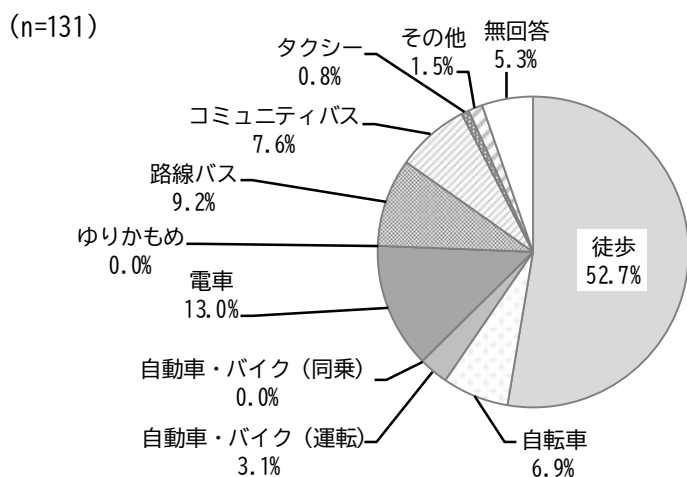
【⑨ 自主活動グループ(介護予防のための通いの場)：外出頻度】

「参加していない」が53.8%と最も多く、次いで「週1回」が4.2%、「月1～3回」が2.6%となっている。



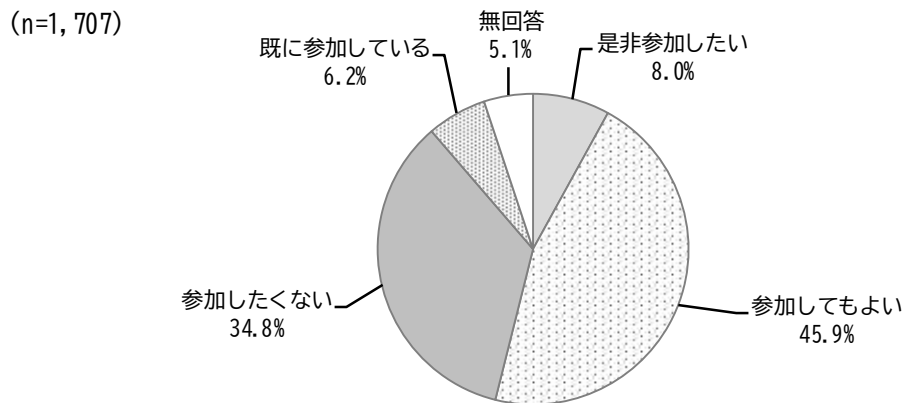
【⑨ 自主活動グループ(介護予防のための通いの場)：移動手段】

「徒歩」が52.7%と最も多く、次いで「電車」が13.0%、「路線バス」が9.2%となっている。



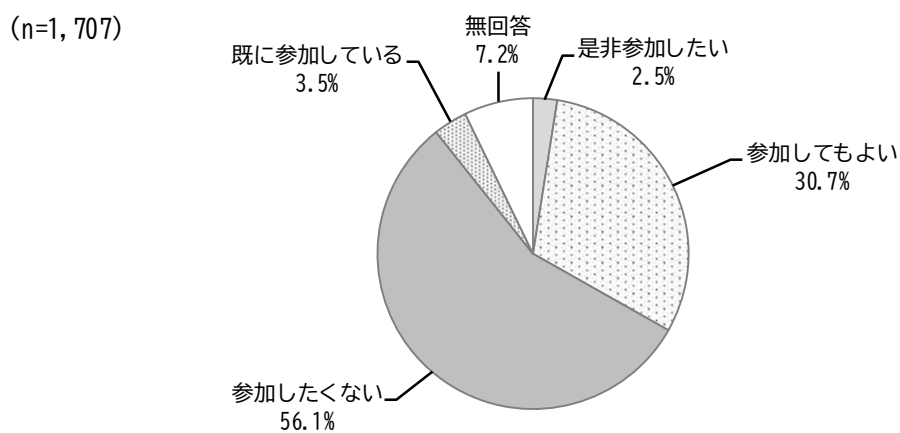
問34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

「参加してもよい」が45.9%と最も多く、次いで「参加したくない」が34.8%、「是非参加したい」が8.0%となっている。



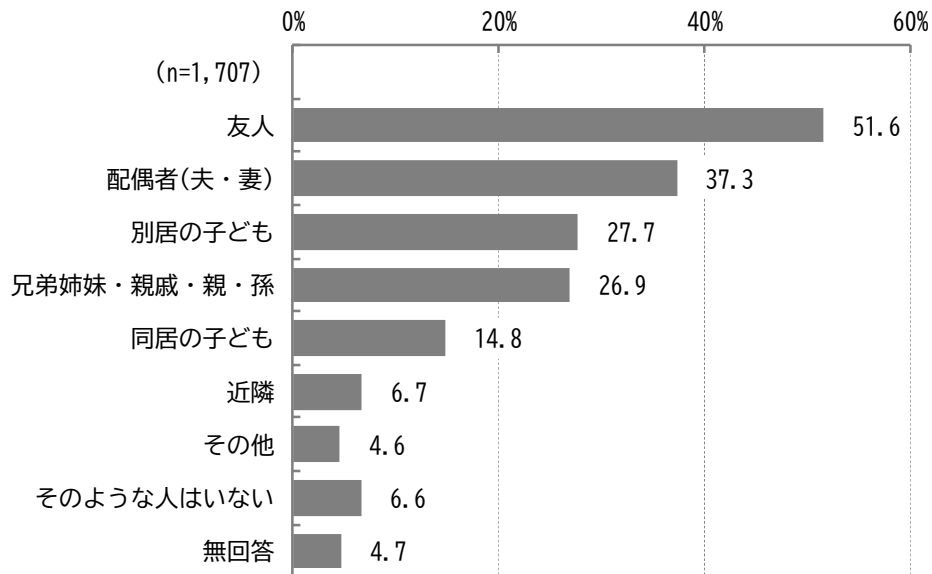
問35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

「参加したくない」が56.1%と最も多く、次いで「参加してもよい」が30.7%、「既に参加している」が3.5%となっている。



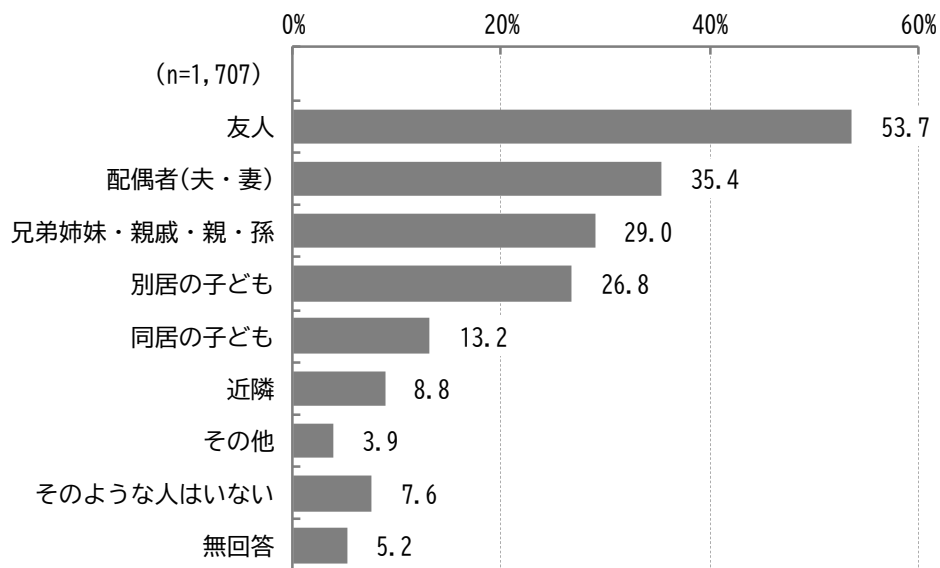
問36 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

「友人」が51.6%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が37.3%、「別居の子ども」が27.7%となっている。



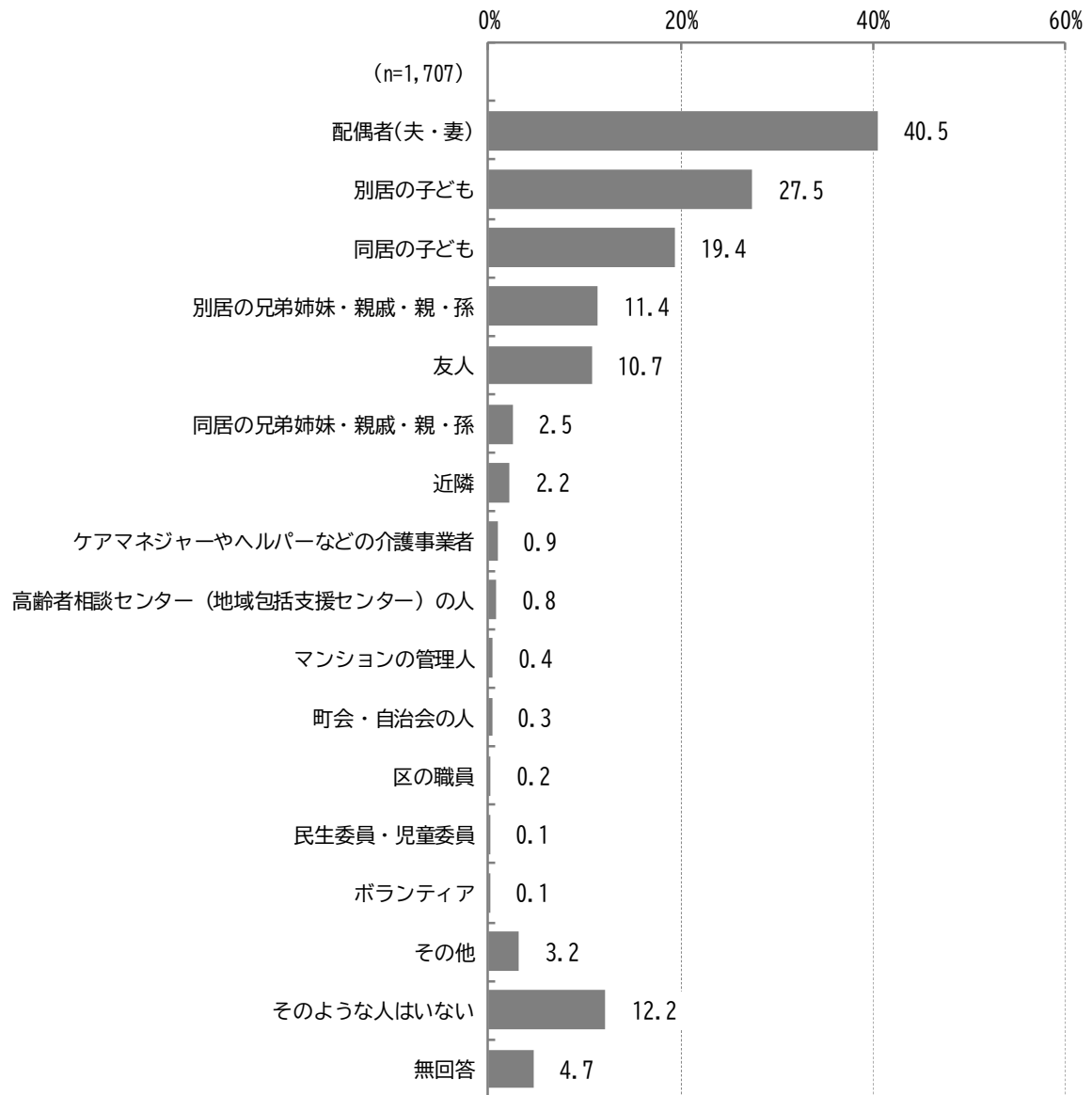
問37 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。(〇はいくつでも)

「友人」が53.7%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が35.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.0%となっている。



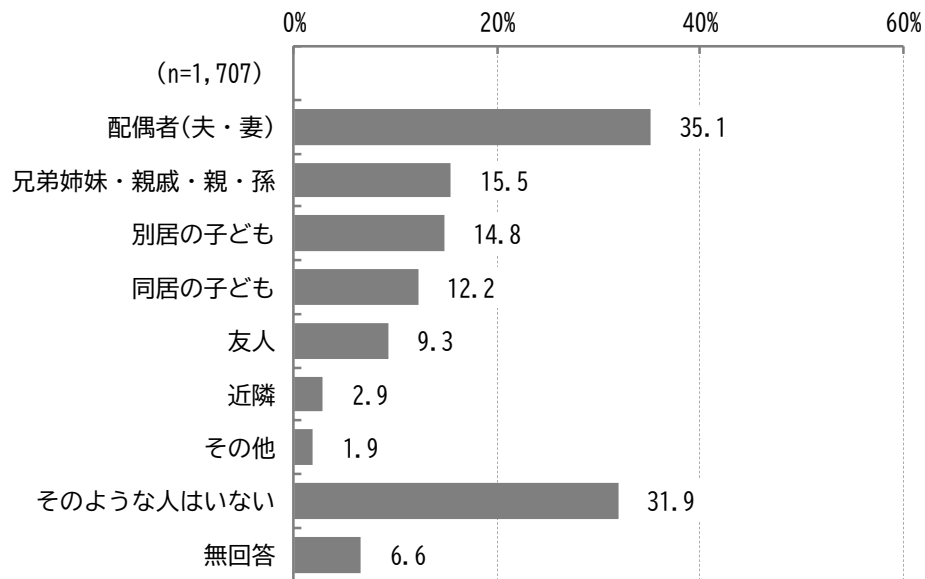
問38 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
 (〇はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が40.5%と最も多く、次いで「別居の子ども」が27.5%、「同居の子ども」が19.4%となっている。



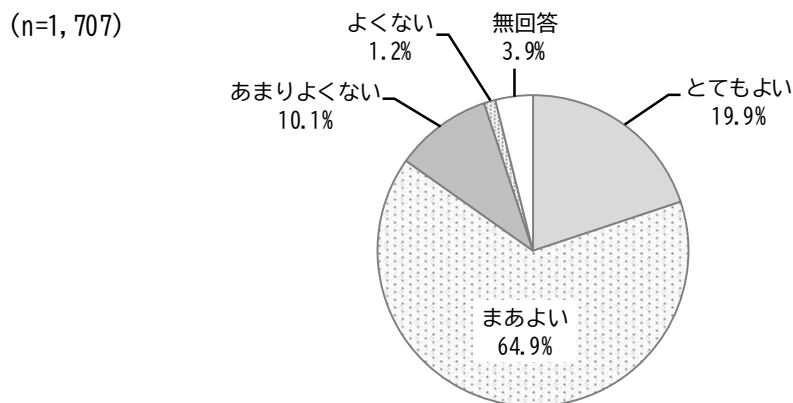
問39 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(○はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が35.1%と最も多く、次いで「そのような人はいない」が31.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が15.5%となっている。



問40 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

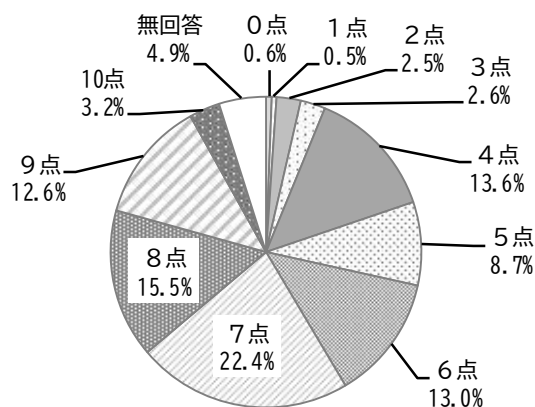
「まあよい」が64.9%と最も多く、次いで「とてもよい」が19.9%、「あまりよくない」が10.1%となっている。



問41 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

「7点」が22.4%と最も多く、次いで「8点」が15.5%、「4点」が13.6%となっている。

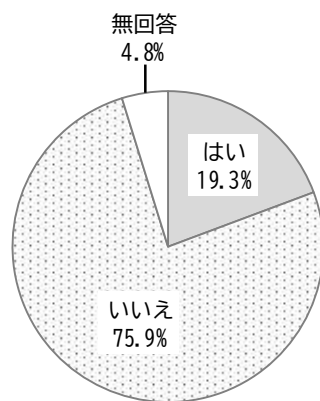
(n=1,707)



問42 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

「いいえ」が75.9%、「はい」が19.3%となっている。

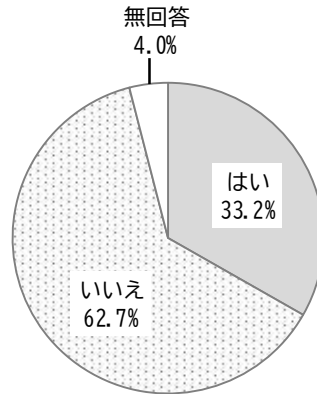
(n=1,707)



問43 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

「いいえ」が62.7%、「はい」が33.2%となっている。

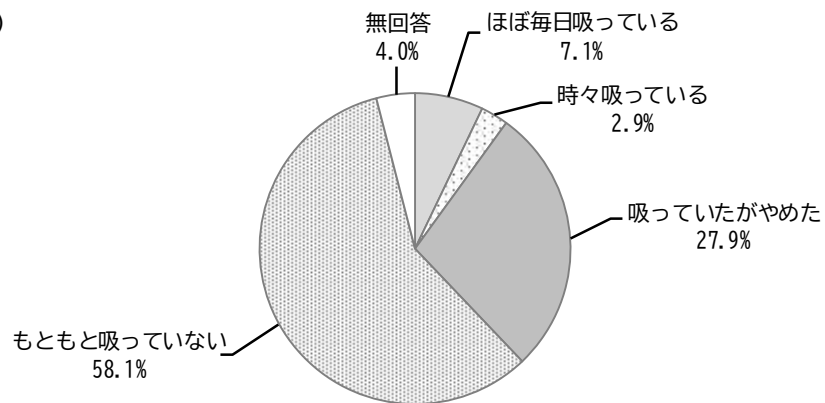
(n=1,707)



問44 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「もともと吸っていない」が58.1%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.9%、「ほぼ毎日吸っている」が7.1%、「時々吸っている」が2.9%となっている。

(n=1,707)



問45 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

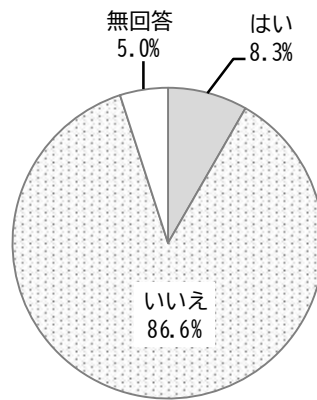
「高血圧」が36.3%と最も多く、次いで「ない」が19.6%、「目の病気」が16.5%となっている。



問46 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

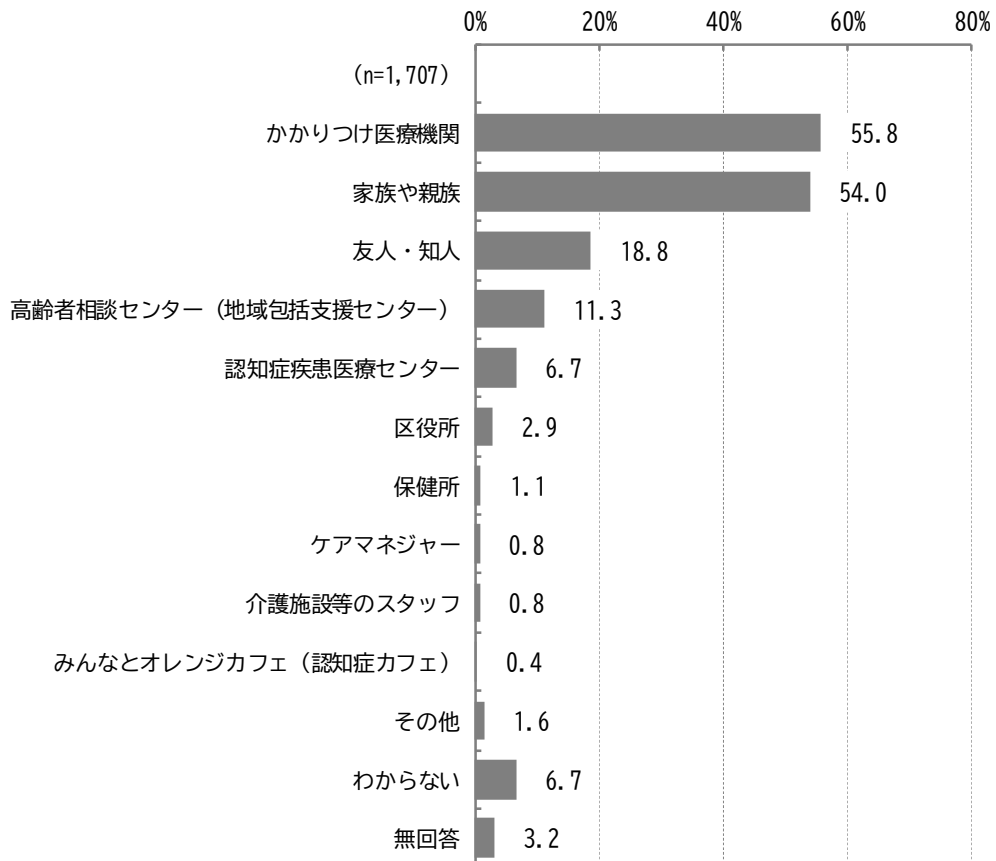
「いいえ」が86.6%、「はい」が8.3%となっている。

(n=1,707)



問47 もし自分が認知症かもしれないと思ったとき、どこに（誰に）相談しますか。
(○はいくつでも)

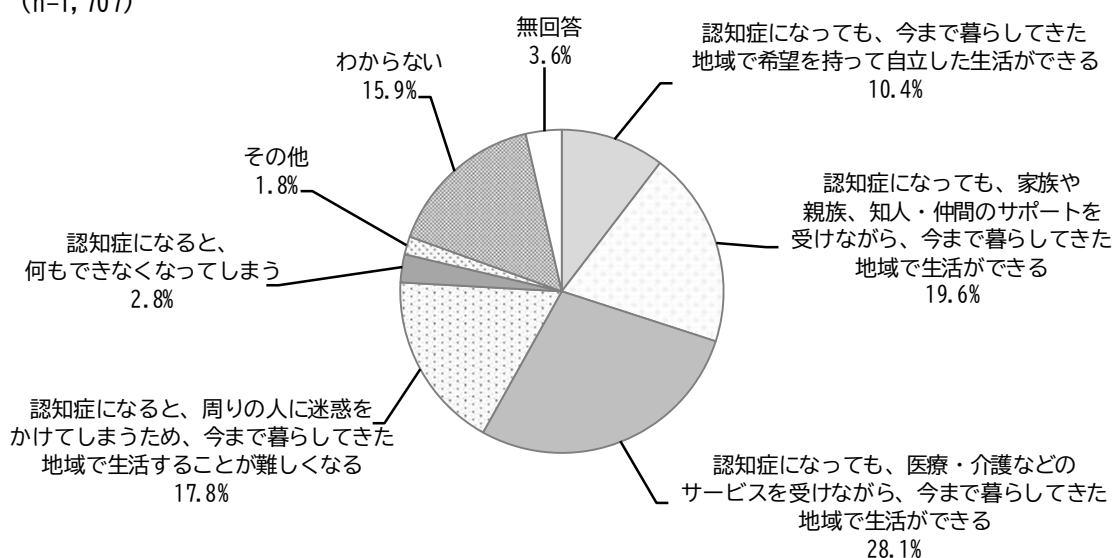
「かかりつけ医療機関」が55.8%と最も多く、次いで「家族や親族」が54.0%、「友人・知人」が18.8%となっている。



問48 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

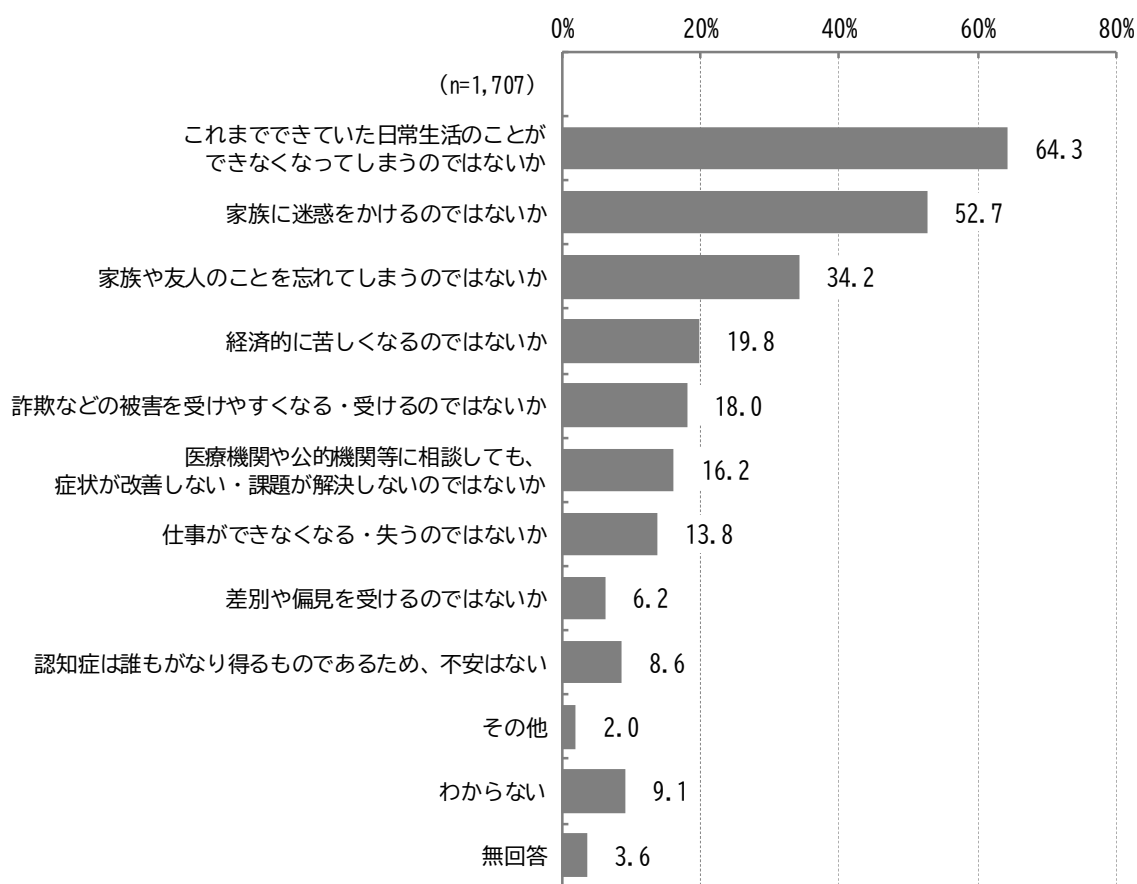
「認知症になっても、医療・介護などのサービスを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる」が 28.1%と最も多く、次いで「認知症になっても、家族や親族、知人・仲間のサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる」が 19.6%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうため、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」が 17.8%となっている。

(n=1,707)



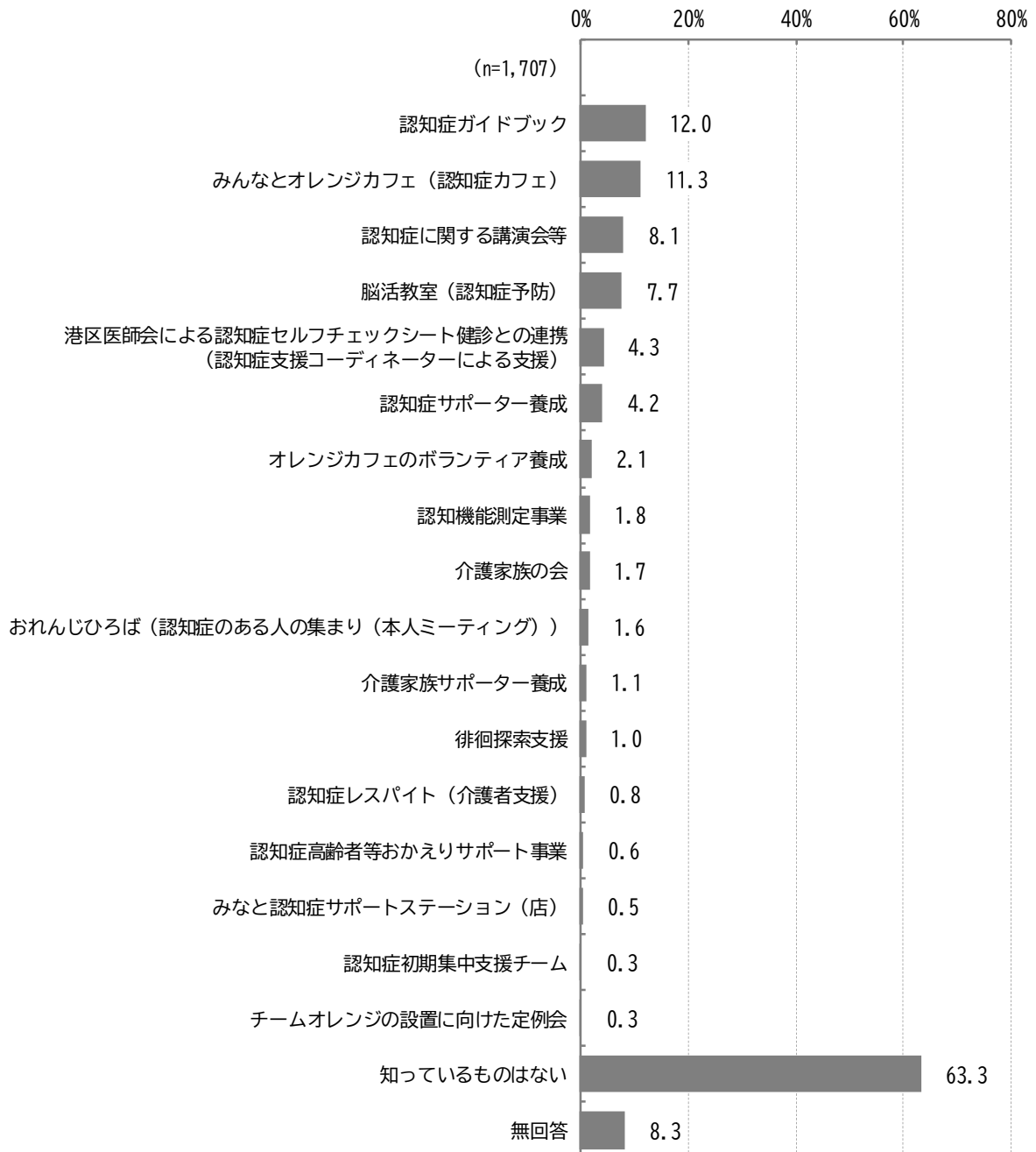
問49 認知症になったら、どのようなことに不安を感じるとお思いますか。(〇はいくつでも)

「これまでできていた日常生活のことができなくなってしまうのではないかと」が 64.3%と最も多く、次いで「家族に迷惑をかけるのではないかと」が 52.7%、「家族や友人のことを忘れてしまうのではないかと」が 34.2%となっている。



問50 区の認知症対策について、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

「知っているものはない」が63.3%と最も多く、次いで「認知症ガイドブック」が12.0%、「みんなとオレンジカフェ（認知症カフェ）」が11.3%となっている。

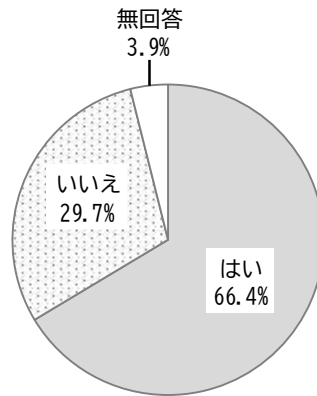


4. 回答者自身の介護予防について

問51 あなたは、普段の生活の中で、健康維持のために運動をしていますか。(○は1つ)

「はい」が66.4%、「いいえ」が29.7%となっている。

(n=3,019)

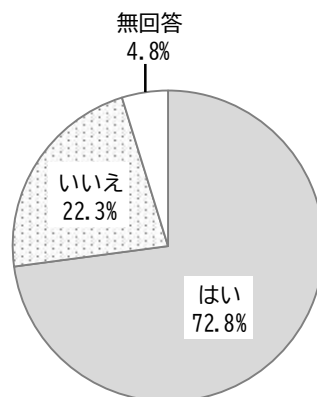


※問52と問53は、問51で「はい」を選択した人のみ回答

問52 運動は介護予防を意識していますか。(○は1つ)

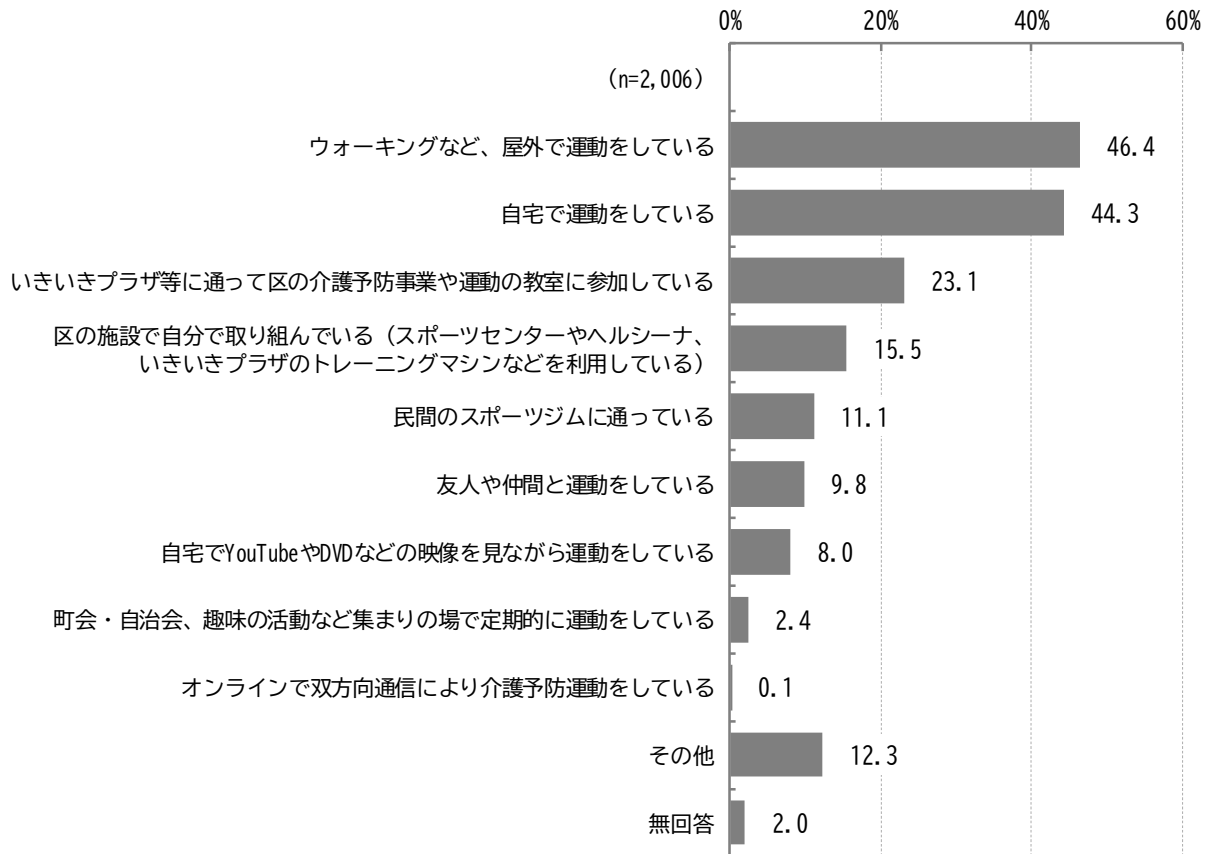
「はい」が72.8%、「いいえ」が22.3%となっている。

(n=2,006)



問53 普段の生活の中で、健康維持のためにどのような運動をしていますか。(〇はいくつでも)

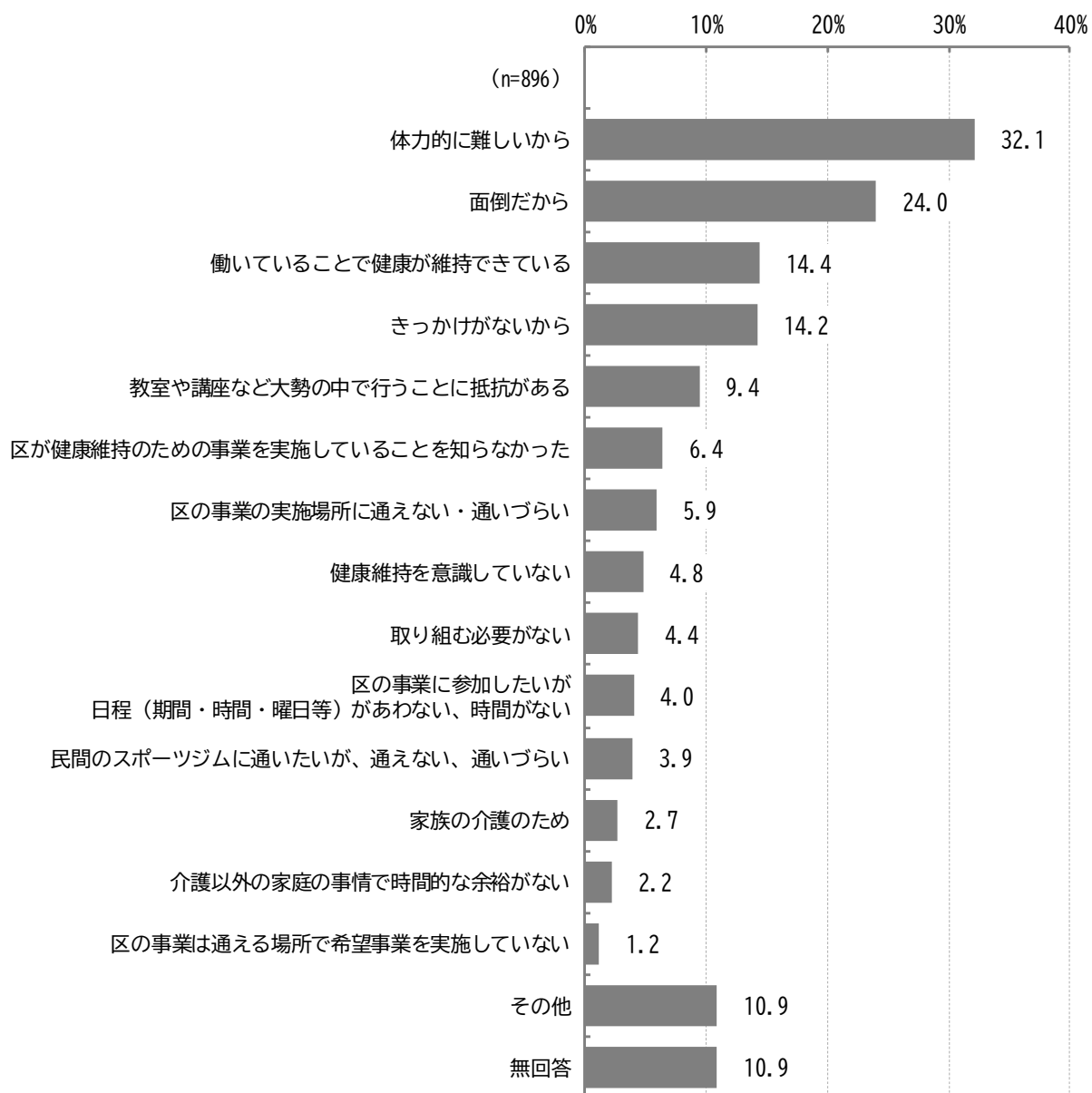
「ウォーキングなど、屋外で運動をしている」が 46.4%と最も多く、次いで「自宅で運動をしている」が 44.3%、「いきいきプラザ等に通って区の介護予防事業や運動の教室に参加している」が 23.1%となっている。



※問 54 は、問 51 で「いいえ」を選択した人のみ回答

問54 健康維持のための運動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「体力的に難しいから」が 32.1%と最も多く、次いで「面倒だから」が 24.0%、「働いていることで健康が維持できている」が 14.4%となっている。

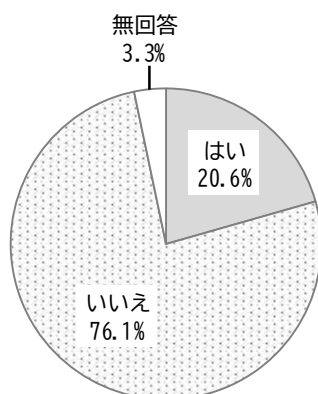


5. いきいきプラザ等について

問55 区では、高齢者のいきがづくり、コミュニティ活動の場としていきいきプラザを整備していますが、あなたは、いきいきプラザ等を日常的に利用していますか。(○は1つ)

「いいえ」が76.1%、「はい」が20.6%となっている。

(n=3,019)

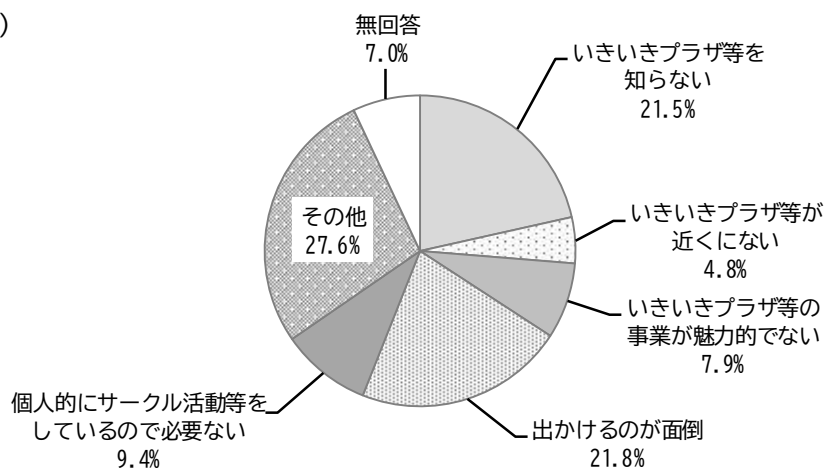


※問56は、問55で「いいえ」を選択した人のみ回答

問56 いきいきプラザ等を日常的に利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

「その他」が27.6%と最も多く、次いで「出かけるのが面倒」が21.8%、「いきいきプラザ等知らない」が21.5%となっている。

(n=2,298)

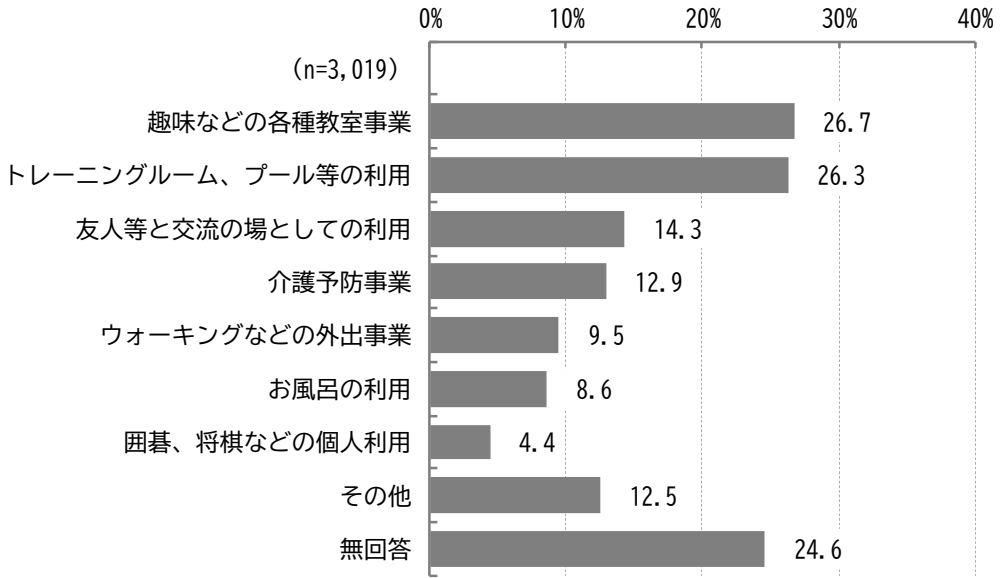


【主なその他の内容】

内容	件数
一人での外出ができない等の理由で、利用が困難なため	161
時間がない、又は合わないため	124
他の活動等に参加している、又は施設等に入所しているため	84
特に利用の必要がない、又は関心がないため	50
参加したい事業がない、又は事業や活動内容がよくわからないため	20
その他	85

問57 いきいきプラザ等では次のような事業などを実施していますが、どのような活動に参加されていますか。(利用していない方はどのような活動に参加したいですか。)
(○はいくつでも)

「趣味などの各種教室事業」が 26.7%と最も多く、次いで「トレーニングルーム、プール等の利用」が 26.3%、「友人等と交流の場としての利用」が 14.3%となっている。

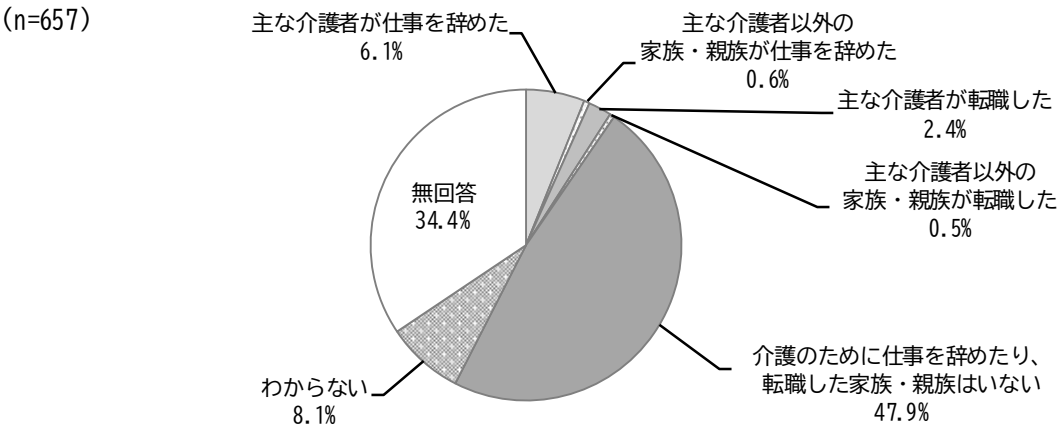


6. 主な介護者について

※問 58～64 「主な介護者について」は、ご家族やご親族が介護・介助をしている場合のみ回答

問58 ご家族やご親族の中で、封筒のあて名の方の介護を主な理由として、過去1年に仕事を辞めた方、転職した方はいますか。(○は1つ)
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方、転職した方を含みます。

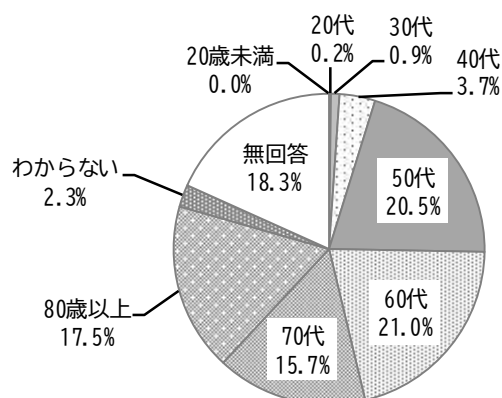
「介護のために仕事を辞めたり、転職した家族・親族はいない」が 47.9%と最も多く、次いで「わからない」が 8.1%、「主な介護者が仕事を辞めた」が 6.1%となっている。



問59 主な介護者の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

「60代」が21.0%と最も多く、次いで「50代」が20.5%、「80歳以上」が17.5%となっている。

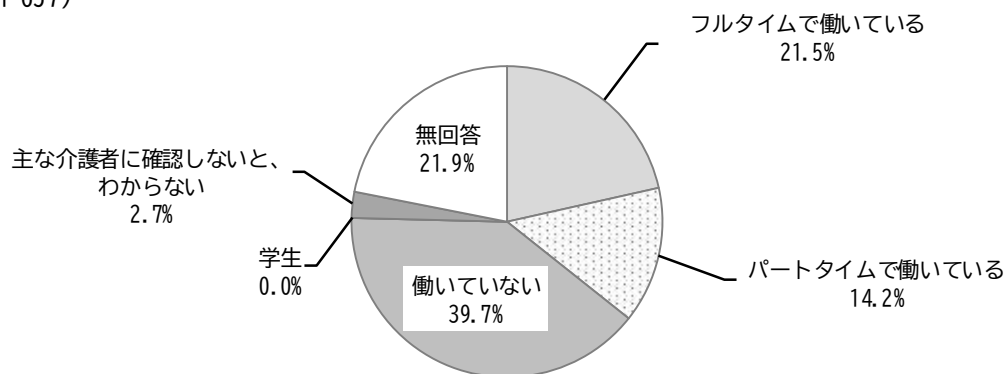
(n=657)



問60 主な介護者の方の現在の勤務などの形態について、ご回答ください。(○は1つ)

「働いていない」が39.7%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が21.5%、「パートタイムで働いている」が14.2%となっている。

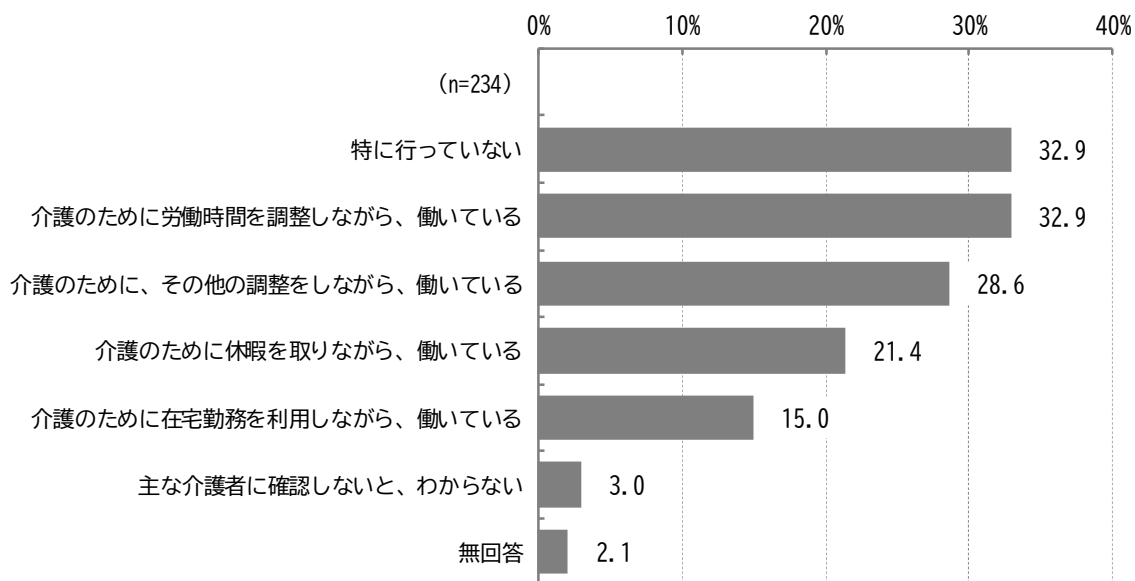
(n=657)



※問 61 と問 62 は、問 60 で選択肢「1.フルタイムで働いている」又は「2.パートタイムで働いている」を選択した人のみ回答

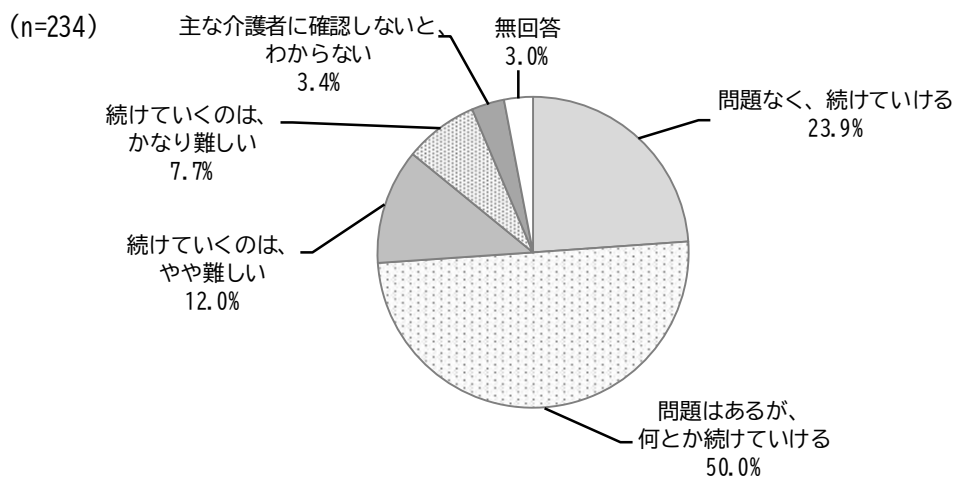
問61 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(○はいくつでも)

「特に行っていない」と「介護のために労働時間を調整しながら、働いている」が 32.9%と最も多く、次いで「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が 28.6%となっている。



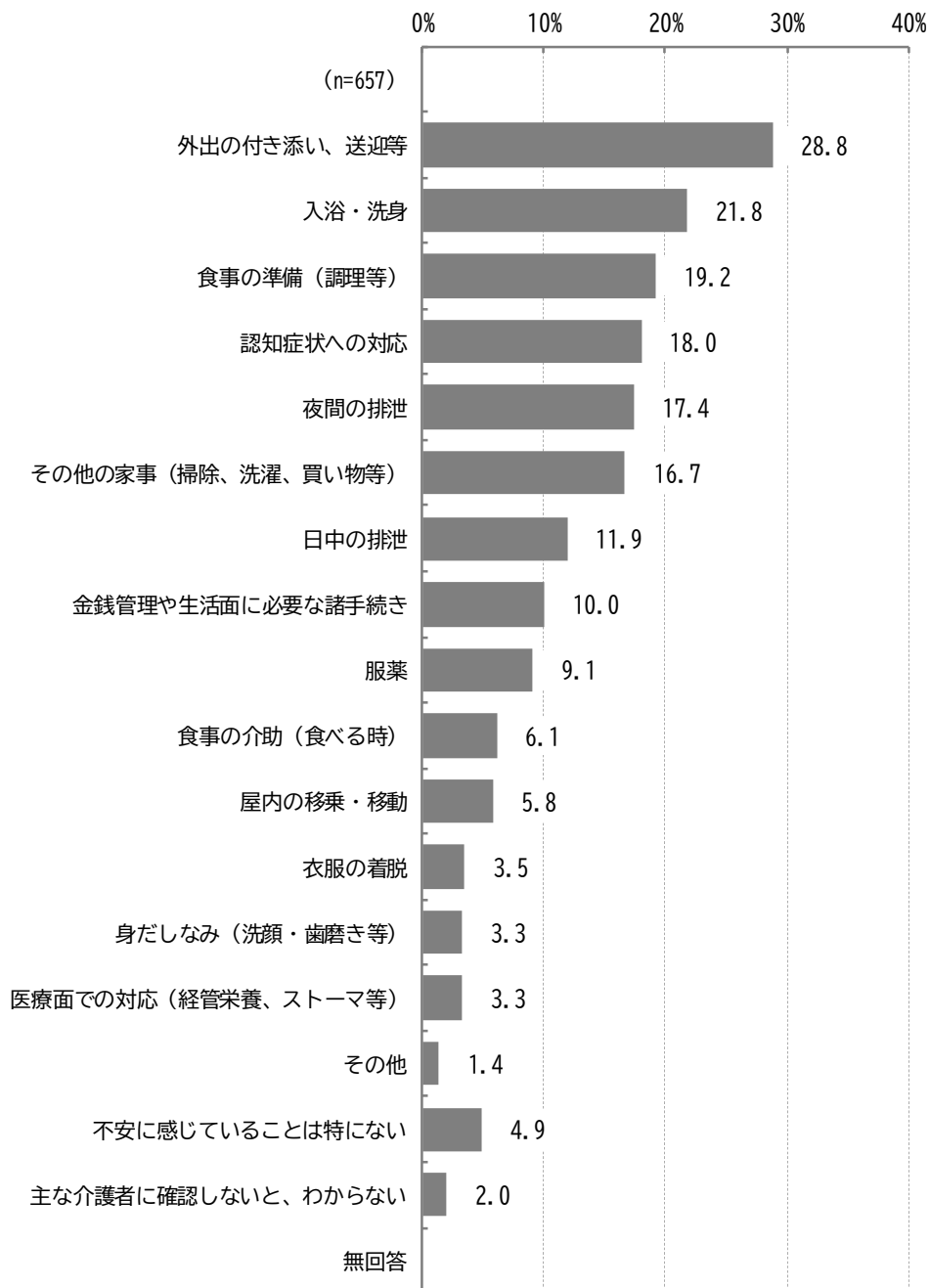
問62 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

「問題はあるが、何とか続けていける」が 50.0%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 23.9%、「続けていくのは、やや難しい」が 12.0%となっている。



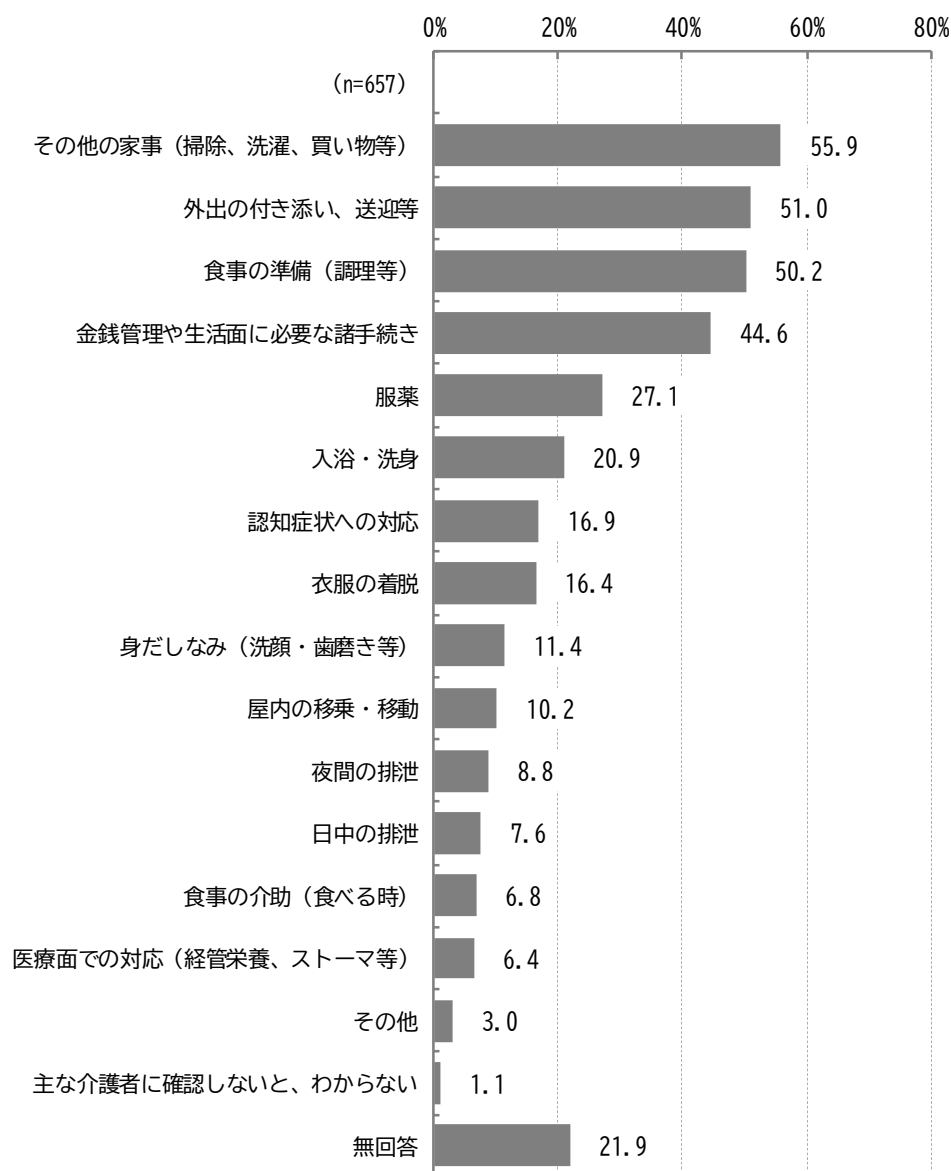
問63 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護などについて、お答えください。（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

「外出の付き添い、送迎等」が28.8%と最も多く、次いで「入浴・洗身」が21.8%、「食事の準備（調理等）」が19.2%となっている。



問64 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。(〇はいくつでも)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が55.9%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が51.0%、「食事の準備（調理等）」が50.2%となっている。

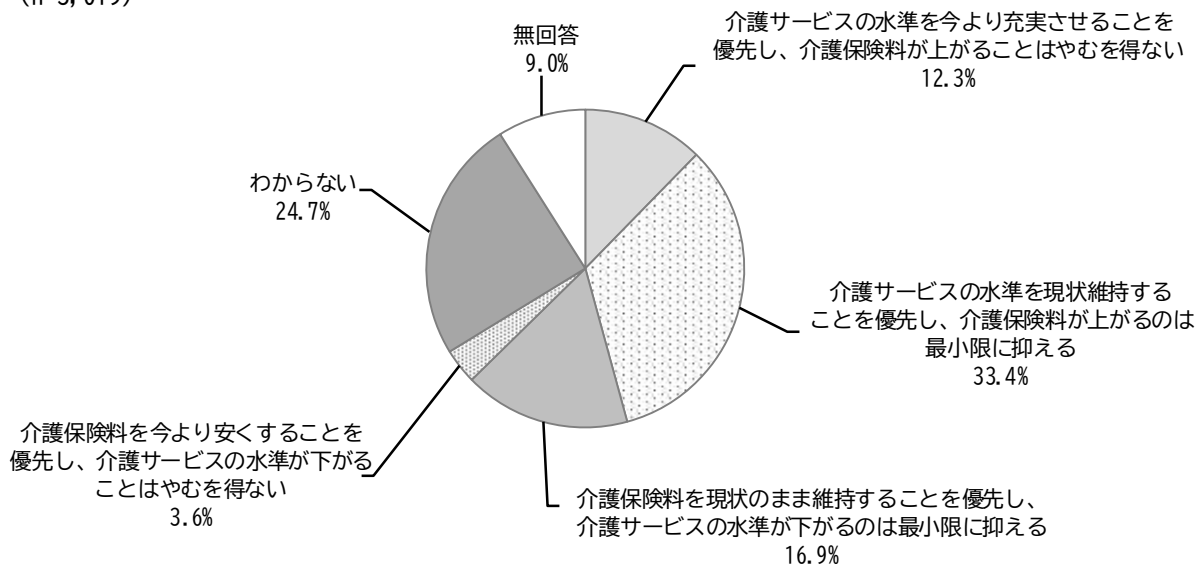


7. 介護保険制度全般について

問65 介護保険料の額は、利用できる介護サービスの水準によって決まる仕組みとなっています。介護保険料と介護サービスの水準とのバランスについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

「介護サービスの水準を現状維持することを優先し、介護保険料が上がるのは最小限に抑える」が33.4%と最も多く、次いで「わからない」が24.7%、「介護保険料を現状のまま維持することを優先し、介護サービスの水準が下がるのは最小限に抑える」が16.9%となっている。

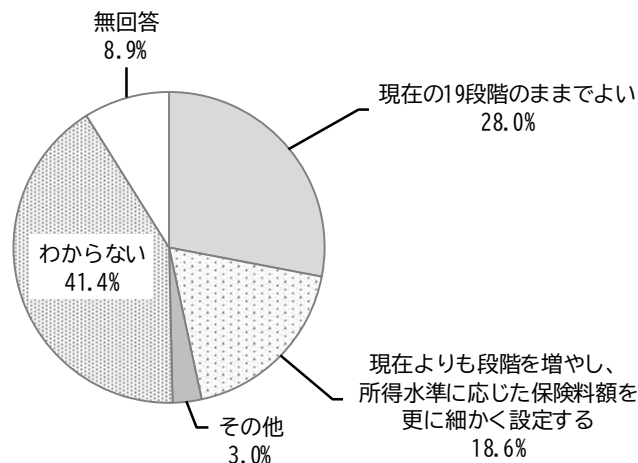
(n=3,019)



問66 港区の介護保険料額は、所得水準に応じ、年額19,200円（世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得と年金収入金額の合計が、80.9万円以下の人など）～472,320円（合計所得1億円以上の人）の19段階に分けて設定しています。この介護保険料の所得段階の設定について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

「わからない」が41.4%と最も多く、次いで「現在の19段階のままでよい」が28.0%、「現在よりも段階を増やし、所得水準に応じた保険料額を更に細かく設定する」が18.6%となっている。

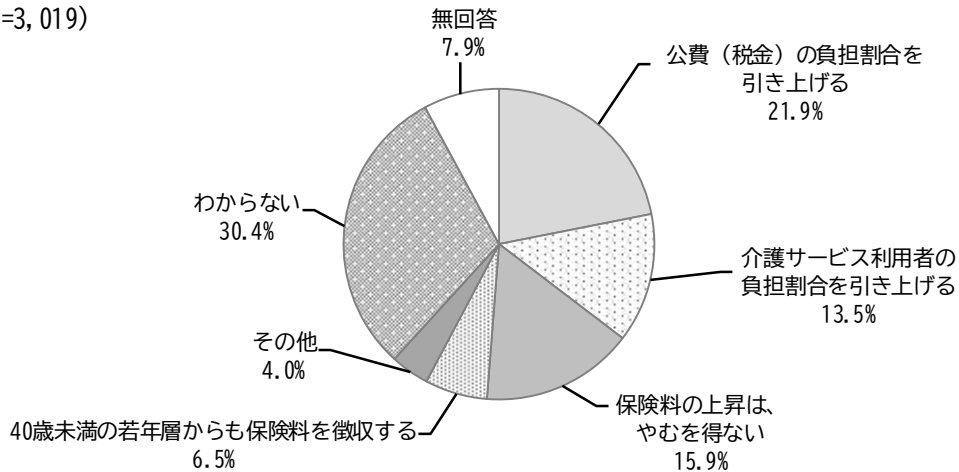
(n=3,019)



問67 高齢化が進むことで介護サービスを利用する人が増えると、介護保険料の負担が大きくなることを見込まれます。介護保険料の負担を抑えるためには、どのような対策をすることが効果的だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(○は1つ)

「わからない」が30.4%と最も多く、次いで「公費(税金)の負担割合を引き上げる」が21.9%、「保険料の上昇は、やむを得ない」が15.9%となっている。

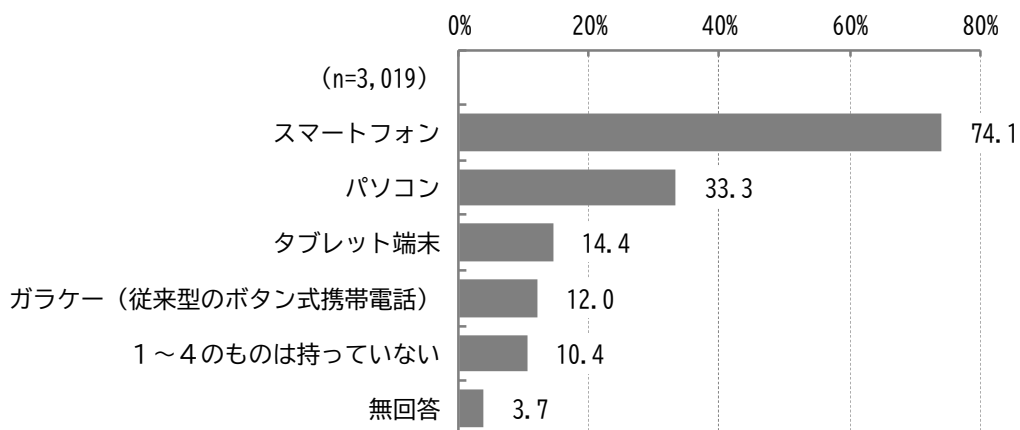
(n=3,019)



8. 情報通信機器の利活用について

問68 あなたは次の情報通信機器を所有していますか。(○はい/□いいえ/◇どちらでもない)

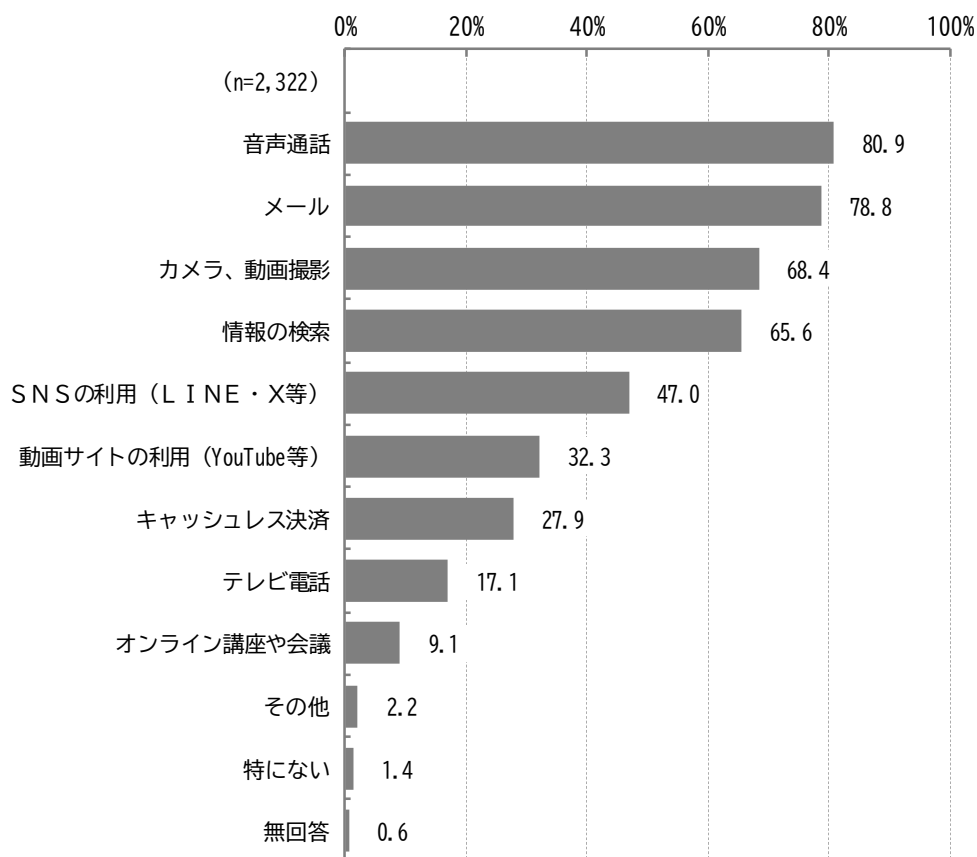
「スマートフォン」が74.1%と最も多く、次いで「パソコン」が33.3%、「タブレット端末」が14.4%となっている。



※問 69 は、問 68 で選択肢「1.スマートフォン」～「3.パソコン」のいずれかを選択した人のみ
回答

問69 スマートフォン等をどのようなことに活用していますか（活用できますか）。
（○はいくつでも）

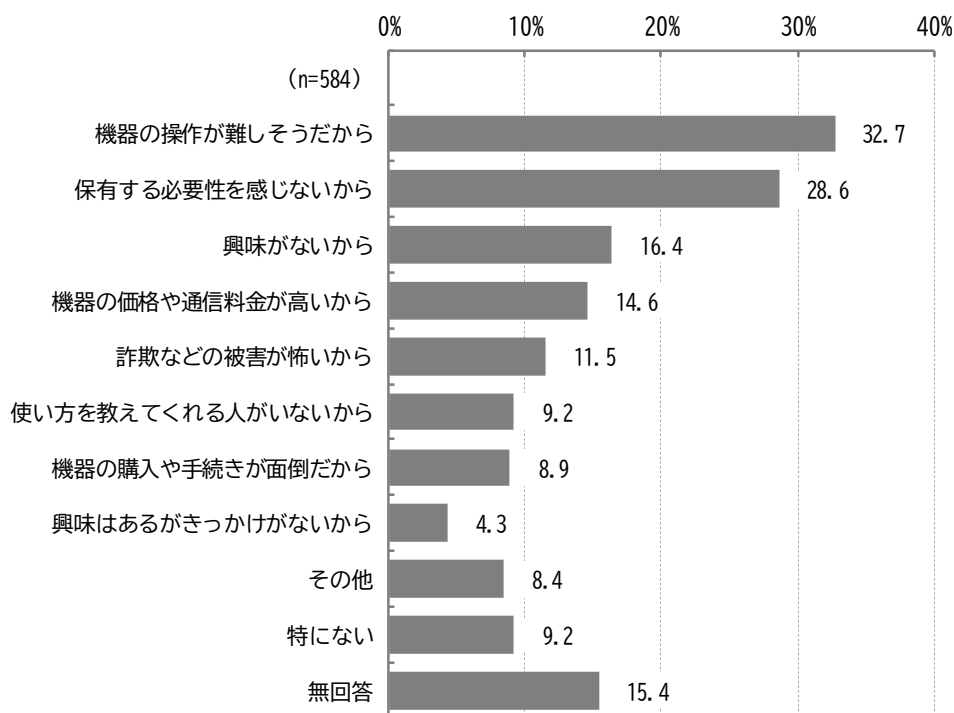
「音声通話」が 80.9%と最も多く、次いで「メール」が 78.8%、「カメラ、動画撮影」が 68.4%
となっている。



※問 70 は、問 68 で選択肢「1. スマートフォン」～「3. パソコン」のいずれも選択していない人のみ回答

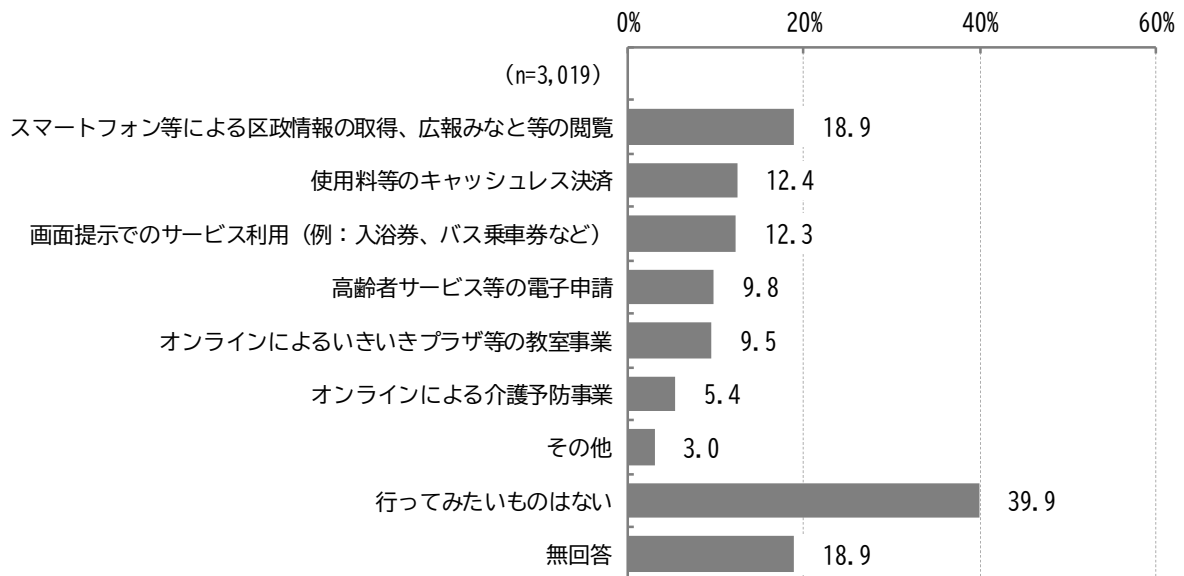
問70 スマートフォン等を所有していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「機器の操作が難しそうだから」が 32.7%と最も多く、次いで「保有する必要性を感じないから」が 28.6%、「興味がないから」が 16.4%となっている。



問71 スマートフォン等を活用して次のうち行ってみたい（行っている）ものは何ですか。
（○はいくつでも）

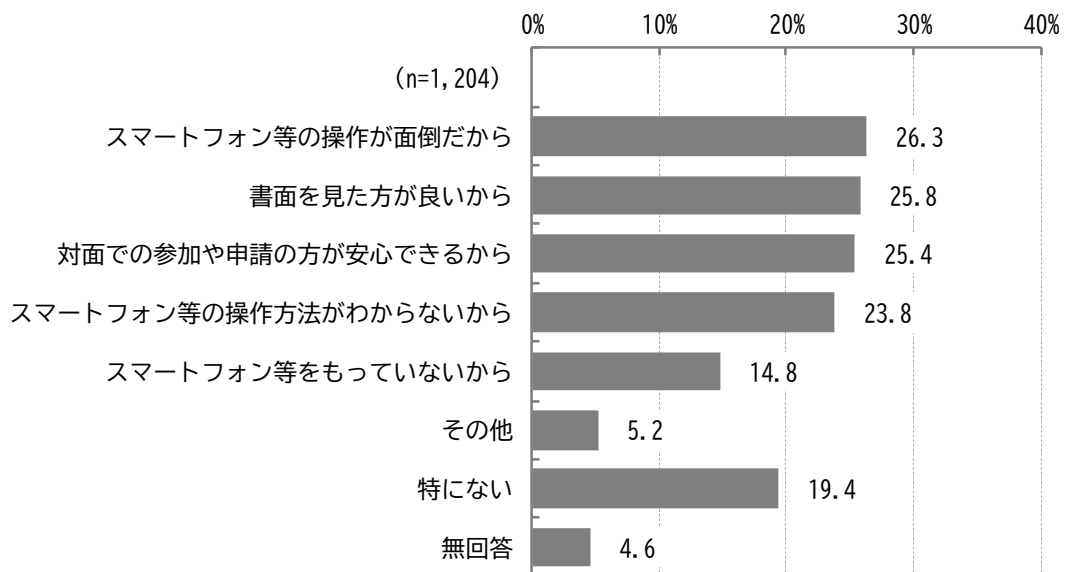
「行ってみたいものはない」が 39.9%と最も多く、次いで「スマートフォン等による区政情報の取得、広報みなど等の閲覧」が 18.9%、「使用料等のキャッシュレス決済」が 12.4%となっている。



※問 72 は、問 71 で「行ってみたいものはない」を選択した人のみ回答

問72 行ってみたいものがない理由は何ですか。（○はいくつでも）

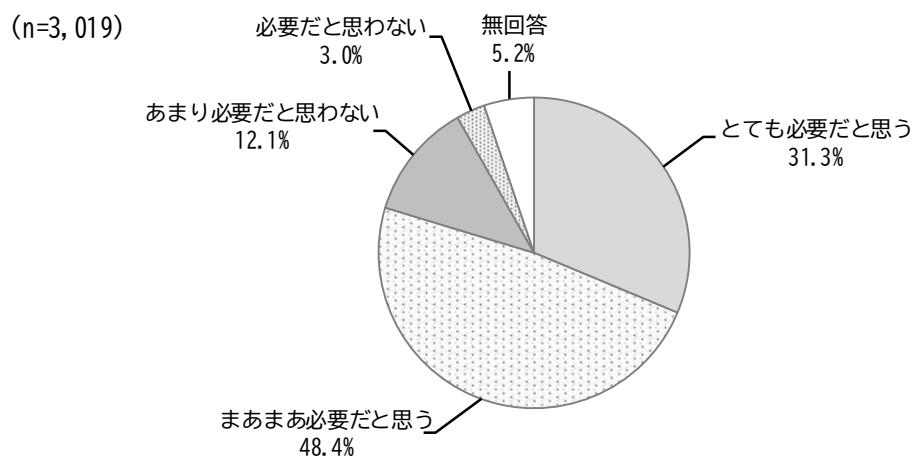
「スマートフォン等の操作が面倒だから」が 26.3%と最も多く、次いで「書面を見た方が良いから」が 25.8%、「対面での参加や申請の方が安心できるから」が 25.4%となっている。



9. 地域での支え合いや地域活動について

問73 住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりすることは必要だと思いますか。
(○は1つ)

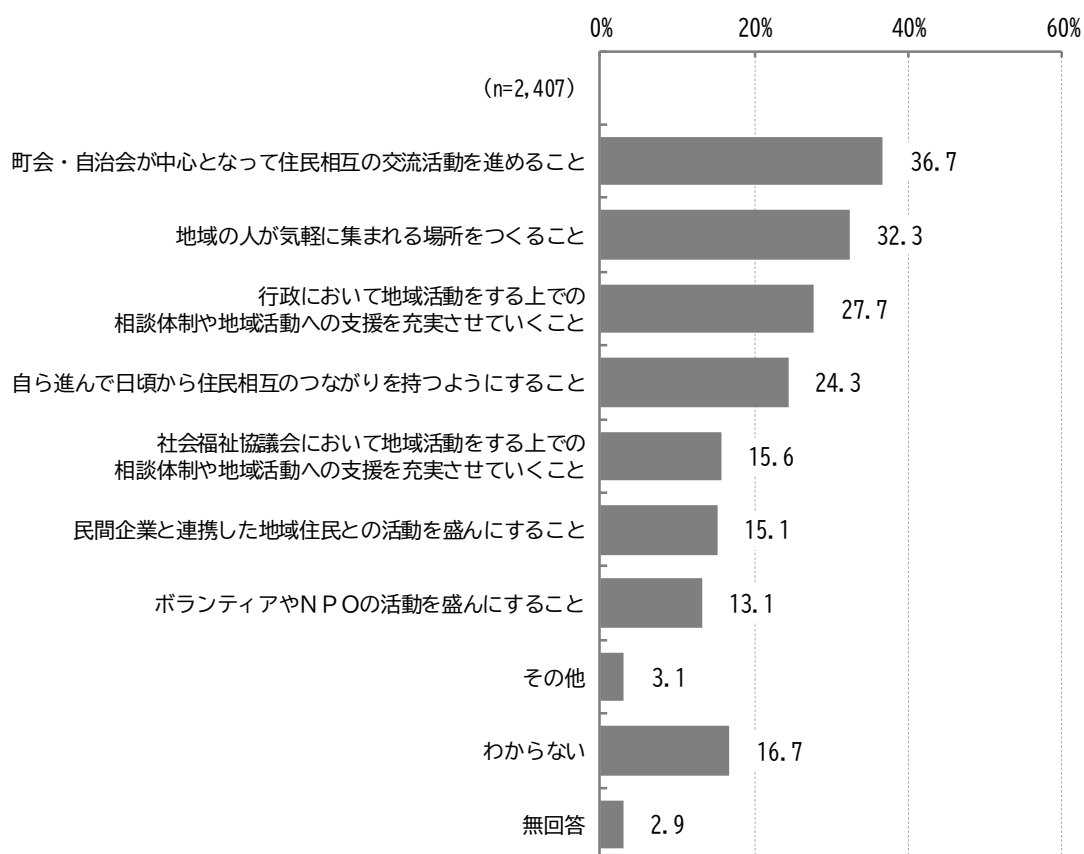
「まあまあ必要だと思う」が48.4%と最も多く、次いで「とても必要だと思う」が31.3%、「あまり必要だと思わない」が12.1%となっている。



※問 74 は、問 73 で選択肢「1.とても必要だと思う」又は「2.まあまあ必要だと思う」を選択した人のみ回答

問74 地域で起こる様々な生活の課題について、住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりするためには、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

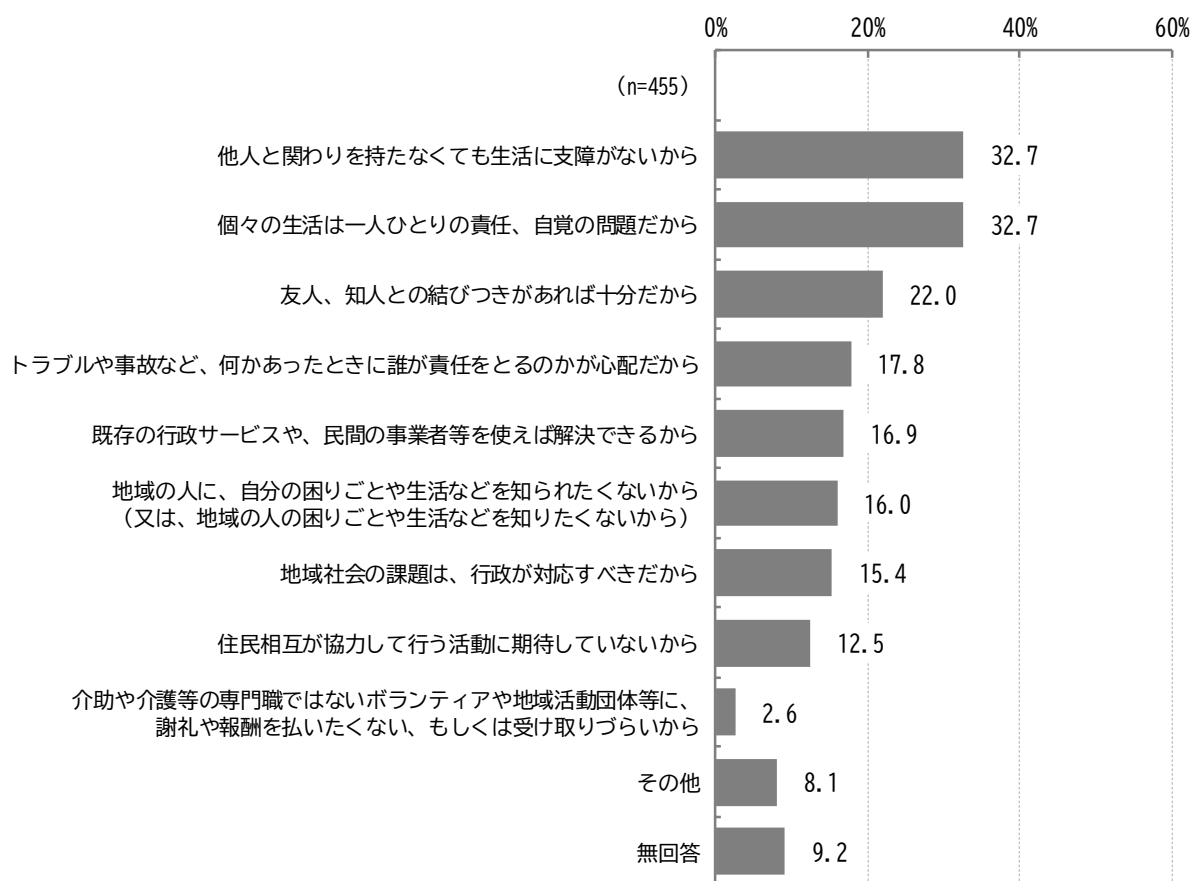
「町会・自治会が中心となって住民相互の交流活動を進めること」が 36.7%と最も多く、次いで「地域の人気が軽に集まれる場所をつくること」が 32.3%、「行政において地域活動をする上での相談体制や地域活動への支援を充実させていくこと」が 27.7%となっている。



※問 75 は、問 73 で選択肢「3. あまり必要だと思わない」又は「4. 必要だと思わない」を選択した人のみ回答

問75 地域のボランティアや住民と支え合ったり、助け合ったりすることは必要ではないと思う理由はなんですか。(〇は3つまで)

「他人と関わりを持たなくても生活に支障がないから」と「個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」が 32.7%と最も多く、次いで「友人、知人との結びつきがあれば十分だから」が 22.0%となっている。



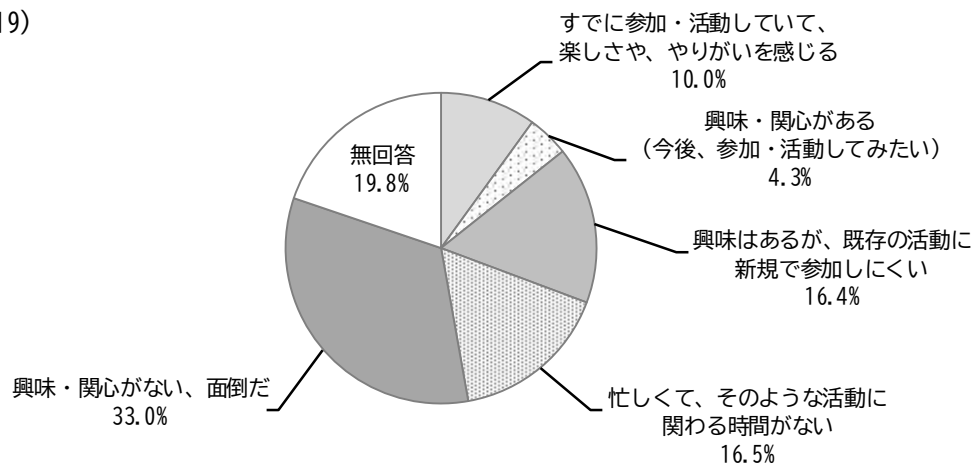
問76 以下のような地域活動等に対して、どのように感じていますか。

(①～⑦の項目ごとに○は1つ)

【① 町会・自治会の活動】

「興味・関心がない、面倒だ」が33.0%と最も多く、次いで「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が16.5%、「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が16.4%となっている。

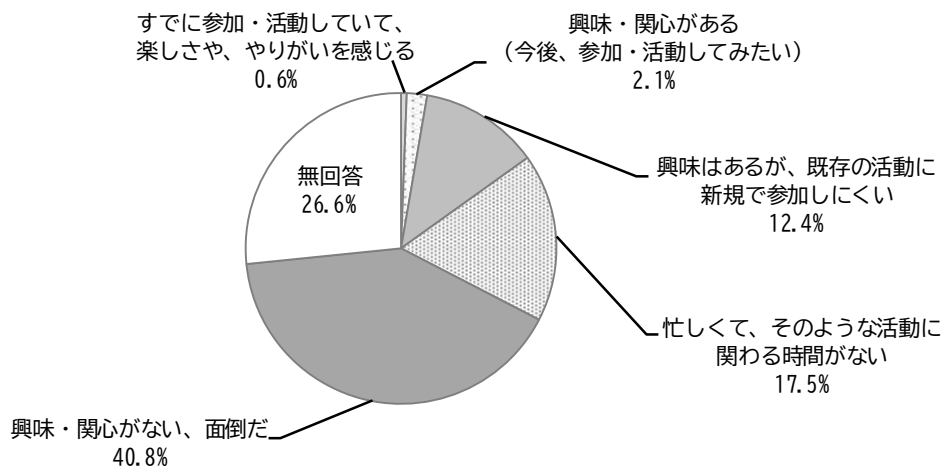
(n=3,019)



【② 民生委員・児童委員】

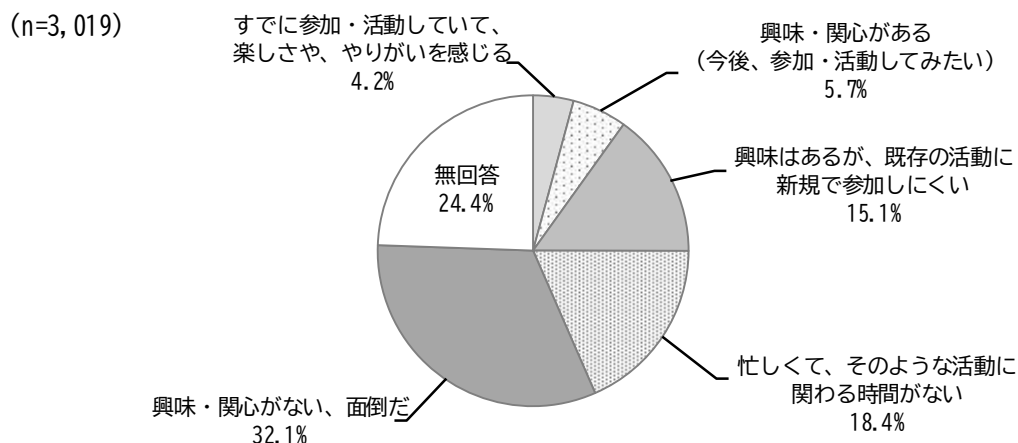
「興味・関心がない、面倒だ」が40.8%と最も多く、次いで「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が17.5%、「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が12.4%となっている。

(n=3,019)



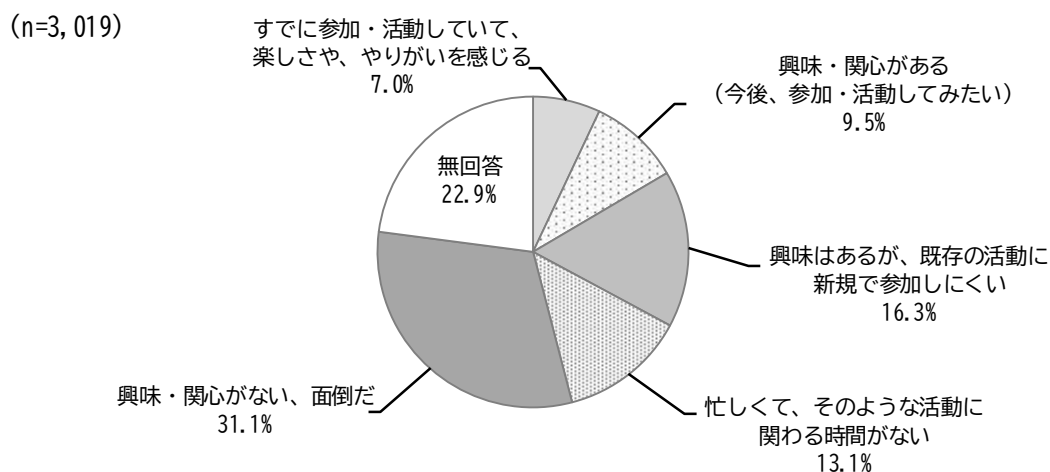
【③ ボランティア活動】

「興味・関心がない、面倒だ」が 32.1%と最も多く、次いで「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が 18.4%、「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が 15.1%となっている。



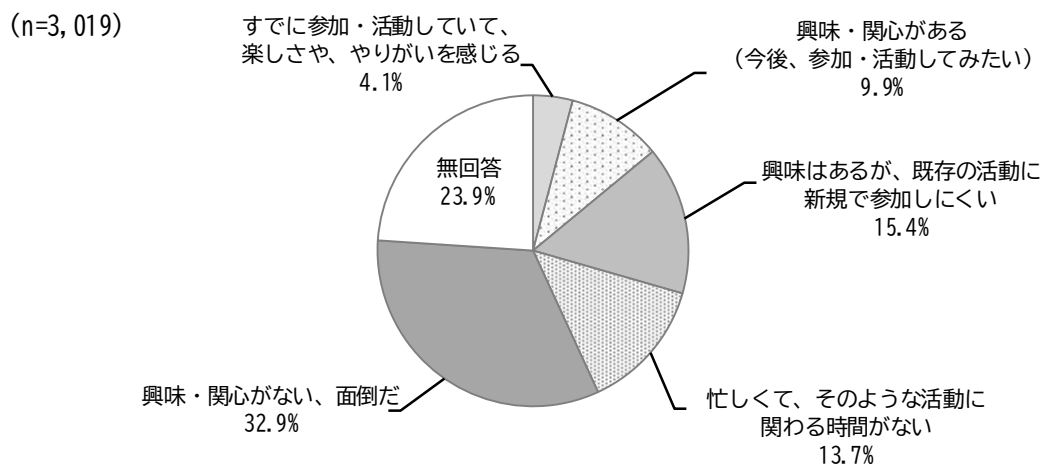
【④ 趣味関係のグループ、サロン活動】

「興味・関心がない、面倒だ」が 31.1%と最も多く、次いで「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が 16.3%、「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が 13.1%となっている。



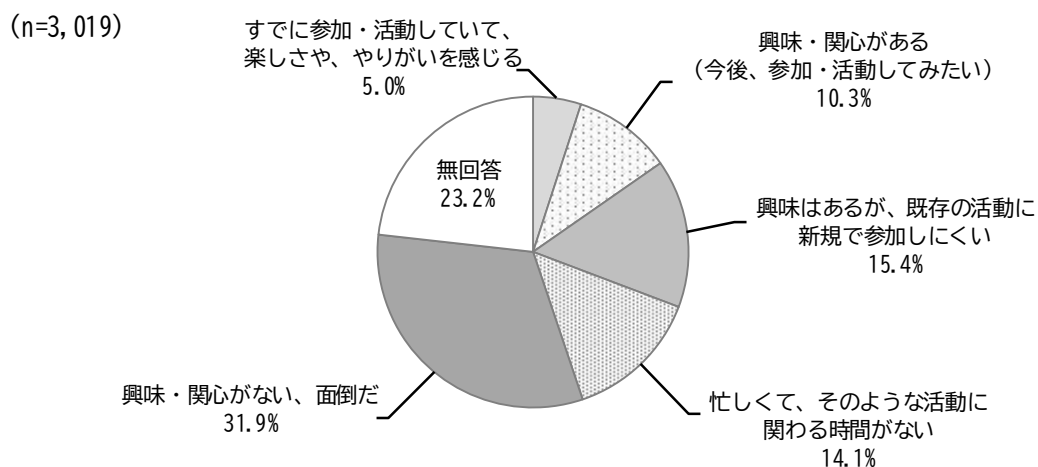
【⑤ 学習・教養関係のグループやサロン活動】

「興味・関心がない、面倒だ」が 32.9%と最も多く、次いで「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が 15.4%、「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が 13.7%となっている。



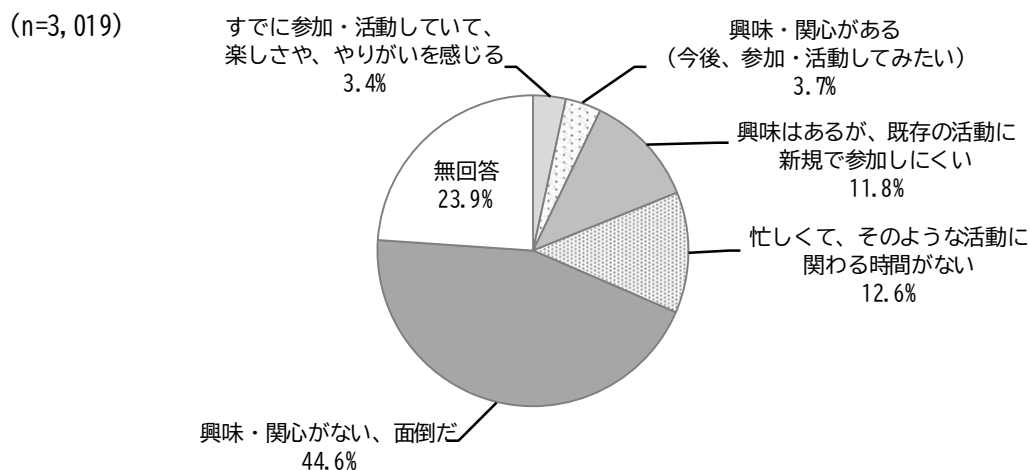
【⑥ 介護予防や健康維持のグループ】

「興味・関心がない、面倒だ」が 31.9%と最も多く、次いで「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が 15.4%、「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が 14.1%となっている。



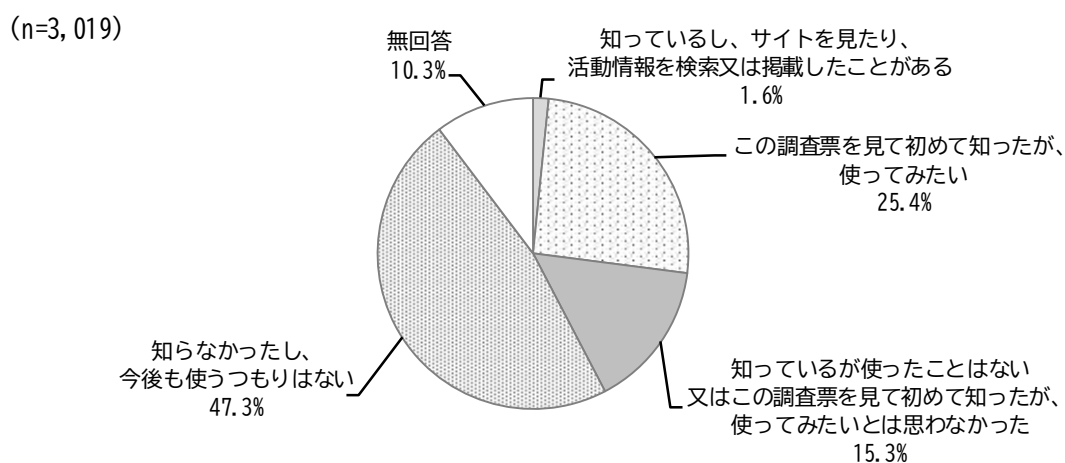
【⑦ 老人クラブ】

「興味・関心がない、面倒だ」が44.6%と最も多く、次いで「忙しくて、そのような活動に関わる時間がない」が12.6%、「興味はあるが、既存の活動に新規で参加しにくい」が11.8%となっている。



問77 インターネットで地域の活動情報が検索できる、港区地域活動情報サイト「スタみな！」を知っていますか。(○は1つ)

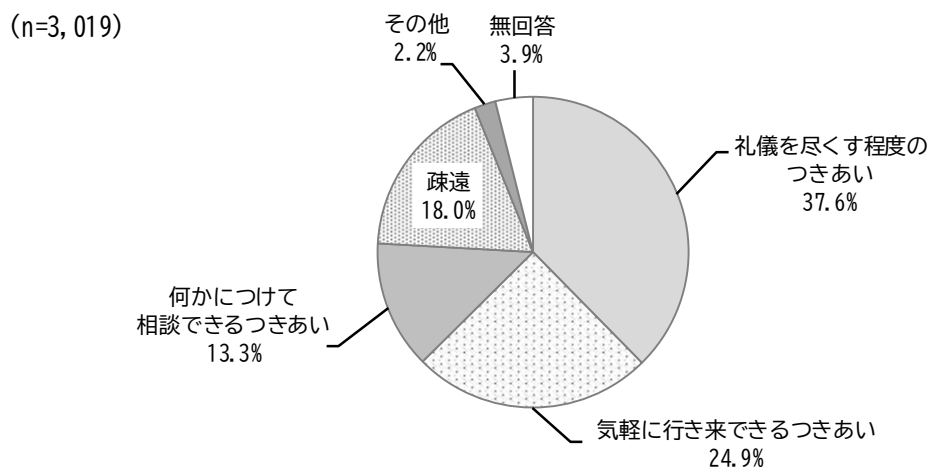
「知らなかったし、今後も使うつもりはない」が47.3%と最も多く、次いで「この調査票を見て初めて知ったが、使ってみたい」が25.4%、「知っているが使ったことはない又はこの調査票を見て初めて知ったが、使ってみたいとは思わなかった」が15.3%となっている。



問78 人とのつながりについて教えてください。(○は1つ)

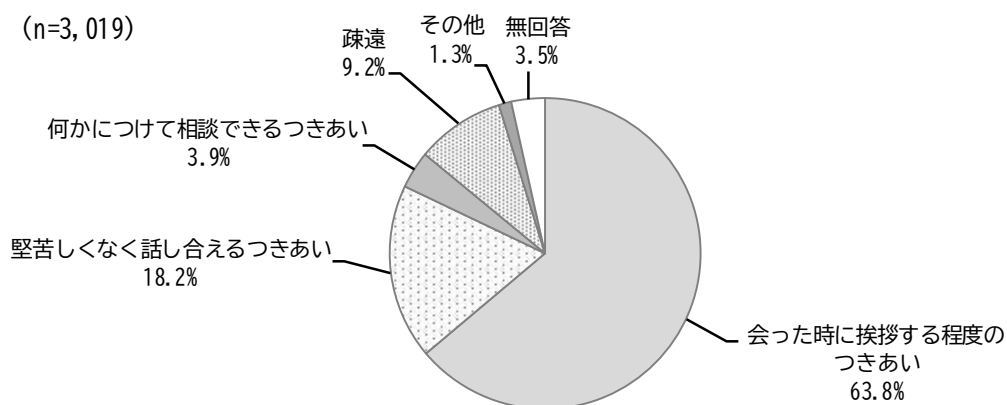
【親戚とのつきあいについて】

「礼儀を尽くす程度のつきあい」が37.6%と最も多く、次いで「気軽に行き来できるつきあい」が24.9%、「疎遠」が18.0%となっている。



【隣近所とのつきあいについて】

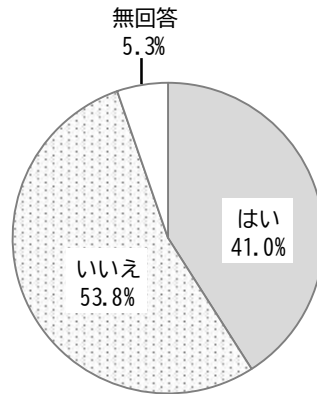
「会った時に挨拶する程度のつきあい」が63.8%と最も多く、次いで「堅苦しくなく話し合えるつきあい」が18.2%、「疎遠」が9.2%となっている。



問79 お住まいの地域や様々な交流の場等で、気になる人や不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。(○は1つ)

「いいえ」が53.8%、「はい」が41.0%となっている。

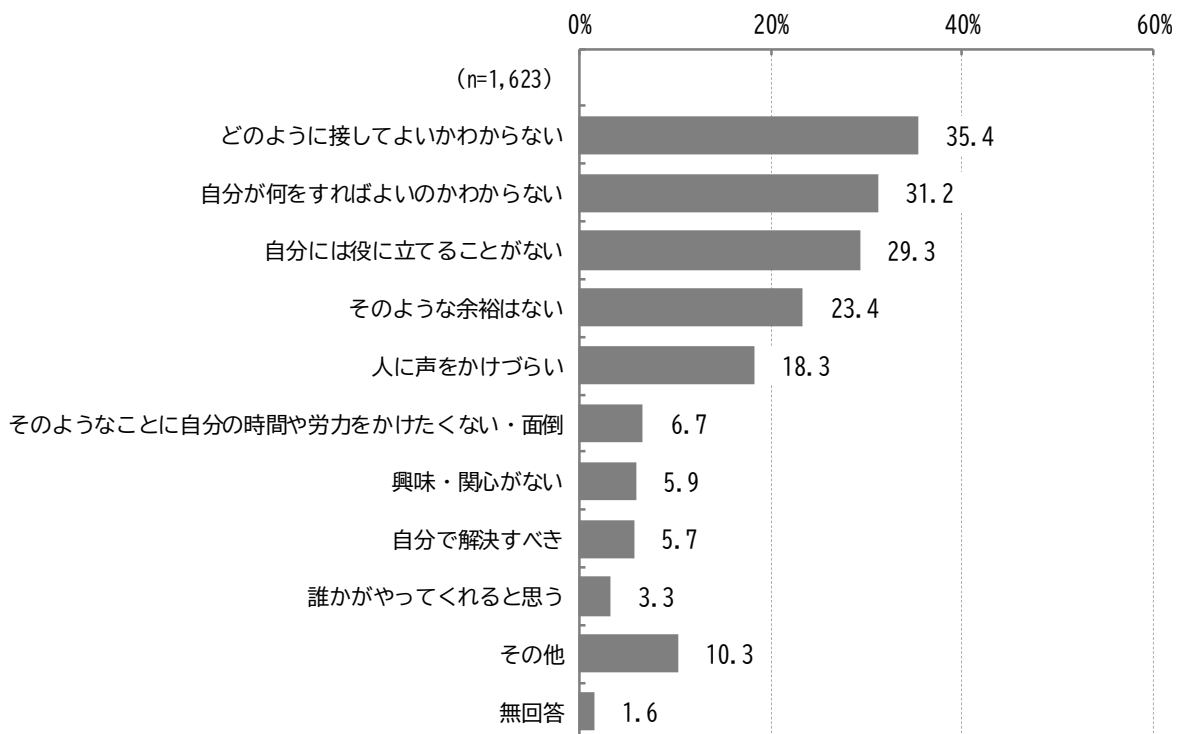
(n=3,019)



※問80は、問79で「いいえ」を選択した人のみ回答

問80 その理由を教えてください。(○はいくつでも)

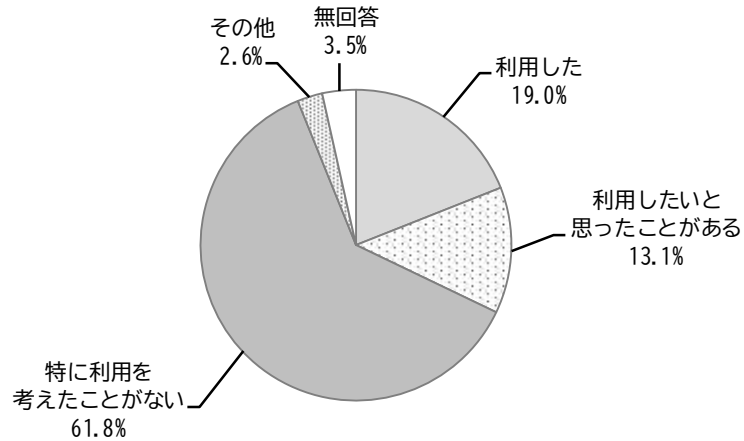
「どのように接してよいかわからない」が35.4%と最も多く、次いで「自分が何をすればよいかわからない」が31.2%、「自分には役に立てることがない」が29.3%となっている。



問81 最近、5年間に於いて、公衆浴場（銭湯）を利用したこと又は利用したいと思ったことはありますか。（○は1つ）

「特に利用を考えたことがない」が61.8%と最も多く、次いで「利用した」が19.0%、「利用したいと思ったことがある」が13.1%となっている。

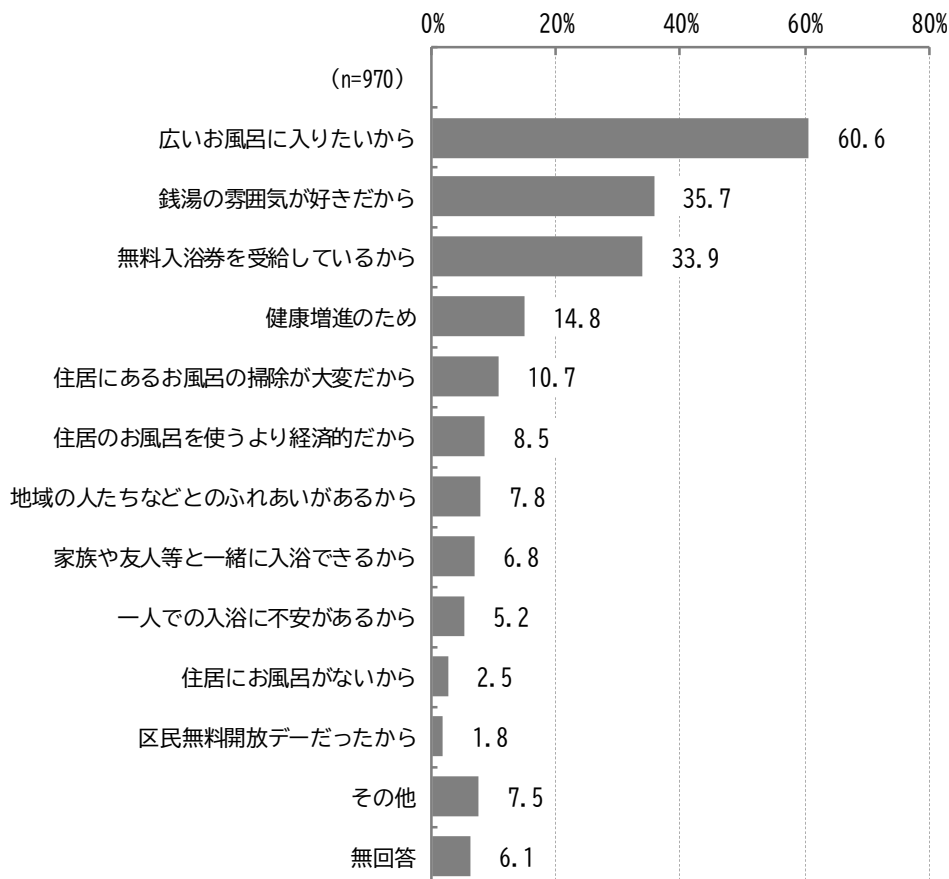
(n=3,019)



※問82は、問81で選択肢「1.利用した」又は「2.利用したいと思ったことがある」を選択した人のみ回答

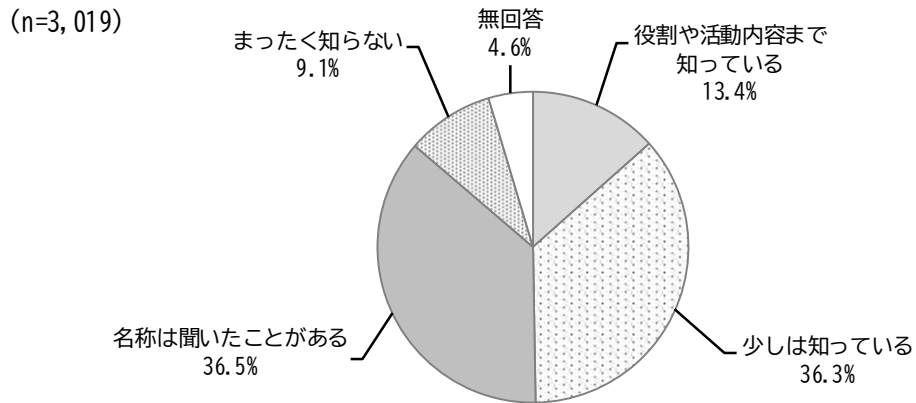
問82 その理由はなんですか。（○はいくつでも）

「広いお風呂に入りたいから」が60.6%と最も多く、次いで「銭湯の雰囲気が好きだから」が35.7%、「無料入浴券を受給しているから」が33.9%となっている。



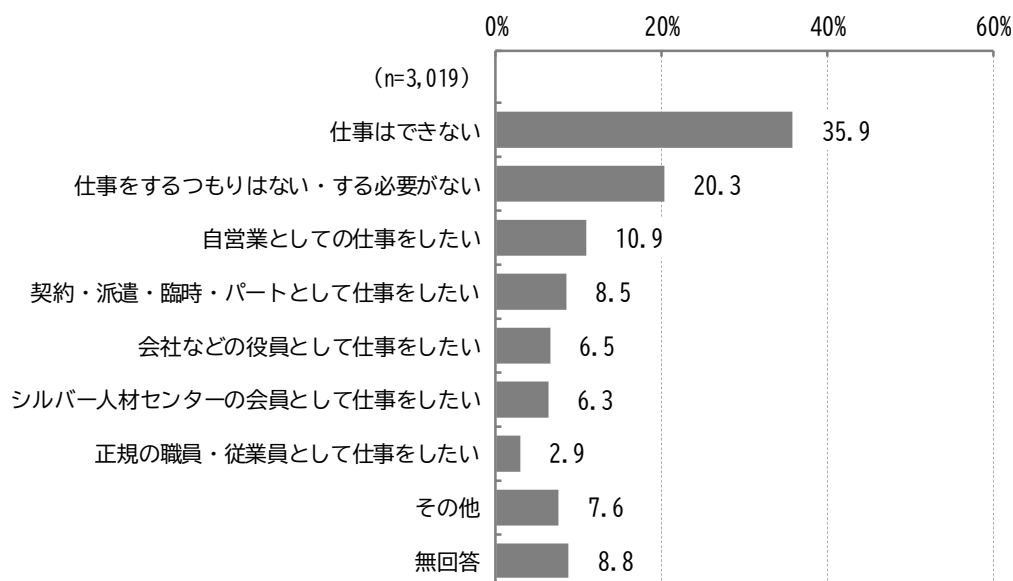
問83 「民生委員・児童委員」を知っていますか。(○は1つ)

「名称は聞いたことがある」が36.5%と最も多く、次いで「少しは知っている」が36.3%、「役割や活動内容まで知っている」が13.4%となっている。



問84 今後、仕事をしたい、又は、続けたいと思いますか。(○はいくつでも)

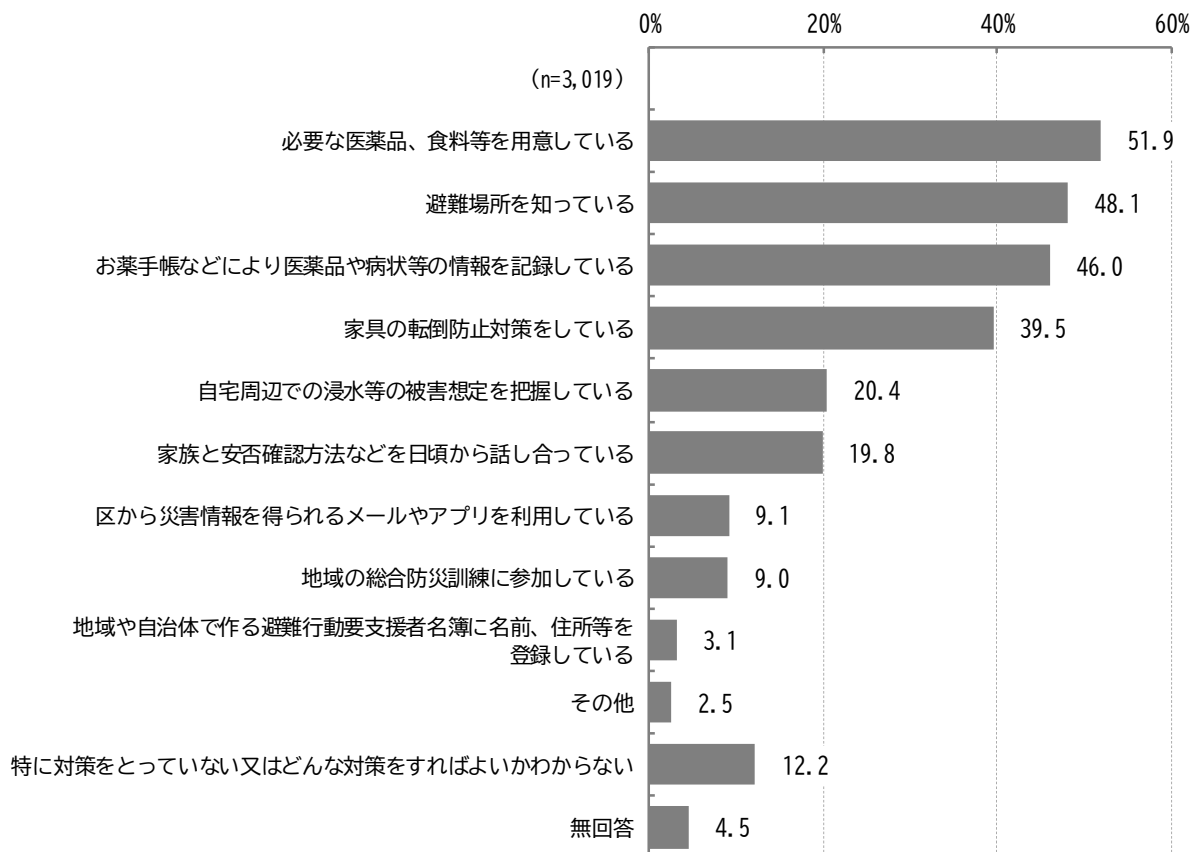
「仕事はできない」が35.9%と最も多く、次いで「仕事をするつもりはない・する必要がない」が20.3%、「自営業としての仕事をしたい」が10.9%となっている。



10. 災害に対する備えと災害時の行動について

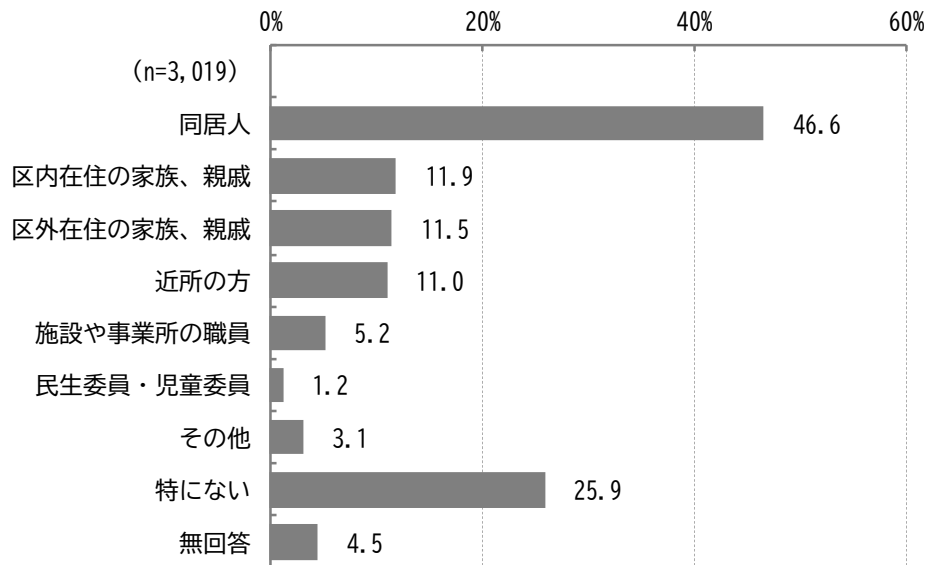
問85 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた（あて名のご本人）は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。（〇はいくつでも）

「必要な医薬品、食料等を用意している」が51.9%と最も多く、次いで「避難場所を知っている」が48.1%、「お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している」が46.0%となっている。



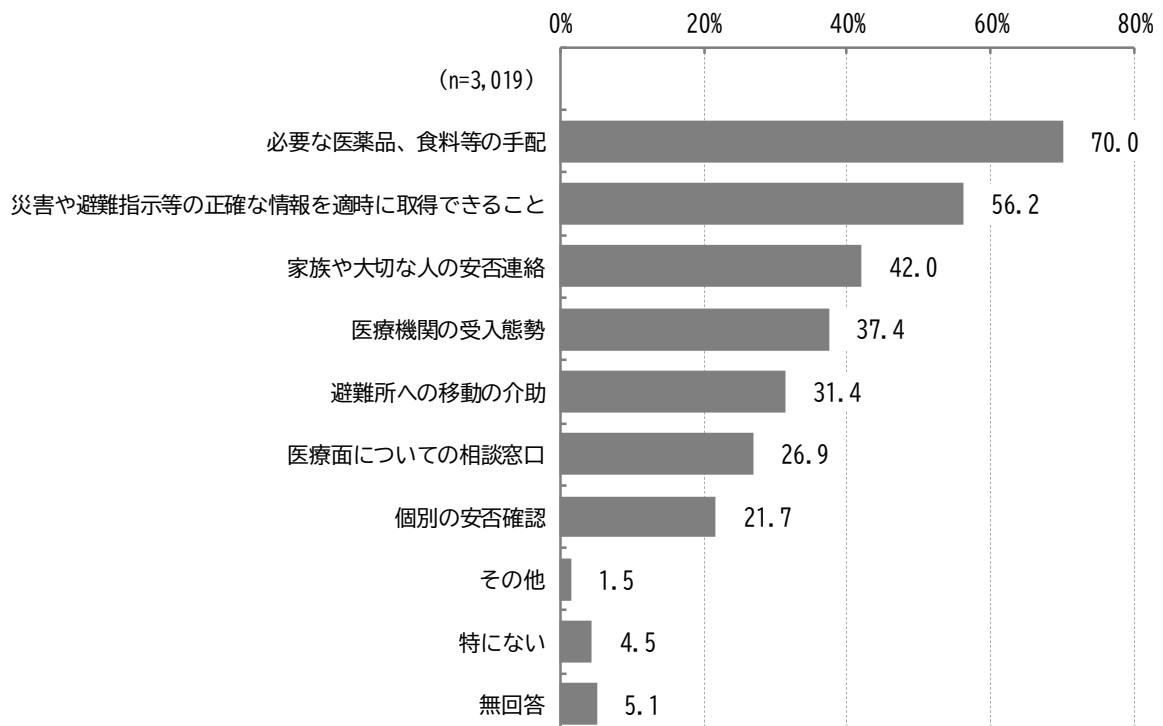
問86 あなた（あて名のご本人）には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。（〇はいくつでも）

「同居人」が46.6%と最も多く、次いで「特にない」が25.9%、「区内在住の家族、親戚」が11.9%となっている。



問87 災害が発生したときにあなた（あて名のご本人）が行政や地域から必要とする支援を教えてください。（〇はいくつでも）

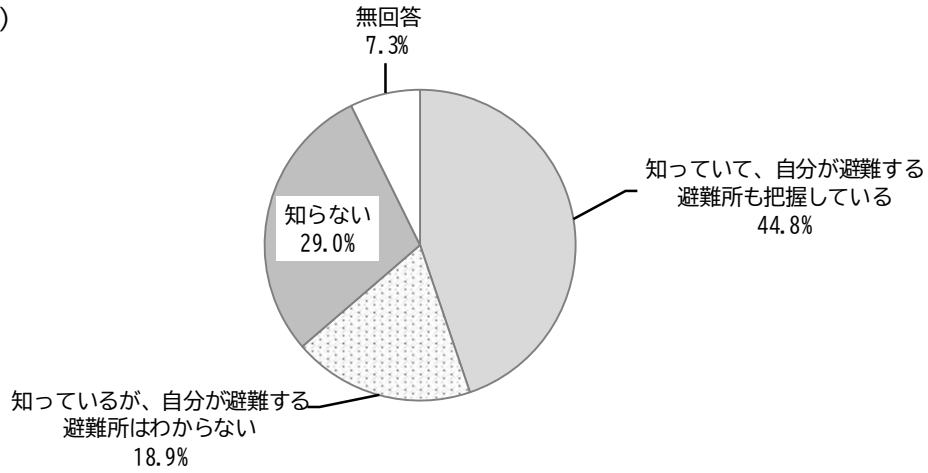
「必要な医薬品、食料等の手配」が70.0%と最も多く、次いで「災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること」が56.2%、「家族や大切な人の安否連絡」が42.0%となっている。



問88 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所含む）をご存じですか。（○は1つ）

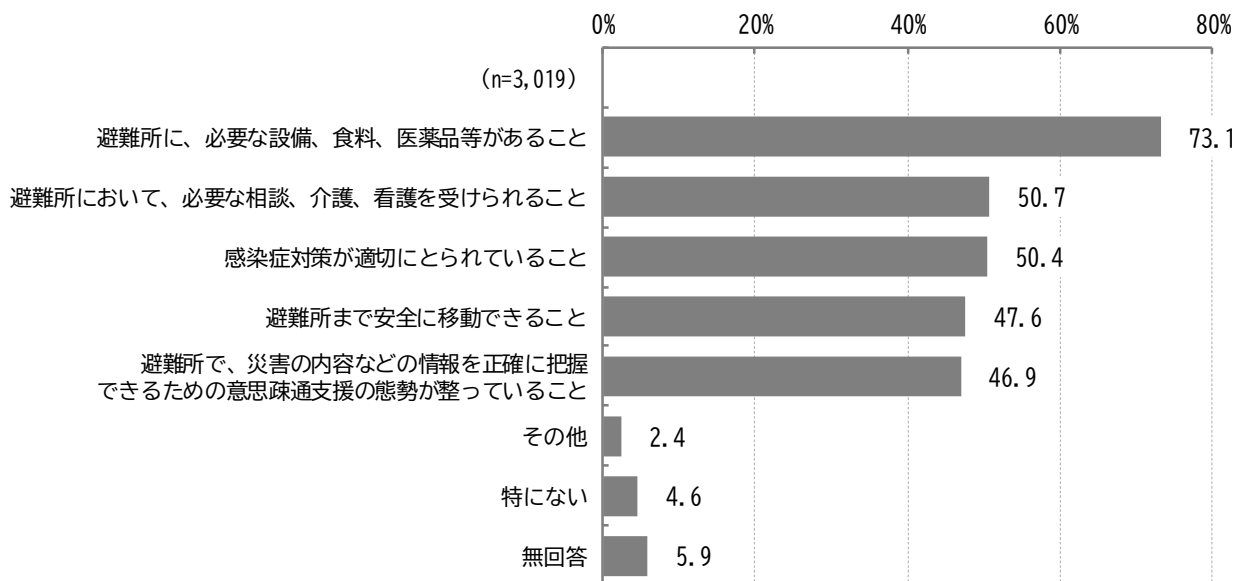
「知っている、自分が避難する避難所も把握している」が44.8%と最も多く、次いで「知らない」が29.0%、「知っているが、自分が避難する避難所はわからない」が18.9%となっている。

(n=3,019)



問89 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。（○はいくつでも）

「避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること」が73.1%と最も多く、次いで「避難所において、必要な相談、介護、看護を受けられること」が50.7%、「感染症対策が適切にとられていること」が50.4%となっている。



問90 港区災害時避難行動要支援者登録事業をご存じですか。(○は1つ)

※港区災害時避難行動要支援者登録事業とは

区では、災害時に自力で避難することは困難な方で、特に支援が必要な方を対象に「港区災害時避難行動要支援者登録名簿」を作成しています。

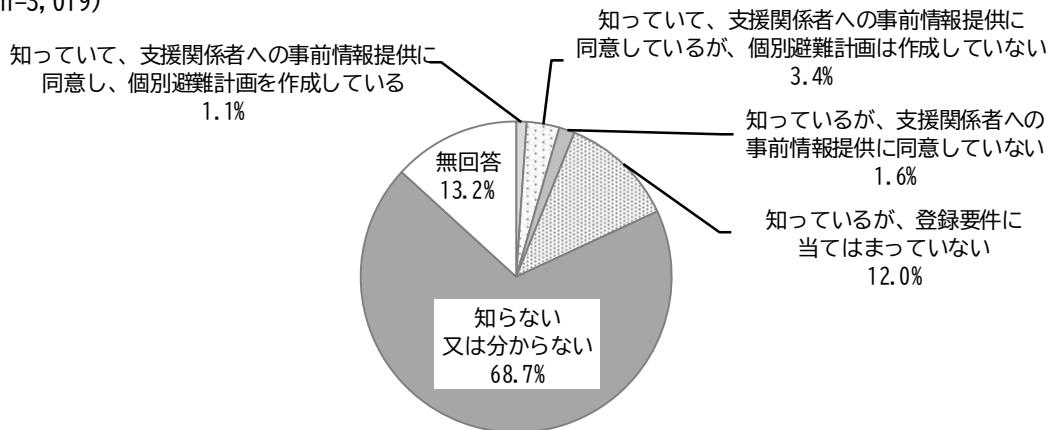
平常時から地域の支援関係者に自らの情報を提供しておくことに同意された方には、一人ひとりの個別避難計画を区が作成し、災害時の支援体制の整備に取り組んでいます。

※登録の対象になる方（登録要件）

- ・介護保険の要介護認定において要介護3から5までのいずれかに認定されている方（要介護3の場合は、一人暮らし又は他の世帯員全てが65歳以上である場合に限ります）

「知らない又は分からない」が68.7%と最も多く、次いで「知っているが、登録要件に当てはまっていない」が12.0%、「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意しているが、個別避難計画は作成していない」が3.4%、「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意し、個別避難計画を作成している」が1.1%、「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意していない」が1.6%となっている。

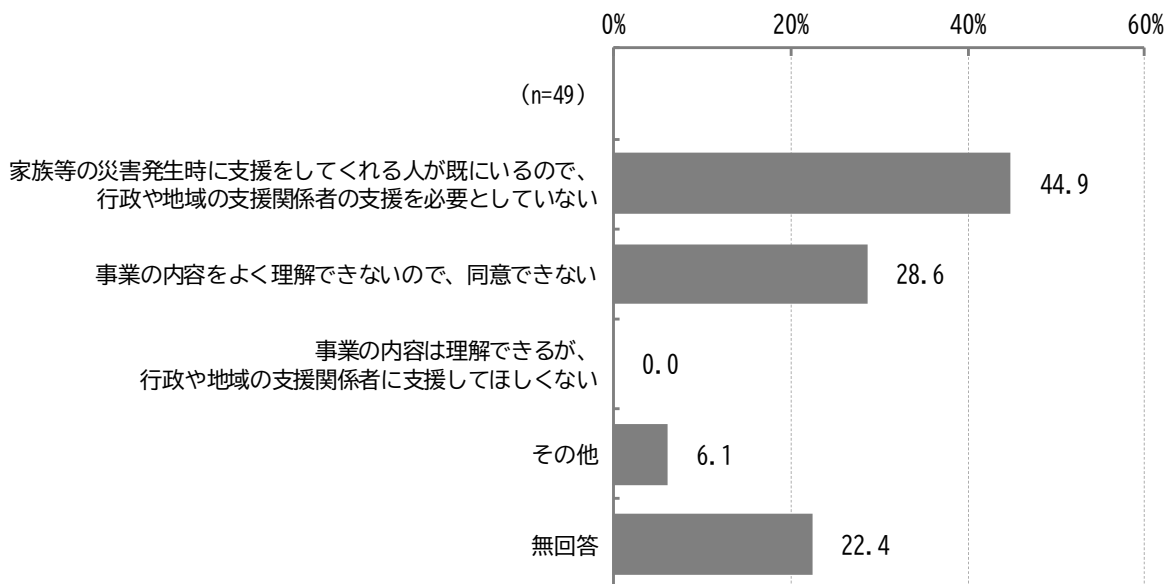
(n=3,019)



※問91は、問90で「知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意していない」を選択した人のみ回答

問91 支援関係者への情報提供に同意していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「家族等の災害発生時に支援をしてくれる人が既にいるので、行政や地域の支援関係者の支援を必要としていない」が44.9%と最も多く、次いで「事業の内容をよく理解できないので、同意できない」が28.6%、「その他」が6.1%になっている。



【主なその他の内容】

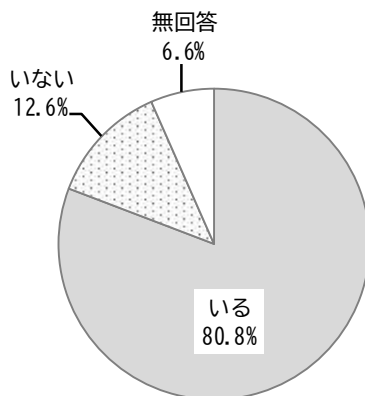
内容	件数
手続等がよくわからない	2

11. 不安や悩みの相談について

問92 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(〇は1つ)

「いる」が80.8%、「いない」が12.6%となっている。

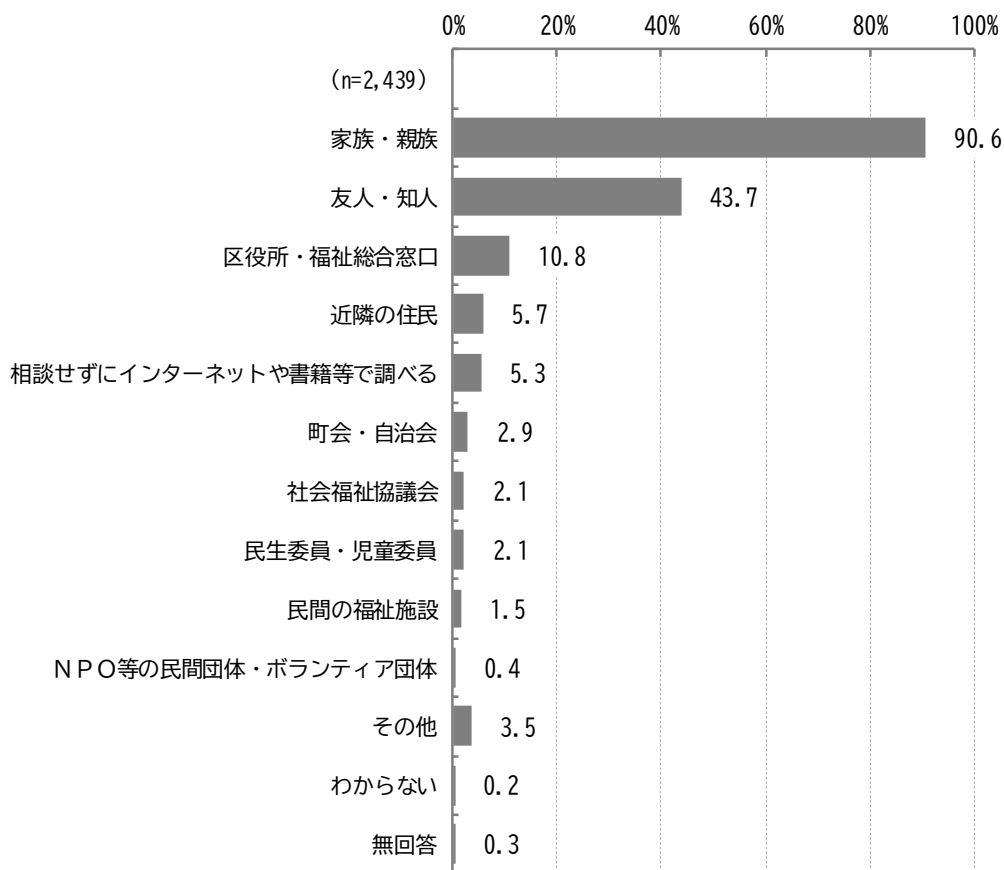
(n=3,019)



※問 93 は、問 92 で「いる」を選択した人のみ回答

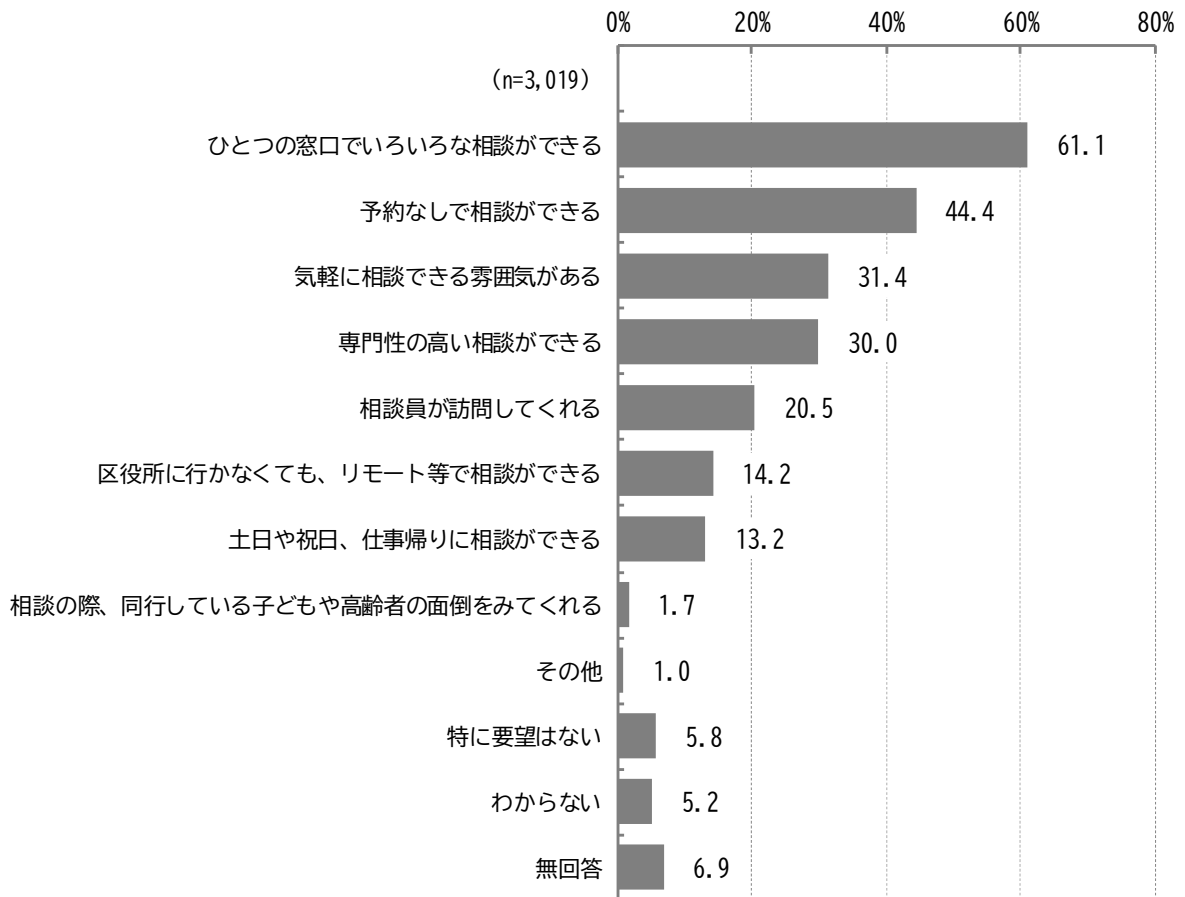
問93 あなたは誰に相談しますか。(○はいくつでも)

「家族・親族」が90.6%と最も多く、次いで「友人・知人」が43.7%、「区役所・福祉総合窓口」が10.8%となっている。



問94 今後、福祉に関する相談をすることになった時、区の相談機関にはどのようなことを求めますか。(〇はいくつでも)

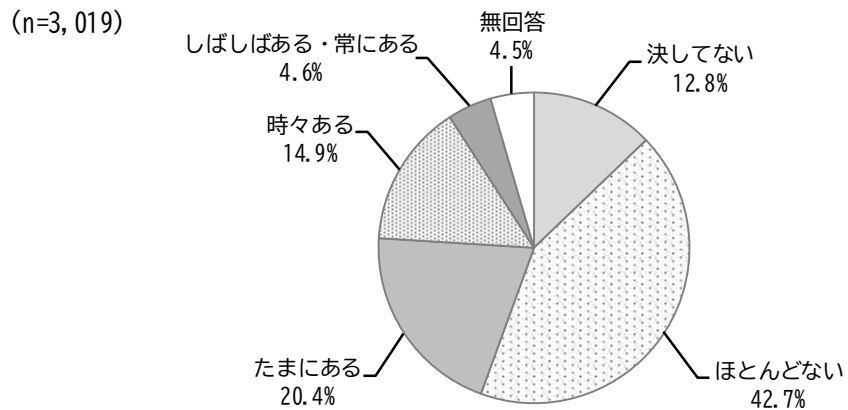
「ひとつの窓口でいろいろな相談ができる」が61.1%と最も多く、次いで「予約なしで相談ができる」が44.4%、「気軽に相談できる雰囲気がある」が31.4%となっている。



12. 孤独・孤立について

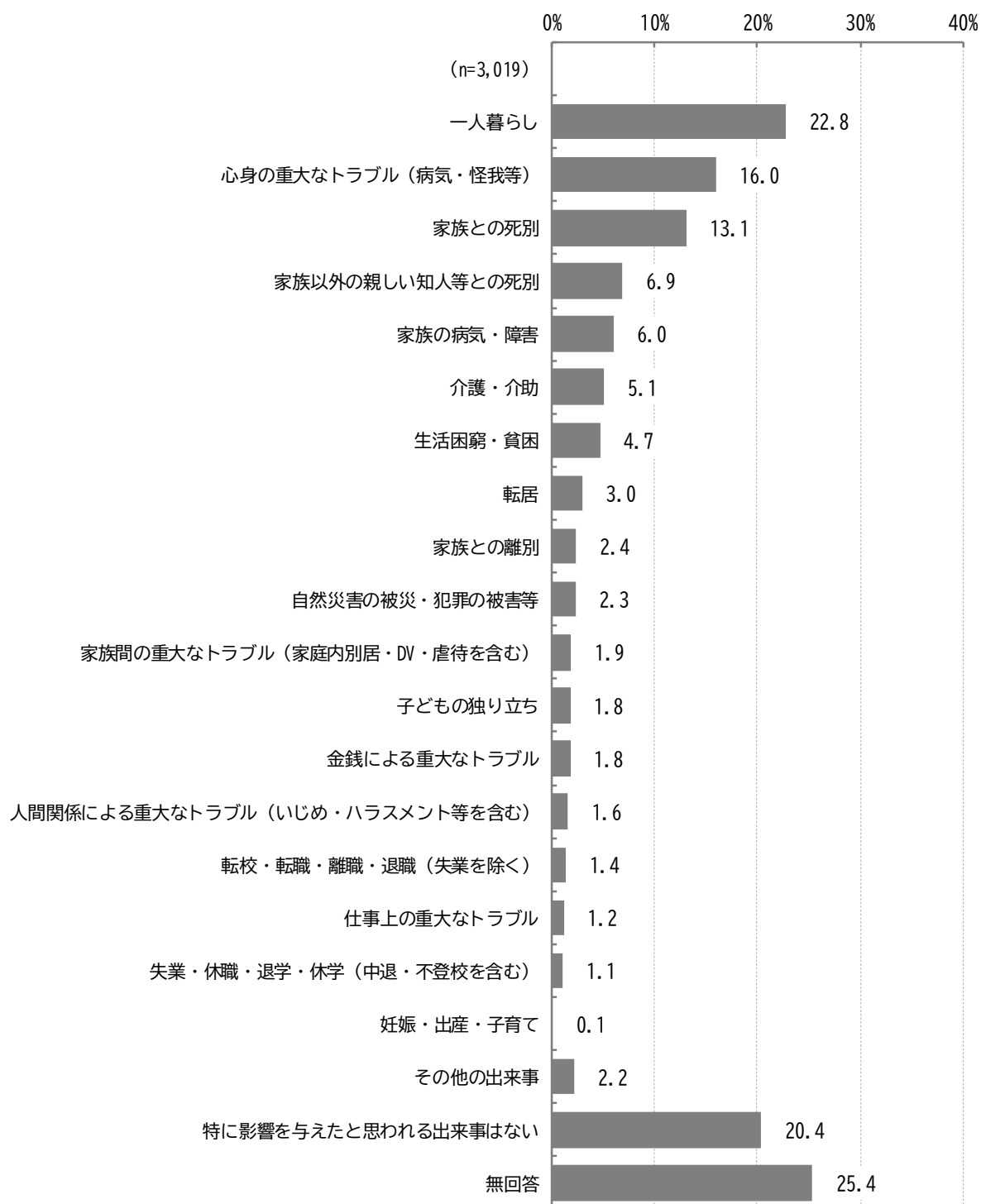
問95 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

「ほとんどない」が42.7%と最も多く、次いで「たまにある」が20.4%、「時々ある」が14.9%となっている。



問96 現在の孤独感（問95で回答した状況）に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。
 (〇はいくつでも)

「一人暮らし」が 22.8%と最も多く、次いで「特に影響を与えたと思われる出来事はない」が 20.4%、「心身の重大なトラブル（病気・怪我等）」が 16.0%となっている。

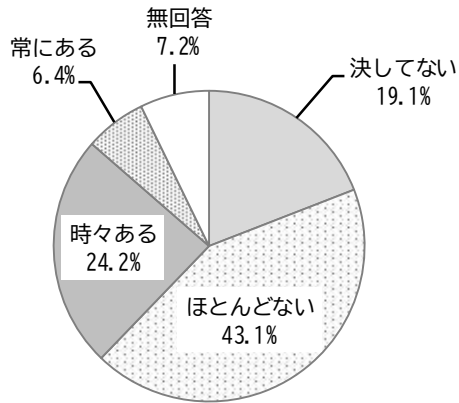


問97 ①～③について、最も当てはまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

【① あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。】

「ほとんどない」が43.1%と最も多く、次いで「時々ある」が24.2%、「決してない」が19.1%となっている。

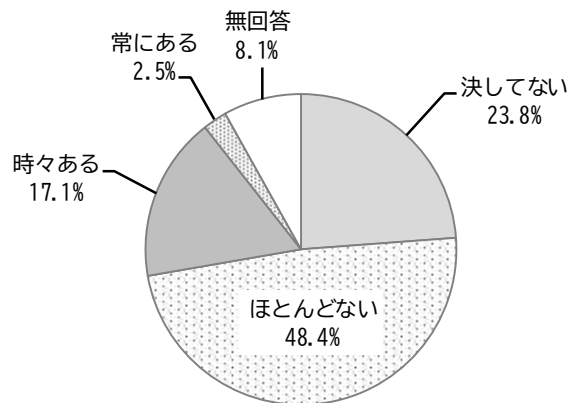
(n=3,019)



【② あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。】

「ほとんどない」が48.4%と最も多く、次いで「決してない」が23.8%、「時々ある」が17.1%となっている。

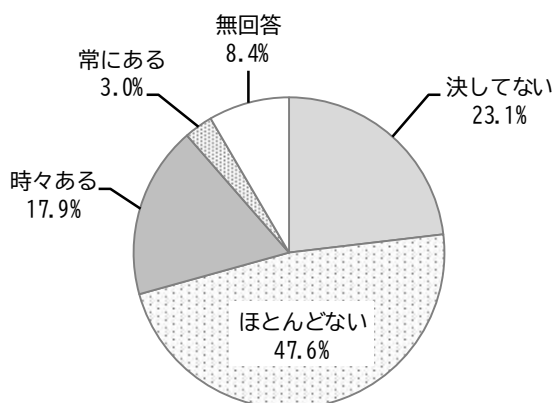
(n=3,019)



【③ あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。】

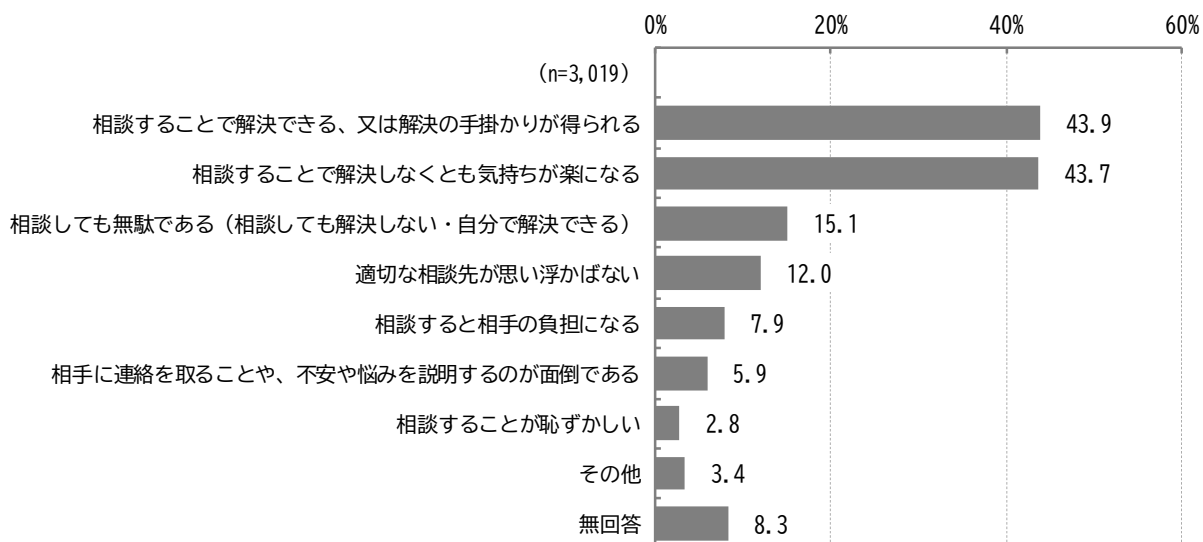
「ほとんどない」が47.6%と最も多く、次いで「決してない」が23.1%、「時々ある」が17.9%となっている。

(n=3,019)



問98 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。(○はいくつでも)

「相談することで解決できる、又は解決の手掛かりが得られる」が43.9%と最も多く、次いで「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」が43.7%、「相談しても無駄である（相談しても解決しない・自分で解決できる）」が15.1%となっている。



13. ひきこもりについて

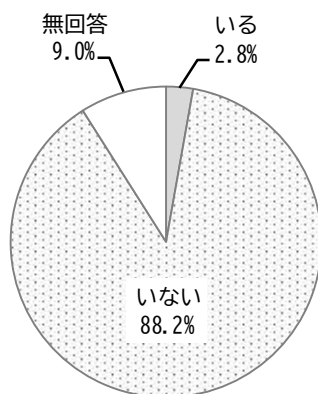
問99 同居のご家族にひきこもりの状態にある方がいますか。
(回答者ご本人がひきこもりの状態にある場合を含みます) (○は1つ)

※ひきこもり状態とは

「就学、就労、家族以外での交流を避けるなど、社会的参加を避け、家庭にとどまり続けている状態」を指します。けがや疾病等の理由で自宅を中心とした生活をされている方は除きます。

「いない」が88.2%、「いる」が2.8%となっている。

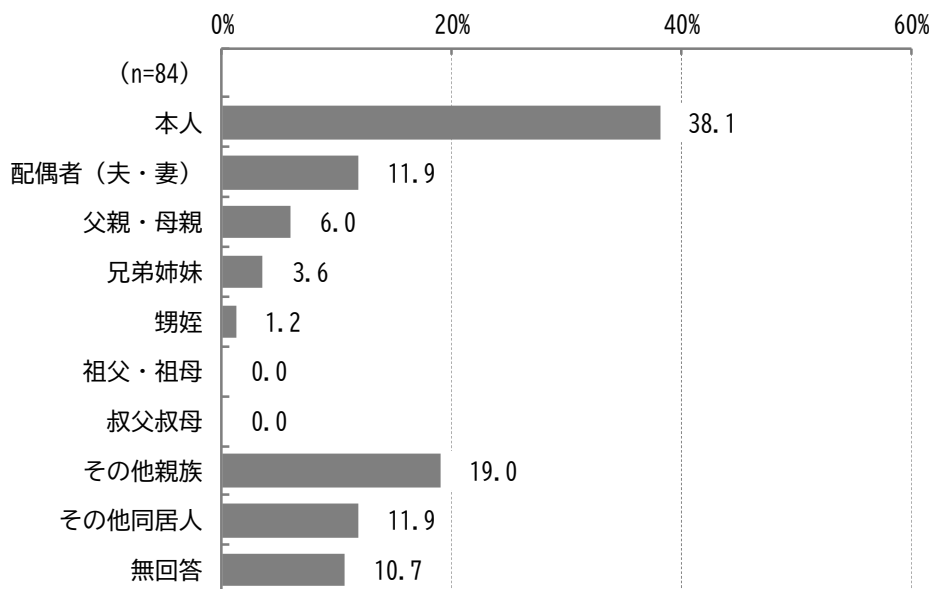
(n=3,019)



※問 100～105 は、問 99 で「いる」を選択した人のみ回答

問100 ひきこもりの状態の方との関係を教えてください。
 (○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

「本人」が38.1%と最も多く、次いで「その他親族」が19.0%、「配偶者（夫・妻）」と「その他同居人」が11.9%となっている。



【主なその他親族の内容】

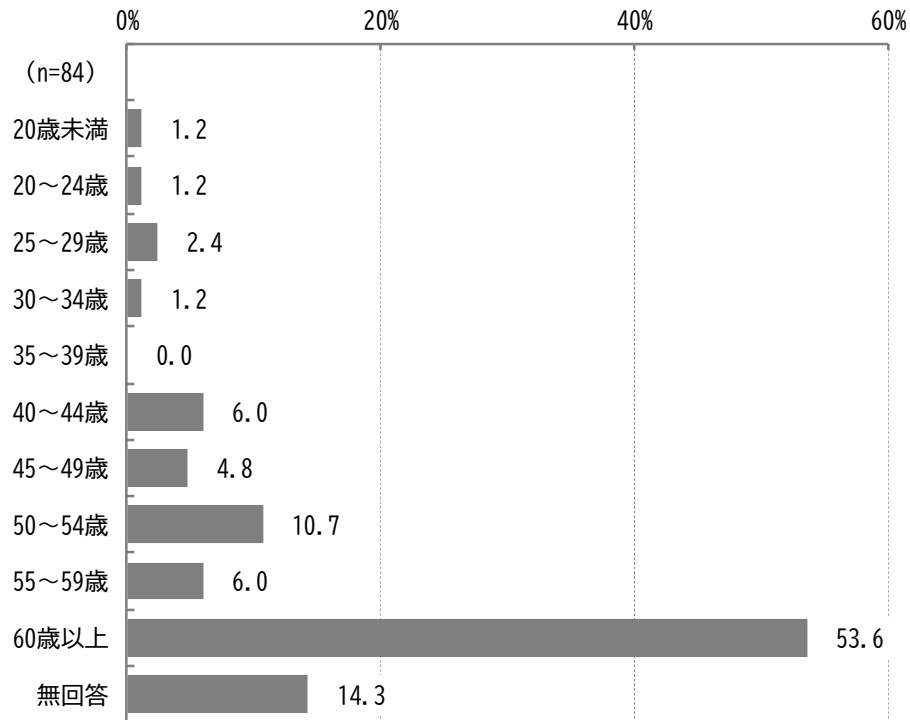
内容	件数
子ども	10
従兄弟	1

【主なその他同居人の内容】

内容	件数
子ども（義理の子どもを含む）	3
その他	2

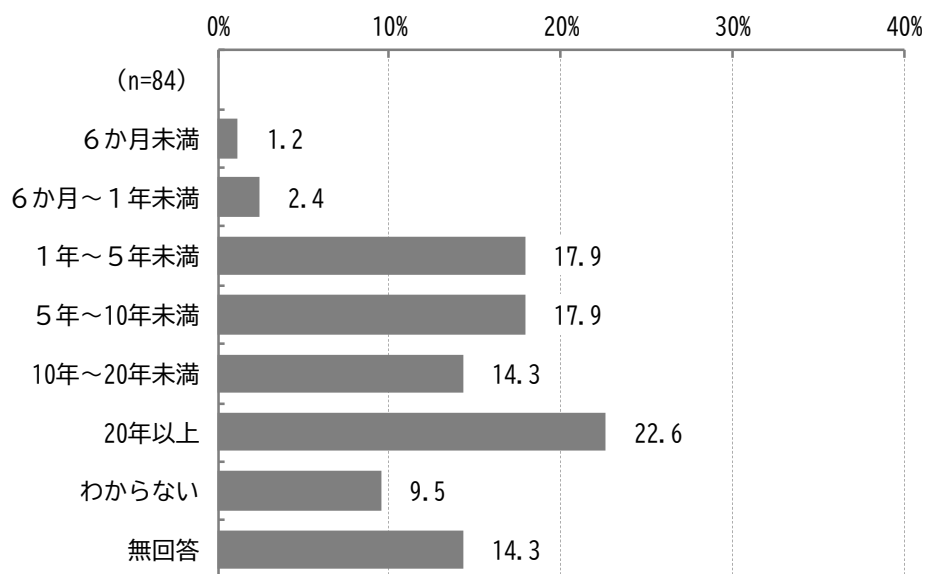
問101 ひきこもりの状態の方の年齢を教えてください。
 (〇は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

「60歳以上」が53.6%と最も多く、次いで「50～54歳」が10.7%、「40～44歳」と「55～59歳」が6.0%となっている。



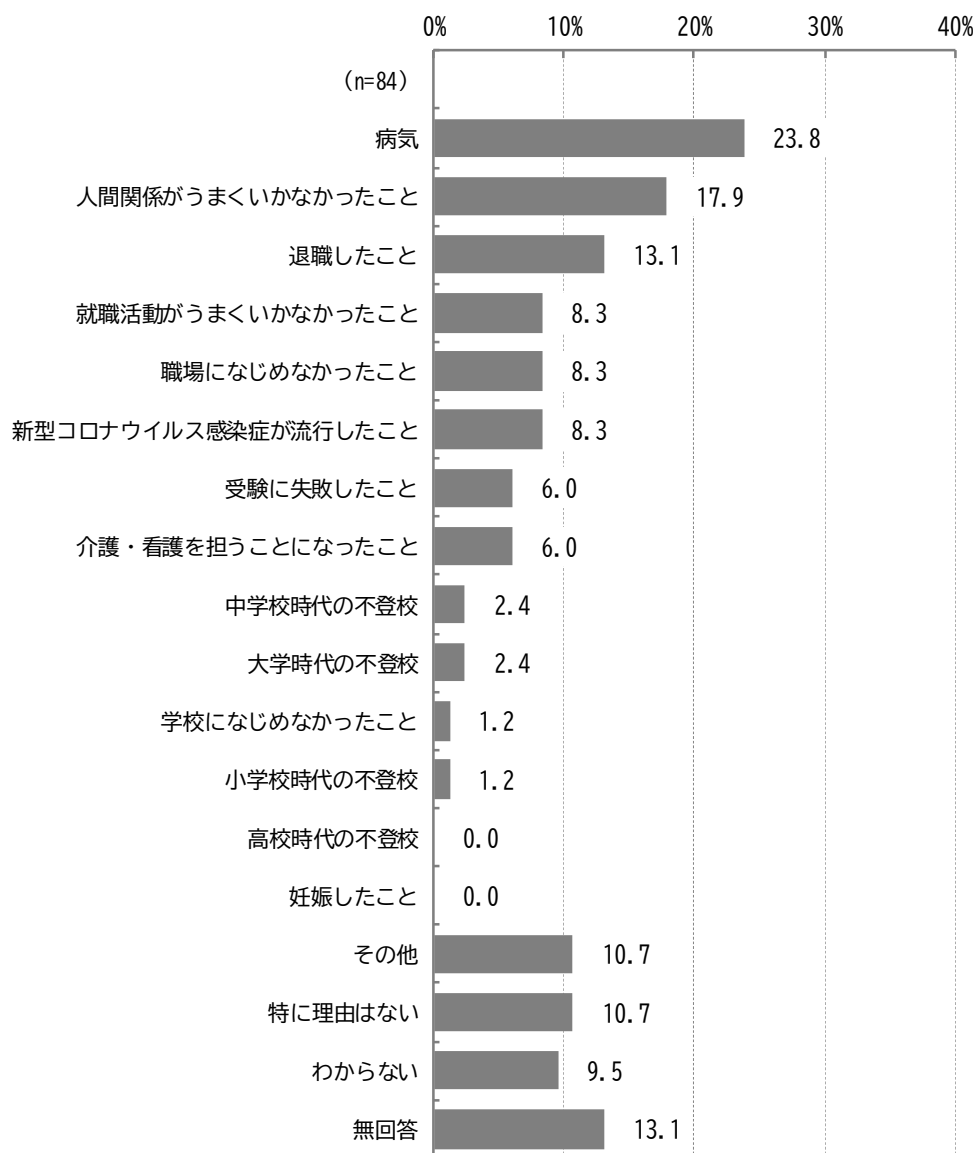
問102 ひきこもりの状態の期間はどれくらいですか。
 (〇は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

「20年以上」が22.6%と最も多く、次いで「1年～5年未満」と「5年～10年未満」が17.9%となっている。



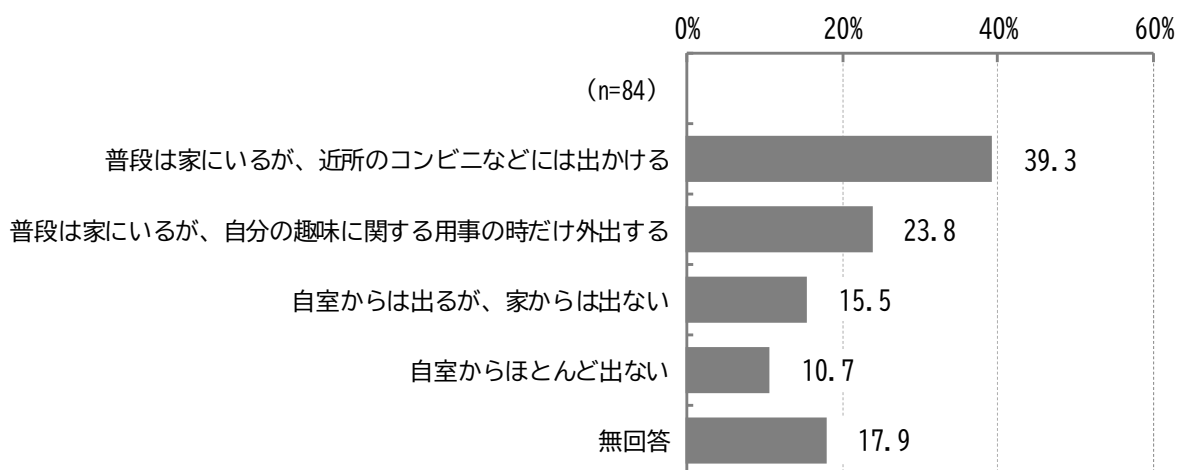
問103 その方がひきこもり状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

「病気」が23.8%と最も多く、次いで「人間関係がうまくいかなかったこと」が17.9%、「退職したこと」が13.1%となっている。



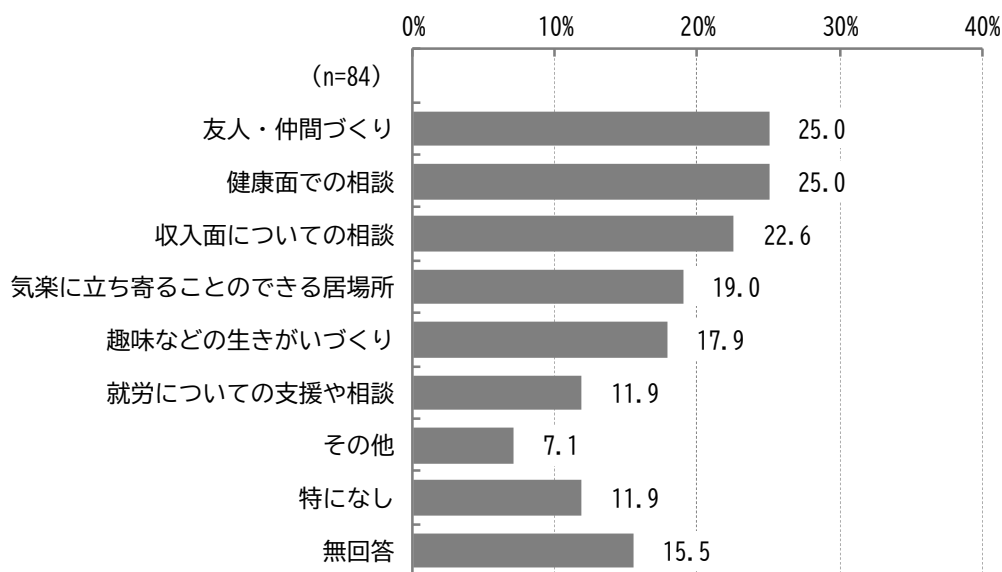
問104 その方は普段どのくらい外出しますか。(○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 39.3%と最も多く、次いで「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 23.8%、「自室からは出るが、家からは出ない」が 15.5%となっている。



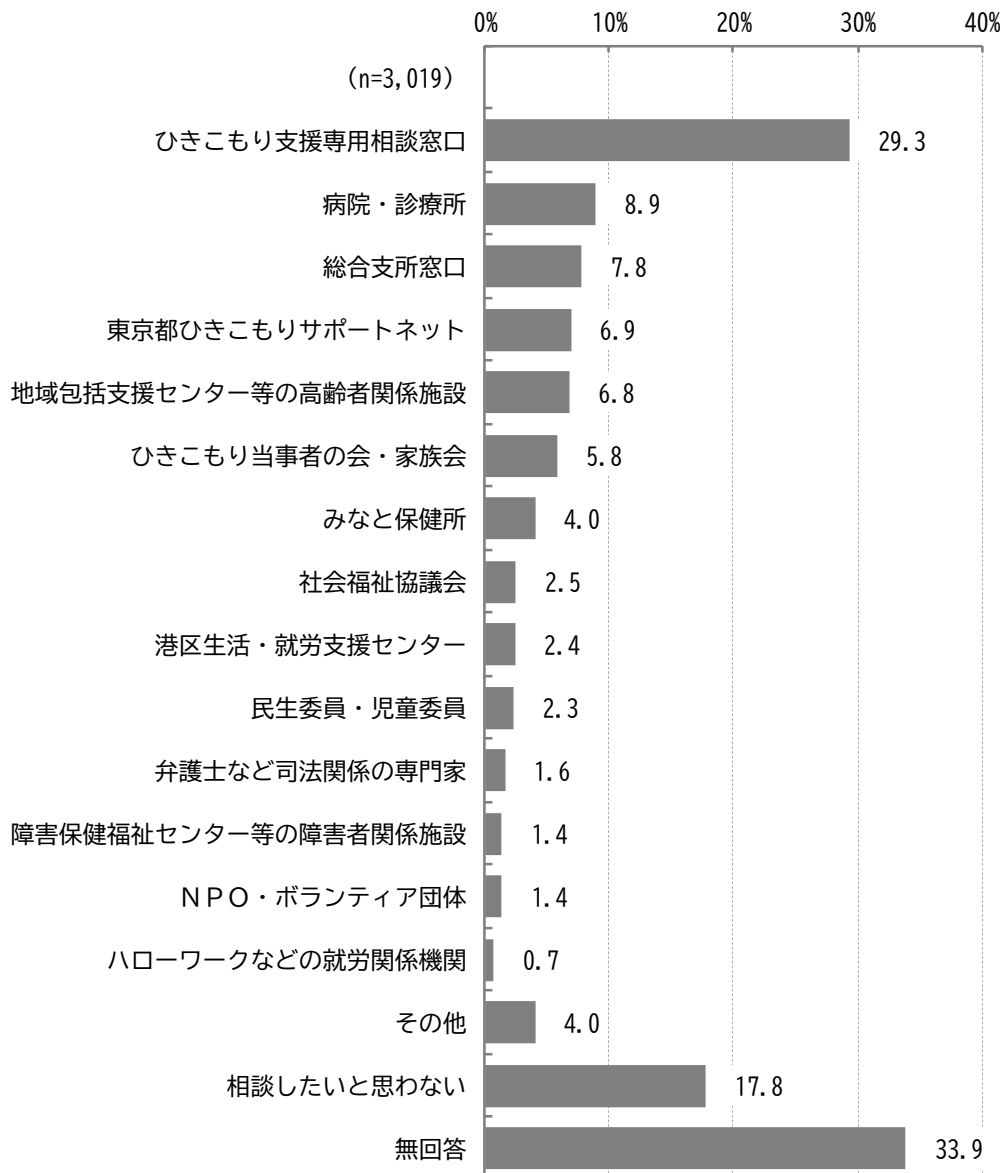
問105 その方にとって必要なものは何ですか。(○はいくつでも)

「友人・仲間づくり」と「健康面での相談」が 25.0%と最も多く、次いで「収入面についての相談」が 22.6%となっている。



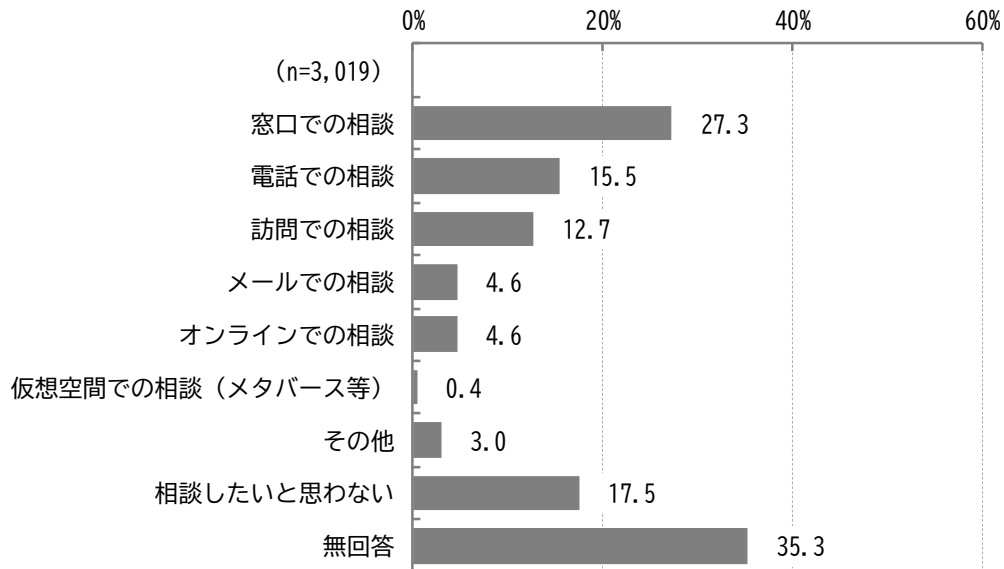
問106 ひきこもりについて相談したことがある、又は相談するとしたら、どの機関等に相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「ひきこもり支援専用相談窓口」が29.3%と最も多く、次いで「相談したいと思わない」が17.8%、「病院・診療所」が8.9%となっている。



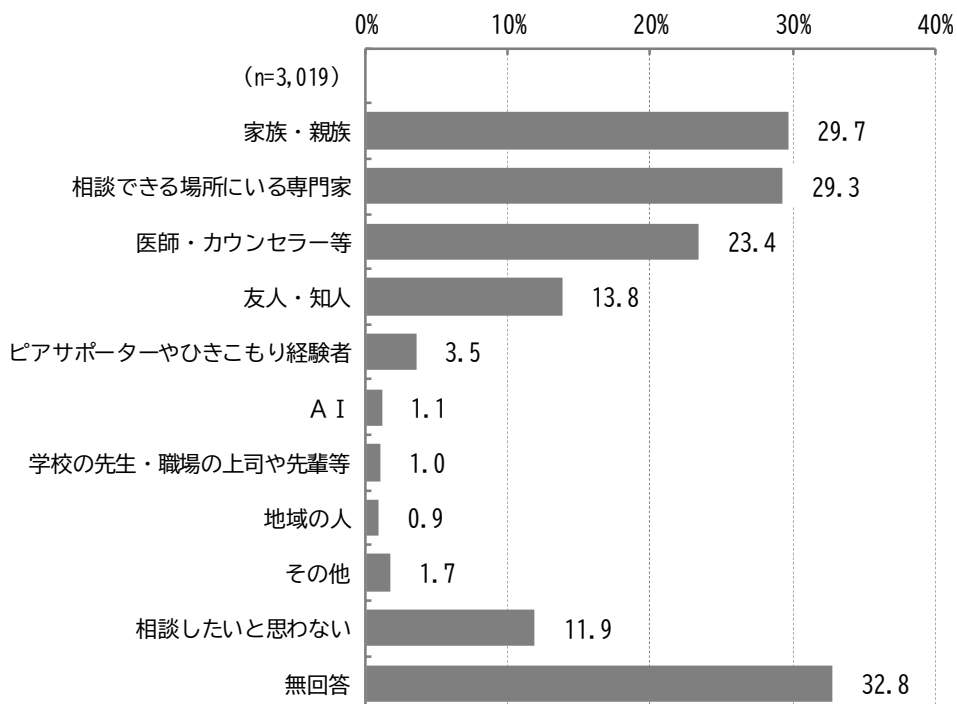
問107 ひきこもりについて相談したことがある、又は相談するとしたら、どのように相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「窓口での相談」が27.3%と最も多く、次いで「相談したいと思わない」が17.5%、「電話での相談」が15.5%となっている。



問108 ひきこもりについて相談するとしたら、どのような相手に相談したいですか。(〇はいくつでも)

「家族・親族」が29.7%と最も多く、次いで「相談できる場所にいる専門家」が29.3%、「医師・カウンセラー等」が23.4%となっている。

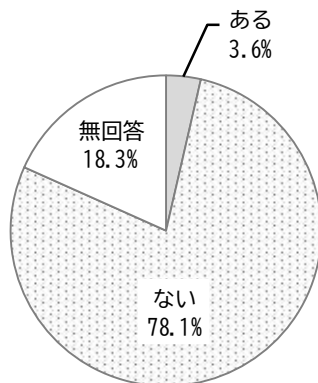


※問 109 は、問 99 で「いない」を選択した人のみ回答

問109 回答者ご本人、又は同居のご家族が過去にひきこもりの状態になったことはありますか。
(○は1つ)

「ない」が78.1%、「ある」が3.6%となっている。

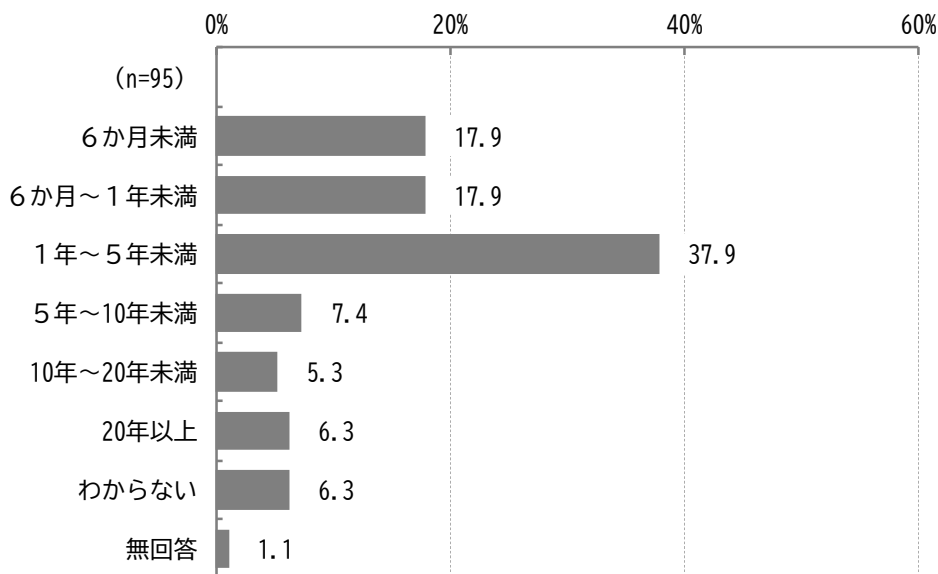
(n=2,664)



※問 110 と問 111 は、問 109 で「ある」を選択した人のみ回答

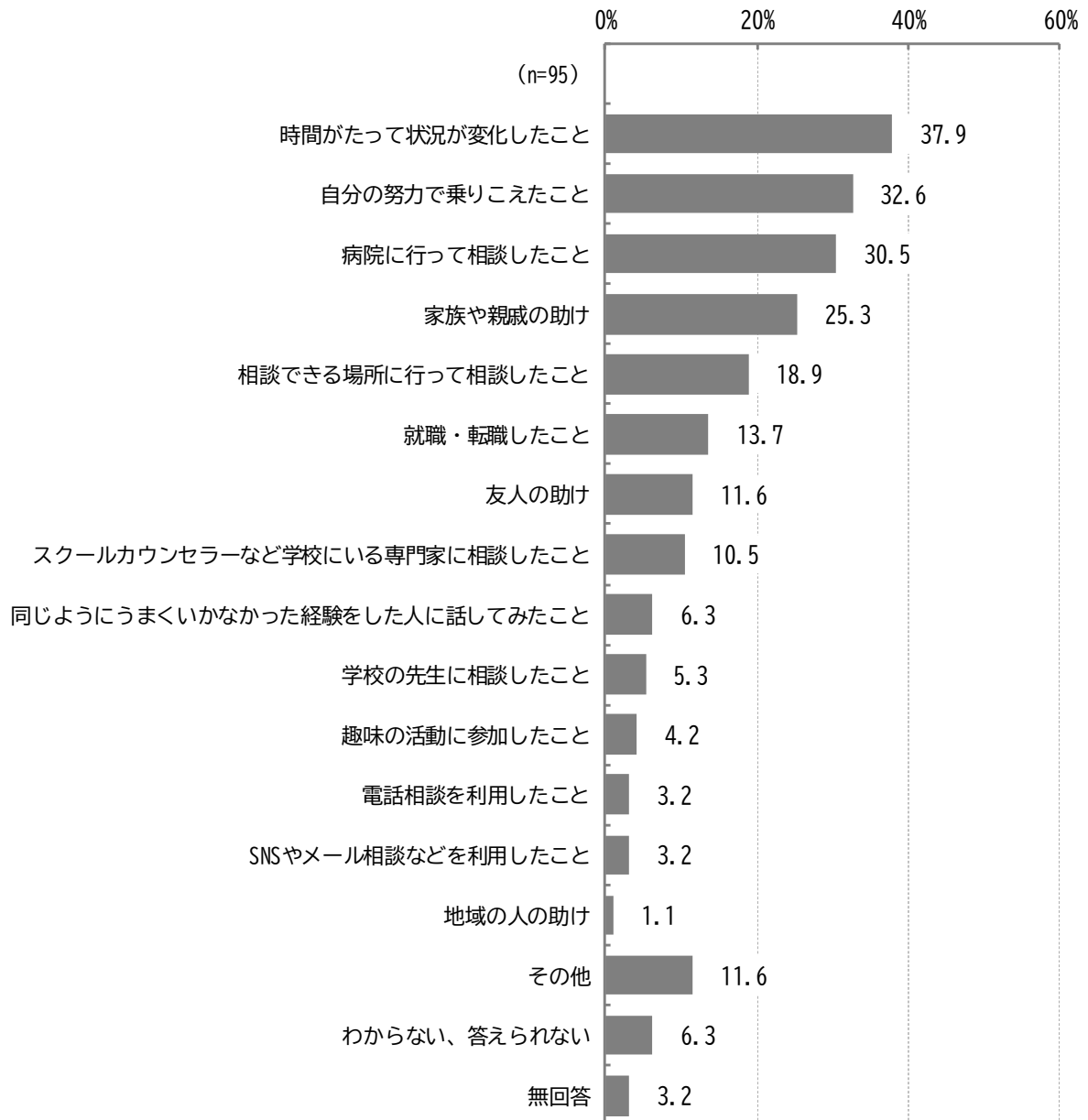
問110 ひきこもりの状態の期間はどれくらいですか。
(○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

「1年～5年未満」が37.9%と最も多く、次いで「6か月未満」と「6か月～1年未満」が17.9%となっている。



問111 その方がひきこもりの状態を改善したきっかけや改善に役立ったことは何ですか。
(〇はいくつでも)

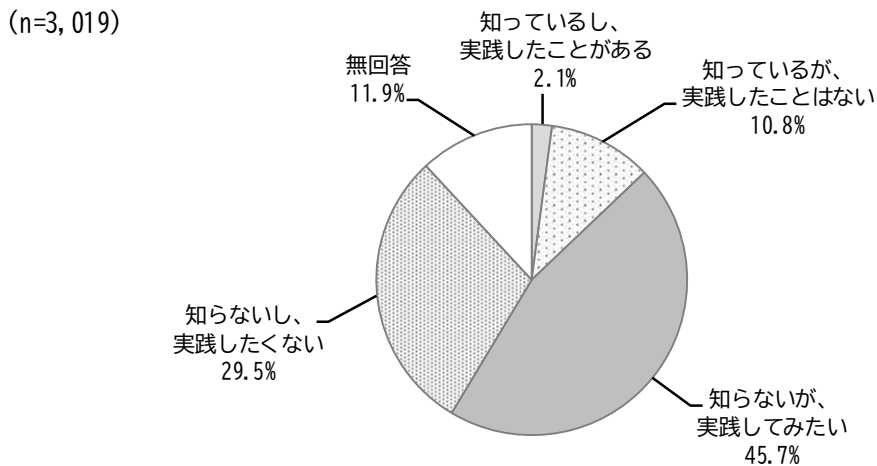
「時間がたって状況が変化したこと」が 37.9%と最も多く、次いで「自分の努力で乗り越えたこと」が 32.6%、「病院に行って相談したこと」が 30.5%となっている。



14. 人生の最終段階における医療と介護及び在宅医療について

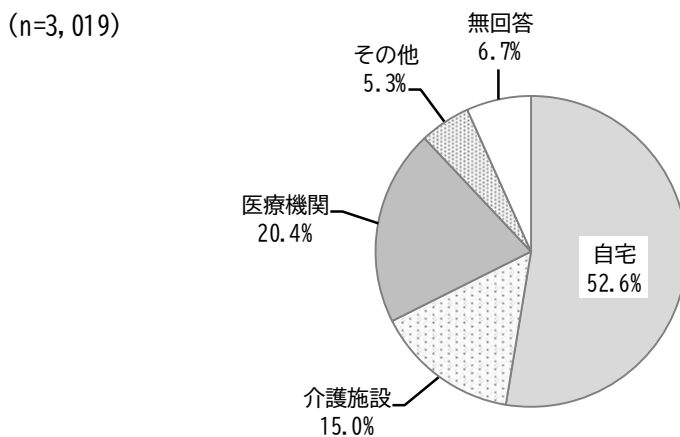
問112 人生会議（※アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）を知っていますか。（○は1つ）
 ※最期まで自分らしく暮らすために医療や介護をどのように受けたいか、ご家族や医療・介護の
 担当者とあらかじめ話し合い、共有する取組を指します。

「知らないが、実践してみたい」が45.7%と最も多く、次いで「知らないし、実践したくない」が29.5%、「知っているが、実践したことはない」が10.8%となっている。



問113 人生の終末期をどこで過ごしたいですか。（○は1つ）

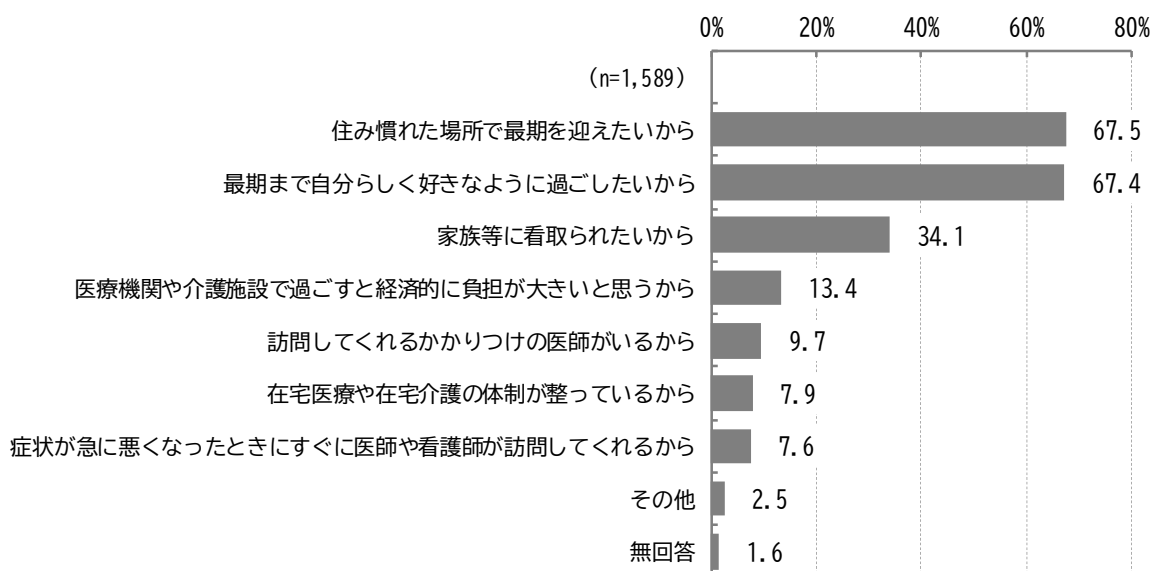
「自宅」が52.6%と最も多く、次いで「医療機関」が20.4%、「介護施設」が15.0%となっている。



※問 114 は、問 113 で「自宅」を選択した人のみ回答

問114 なぜ、自宅を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

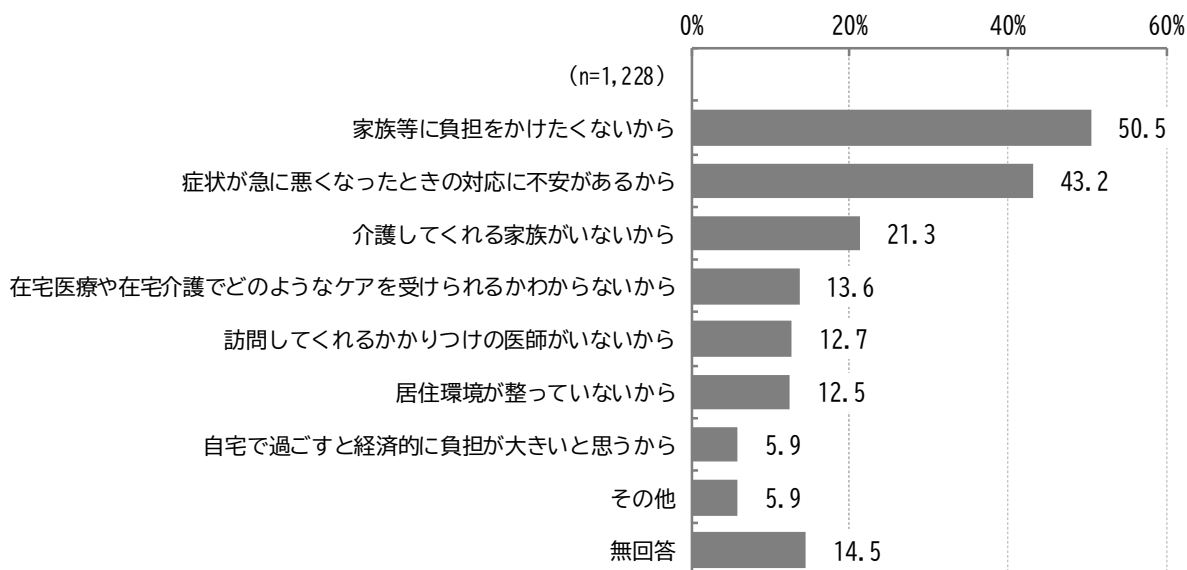
「住み慣れた場所で最期を迎えたいから」が 67.5%と最も多く、次いで「最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから」が 67.4%、「家族等に看取られたいから」が 34.1%となっている。



※問 115 は、問 113 で選択肢「2. 介護施設」～「4. その他」のいずれかを選択した人のみ回答

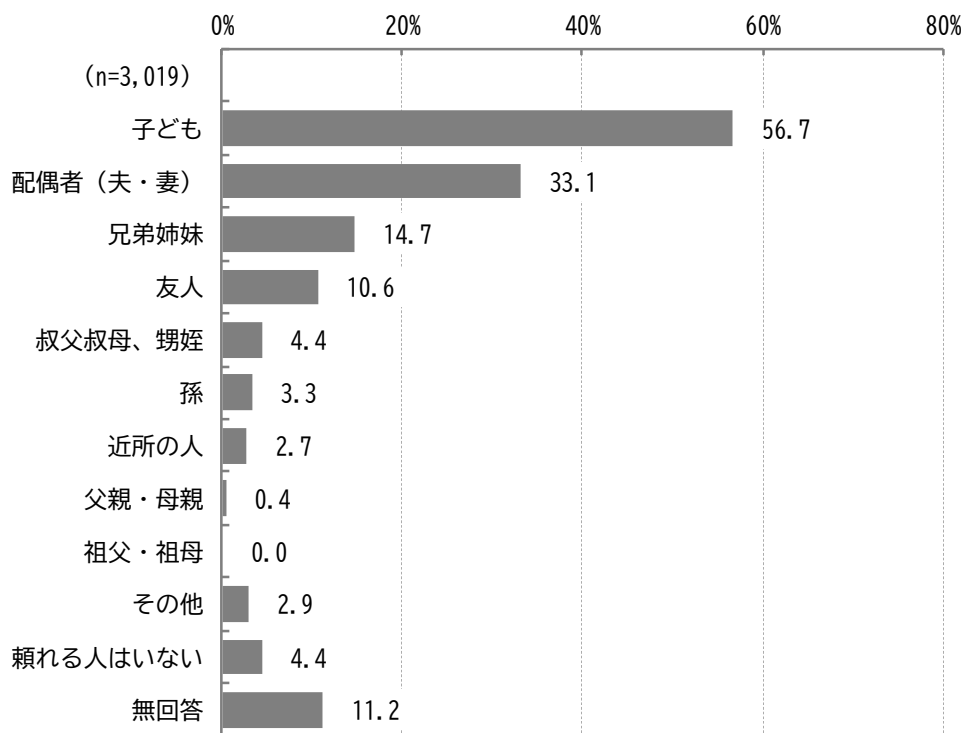
問115 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

「家族等に負担をかけたくないから」が 50.5%と最も多く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に不安があるから」が 43.2%、「介護してくれる家族がないから」が 21.3%となっている。



問116 万が一、何かあった時（緊急入院など）に頼れる人は誰ですか。（○はいくつでも）

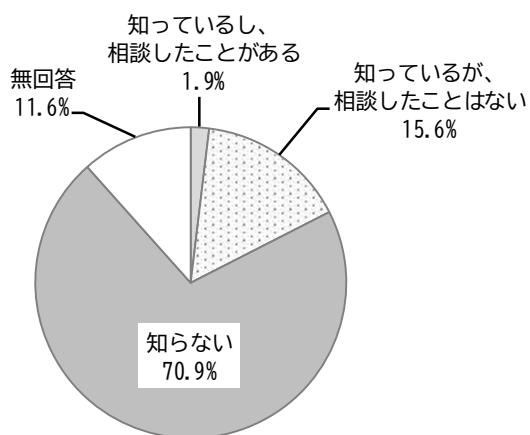
「子ども」が56.7%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が33.1%、「兄弟姉妹」が14.7%となっている。



問117 港区在宅療養相談センターを知っていますか。（○は1つ）

「知らない」が70.9%と最も多く、次いで「知っているが、相談したことはない」が15.6%、「知っているし、相談したことがある」が1.9%となっている。

(n=3,019)



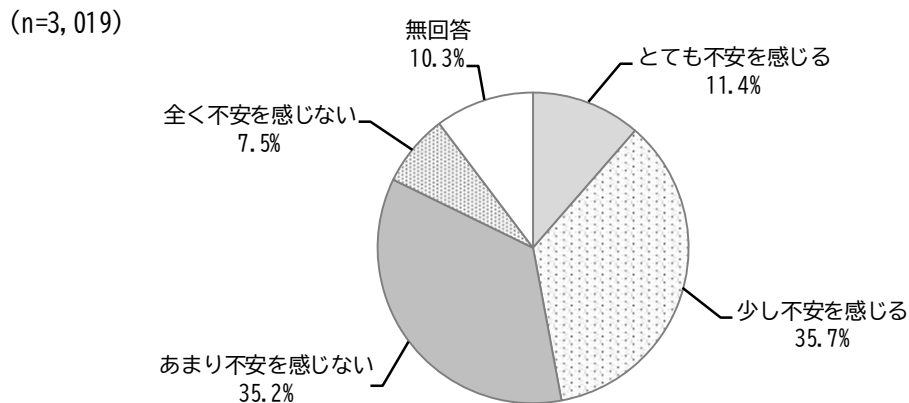
15. 終活について

問118 終活について不安を感じることがありますか。(○は1つ)

※終活とは

自身の意思に沿った将来の生活と終末期に備えられるよう準備する活動のことです。

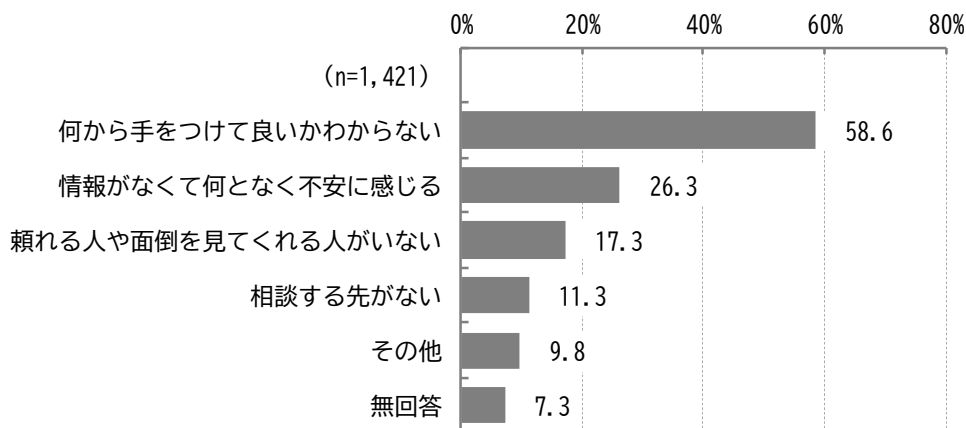
「少し不安を感じる」が35.7%と最も多く、次いで「あまり不安を感じない」が35.2%、「とても不安を感じる」が11.4%となっている。



※問119は、問118で選択肢「1.とても不安を感じる」又は「2.少し不安を感じる」を選択した人のみ回答

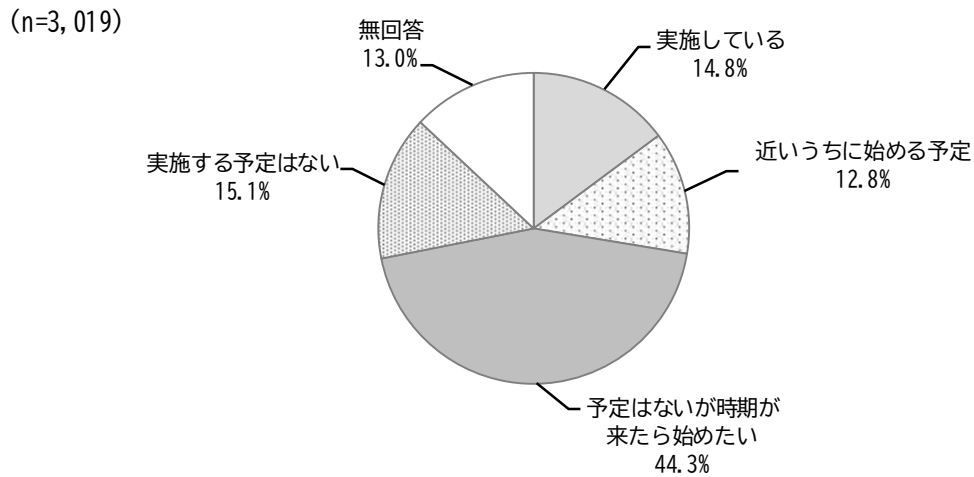
問119 なぜ不安に感じますか。(○はいくつでも)

「何から手をつけて良いかわからない」が58.6%と最も多く、次いで「情報がなくて何となく不安を感じる」が26.3%、「頼れる人や面倒を見てくれる人がいない」が17.3%となっている。



問120 終活を実施していますか。(○は1つ)

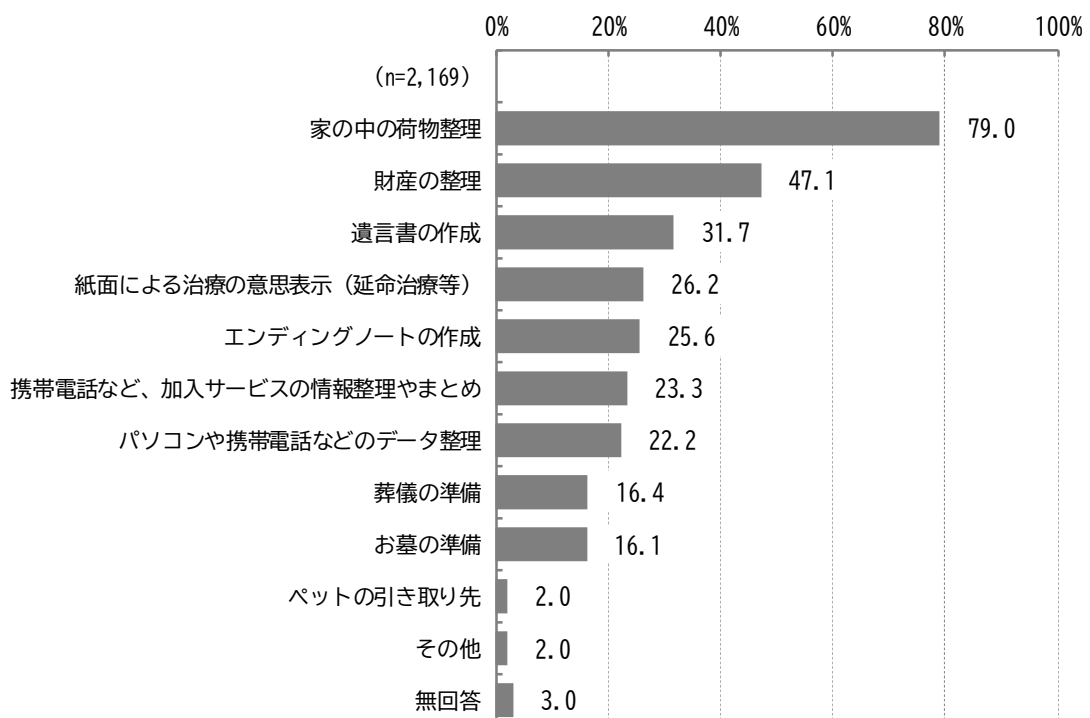
「予定はないが時期が来たら始めたい」が44.3%と最も多く、次いで「実施する予定はない」が15.1%、「実施している」が14.8%となっている。



※問121は、問120で選択肢「1.実施している」～「3.予定はないが時期が来たら始めたい」のいずれかを選択した人のみ回答

問121 実施していること、今後実施する予定があること、興味があることを教えてください。(○はいくつでも)

「家の中の荷物整理」が79.0%と最も多く、次いで「財産の整理」が47.1%、「遺言書の作成」が31.7%となっている。



問122 令和7年10月から港区エンディングプラン登録事業（※）を実施します。

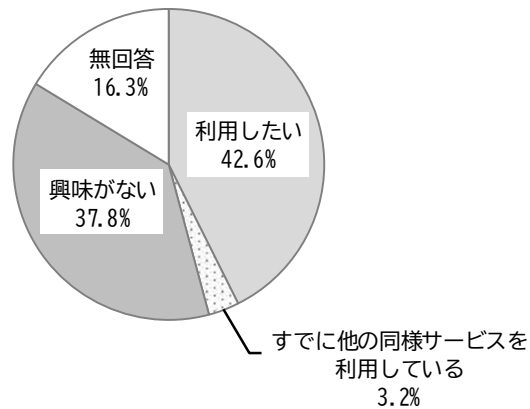
このサービスを利用したいと思いますか？（○は1つ）

※港区エンディングプラン登録事業とは

事前に緊急連絡先や生前契約等の終活情報を登録し、病気や事故等で意思表示ができなくなった時又は亡くなった時に、指定した開示先（警察、消防、医療機関、親族など）からの照会に基づき登録者の情報を開示するサービスです。

「利用したい」が42.6%と最も多く、次いで「興味がない」が37.8%、「すでに他の同様サービスを利用している」が3.2%となっている。

(n=3,019)



16. 保健福祉サービスに対するご意見・ご要望等について

問123 港区の保健福祉サービスに対するご意見・ご要望や、今後充実して欲しいサービス、普段の生活で困っていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。
 ※介護を行っているご家族の方のご意見も、あわせてお書きください。

以下のとおり意見がありました。

分類		件数
1	サービスの満足・感謝に関する意見	132
2	保健・医療・福祉サービスに関する意見・要望	98
3	サービスの内容に関する意見・要望	66
4	情報提供の充実等への意見・要望	78
5	将来への不安に関する意見・要望	203
6	費用負担や保険料負担に関する意見・要望	22
7	サービスを提供する人に関する意見・要望	13
8	その他	47

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。
 なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

〔1 サービスの満足・感謝に関する意見〕

- 以前母の介護でお世話になった港区の保健福祉サービスの手厚さに助けられました。今は元気で暮らしていますが港区に住んでいる安心感が強くあります。
- 港区は独自のサービスがあり大変助かっています。
- 今自分は杖がなくては歩けないので、自分だけが頼りなので毎日大変ですが頑張っています。介護 1 なので色々サービスを使っていますがとても助かっています。港区に住んで良かったと思っています。
- 港区の保健福祉サービスは他区のサービスよりも充実している認識しており、感謝はしています。
- 港区の色々なサービスを利用させていただきましたが、現在 93 歳、妻 94 歳（デイサービス）2 人共元気で暮らしております。多々お世話になりありがとうございました。
- 今まで何も考えてこなかったが、そろそろ考える時期に来たので、区からの書類に真剣に目を通すことにしました。どうもありがとうございました。
- お陰様で今のところ元気。週三回以上は人と接する時間を送っていますので感謝しています。明日のことはわからぬ年齢に来ていますが、あまり不安を感じず日々を送っております。感謝致しております。

- スムーズに事業所やケアマネさんも決まり、まだ1ヶ月だが良くしていただいている。負担額が少ないのにありがたい。
- 港区の介護サービスは質が高いと思います。区内の特養にデイサービスやショートステイでお世話になっていますが、とても介護の質が高く感謝しています。父母は足が悪く公的な手続き等で出張所に出向けないので、マイナンバーの更新など家族が行う場合の案内があればいいなと思いました。
- 高齢の母がさまざまな介護保険サービスの恩恵を受けながら、つつがなく生活できていることに心から感謝申し上げます。ただ介護する側も高齢に差し掛かり、介護者側が抱えている健康上の問題を十分に治療する時間的な余裕がないことに、先の人生を思い不安に感じます。

〔2 保健・医療・福祉サービスに関する意見・要望〕

- 港区はすべてにおいて充実していると思うが、昨今どのような終りを迎えるかわからないので、もう少し高齢者にもプライベートな事（距離を保ち接してほしい。）、そして港区の保健所や医師会などが中心になり、より良い健康に過ごせる指導や講演を増やし聴講できる機会を増やしてほしい。又、保健所などにも個別に相談できる事を願っています。
- 父の介護の際に保健福祉サービスで対応の悪さと心無い対応を体感しているので諦めている。どんなに父が港区に税金を納めても心ない対応をされるとサービスに対し全く期待できない。結果自分達で父の最期の場所を探しました。サービスという言葉に意味がないので使わない方が良いと思います。
- 特に歩行が困難なので、バリアフリー対策強化、リハビリ施設と理学療法士さんの充実。諸々の案内や提出物などデジタル化も良いが苦手らしくアナログ（郵送、FAX）も続けて欲しい。
- 港区の保健福祉関連の事業は充実している方だと思います。基本的に健康長寿を実現するには、バランスの良い栄養、適度な運動、質の良い睡眠、ストレスをためない、これを実践することだと考えています。行政のサポートも大事ですが、個人の日々の努力の積み重ねではないでしょうか。
- 横浜市中区に住んでいる友人が次のような品を持っており、港区でも作ってくださると良いのではないかと考えています。3~4 cm四方のビニールに入ったカードで表に電話番号、裏に4桁数字財布とか外出時に身につけて出られる。外出先で倒れた時電話番号にかけて裏の番号を伝えたと本人の家族等に連絡できる。かかりつけの医療へも連絡。番号は前もって区の調査用紙で申し込んでおく。
- 1. 老人ホームを充実して欲しい。最期まで家族にお世話になってと思うが、職業を持っており、限界があるのでとはと…。2. 同居でも受けられる看護サービス、医療提供を充実して欲しい。3. 港区では福祉サービスが充実しているので、お世話になり感謝しております。
- 死亡後の手続き等一括相談に応じて頂ける窓口があれば大変安心です。
- 丁度、夏頃に膝に水がたまり歩けなくなりタクシーでどうにか病院に通いその繰り返しで今日にいたり、秋に多分手術をする事になり、病院やふれあい相談室の方が来てくださったので色々相談したいと思います。
- 港区福祉がとても充実していると思います。しかし昔ながらの町会に頼った老人会などは盛んな所とそうでない所の差があります。改善をお願いします。

- 両親の自宅介護を10年以上にわたり行ってきたので、体重も10kg以上減少し、腫眼障害もありました。それで自分の体を治すため、1人作業の公園清掃をはじめて3年。ようやく体重も増えて、ケガと事故にだけは注意をして、今日に至りました。2度の癌ものりこえました。現在はうそのように元気になりました。無理はしないようにしています。
- 特養の枠を増やして欲しい。家族が調べて確認できたサービスがある。ケアマネさん（アドバイスはなかった、知らなかった？）も把握するように情報伝達があると良い（要介護3に上がった際の理容サービス、布団乾燥）。金銭管理。障害者控除を入れると負担割合が変わる。家族が確定申告するが外部の支援がないと気づけない人もいるのでは？
- 今より労働条件の悪い中で、仕事をして貧弱な福祉の中での子供を育て常に自己責任の中で必要以上に行政に期待する事なく生活してきました。区役所で連絡しても素っ気なく、常にそのような対応しているものと思われます。区役所で区民の声を聞くアンケートを税金を使い実行している事自体、区役所の能力の低さを感じます。日々の区役所の業務の中で、要望は多々あると思います。当然把握はしている事と思います。自治体と子供には迷惑をかけないと日々生活しております。それでも困りましたら、区役所の福祉の窓口へ行くつもりです。福祉の窓口の冷たさを言ってる人は多々います。
- 港区のガン無料検診は入所中の障害者に対しては難しい。家族の負担（老・老）で複数で対処。視覚障害、圧迫骨折手術も3回、歩行困難もあり施設内では車いす移動。どこか一カ所で検診できたらと思っています。透析もあるので。
- 一度、相談窓口に行ったことがあるが（妻の病気で）、規約が多くて思い通りにならなかった。要望が通じない事が多くて説明不足を感じた。
- タクシーの予約、民間のGO等迎車料金が高いし、スマホアプリの使い方が分からない。補助金が有れば利用しやすい。福祉タクシーは事前の予約がなかなか取れない。今日、今、病院に行きたい時にタクシーが捕まらない事の対応をお願いしたい。

〔3 サービスの内容に関する意見・要望〕

- いきいきプラザ等はお年寄りばかりでなく孫や動物も一緒に行ける様な場所であるともっと楽しいかと思えます。一緒に生活の場になっていればもっと利用者が増えると思えますが…！
- 生活における食事、買い物、ゴミ捨て etc.の事項をヘルプに手軽に頼めるとうれしい。マンションを借りている場合、連帯保証人に区がなれたら安心する。
- 見守りをかねてお弁当の配給などしたら良いのではないか。
- 母は施設に入所中施設がもっとオープンなら良いと思う。他の施設と比較出来ないもので、これが普通なのか、と疑問に思うこともある。週に1時間ほどの面会では、中身が分からない。
- デイサービスやデイケアに苦情を言いたいときは、今のところケアマネや介護事業所に伝えていますが、できたら港区で総合苦情窓口を作って欲しいです。現在は、とても言いづらく、断念することが多い為。また言っても、結局改善されていないときがあり、港区から注意していただきたい。例えば、送迎の際にシートベルトをつけてくれないデイケアがある。4回言って、やっとつけてくれるようになった。解決までに時間がかかった。運動しているすぐ後方に休憩用のテーブルを置いているデイケアがある。バランスをくずしたりすれば、頭部がテーブルにあたる危険性がある。いまだ改善されていない。

- 今思っている事はケアマネジャーさんによってサービスが異なる事。デイサービスに行って思った事は、自分より症状が良い人でも介護の段階が高い事。
- このシステムはどこまでもたて割りで、1つの窓口で何も解決しないケースが多くあり、区民に利用しづらい。もっと区民に利用性の高いシステムに変えるべき。この職員も多いわりにはまともな仕事をしている人が少ない。
- 5年前に食道がんの手術をしました。体力が落ちたこともあり、重いものを持ちたりすることがしんどくなって、手術前のように、布団を干すことができなくなりました。現在介護認定を受けなくても生活はできていますので、布団洗いや乾燥などのサービスは受けられない状況です。介護認定を受けていない高齢者も、年に1回でもいいので、布団洗いとか布団乾燥のサービスが利用できるようになると、大変ありがたいのですが、ご検討いただけないでしょうか。よろしくお願いたします。

〔4 情報提供の充実等への意見・要望〕

- 相談したい問題がある。どこが担当か沢山窓口がありすぎてわからない。困っている。75才、介護問題。
- サービスの場所がわかる地図があればと思います。東京に慣れてなく、地名を覚えることにも繋がるし脳にも良いのでは。シルバーパスがありますがバスで役所等に行くのが結構大変だと感じています。バス停変更は無理ですね。
- 保健福祉サービスについて、安心出来る様PR活動の充実。
- 関連する区のサービスが多すぎてよくわからないので、全ての問題を受ける1次相談窓口があるとよいと思います。
- 知らない事がたくさんあった。いざという時、利用できるサービスがどんなものか知りたいのでone stopのパンフレットがあったら良い。
- 情報通信機の利活用について(p19)発火の可能性があるガジェット類で行政や銀行などの手続きをししないとサービスも情報も得られず不便を感じます。さらにガジェットのトラブル時、契約している通信業者のショップが近くにないので不安な生活になりました。そうした場合、気軽に相談できるスポットが近くにあればと思ってます。
- 情報源がないので、郵便での提供をして頂きたい。年齢的にこの調査自体難しい。最近、港区役所と称するいたずら電話がかかってくる。出た時すぐにはいたずらと判明しづらい。
- 港区はサービスが充実していると感じてますが、利用方法を把握してません。今後、ZOOMなどを使って、相談できると良いと思います
- 現行、ケアマネの裁量で全てが進む体制。他の介護事業所等の情報発信等が必要。民間事業所の選定し伝えるのは難しいと思いますが、介護者側にはかなり重要な要素です。的確にアドバイスを頂くことができると安心感が増します。

〔5 将来への不安に関する意見・要望〕

- アンケートを通じて、未知の機関が多いことに驚きました。5年前からお世話になっている施設が災害時の避難場所であり、介護施設の家族に友人がいることもあって、安心して暮らしているため、かえって無知になってるかもしれないと気づきました。

- 人生先はわかりません。決めておける事も出来ない。長い人生で82年前の日本の有り様、満身に食べられず、布団もなく、なんとこんなに紙を使える贅沢になった事か、皆なんとか自分でしてきた。日本人が東北の地震、コロナの後全く違う日本人・日本に変わっている。
- マンションが築50年たって古く、家の傷んだところを直さなければならず大変です。工事もするのはもう無理かなと悩んでいます。施設に入った方が良いと思うけれど港区は高くして無理だと思います。港区を離れるのは残念です。やはり港区に今後住み続けるのは無理なのでしょうか。諦めなくてはいけないと思うと気分は落ち込みます。身元保証死後の手続きなども心配です。相続人もいないので何とかしなくてはなりません。施設に入るのはどうなるのか？入院は？と心配になります。
- まだ要支援レベルの夫だが、私自身の体が衰えてきていて、全ての家事を1人でやっているので、大変しんどい。ヘルプが欲しい。2.私に何かあった時、夫の預け先がない。(有料でも良いので、直ぐに預けられる所が欲しい。)
- 高齢の妻以外、面倒をみてくれる人がいない。今はまだ妻が元気だから良いが、2人共後期高齢者で老々介護なので妻に先立たれる様な事があれば即、生活に支障が出るので心配。薄氷の上で生活をしている様なもの。
- 保健福祉サービスの現状をよく知って今後に備え安心して生活できるようにしていきたいと感じました。
- 困ったことがおきたら芝地区地域包括支援センターに相談すれば良いと漠然と考えていますが、今のところそれほどではないと思っています。
- いきいきプラザやラクっちゃなど、港区の充実した高齢者対策には感謝しています。今のところ夫婦そろって健康ですが、認知症についてはきっと自覚症状がないと思うので、大変不安です。港区で認知症の診断など実施してもらえればありがたいと思います。
- 現在までは何とか現実の問題として、考える機会がなかった。
- 高齢になり望んでも体がついていかなくなります。誰もが抱えている当たり前の不安だと思いきや我慢しています。このような心のうちを気軽に聞いてくれる機会があれば少しは楽になるのかな。
- 私は頼れる人がいないので、今後病気で入院する際保証人がいません。とても不安です。このような場合どうすればよいのでしょうか。
- 20年ほど前に「うつ」になって以来、気力と体力が回復しません。(加齢もあると思いますが)メンタルに不安定な事があり、時々つらくなります。予定通りの行動が出来なくなりますので。働いてみようかとかボランティアに興味がない訳じゃないですけどまわりに迷惑かけてしまうのではないかと結局踏み出せませんでした。以前、区民健診のあと個人面談で気力を上げたいと相談した事がありましたが対応できないと言われました。体重減のための運動等わかりきった事しか話してくれません。食事は気を付けているので生活習慣から来る薬は服用していません。
- 介護を行っている妻です。本人が軽い認知症気味で定期的に病院に通う機会が増えてきました。私自身も難病を抱えており、この先病状が進行した時の不安で一日一日過ごす現状です。サポートをどのように受けたらよいか手続きや窓口が分かりづらいつ感じています。

- 年齢的には高齢者と判を押されていますが、私達夫婦には老人という実感が薄いのですが、いざ介護は必要になったら…先のことが不安です。年金の中で生活が出来る高齢者住宅の用意を切に願います。
- 生活にゆとりのある方も、余裕のない方も差別のない介護を行ってもらえる社会が望ましいが現状ではとても無理である。大なり小なり国造りに貢献した人々が最後は安心して暮らしていける社会であってほしいと願う。充実してほしいサービスは色々あるがまず人を育ててほしい。充実した教育をして人育てをして人材教育をしてほしい。そこから不足した部分を補ってくれる知恵が生まれ、少しでも心豊かな人間が作る暖かな社会が生まれれば良いと願っている。権力を持った者が周りの人達を困らせることのない様になってほしい。みんなで幸せになってほしい！
- 介護している者の意見です。認知症のため、家族は色々と文字にして置いておいても全く読まず、勝手な行動を止める事が出来ない時に大変疲れてしまいます。介護している者も高齢者で、自分の家族、子供の家族の世話もしているので、手頃な施設があればいいと思う事が多くなってきましたが、施設の使用料金が高いので、やはり自宅で世話をするしかないのか…と思うと心が落ち込みます。介護内容の良い手頃な施設が増える事を願います。

〔6 費用負担や保険料負担に関する意見・要望〕

- 保険の利用割合が高いのでデイサービス、ショートステイ等利用をひかえています。保険料も高くとられているのに。
- タクシーを利用して通院しています。持病のため他に方法がありません。費用が問題となっています。今後さらに通院が増えたり、他の病院にも通院することが予想されるので心配です。自家用車はなく、80代の夫に付き添いをしてもらっています。
- 自分の老い方は自分の努力だけでは決められません。自宅で一人でも安心して最期を迎えられるのは理想ですが、介護保険だけでは不足です。介護保険で賄えない部分は現在、私的なサービス会社に依頼しますがそれは高額。その一部でも区で援助する制度があると助かるのでは。それが無理なら施設に集めて面倒をみてもらう、地域ごとにその施設を増やし、入居しやすくするのも良い？
- 移動の基本はタクシーですが、補助サービスがなく困っています(経済的負担が大きい)。整形外科でのリハビリがずっと必要な状況ですが、自費負担となりこれも大変困っています。
- 健康保険が高いと感じています。家計の負担になっています。必要だし素晴らしい制度であることは重々理解していますが、個人の負担を減らす方策があると嬉しいと思います。

〔7 サービスを提供する人に関する意見・要望〕

- 介護の生活保護等の接触は難しいことが多いですが、担当するからには寄り添う質の向上をお願いしたい。単に仕事だからしているという姿をよくみるので。生活保護者の住居問題。

- やっちはくれるけど福祉士のレベルが一定でない。良い人もいればそうでない人もいる。いきいきプラザ等は高齢者からもお金を出させるべき。福祉サービスは無料ではない。その分を若い人が負担している。1回100円でも良いから取るべきだと思う。利用する人が限られている。もっと多くの人に来てくなるような形にして欲しい。例えば運河の周りを走っているランナーにお風呂があるので使わないか等、広報で出来るのでは？着替えのロッカーも有れば尚よし。もっと若い人を取り込んで下さい。
- 確かな技術、患者に寄り添った治療をして下さる良い訪問歯科医がいらして下さったらと切に願っています。

2 介護サービス事業所を対象とした調査の集計結果

1. 回答者について

※回答を省略する。

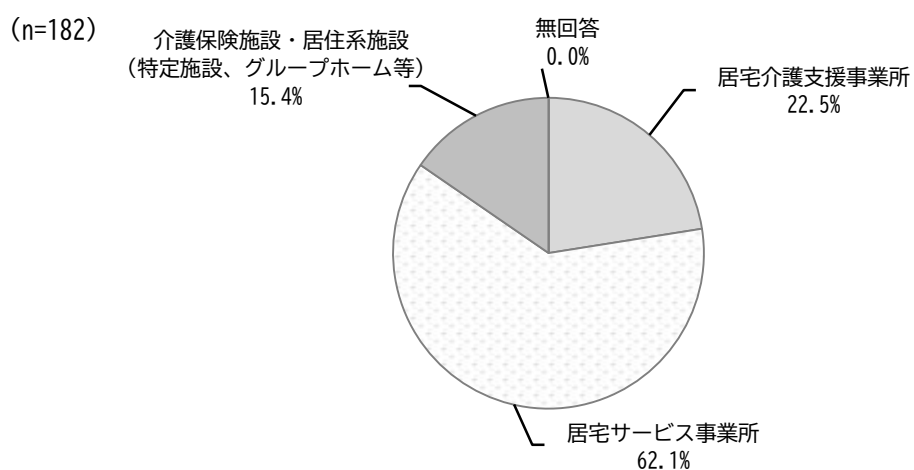
2. 貴事業所について

※以下の設問に対する回答は省略する。

- ・事業所名
- ・事業所所在地
- ・法人名
- ・法人所在地
- ・代表者名

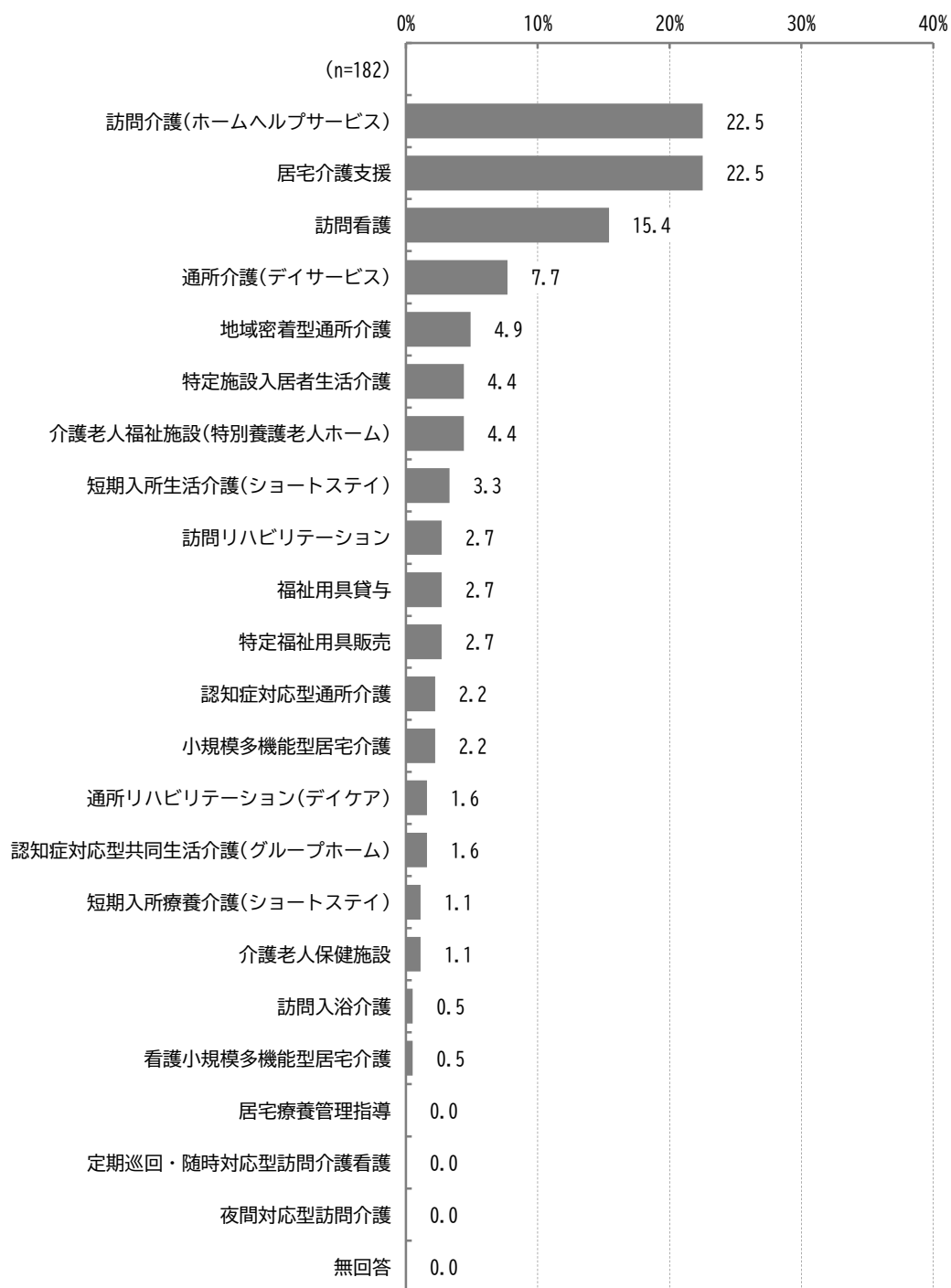
問3 サービス種別を教えてください。(〇は1つ)

「居宅介護支援事業所」が22.5%、「居宅サービス事業所」が62.1%、「介護保険施設・居住系施設(特定施設、グループホーム等)」が15.4%となっている。



問5 事業所で提供している介護サービス事業を教えてください。(〇はいくつでも)

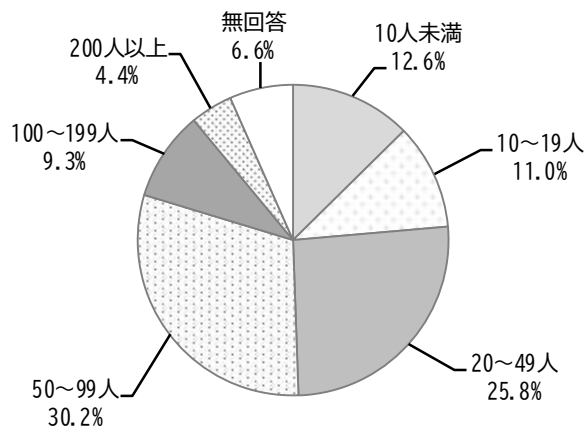
「訪問介護(ホームヘルプサービス)」と「居宅介護支援」が 22.5%と最も多く、次いで「訪問看護」が 15.4%となっている。



問6 令和7年8月1日現在の利用者数を教えてください。(数字を記入)

「50～99人」が30.2%と最も多く、次いで「20～49人」が25.8%、「10人未満」が12.6%となっている。

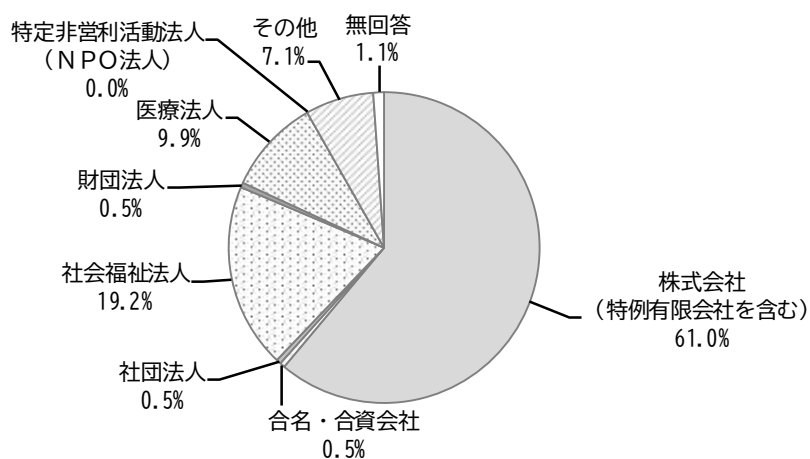
(n=182)



問7 貴事業所を運営する法人等の概要をご記入ください。

「株式会社(特例有限会社を含む)」が61.0%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が19.2%、「医療法人」が9.9%となっている。

(n=182)

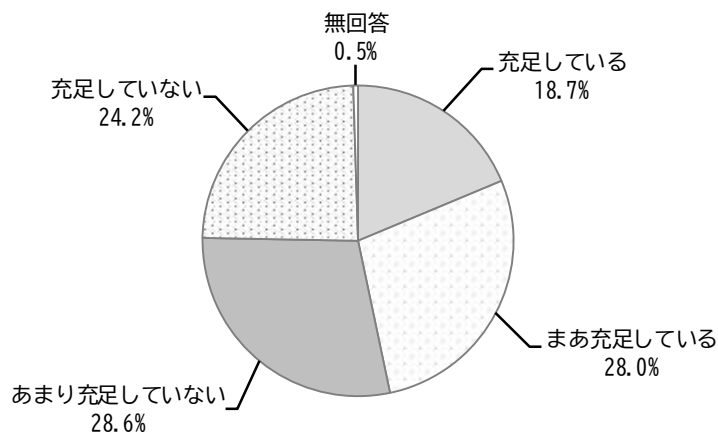


3. 組織・体制・人材について

問8 貴事業所における職員の充足度はいかがですか。(○は1つ)

「あまり充足していない」が28.6%と最も多く、次いで「まあ充足している」が28.0%、「充足していない」が24.2%となっている。

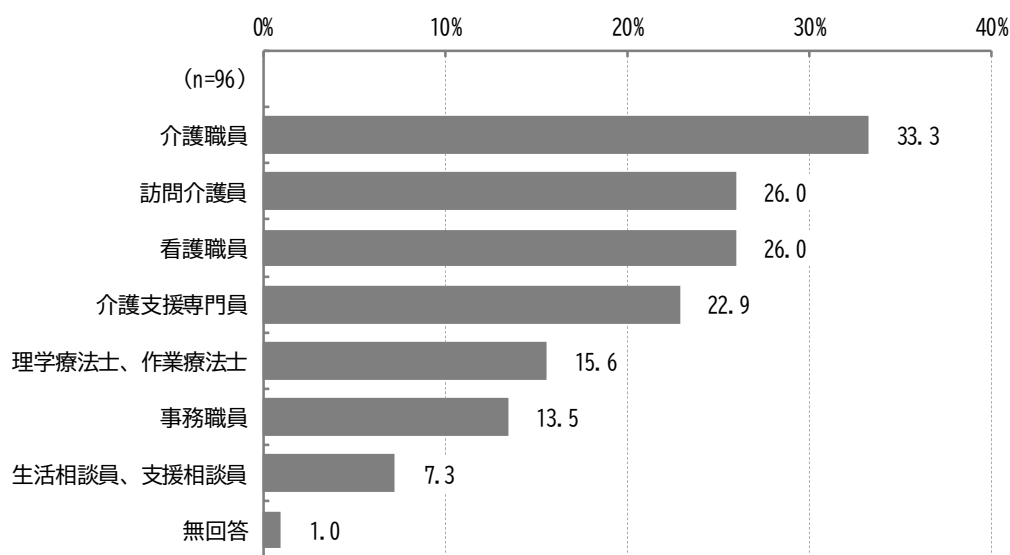
(n=182)



※問9は、問8で選択肢「3.あまり充足していない」又は「4.充足していない」を選択した事業所のみ回答

問9 不足している職種は何ですか。(○はいくつでも)

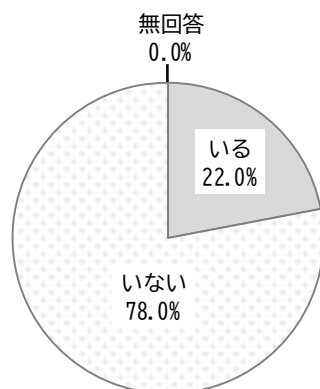
「介護職員」が33.3%と最も多く、次いで「訪問介護員」と「看護職員」が26.0%となっている。



問10 貴事業所には「訪問介護員」はいますか。(○は1つ)

「いる」が22.0%、「いない」が78.0%となっている。

(n=182)



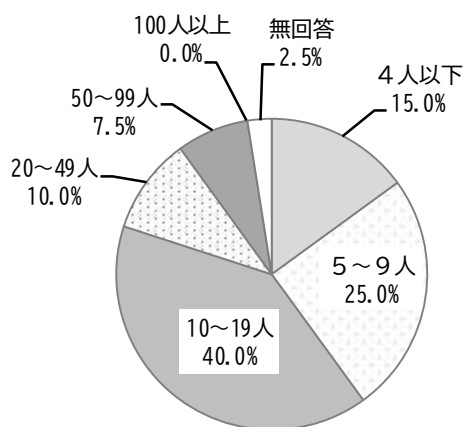
※問11～問13は、問10で「いる」を選択した事業所のみ回答

問11 訪問介護員について、人数をご記入ください。(数字を記入)

【全体の人数】

「10～19人」が40.0%と最も多く、次いで「5～9人」が25.0%、「4人以下」が15.0%となっている。

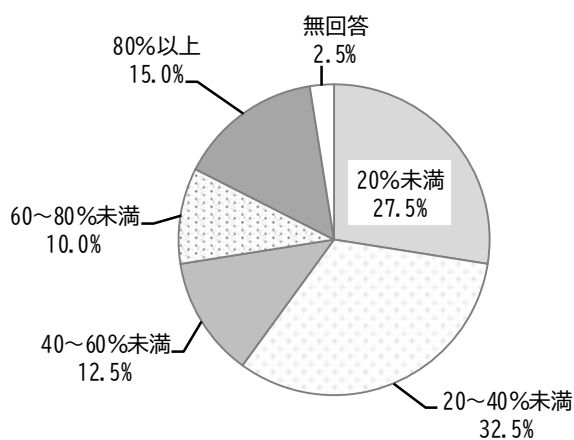
(n=40)



【訪問介護員の正規職員の割合】

「20～40%未満」が32.5%と最も多く、次いで「20%未満」が27.5%、「80%以上」が15.0%となっている。

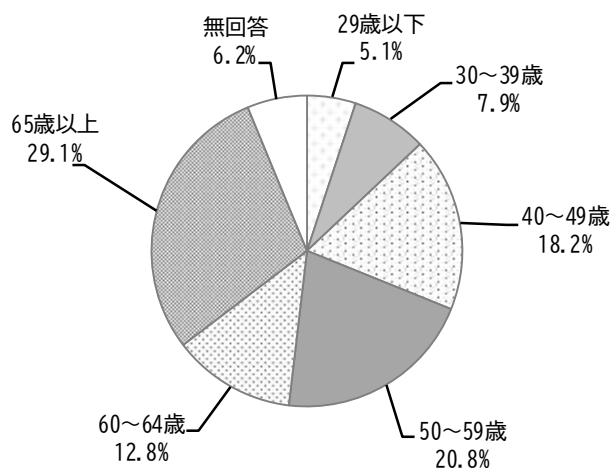
(n=40)



【訪問介護員職員の年代別割合】

「65歳以上」が29.1%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.8%、「40～49歳」が18.2%となっている。

(n=40)

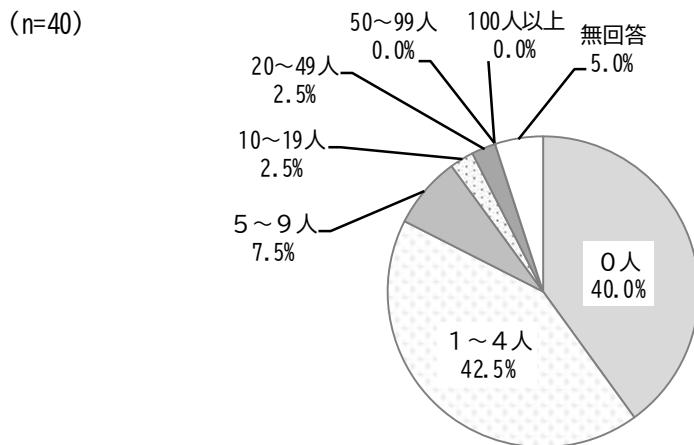


※各年代の割合は、回答のあった40事業所の訪問介護員（計611名）の合計から算出しています。

問12 過去1年間の訪問介護員の採用者について、人数をご記入ください。(数字を記入)

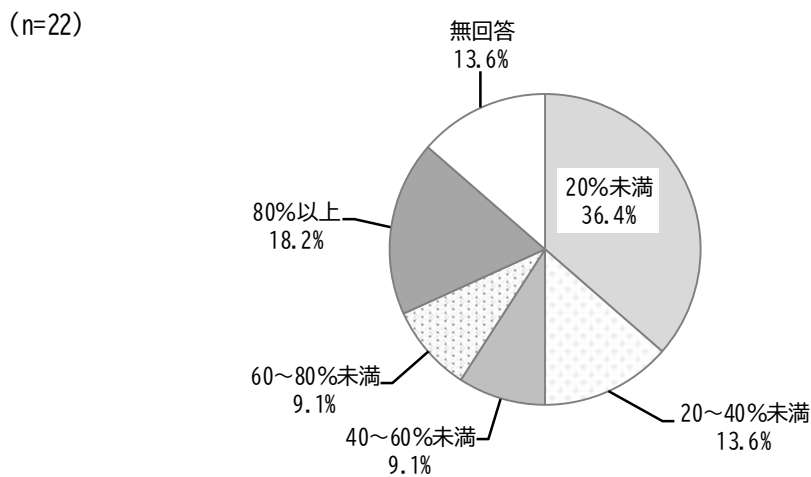
【過去1年間の採用者数】

「1～4人」が42.5%と最も多く、次いで「0人」が40.0%、「5～9人」が7.5%となっている。



【過去1年間の採用者の正規職員割合】

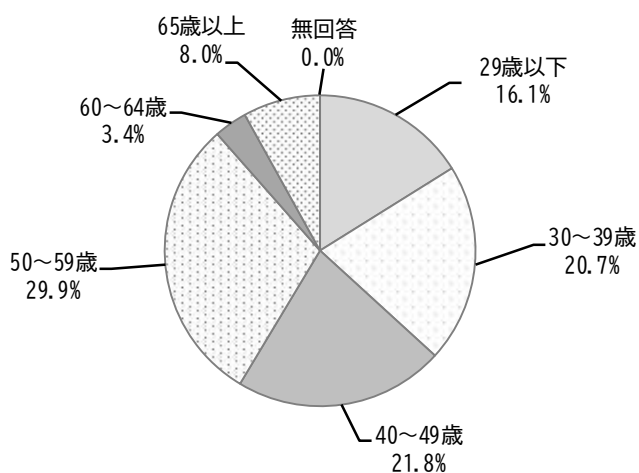
「20%未満」が36.4%と最も多く、次いで「80%以上」が18.2%、「20～40%未満」が13.6%となっている。



【過去1年間の採用者の年代別割合】

「50～59歳」が29.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が21.8%、「30～39歳」が20.7%となっている。

(n=22)

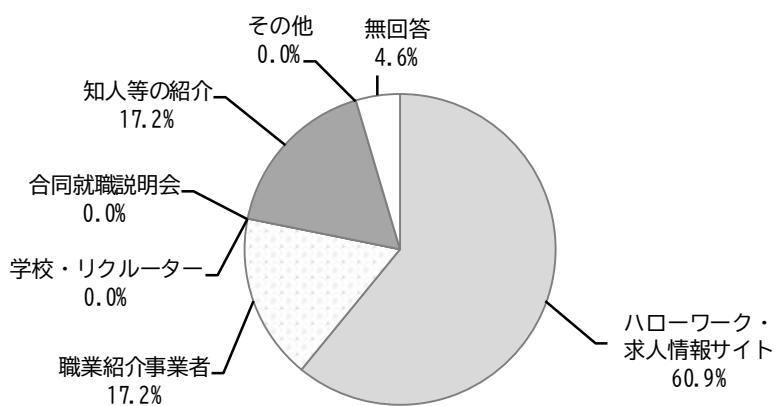


※各年代の割合は、回答のあった22事業所の訪問介護員の採用者（計87名）の合計から算出しています。

【過去1年間の採用者の採用方法割合】

「ハローワーク・求人情報サイト」が60.9%と最も多く、次いで「職業紹介事業者」と「知人等の紹介」が17.2%となっている。

(n=22)

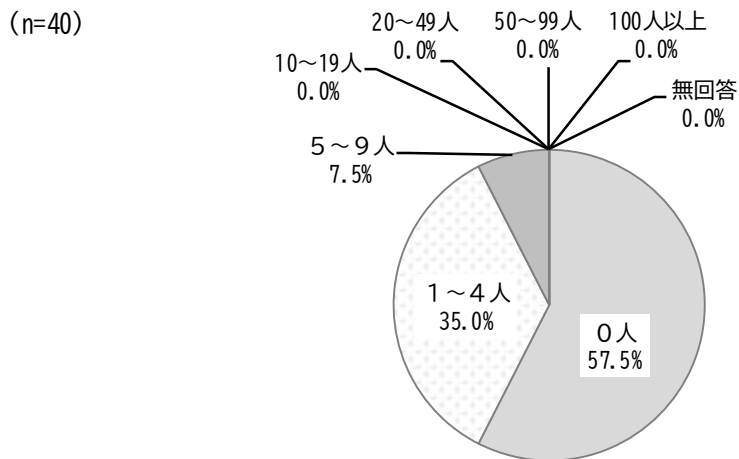


※各採用方法の割合は、回答のあった22事業所の採用者（計87名）の合計から算出しています。

問13 過去1年間の訪問介護員の離職者数について、人数をご記入ください。(数字を記入)

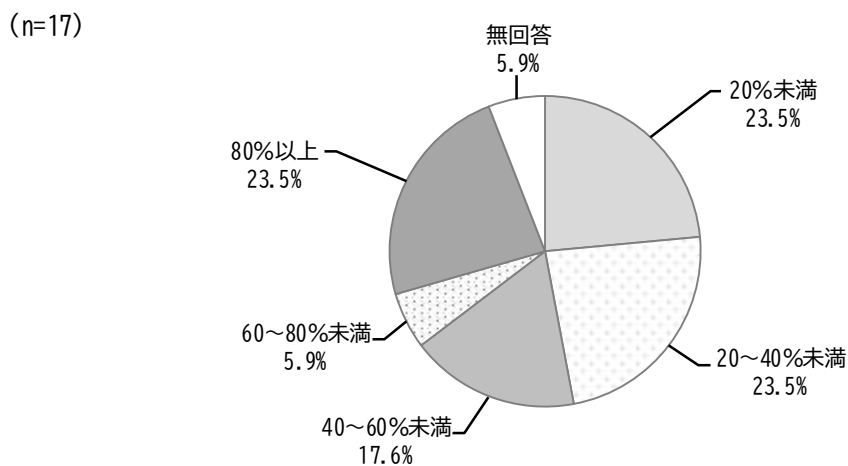
【過去1年間の離職者数】

「0人」が57.5%と最も多く、次いで「1～4人」が35.0%、「5～9人」が7.5%となっている。



【過去1年間の離職者の正規職員割合】

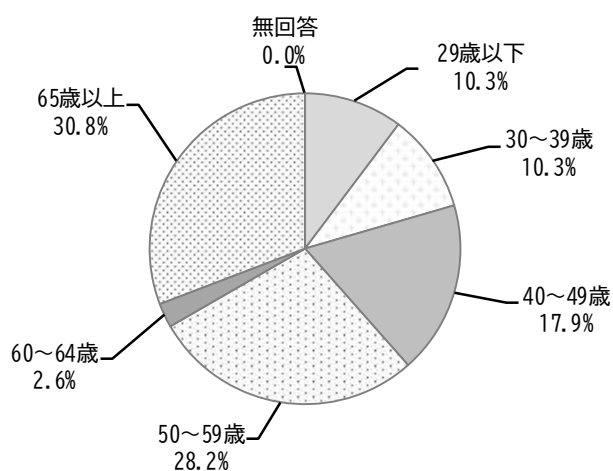
「20%未満」と「20～40%未満」、「80%以上」が23.5%となっている。



【過去1年間の離職者の年齢割合】

「65歳以上」が30.8%と最も多く、次いで「50～59歳」が28.2%、「40～49歳」が17.9%となっている。

(n=17)

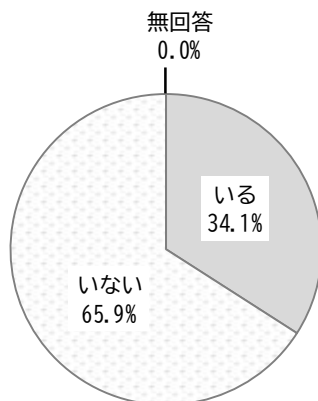


※各年代の割合は、回答のあった17事業所の訪問介護員の離職者（計39名）の合計から算出しています。

問14 貴事業所には「介護職員」がいますか。(○は1つ)

「いる」が34.1%、「いない」が65.9%となっている。

(n=182)



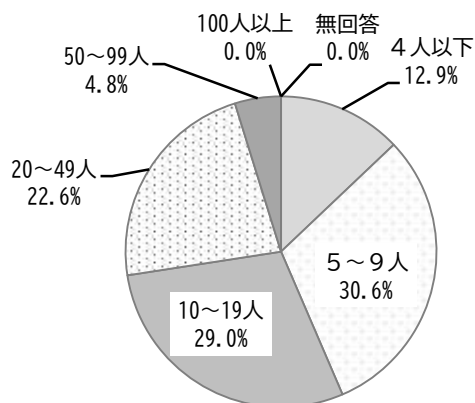
※問 15～問 17 は、問 14 で「いる」を選択した事業所のみ回答

問15 介護職員について、人数をご記入ください。(数字を記入)

【全体の人数】

「5～9人」が30.6%と最も多く、次いで「10～19人」が29.0%、「20～49人」が22.6%となっている。

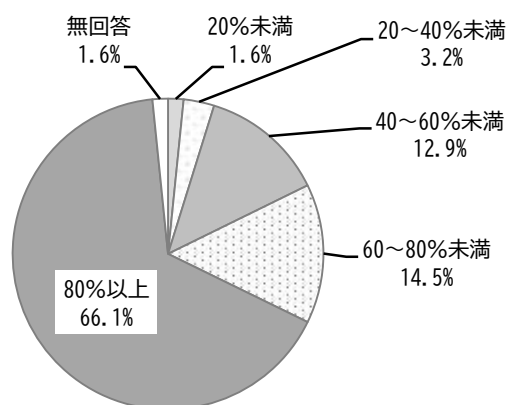
(n=62)



【介護職員の資格取得者割合】

「80%以上」が66.1%と最も多く、次いで「60～80%未満」が14.5%、「40～60%未満」が12.9%となっている。

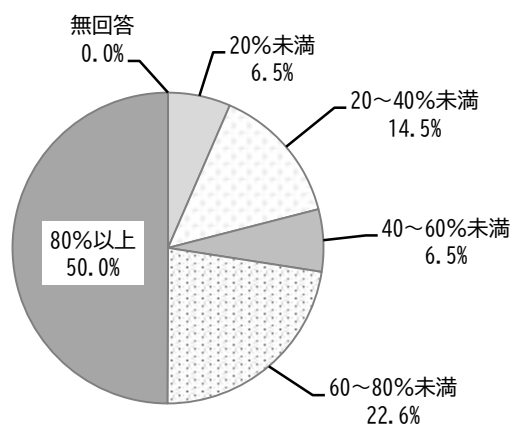
(n=62)



【介護職員の正規職員割合】

「80%以上」が50.0%と最も多く、次いで「60～80%未満」が22.6%、「20～40%未満」が14.5%となっている。

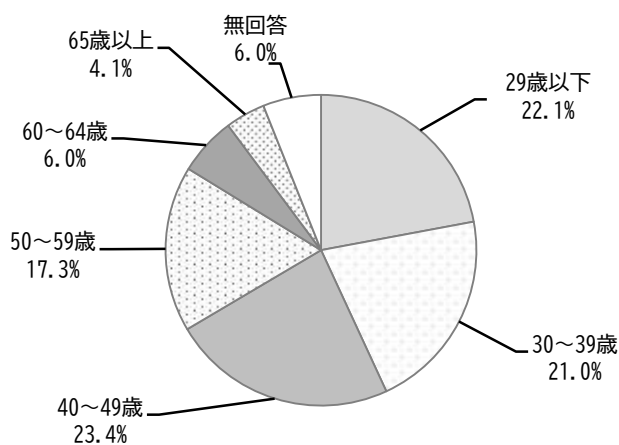
(n=62)



【介護職員の年代割合】

「40～49歳」が23.4%と最も多く、次いで「29歳以下」が22.1%、「30～39歳」が21.0%となっている。

(n=62)

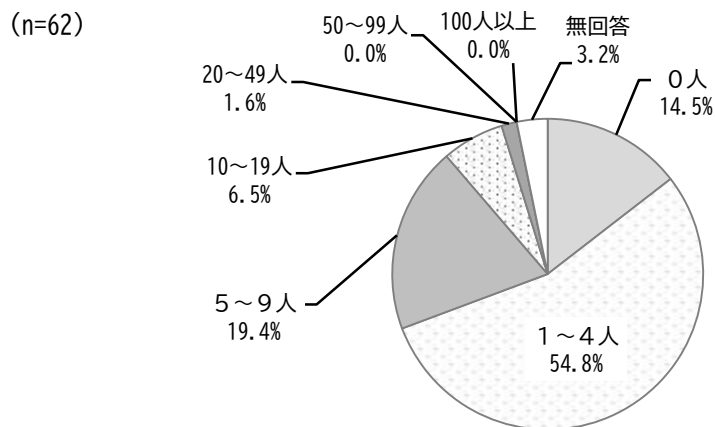


※各年代の割合は、回答のあった40事業所の介護職員（計1,042名）の合計から算出しています。

問16 過去1年間の介護職員の採用者について、人数をご記入ください。(数字を記入)

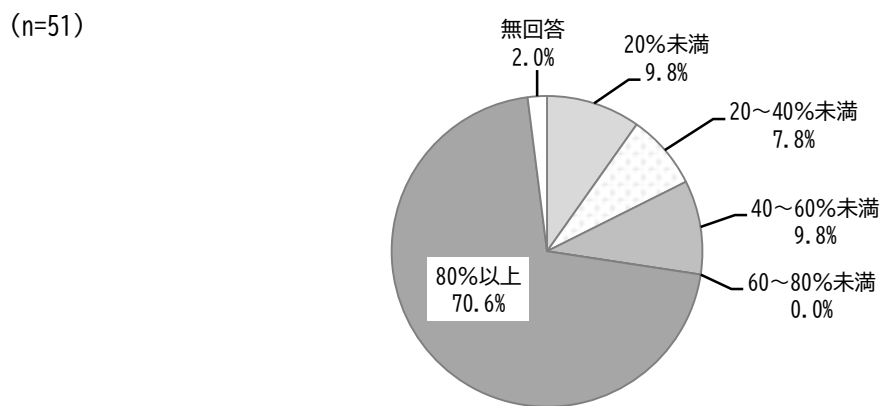
【過去1年間の採用者数】

「1～4人」が54.8%と最も多く、次いで「5～9人」が19.4%、「0人」が14.5%となっている。



【過去1年間の採用者の資格取得割合】

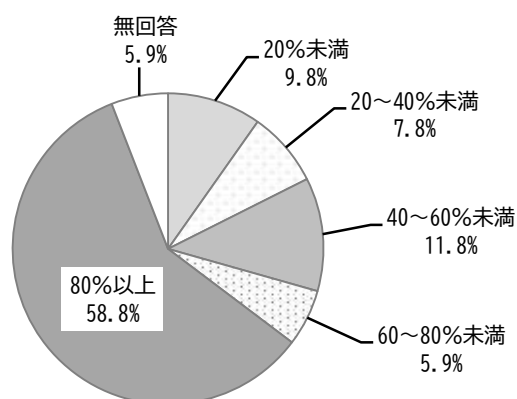
「80%以上」が70.6%と最も多く、次いで「20%未満」と「40～60%未満」が9.8%となっている。



【過去1年間の採用者の正規職員割合】

「80%以上」が58.8%と最も多く、次いで「40～60%未満」が11.8%、「20%未満」が9.8%となっている。

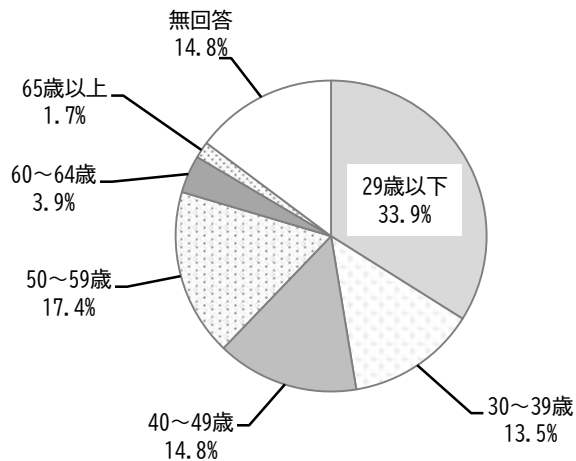
(n=51)



【過去1年間の採用者の年代別割合】

「29歳以下」が33.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が17.4%、「40～49歳」が14.8%となっている。

(n=51)

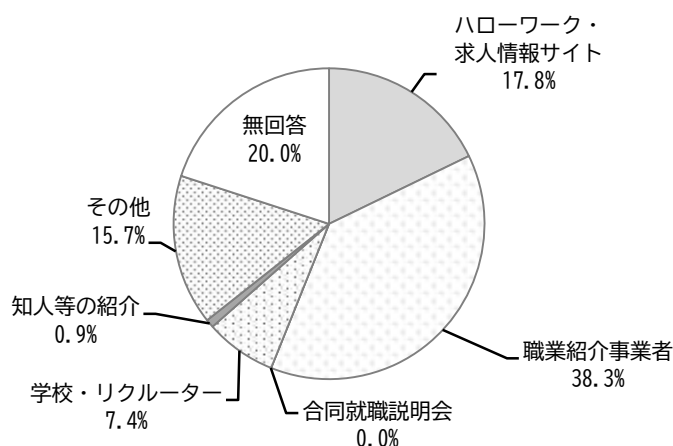


※各年代の割合は、回答のあった51事業所の介護職員の採用者（計230名）の合計から算出しています。

【過去1年間の採用者の採用方法割合】

「職業紹介事業者」が38.3%と最も多く、次いで「ハローワーク・求人情報サイト」が17.8%、「学校・リクルーター」が7.4%となっている。

(n=51)



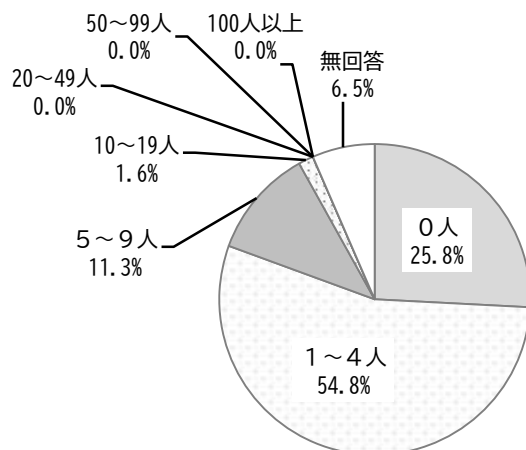
※各採用方法の割合は、回答のあった51事業所の採用者（計230名）の合計から算出しています。

問17 過去1年間の介護職員の離職者数について、人数をご記入ください。（数字を記入）

【過去1年間の離職者数】

「1～4人」が54.8%と最も多く、次いで「0人」が25.8%、「5～9人」が11.3%となっている。

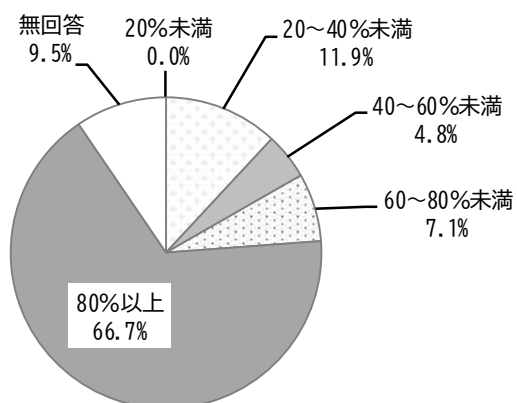
(n=62)



【過去1年間の離職者の資格取得者割合】

「80%以上」が66.7%と最も多く、次いで「20~40%未満」が11.9%、「60~80%未満」が7.1%となっている。

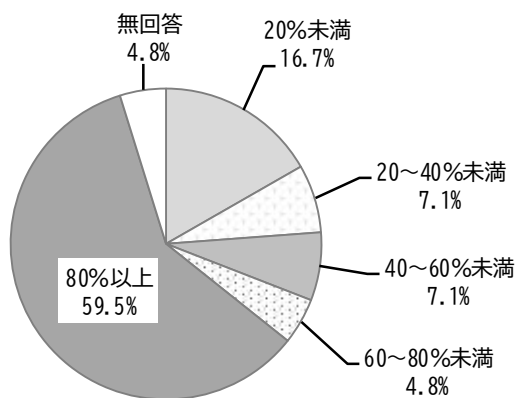
(n=42)



【過去1年間の離職者の正規職員割合】

「80%以上」が59.5%と最も多く、次いで「20%未満」が16.7%、「20~40%未満」と「40~60%未満」が7.1%となっている。

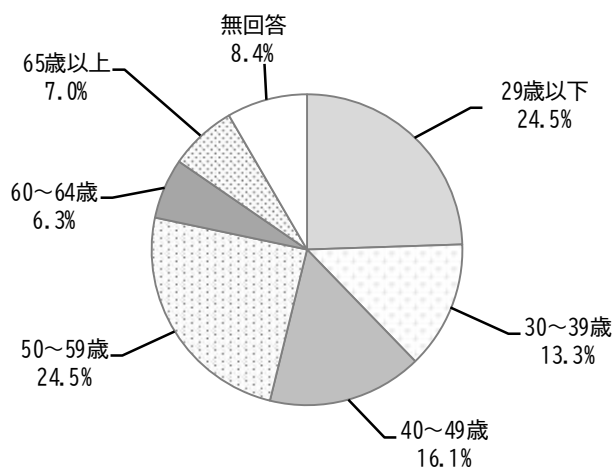
(n=42)



【過去1年間の離職者の年代割合】

「29歳以下」と「50～59歳」が24.5%と最も多く、次いで「40～49歳」が16.1%となっている。

(n=42)

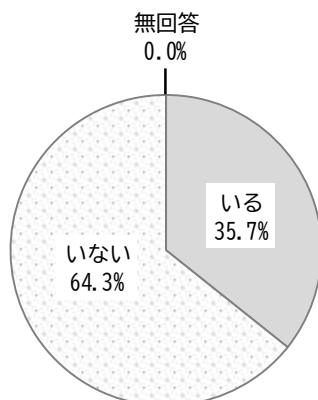


※各年代の割合は、回答のあった42事業所の介護職員の離職者（計143名）の合計から算出しています。

問18 貴事業所には「介護支援専門員」がいますか。(○は1つ)

「いる」が35.7%、「いない」が64.3%となっている。

(n=182)



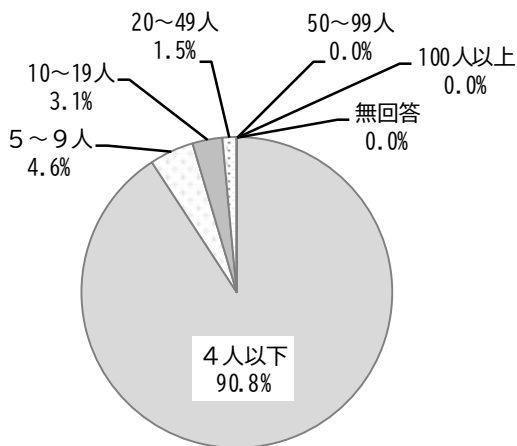
※問 19～問 21 は、問 18 で「いる」を選択した事業所のみ回答

問19 介護支援専門員について、人数をご記入ください。(数字を記入)

【全体の人数】

「4人以下」が90.8%と最も多く、次いで「5～9人」が4.6%、「10～19人」が3.1%となっている。

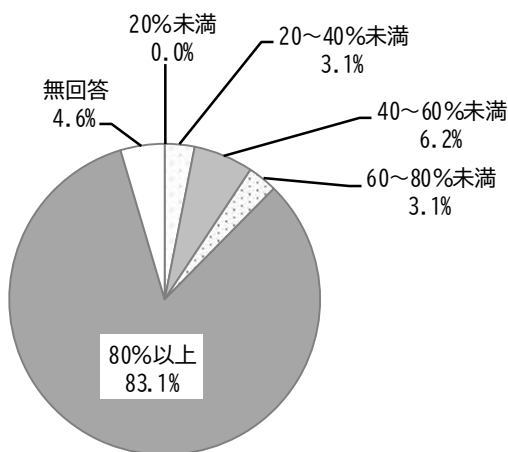
(n=65)



【介護支援専門員の正規職員割合】

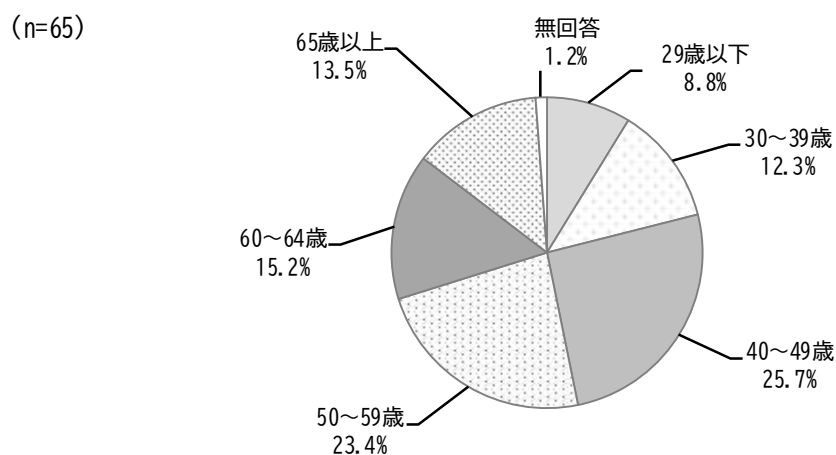
「80%以上」が83.1%と最も多く、次いで「40～60%未満」が6.2%。「20～40%未満」と「60～80%未満」が3.1%となっている。

(n=65)



【介護支援専門員の年代割合】

「40～49歳」が25.7%と最も多く、次いで「50～59歳」が23.4%、「60～64歳」が15.2%となっている。

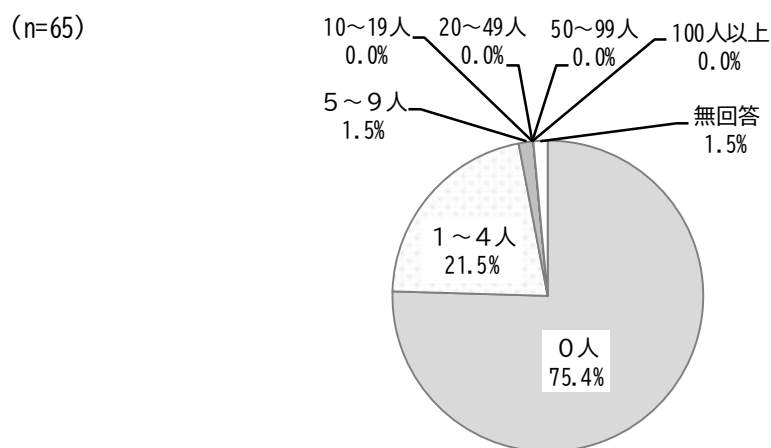


※各年代の割合は、回答のあった65事業所の介護支援専門員（計171名）の合計から算出しています。

問20 過去1年間の介護支援専門員の採用者について、人数をご記入ください。（数字を記入）

【過去1年間の採用者数】

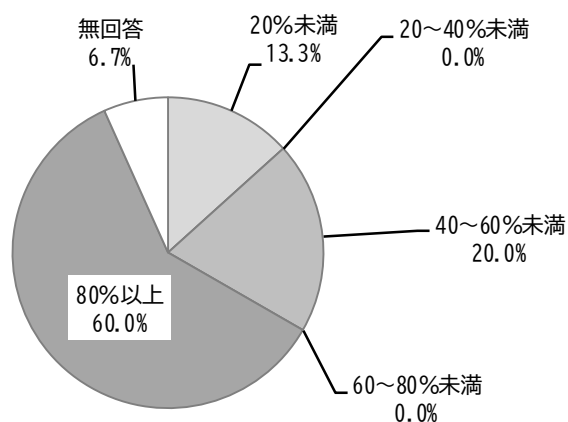
「0人」が75.4%と最も多く、次いで「1～4人」が21.5%、「5～9人」が1.5%となっている。



【過去1年間の採用者の正規職員割合】

「80%以上」が60.0%と最も多く、次いで「40~60%未満」が20.0%、「20%未満」が13.3%となっている。

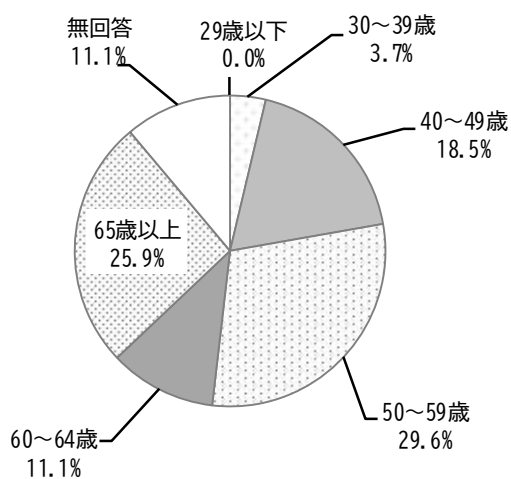
(n=15)



【過去1年間の採用者の年代別割合】

「50~59歳」が29.6%と最も多く、次いで「65歳以上」が25.9%、「40~49歳」が18.5%となっている。

(n=15)

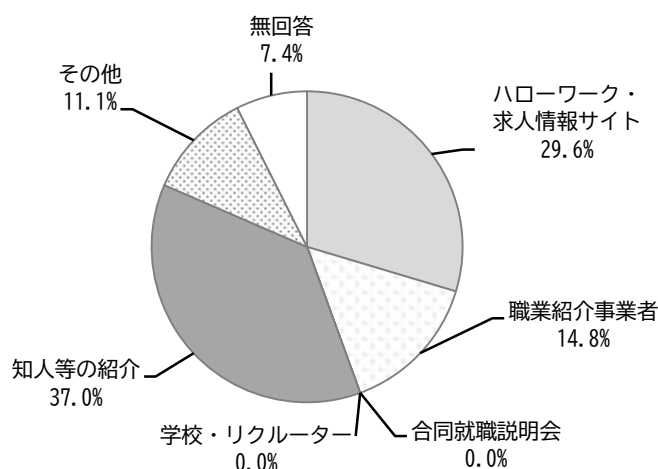


※各年代の割合は、回答のあった15事業所の介護支援専門員の採用者（計27名）の合計から算出しています。

【過去1年間の採用者の採用方法割合】

「知人等の紹介」が37.0%と最も多く、次いで「ハローワーク・求人情報サイト」が29.6%、「職業紹介事業所」が14.8%となっている。

(n=15)



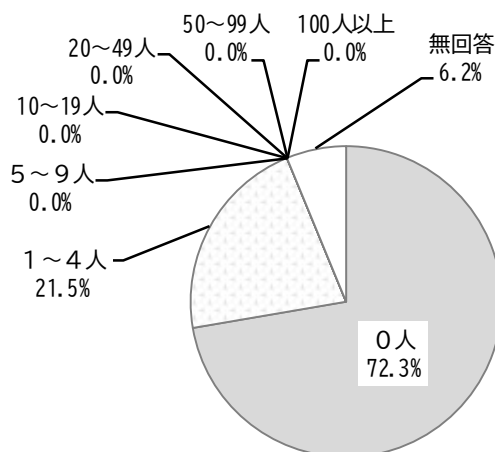
※各採用方法の割合は、回答のあった15事業所の採用者（計27名）の合計から算出しています。

問21 過去1年間の介護支援専門員の離職者数について、人数をご記入ください。(数字を記入)

【過去1年間の離職者数】

「0人」が72.3%と最も多く、次いで「1～4人」が21.5%となっている。

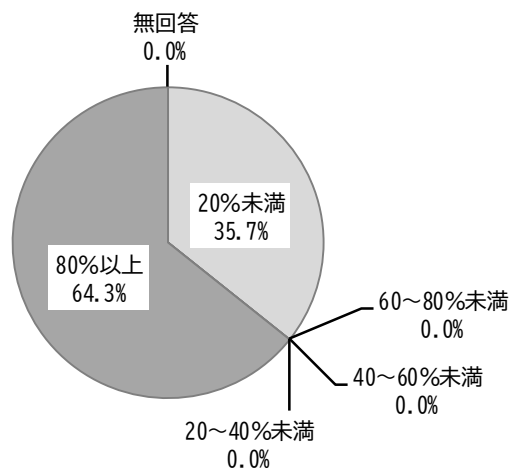
(n=65)



【過去1年間の離職者の正規職員割合】

「80%以上」が64.3%と最も多く、次いで「20%未満」が35.7%となっている。

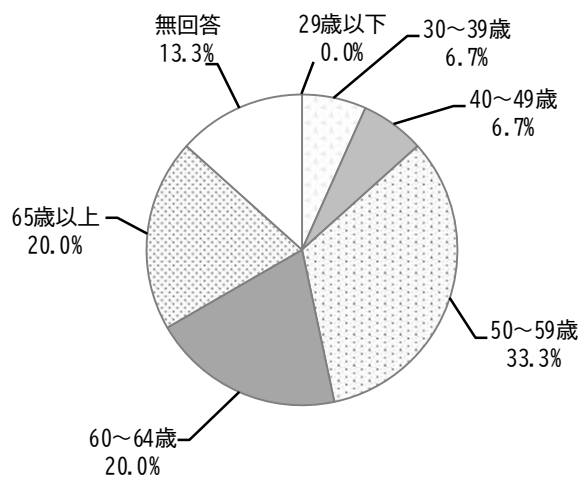
(n=14)



【過去1年間の離職者の年齢割合】

「50~59歳」が33.3%と最も多く、次いで「60~64歳」と「65歳以上」が20.0%となっている。

(n=14)



※各年代の割合は、回答のあった14事業所の介護支援専門員の離職者（計15名）の合計から算出しています。

問22 常勤の介護職員等の1人あたり、1か月の平均残業時間<約5年前>を数値で記入してください。

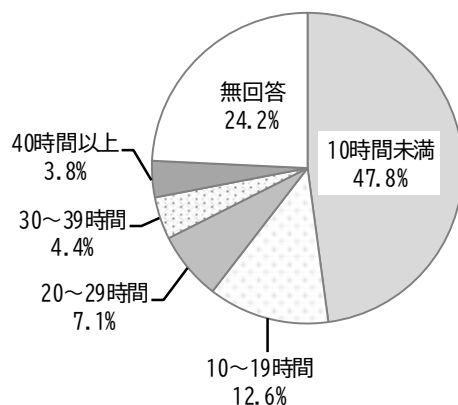
(算出方法) 令和元年度対象従業員年間残業時間÷対象従業員数÷12か月

※「介護職員等」は、ヘルパー、介護支援専門員を含みます

※データが無い場合はおよその数値でも可

「10時間未満」が47.8%と最も多く、次いで「10～19時間」が12.6%、「20～29時間」が7.1%となっている。

(n=182)



問23 常勤の介護職員等の1人あたり、1か月の平均残業時間<現在>を数値で記入してください。

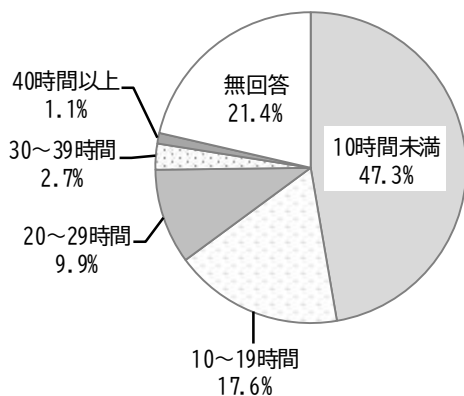
(算出方法) 令和6年度対象従業員年間残業時間÷対象従業員数÷12か月

※「介護職員等」は、ヘルパー、介護支援専門員を含みます

※データが無い場合はおよその数値でも可

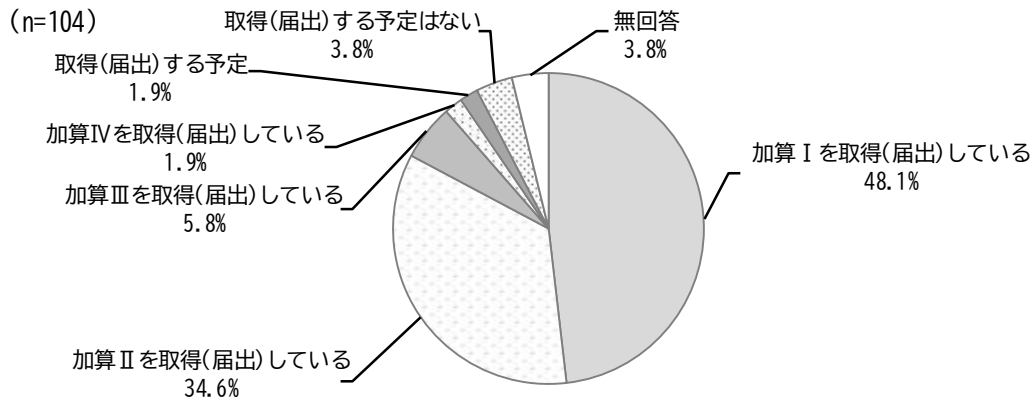
「10時間未満」が47.3%と最も多く、次いで「10～19時間」が17.6%、「20～29時間」が9.9%となっている。

(n=182)



問24 貴事業所では、介護職員等処遇改善加算を取得（届出）しましたか。（○は1つ）

「加算Ⅰを取得（届出）している」が48.1%と最も多く、次いで「加算Ⅱを取得（届出）している」が34.6%、「加算Ⅲを取得（届出）している」が5.8%となっている。

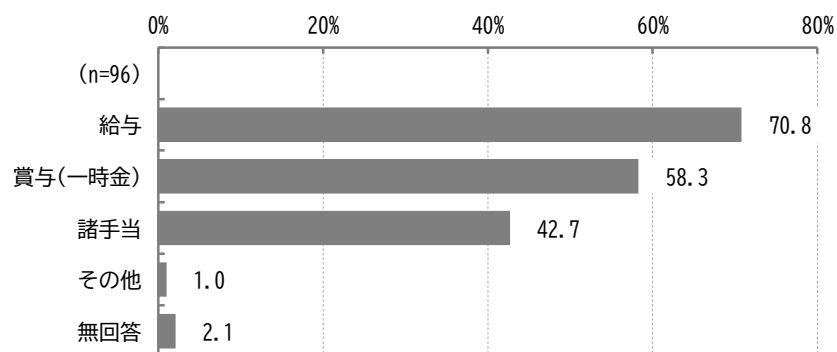


※問24は、「介護職員等処遇改善加算」算定の対象となる事業所のみ回答しています。

※問25と問26は、問24で選択肢「1. 加算Ⅰを取得（届出）している」～「5. 取得（届出）する予定」のいずれかを選択した事業所のみ回答

問25 職員への還元方法はどのような手段ですか。（予定含む）（○はいくつでも）

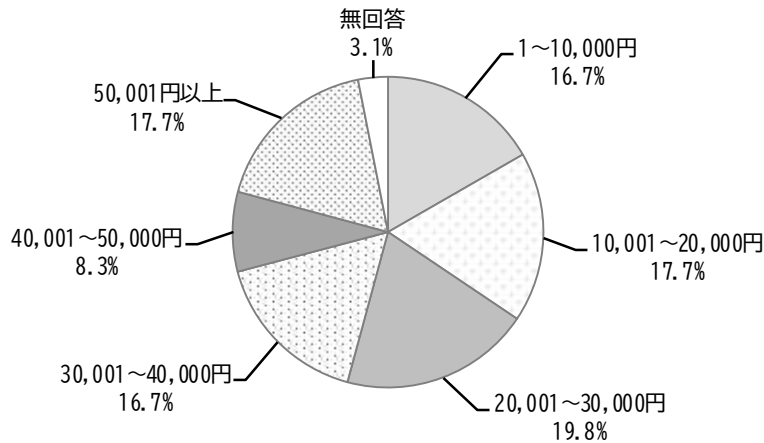
「給与」が70.8%と最も多く、次いで「賞与（一時金）」が58.3%、「諸手当」が42.7%となっている。



問26 処遇改善加算の取得（届出）による職員一人あたりの賃金改善月額はいくらですか。
（予定含む）（○は1つ）

「20,001～30,000円」が19.8%と最も多く、次いで「10,001～20,000円」と「50,001円以上」が17.7%となっている。

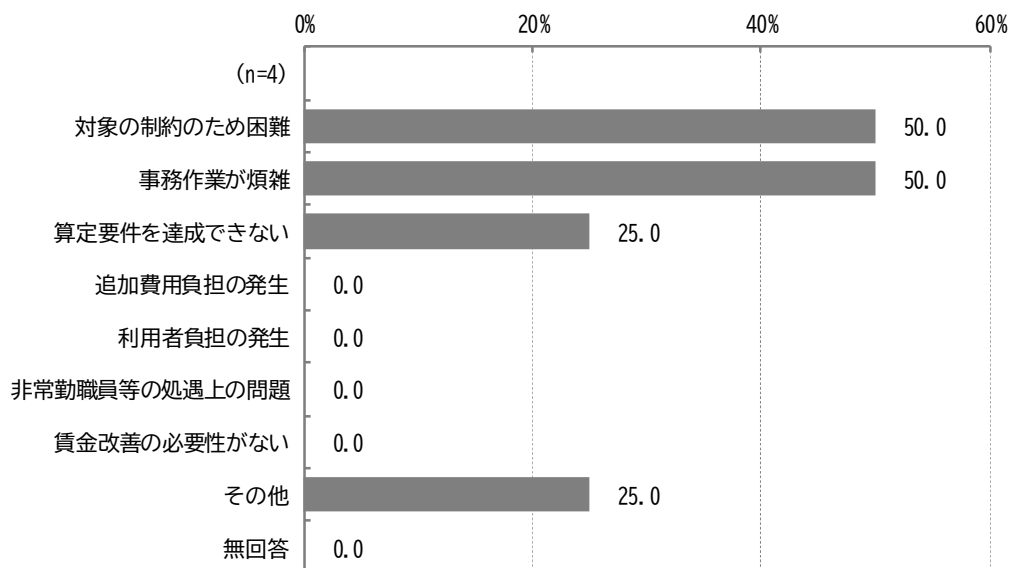
(n=96)



※問27は、問24で「取得（届出）する予定はない」を選択した事業所のみ回答

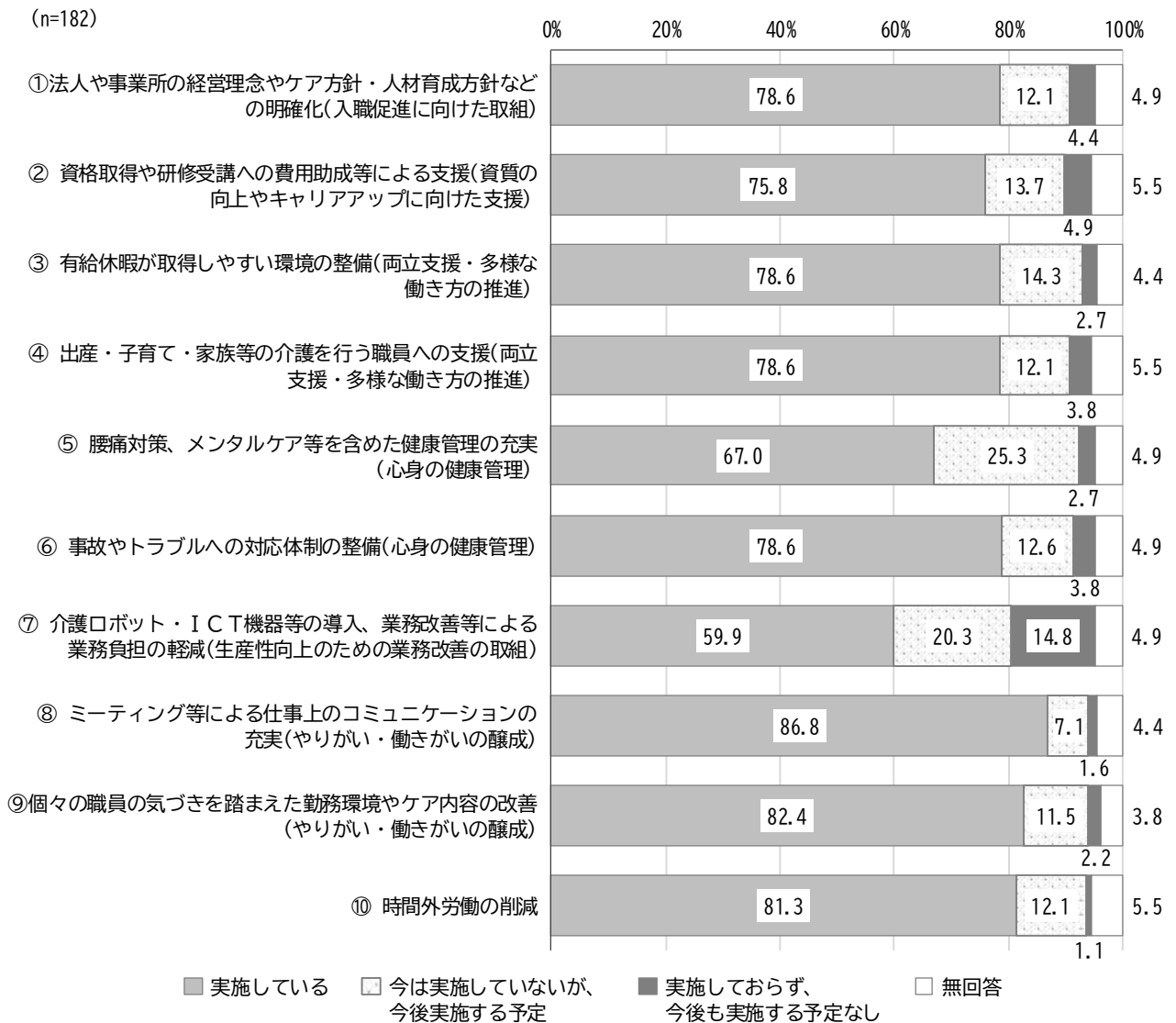
問27 介護職員等処遇改善加算を取得（届出）しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「対象の制約のため困難」と「事務作業が煩雑」が50.0%と最も多く、次いで「算定要件を達成できない」と「その他」が25.0%となっている。



問28 貴事業所の職員に対する給与等の引き上げ以外の処遇に関して、対応の実施状況について、当てはまる番号をお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

「実施している」の割合は、「⑧ ミーティング等による仕事上のコミュニケーションの充実(やりがい・働きがいの醸成)」が86.8%と最も多く、次いで「⑨ 個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善(やりがい・働きがいの醸成)」が82.4%、「⑩ 時間外労働の削減」が81.3%となっている。

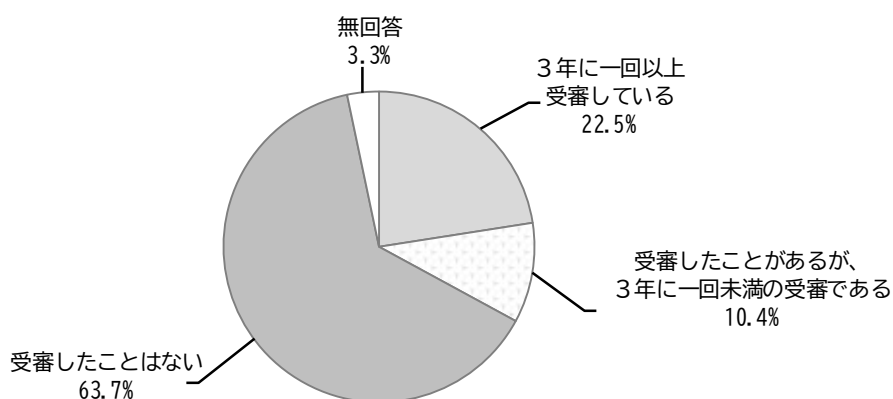


4. 外部の評価について

問29 貴事業所では、東京都の福祉サービス第三者評価制度を受審したことはありますか。
(○は1つ)

「受審したことはない」が63.7%と最も多く、次いで「3年に一回以上受審している」が22.5%、「受審したことがあるが、3年に一回未満の受審である」が10.4%となっている。

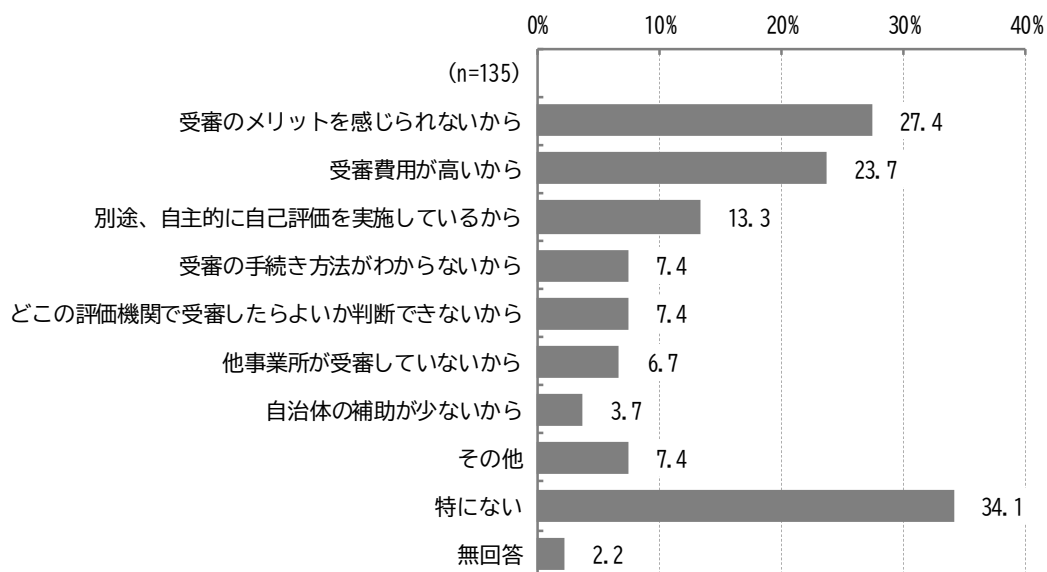
(n=182)



※問30は、問29で選択肢「2. 受審したことがあるが、3年に一回未満の受審である」又は「3. 受審したことはない」を選択した事業所のみ回答

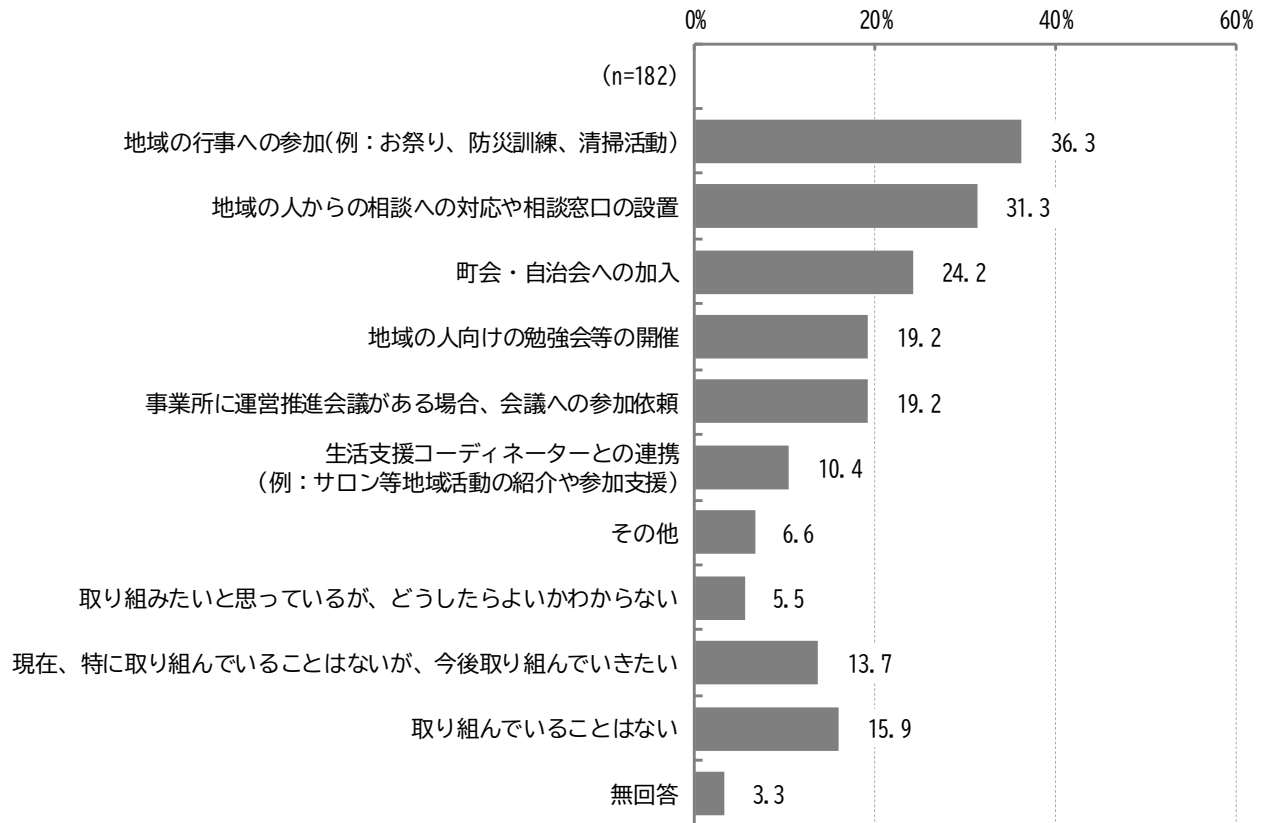
問30 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

「特にない」が34.1%と最も多く、次いで「受審のメリットを感じられないから」が27.4%、「受審費用が高いから」が23.7%となっている。



問31 貴事業所では、地域で起こる様々な生活の課題について、住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりするために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

「地域の行事への参加(例：お祭り、防災訓練、清掃活動)」が 36.3%と最も多く、次いで「地域の人からの相談への対応や相談窓口の設置」が 31.3%、「町会・自治会への加入」が 24.2%となっている。

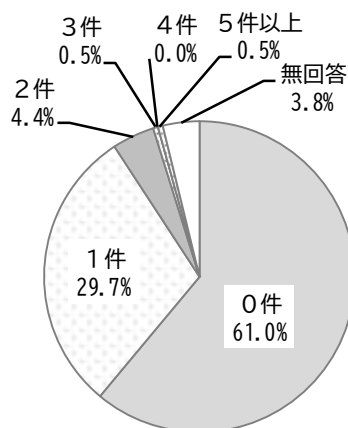


5. サービス全般について

問32 貴事業所では、月におよそ何件程度、利用者やその家族からの苦情を受けていますか。
(数字を記入)

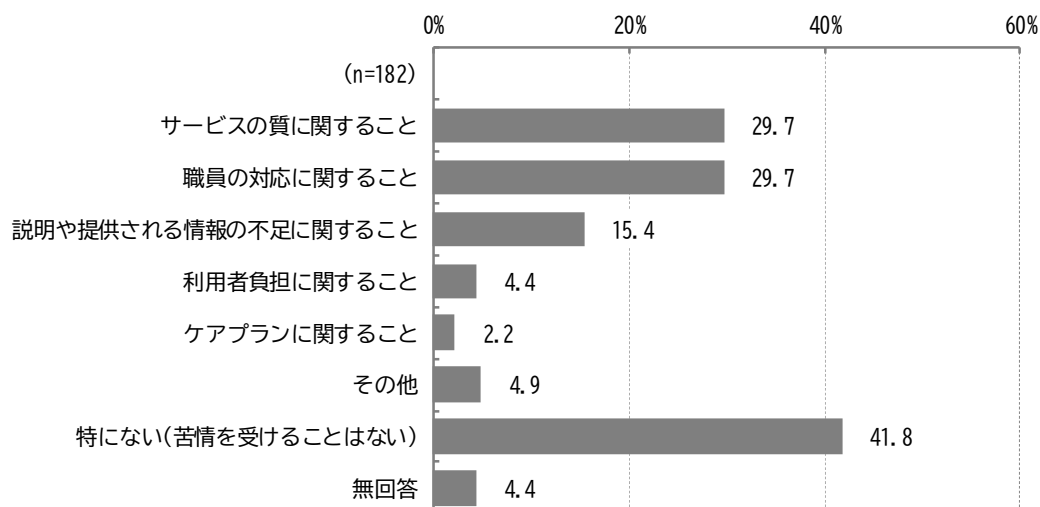
「0件」が61.0%と最も多く、次いで「1件」が29.7%、「2件」が4.4%となっている。

(n=182)



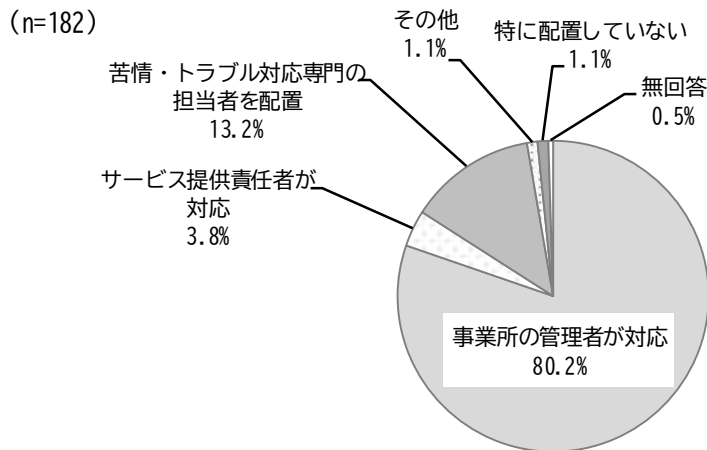
問33 貴事業所では、利用者やその家族からどのような苦情を受けることがありますか。
(○はいくつでも)

「特にない(苦情を受けることはない)」が41.8%と最も多く、次いで「サービスの質に関すること」と「職員の対応に関すること」が29.7%となっている。



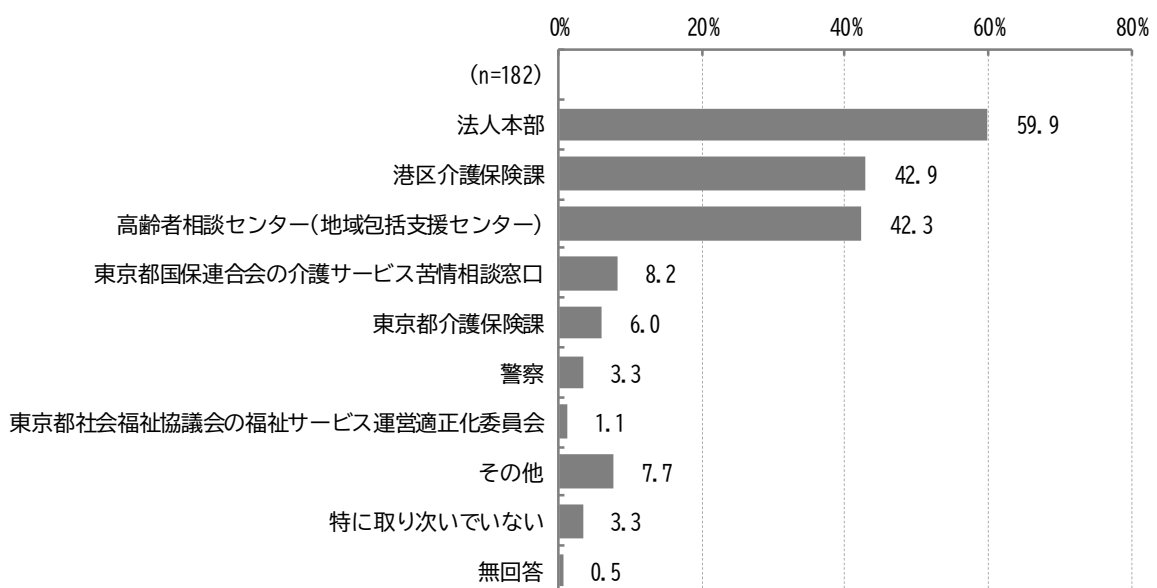
問34 貴事業所では、利用者や家族等からの苦情を一貫して把握する責任者を配置していますか。
(○は1つ)

「事業所の管理者が対応」が80.2%と最も多く、次いで「苦情・トラブル対応専門の担当者を配置」が13.2%、「サービス提供責任者が対応」が3.8%となっている。



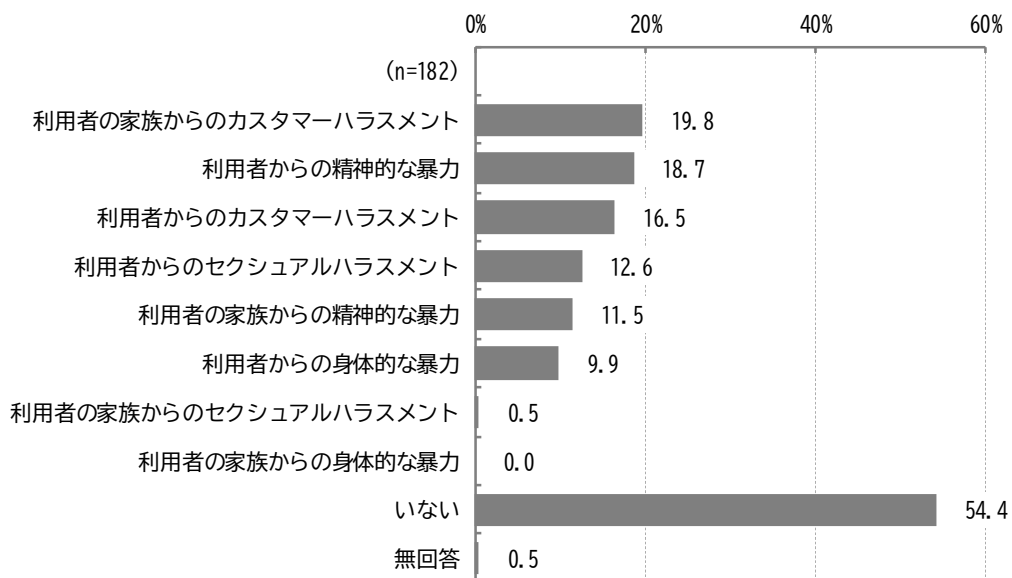
問35 貴事業所では、利用者や家族等からの苦情を事業所内で対応できなかった場合、どこが関わって解決していますか。(○はいくつでも)

「法人本部」が59.9%と最も多く、次いで「港区介護保険課」が42.9%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」が42.3%となっている。



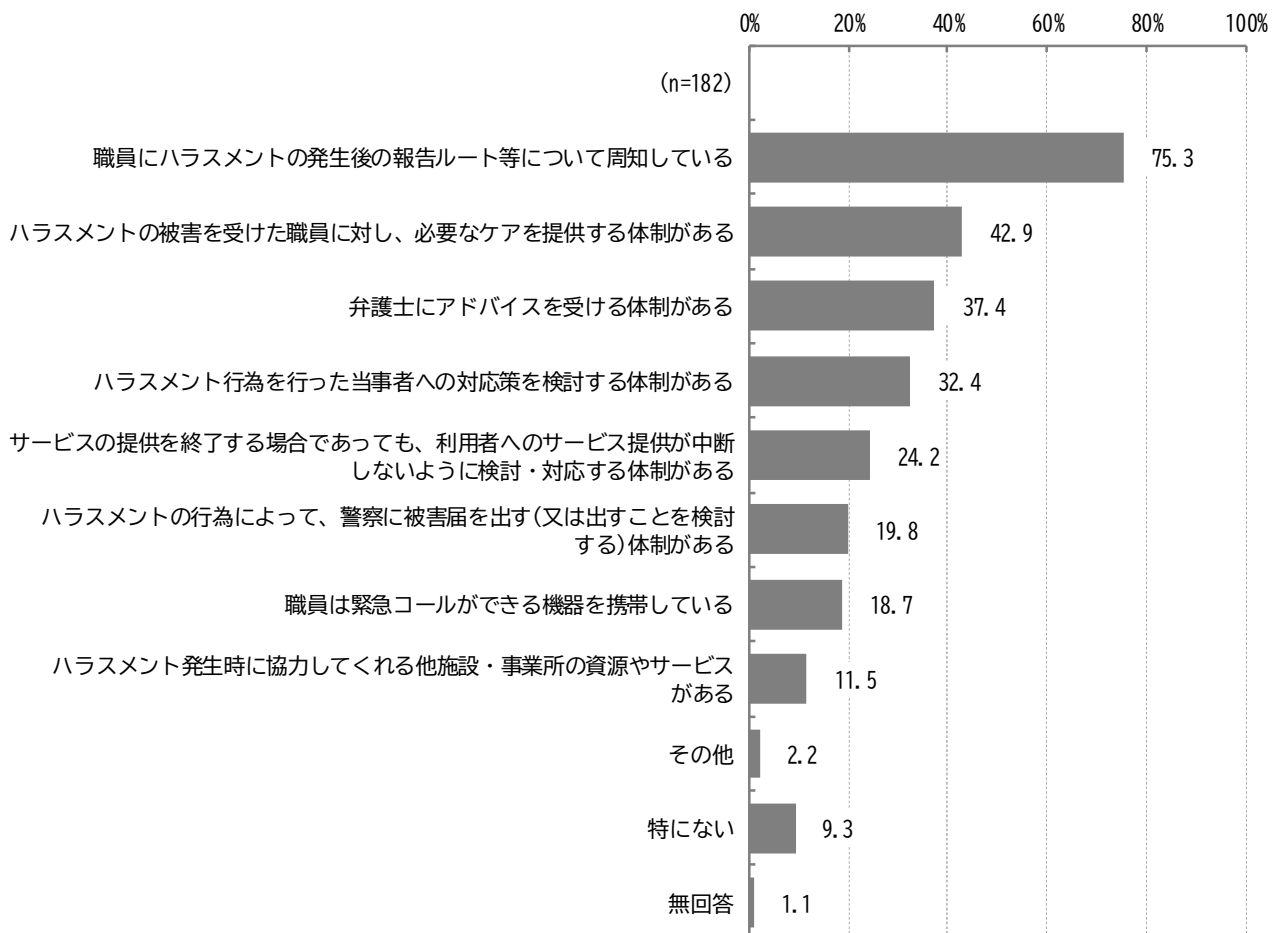
問36 貴事業所では、過去1年間で、利用者やその家族から、以下のハラスメントを受けた職員はいますか。(〇はいくつでも)

「いない」が54.4%と最も多く、次いで「利用者の家族からのカスタマーハラスメント」が19.8%、「利用者からの精神的な暴力」が18.7%となっている。



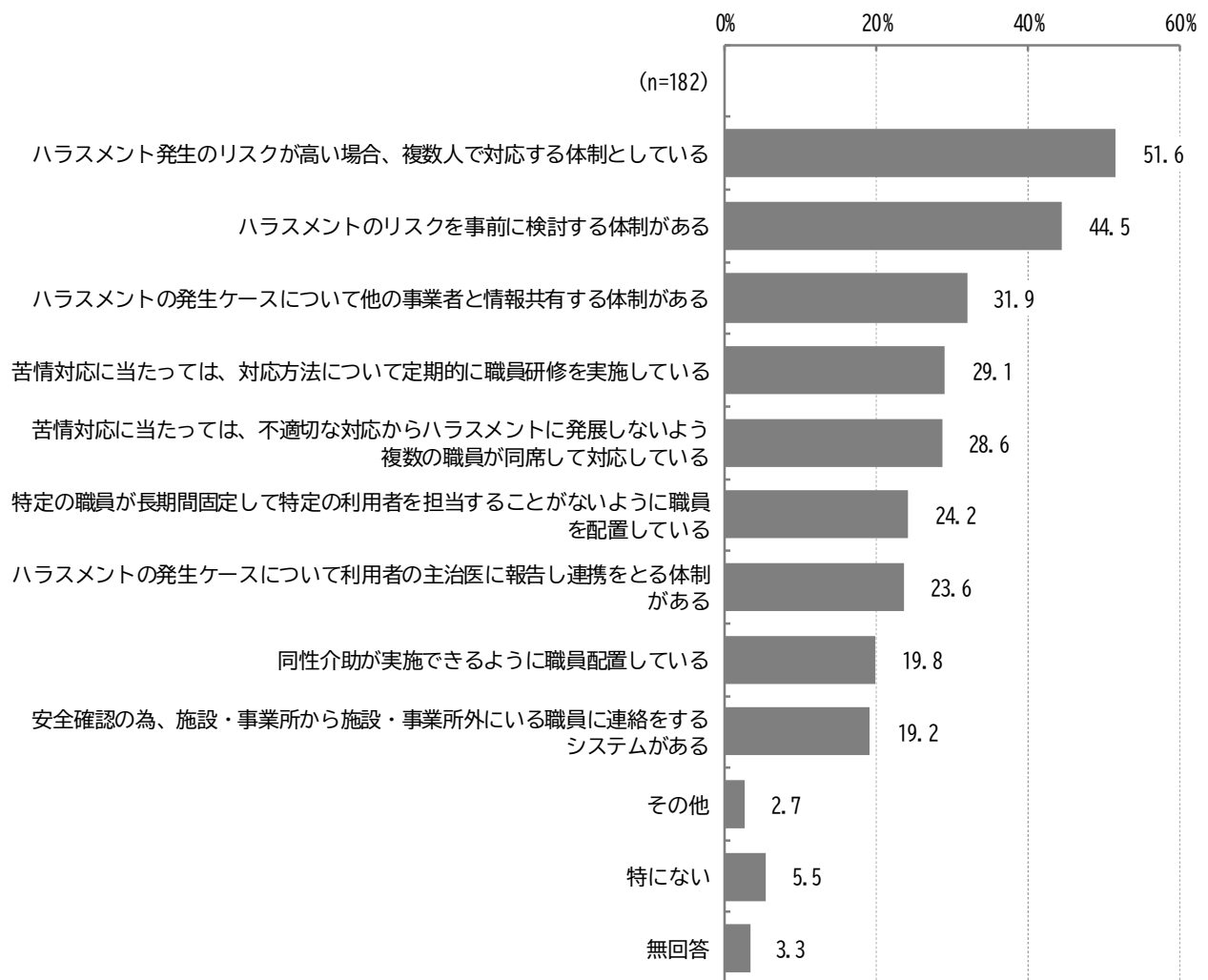
問37 貴事業所では、利用者やその家族等からのハラスメントに備え、どのような準備をしていますか。(〇はいくつでも)

「職員にハラスメントの発生後の報告ルート等について周知している」が75.3%と最も多く、次いで「ハラスメントの被害を受けた職員に対し、必要なケアを提供する体制がある」が42.9%、「弁護士にアドバイスを受ける体制がある」が37.4%となっている。



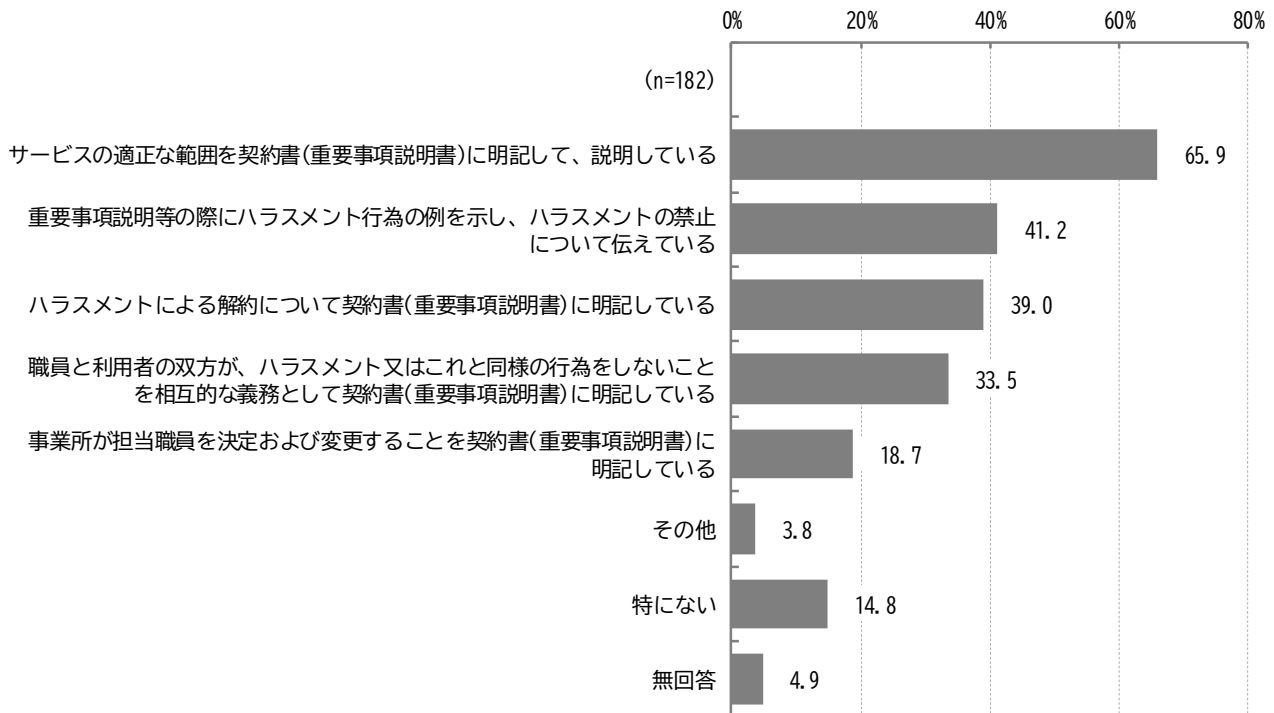
問38 貴事業所では、利用者やその家族等からのハラスメントに対し、どのような防止対策を整備していますか。(〇はいくつでも)

「ハラスメント発生のリスクが高い場合、複数人で対応する体制としている」が51.6%と最も多く、次いで「ハラスメントのリスクを事前に検討する体制がある」が44.5%、「ハラスメントの発生ケースについて他の事業者と情報共有する体制がある」が31.9%となっている。



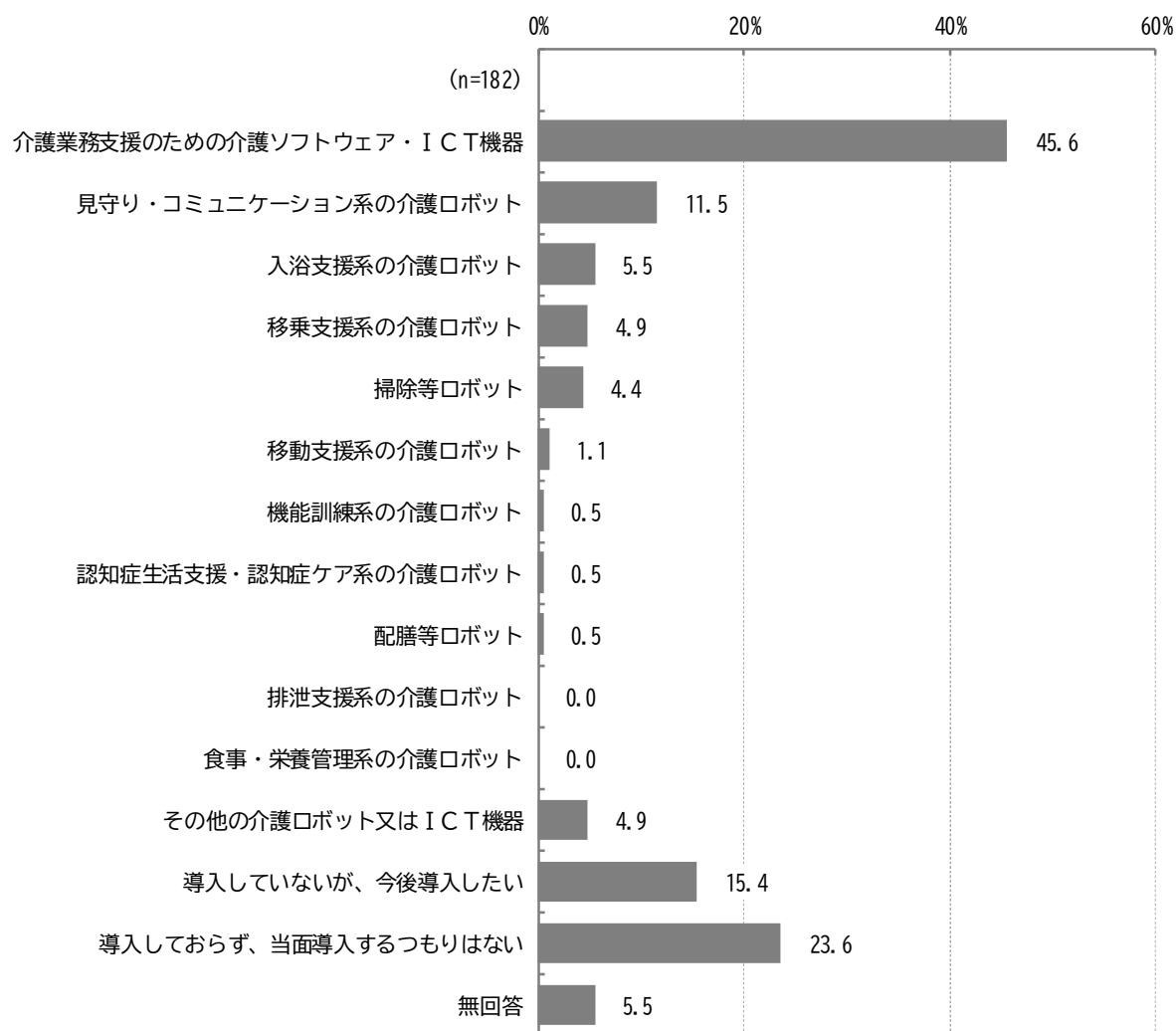
問39 貴事業所では、ハラスメントについて利用者・家族等に対しどのような事前説明をしていますか。(〇はいくつでも)

「サービスの適正な範囲を契約書(重要事項説明書)に明記して、説明している」が 65.9%と最も多く、次いで「重要事項説明等の際にハラスメント行為の例を示し、ハラスメントの禁止について伝えている」が 41.2%、「ハラスメントによる解約について契約書(重要事項説明書)に明記している」が 39.0%となっている。



問40 貴事業所では、介護ロボットやICT機器を導入していますか。(〇はいくつでも)

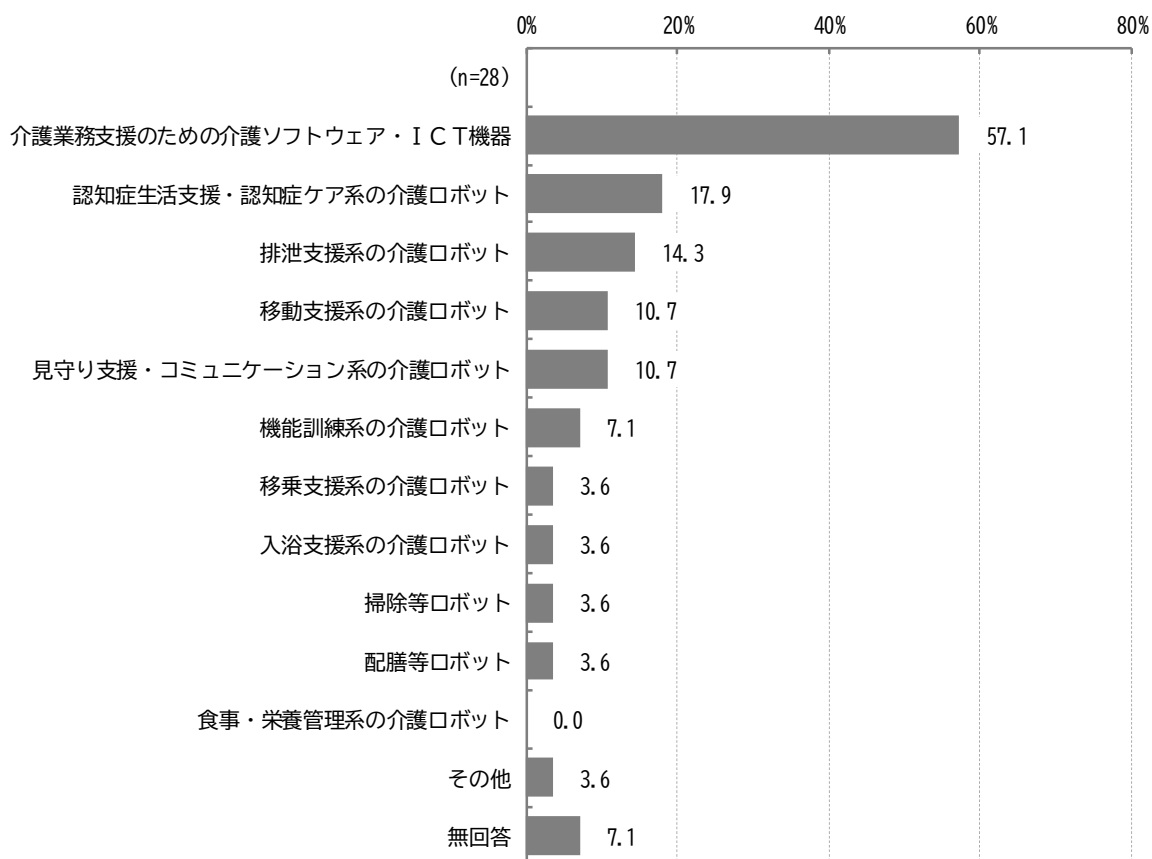
「介護業務支援のための介護ソフトウェア・ICT機器」が45.6%と最も多く、次いで「導入しておらず、当面導入するつもりはない」が23.6%、「導入していないが、今後導入したい」が15.4%となっている。



※問 41 は、問 40 で「導入していないが、今後導入したい」を選択した事業所が回答

問41 どのような介護ロボットや I C T 機器を導入したいですか。(〇はいくつでも)

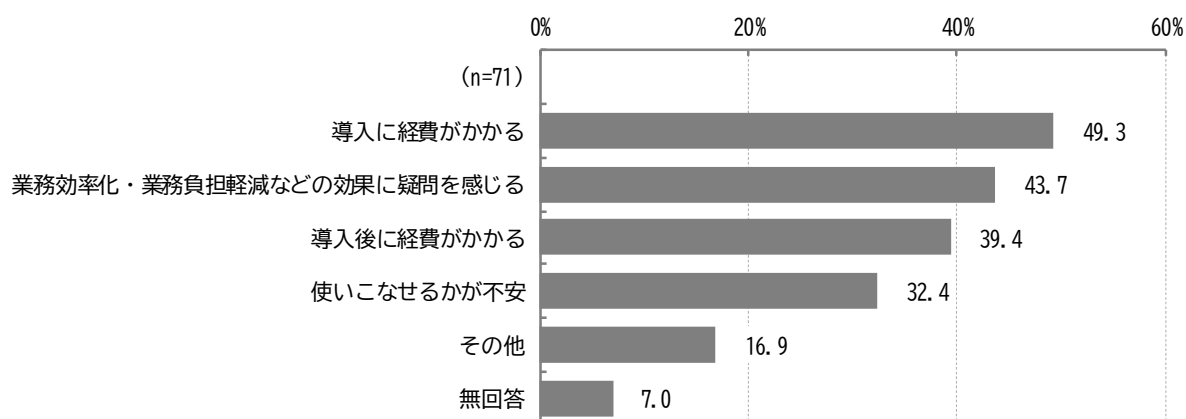
「介護業務支援のための介護ソフトウェア・ I C T 機器」が 57.1%と最も多く、次いで「認知症生活支援・認知症ケア系の介護ロボット」が 17.9%、「排泄支援系の介護ロボット」が 14.3%となっている。



※問 42 は、問 40 で選択肢「13. 導入していないが、今後導入したい」又は「14. 導入しておらず、当面導入するつもりはない」を選択した事業所が回答

問42 現在、介護ロボットや I C T 機器を導入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「導入に経費がかかる」が 49.3%と最も多く、次いで「業務効率化・業務負担軽減などの効果に疑問を感じる」が 43.7%、「導入後に経費がかかる」が 39.4%となっている。

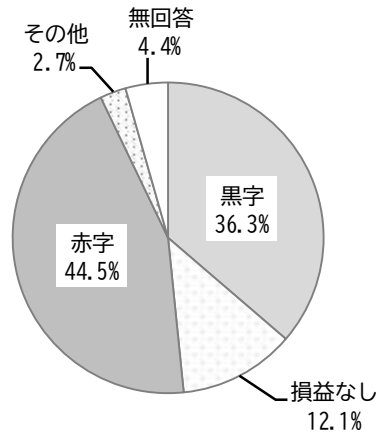


6. 経営全般について

問43 令和6年度の事業の採算はいかがでしたか。(〇は1つ)

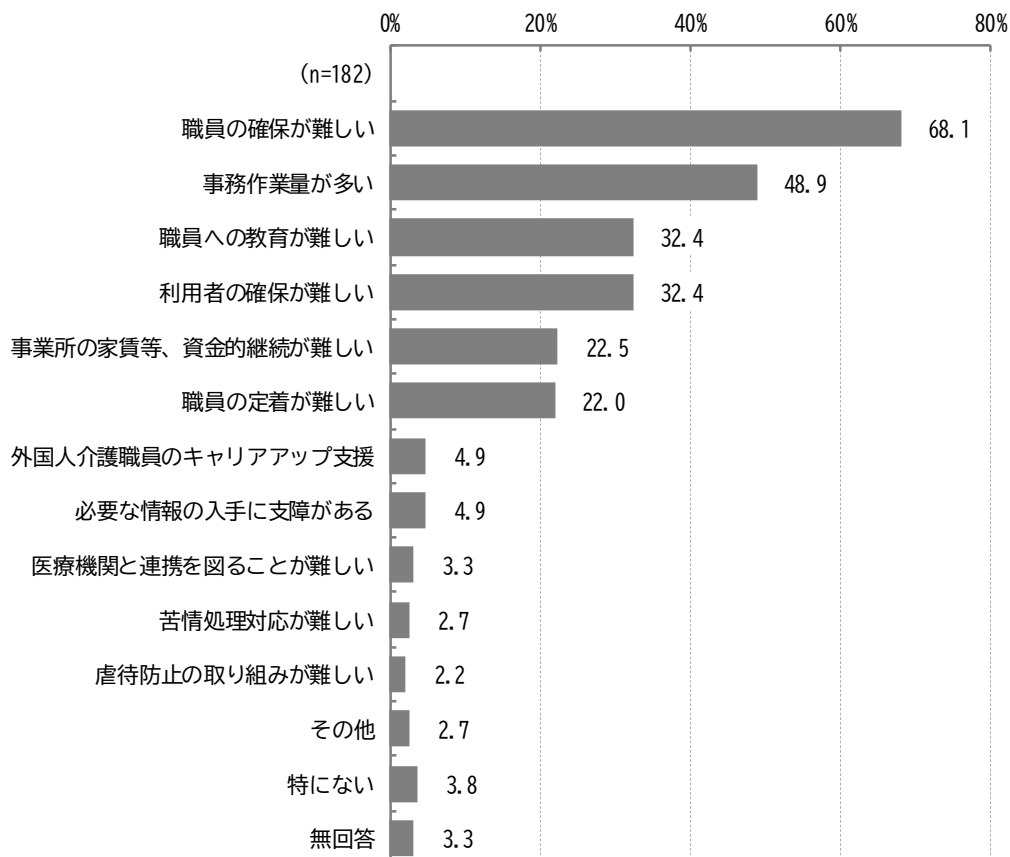
「赤字」が44.5%と最も多く、次いで「黒字」が36.3%、「損益なし」が12.1%となっている。

(n=182)



問44 貴事業所では、事業運営上で、どのようなことを課題と感じますか。(〇はいくつでも)

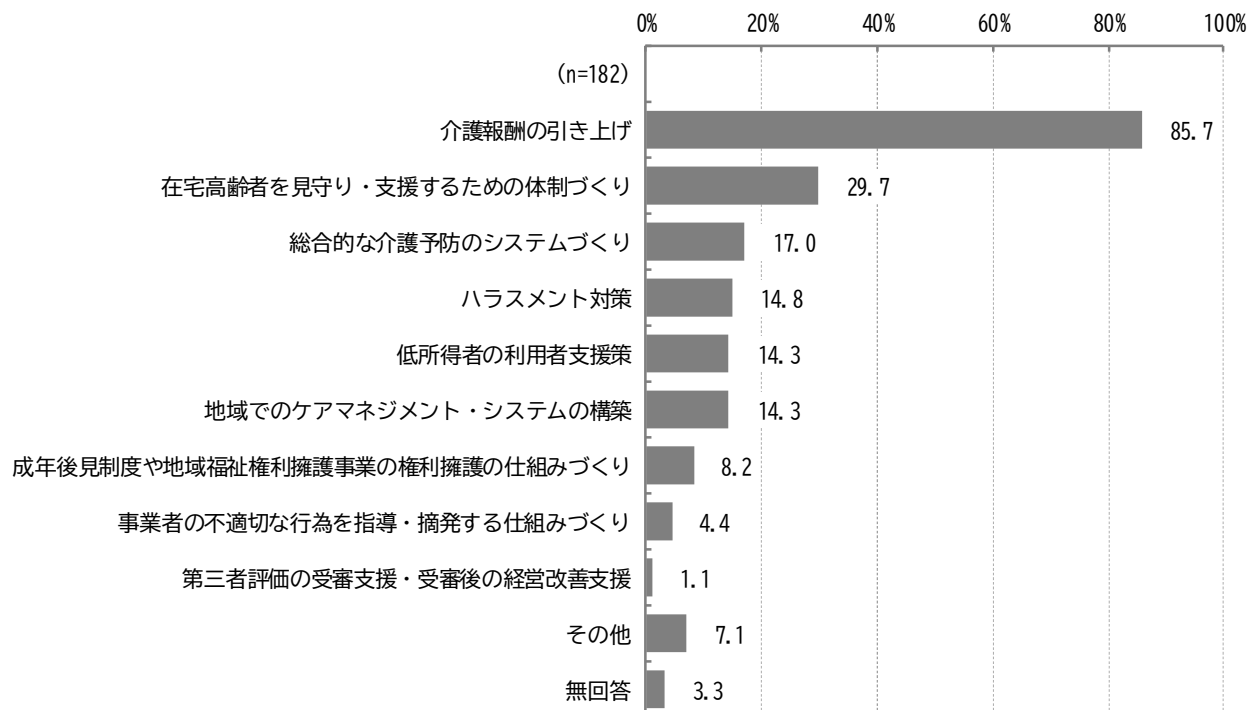
「職員の確保が難しい」が68.1%と最も多く、次いで「事務作業量が多い」が48.9%、「職員への教育が難しい」と「利用者の確保が難しい」が32.4%となっている。



7. 介護事業者に対する行政支援について

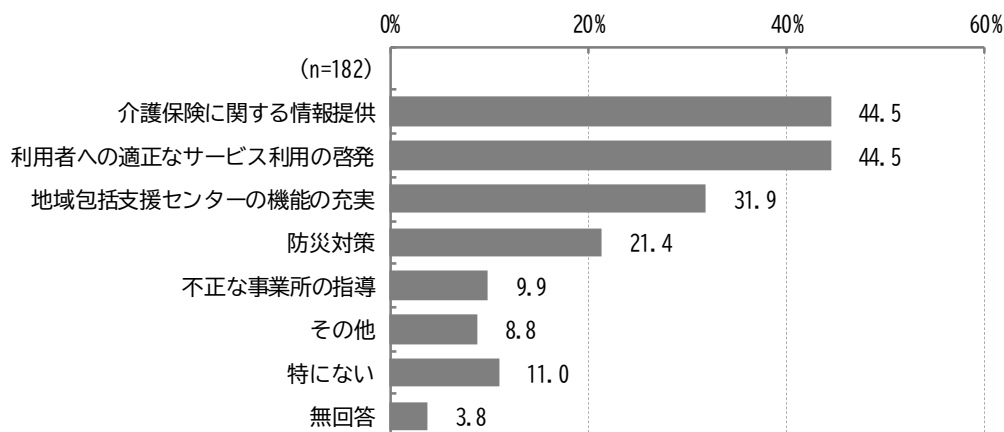
問45 介護保険事業を安定的に運営していくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

「介護報酬の引き上げ」が85.7%と最も多く、次いで「在宅高齢者を見守り・支援するための体制づくり」が29.7%、「総合的な介護予防のシステムづくり」が17.0%となっている。



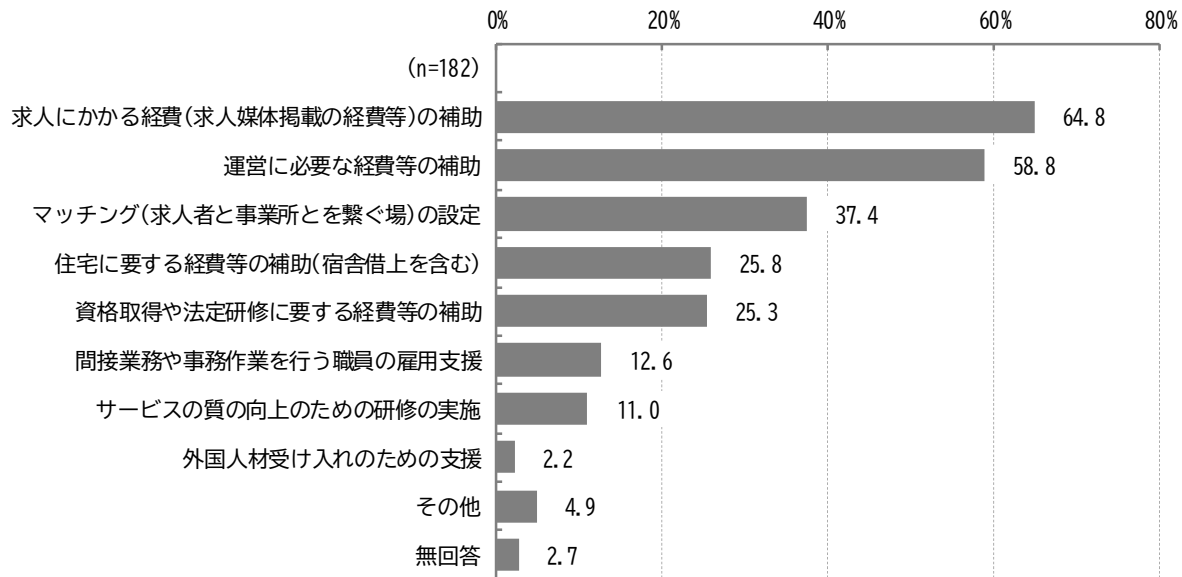
問46 事業者の立場から、行政に対して望むことは何ですか。(〇は3つまで)

「介護保険に関する情報提供」と「利用者への適正なサービス利用の啓発」が44.5%と最も多く、次いで「地域包括支援センターの機能の充実」が31.9%となっている。



問47 介護人材の確保策（育成・定着に繋がる取組を含む）について、行政に対して望むことは何ですか。（〇は3つまで）

「求人にかかる経費(求人媒体掲載の経費等)の補助」が 64.8%と最も多く、次いで「運営に必要な経費等の補助」が 58.8%、「マッチング(求人者と事業所とを繋ぐ場)の設定」が 37.4%となっている。



問48 介護保険制度に関する区へのご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

以下のとおり意見がありました。

分類		件数
1	介護保険制度に関する意見・要望	16
2	介護人材確保に関する意見・要望	12
3	その他	7

ご記入いただいた意見のうち、一部を抜粋して記載しています。

なお、記載に当たって文言等を修正している場合があります。

〔1 介護保険制度に関する意見・要望〕

- 高齢者相談センターからの依頼がなければ利用者の確保が難しく、事業所経営が成り立たない状況です。また、要支援者の依頼に偏りがあり、居宅介護支援事業所の経営を圧迫しています。
- 事業所の所在地に応じて利用者のエリア分けを行い、職員の移動負担軽減と定着につなげる仕組みが望ましいです。
- 地域支援事業や介護保険制度で対応できない部分について、区が主体的に対応してほしいです。
- 同一の介護度であっても ADL の差が大きく、要介護認定の妥当性に疑問を感じることがあります。また、補助金申請は書類が多く事務負担が大きいほか、処遇改善加算についても要件や手続きが複雑で、取得が難しい状況です。
- 独居や身寄りのない高齢者の緊急入院時対応や後見手続き等が、無報酬で行われている実態があります。
- 介護保険サービスの地域区分については、山手線沿線はより高い区分設定が必要だと考えます。
- 介護サービスの適正利用に向けた指導・啓発を、区が積極的に行ってほしいです。
- 介護支援専門員が障害福祉サービスの計画作成等を無報酬で担っている現状について、是正が必要です。

〔2 人材確保に関する意見・要望〕

- 最低賃金の上昇に介護報酬が追いつかず、事業の継続が困難になっています。
- 今後さらに人材確保が困難になることから、人員配置や ICT 活用方針を事業所ごとに決定・公表し、利用者が選択できる仕組みが望ましいです。
- 港区の家賃高騰により、区内に居住する職員の確保が難しくなっています。福祉従事者向け住宅を区内に確保できれば、人材確保に有効です。
- 若年層が給与面で介護職を敬遠しており、補助制度が必要です。
- 雇用年数に応じた人件費増に対し、継続雇用を支援する補助制度を求めます。

〔3 その他の意見・要望〕

- 大手事業所に業務が集中し、小規模事業所に仕事が回らない傾向があります。
- 民間通所介護と区立施設（指定管理者）との格差是正が必要です。
- 職員用駐輪スペースの確保が困難であり、区有地活用等の仕組みを求めます。
- 港区内の家賃、駐車場、駐輪場の賃料が高く、経営を圧迫しています。
- インフォーマルサービスとして、高齢者が気軽に立ち寄れる交流の場（大人食堂等）を整備してほしいです。

第4章 調査票

1 高齢者を対象とした調査票

ア-01：高齢者

みなとくちいきほけんふくしき そちょうさ 港区地域保健福祉基礎調査

■ 回答にあたってのお願い

- 郵送又はインターネットのいずれか1つの方法でご回答ください。
- 調査は無記名方式で行いますので、調査票や返信用封筒に氏名・住所等を記載しないでください。
- できるだけあて名の方(ご本人)がご回答ください。ただし、ご本人が回答できない場合には、ご家族や身近な方がご本人のご意向を可能な限り確認したうえで、ご回答ください。
- インターネットで回答する場合は、同封の「ご協力のお願い」記載のURL・二次元コードからアクセスしてください。

ユーザID：

パスワード：

- ※ このユーザIDとパスワードは、インターネット回答のために使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。

■ 調査票記入にあたってのお願い

- えんぴつやボールペン等でこの調査票に直接ご記入ください。
- 選択式の設問では、あてはまる選択肢の番号に○をご記入ください。
- 選択式ではない設問では、文字や数字を回答欄にご記入ください。
- 「その他」の回答については、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和7年10月10日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。(切手不要、氏名等記入不要です)

1. あなた自身について

問1 性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性

2. 女性

3. 回答しない

問2 年齢を教えてください。(○は1つ)

1. 65～69歳

4. 80～84歳

7. 95歳以上

2. 70～74歳

5. 85～89歳

3. 75～79歳

6. 90～94歳

問3 お住まいの地区を教えてください。(〇は1つ)

1. 芝地区 (東新橋、新橋、西新橋、虎ノ門、愛宕、浜松町、芝大門、芝公園、
海岸1丁目、芝、三田1~3丁目)
2. 麻布地区 (麻布台、東麻布、麻布永坂町、麻布狸穴町、六本木、麻布十番、
元麻布、南麻布、西麻布)
3. 赤坂地区 (元赤坂、赤坂、南青山、北青山)
4. 高輪地区 (三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)
5. 芝浦港南地区 (芝浦、海岸2・3丁目、港南、台場)

問4 居住年数 (直近で港区内に連続して何年住んでいるか) を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 7. 30年以上40年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 8. 40年以上50年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 9. 50年以上 |
| 5. 10年以上20年未満 | |

問5 あて名のご本人が現在、どなたと同居しているか教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 両親 | 5. 兄弟姉妹 |
| 2. 父親又は母親 | 6. その他 () |
| 3. 配偶者 (夫・妻) | 7. 一人暮らし |
| 4. 子ども | |

2. 生活状況について

問6 現在のあなたの要介護度について、ご回答ください。(〇は1つ)

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1. 要支援1 | 5. 要介護3 |
| 2. 要支援2 | 6. 介護予防・生活支援サービス事業対象者 |
| 3. 要介護1 | 7. 要介護認定等は受けていない |
| 4. 要介護2 | |

問7 現時点での、施設等※への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(〇は1つ)

※施設等とは

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 3. すでに入所・入居申し込みをしている |
| 2. 入所・入居を検討している | |

問8 令和7年8月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない |
|---------|------------|

※問9は、問8で「1」を選択した方に伺います。

問9 以下の介護保険サービスについて、令和7年8月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。(それぞれ1つに〇)

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに〇）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）	1	2	3	4	5	6
B. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6
C. 訪問看護	1	2	3	4	5	6
D. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
E. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6
F. 地域密着型通所介護	1	2	3	4	5	6
G. 認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）	1	2	3	4	5	6
H. 通所リハビリテーション（デイケア）	1	2	3	4	5	6
I. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）	1	2	3	4	5	6

	りよう 利用していない	りよう 利用した
J. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 <small>ていきじゆんかい すいじたいおうがたほうもんかいご かんご</small>	1	2
K. 小規模多機能型居宅介護 <small>しょうきぼたきのうがたきよたくかいご</small>	1	2
L. 看護小規模多機能型居宅介護 <small>かんごしょうきぼたきのうがたきよたくかいご</small>	1	2
M. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等） <small>とくていしせつにゆうきよしゃせいかつかいご ゆうりょうろうじん どう</small>	1	2
N. 地域密着型特定施設入居者生活介護 （有料老人ホーム等） <small>ちいきみっちゃくがたとくていしせつにゆうきよしゃせいかつかいご ゆうりょうろうじん どう</small>	1	2
O. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <small>ちいきみっちゃくがたかいかいごろうじんふくししせつにゆうしよしゃせいかつかいご</small>	1	2
P. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） <small>にんちしょうたいおうがたきょうどうせいかつかいご</small>	1	2
Q. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） <small>かいかいごろうじんふくししせつ とくべつようごろうじん</small>	1	2
R. 介護老人保健施設 <small>かいかいごろうじんほけんしせつ</small>	1	2
S. 介護医療院 <small>かいかいごりょういん</small>	1	2

げつ りようにつすう 1か月あたりの利用日数（1つに○）					
T. 短期入所生活介護・ 短期入所療養介護 （ショートステイ） <small>たんきにゆうしよせいかつかいご たんきにゆうしりょうようかいご</small>	りよう 利用して いない	つき 1～7日 ていど 程度	つき 8～14日 ていど 程度	つき 15～21日 ていど 程度	つき 22日 いじょう 以上
	1	2	3	4	5
U. 居宅療養管理指導 <small>きよたくりょうようかんりしどう</small>	りよう 利用して いない	つき 1回程度 かいていど	つき 2回程度 かいていど	つき 3回程度 かいていど	つき 4回程度 かいていど
	1	2	3	4	5

問10 主にどなたによる介護・介助を受けていますか。（○は1つ）
とい おも かいご かいじょ う

1. 配偶者（夫・妻） <small>はいぐうしや おつと つま</small>	6. 兄弟姉妹 <small>きょうだいしまい</small>
2. 息子 <small>むすこ</small>	7. 「1」から「6」を除く親族 <small>おぢ しんぞく</small>
3. 娘 <small>むすめ</small>	8. 介護サービスのヘルパー <small>かいご</small>
4. 子どもの配偶者 <small>こ はいぐうしや</small>	9. その他（ ）
5. 孫 <small>まご</small>	10. 介護・介助を受けていない <small>かいご かいじょ う</small>

※問11は、問10で「1」から「7」のいずれかを選択した方に伺います。

問11 ご家族やご親族による介護・介助は、週にどのくらいありますか。
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. ない | 4. 週に3~4日ある |
| 2. 週に1日より少ない | 5. ほぼ毎日ある |
| 3. 週に1~2日ある | |

問12 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 4. ややゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 5. 大変ゆとりがある |
| 3. ふつう | |

3. 日常生活全般について

※問13~50は、事業対象者、要支援1、要支援2、要介護認定を受けていない方のみお答えください。

問13 ①~③について、当てはまる番号をお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

①~③について、それぞれ1つに〇	できるし、 している	できるけど していない	できない
① 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1	2	3
② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1	2	3
③ 15分位続けて歩いていますか。	1	2	3

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. とても不安である | 3. あまり不安でない |
| 2. やや不安である | 4. 不安でない |

問16 日常生活において、聞こえ(聴力)について気になることはありますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 会話などよく聞こえているし、問題ない(補聴器の使用なし) |
| 2. 補聴器を使用しているので、よく聞こえており問題ない |
| 3. テレビや電話、人との会話が聞き取りにくいと感じることはあるが、気になるほどではない |
| 4. テレビや電話、人との会話が聞き取りにくい、よく聞き返すなど、生活に支障があると感じている |
| 5. 自分では聴力が衰えている自覚はないが、周囲からテレビの音が大きい、呼び掛けているのに気付いてくれないなどと言われることがある |

問17 加齢性難聴(加齢に伴い音が聞こえづらくなる)を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問18 1週間のうちの外出頻度を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 3. 週2~4回 |
| 2. 週1回 | 4. 週5回以上 |

問19 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても減っている | 3. あまり減っていない |
| 2. 減っている | 4. 減っていない |

※問20~問25 は、70歳以上の方に伺います。

問20 あなたは、東京都シルバーパスを持っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1. 持っている | 3. 過去に持っていたことがあるが、今は持っていない |
| 2. 持っていない | |

※問21・22は、問20で「1」を選択した方に伺います。

問21 シルバーパスを持っている期間は、どのくらいですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 10年以上 | 4. 1～3年 |
| 2. 7～9年 | 5. 1年未満 |
| 3. 4～6年 | |

問22 お持ちのシルバーパスの種別はどちらですか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|---|
| 1. 1,000円 | 2. 20,510円
(令和7年4月～9月は10,255円、
令和7年10月からは12,000円) |
|-----------|---|

※問23は、問20で「2」又は「3」を選択した方に伺います。

問23 シルバーパスを持たない理由はなんですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. シルバーパスが使える交通機関を利用する機会が少ないから | 3. 購入費用が払えないから |
| 2. 公共交通機関を利用した外出ができないから | 4. その他 () |

問24 あなたは、港区コミュニティバス(ちいばす・お台場レインボーパス)の無料乗車券を持っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

※問25は、問24で「1」を選択した方に伺います。

問25 あなたは、普段、どのくらいの頻度で港区コミュニティバス(ちいばす・お台場レインボーパス)に乗って外出していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 3. 月に2～4日 |
| 2. 週に2～4日 | 4. 月に1日以下 |

問26 身長・体重を教えてください。(数字を記入)

身長 (cm)	体重 (kg)
---------------------	---------------------

問27 ①～③について、当てはまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

①～③について、それぞれ1つに○	はい	いいえ
① 半年前 <small>はんとしまえ</small> に比べて固 <small>かた</small> いものが食べにく <small>た</small> くなりましたか。	1	2
② お茶 <small>ちや</small> や汁物 <small>じるものとう</small> 等でむせることがありますか。	1	2
③ 口 <small>くち</small> の渇 <small>かわ</small> きが気 <small>き</small> になりますか。	1	2

問28 歯はの数かずと入れ歯いばの利用りよう状況を教おしえてください(成人ていじんの歯はの総本数そうほんすうは、親知らずおやしを含ふくめて32本ほんです)。(○は1つ)

1. 自分の歯 <small>じぶん</small> は20本 <small>ほん</small> 以上 <small>まんじゅう</small> 、かつ入れ歯 <small>いば</small> を利用 <small>りよう</small>
2. 自分の歯 <small>じぶん</small> は20本 <small>ほん</small> 以上 <small>まんじゅう</small> 、入れ歯 <small>いば</small> の利用 <small>りよう</small> なし
3. 自分の歯 <small>じぶん</small> は19本 <small>ほん</small> 以下 <small>まんいか</small> 、かつ入れ歯 <small>いば</small> を利用 <small>りよう</small>
4. 自分の歯 <small>じぶん</small> は19本 <small>ほん</small> 以下 <small>まんいか</small> 、入れ歯 <small>いば</small> の利用 <small>りよう</small> なし

問29 どなたかしよくじと食しょくじ事をともしる機き会かいはありますか。(○は1つ)

1. 毎日 <small>まいにち</small> ある	4. 年 <small>ねん</small> に何 <small>なん</small> 度 <small>ど</small> かある
2. 週 <small>しゅう</small> に何 <small>なん</small> 度 <small>ど</small> かある	5. ほとん <small>ほとん</small> ど <small>ど</small> ない
3. 月 <small>つき</small> に何 <small>なん</small> 度 <small>ど</small> かある	

問30 物もの忘れわすれが多いおほと感じかんじますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問31 ①～⑤について、当てはまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

①～⑤について、それぞれ1つに○	できるし、 している	できるけど していない	できない
① バス <small>でんしゃ</small> や電車 <small>つか</small> を使って1人 <small>り</small> で外 <small>がい</small> 出 <small>しゅつ</small> していますか (自家用車 <small>じかようしや</small> でも可 <small>か</small>)。	1	2	3
② 自分 <small>じぶん</small> で食 <small>しょく</small> 品 <small>ひん</small> ・日用品 <small>にちようひん</small> の買物 <small>かいもの</small> をしていますか。	1	2	3
③ 自分 <small>じぶん</small> で食 <small>しょく</small> 事 <small>じ</small> の用意 <small>ようい</small> をしていますか。	1	2	3
④ 自分 <small>じぶん</small> で請 <small>せい</small> 求 <small>きゅう</small> 書 <small>しょ</small> の支 <small>し</small> 払 <small>らい</small> いをしていますか。	1	2	3
⑤ 自分 <small>じぶん</small> で預貯金 <small>よちよきん</small> の出し入れ <small>だし入れ</small> をしていますか。	1	2	3

問32 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. ある (具体的に: _____)	2. 思いつかない
----------------------	-----------

問33 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

①～⑨のそれぞれで外出する頻度を記入してください。また、外出する際の移動手段であてはまる数字をお選びください。(○はそれぞれ1つ)

①～⑨について、 それぞれ1つに○	外出頻度 活動していない 場合は「0」日 と記入	移動手段									
		徒歩	自転車	自動車・バイク (運転)	自動車・バイク (同乗)	電車	ゆりかもめ	路線バス	コミュニティバス	タクシー	その他
①ボランティアのグループ	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②スポーツ関係のグループやクラブ	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
③趣味関係のグループ	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
④学習・教養サークル	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑤老人クラブ	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑥町内会・自治会	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑦友人・親族との交流 (外出や訪問)	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑧収入のある仕事	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑨自主活動グループ (介護予防のための通いの場)	月に「 」日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 3. 参加したくない |
| 2. 参加してもよい | 4. 既に参加している |

問36 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他（ ） |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問37 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他（ ） |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問38 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 10. マンションの管理人 |
| 2. 同居の子ども | 11. ケアマネジャーやヘルパーなどの介護事業者 |
| 3. 別居の子ども | 12. 高齢者相談センター |
| 4. 同居の兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 13. (地域包括支援センター) の人 |
| 5. 別居の兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 14. 区の職員 |
| 6. 近隣 | 15. ボランティア |
| 7. 友人 | 16. その他（ ） |
| 8. 民生委員・児童委員 | 17. そのような人はいない |
| 9. 町会・自治会の人 | |

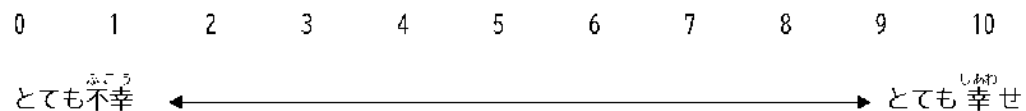
問39 反対に、看病や世話をしあげてくれる人はいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 5. 近隣 |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他() |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問40 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. とてもよい | 3. あまりよくない |
| 2. まあよい | 4. よくない |

問41 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)



問42 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問43 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問44 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

問45 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. ない | 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、
関節症等) |
| 2. 高血圧 | 11. 外傷(転倒・骨折等) |
| 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 12. がん(新生物) |
| 4. 心臓病 | 13. 血液・免疫の病気 |
| 5. 糖尿病 | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 6. 高脂血症(脂質異常) | 15. パーキンソン病 |
| 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 16. 目の病気 |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 17. 耳の病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 18. その他() |

問46 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問47 もし自分が認知症かもしれないと思ったとき、どこに(誰に)相談しますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. かかりつけ医療機関 | 7. 介護施設等のスタッフ |
| 2. 認知症疾患医療センター | 8. みんなとオレンジカフェ
(認知症カフェ) |
| 3. 保健所 | 9. 家族や親族 |
| 4. 区役所 | 10. 友人・知人 |
| 5. 高齢者相談センター
(地域包括支援センター) | 11. その他() |
| 6. ケアマネジャー | 12. わからない |

問48 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。

あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 認知症になっても、今まで暮らしてきた地域で希望を持って自立した生活ができる
2. 認知症になっても、家族や親族、知人・仲間のサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる
3. 認知症になっても、医療・介護などのサービスを受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活ができる
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうため、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5. 認知症になると、何もできなくなってしまう
6. その他 ()
7. わからない

問49 認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じるとおもうか。

(○はいくつでも)

1. 家族や友人のことを忘れてしまうのではないかと
2. これまでできていた日常生活のことができなくなってしまうのではないかと
3. 仕事ができなくなる・失うのではないかと
4. 医療機関や公的機関等に相談しても、症状が改善しない・課題が解決しないのではないかと
5. 家族に迷惑をかけるのではないかと
6. 経済的に苦しくなるのではないかと
7. 詐欺などの被害を受けやすくなる・受けるのではないかと
8. 差別や偏見を受けるのではないかと
9. 認知症は誰もがなり得るものであるため、不安はない
10. その他 ()
11. わからない

問50 区の認知症対策について、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 認知症ガイドブック | 9. 認知症高齢者等おかえりサポート事業 |
| 2. 脳活教室(認知症予防) | 10. 徘徊探索支援 |
| 3. 認知機能測定事業 | 11. 認知症レスパイト(介護者支援) |
| 4. 港区医師会による認知症セルフチェックシート健診との連携(認知症支援コーディネーターによる支援) | 12. 認知症サポーター養成 |
| 5. 認知症初期集中支援チーム | 13. みなと認知症サポートステーション(店) |
| 6. みんなとオレンジカフェ(認知症カフェ) | 14. 介護家族サポーター養成 |
| 7. オレンジカフェのボランティア養成 | 15. 介護家族の会 |
| 8. おれんじひろば(認知症のある人の集まり(本人ミーティング)) | 16. チームオレンジの設置に向けた定例会 |
| | 17. 認知症に関する講演会等 |
| | 18. 知っているものはない |

4. ご自身の介護予防について

問51 あなたは、普段の生活の中で、健康維持のために運動をしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※問52と問53は、問51で「1」を選択した方に伺います。

問52 運動は介護予防を意識していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問53 普段の生活の中で、健康維持のためにどのような運動をしていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. いきいきプラザ等に通って区の介護予防事業や運動の教室に参加している |
| 2. 区の施設で自分で取り組んでいる(スポーツセンターやヘルシーナ、いきいきプラザのトレーニングマシンなどを利用している) |
| 3. 民間のスポーツジムに通っている |
| 4. ウォーキングなど、屋外で運動をしている |
| 5. 友人や仲間と運動をしている |
| 6. 自宅で運動をしている |
| 7. 自宅でYouTubeやDVDなどの映像を見ながら運動をしている |
| 8. オンラインで双方向通信により介護予防運動をしている |
| 9. 町会・自治会、趣味の活動など集まりの場で定期的に運動をしている |
| 10. その他() |

※問54は、問51で「2」を選択した方に伺います。

問54 健康維持のための運動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. 働いていることで健康が維持できている | 7. 教室や講座など大勢の中で行うことに抵抗がある |
| 2. 区の事業に参加したいが日程(期間・時間・曜日等)があわない、時間がない | 8. 家族の介護のため |
| 3. 区の事業の実施場所に通えない・通いづらい | 9. 介護以外の家庭の事情で時間的な余裕がない |
| 4. 区の事業は通える場所で希望事業を実施していない | 10. 取り組む必要がない |
| 5. 区が健康維持のための事業を実施していることを知らなかった | 11. 面倒だから |
| 6. 民間のスポーツジムに通いたい、通えない、通いづらい | 12. 健康維持を意識していない |
| | 13. 体力的に難しいから |
| | 14. きっかけがないから |
| | 15. その他 () |

5. いきいきプラザ等について

問55 区では、高齢者のいきがづくり、コミュニティ活動の場としていきいきプラザを整備していますが、あなたは、いきいきプラザ等を日常的に利用していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※問56は、問55で「2」を選択した方に伺います。

問56 いきいきプラザ等を日常的に利用していない理由は何ですか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. いきいきプラザ等を知らない | 4. 出かけるのが面倒 |
| 2. いきいきプラザ等が近くにない | 5. 個人的にサークル活動等をしているので必要ない |
| 3. いきいきプラザ等の事業が魅力的でない | 6. その他 () |

問57 いきいきプラザ等では次のような事業などを実施していますが、どのような活動に参加されていますか。(利用していない方はどのような活動に参加したいですか。)(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 趣味などの各種教室事業 | 5. トレーニングルーム、プール等の利用 |
| 2. 介護予防事業 | 6. 囲碁、将棋などの個人利用 |
| 3. ウォーキングなどの外出事業 | 7. 友人等と交流の場としての利用 |
| 4. お風呂の利用 | 8. その他 () |

6. 主な介護者について

※問58～64「主な介護者について」は、ご家族やご親族が介護・介助をしている場合のみお答えください。

問58 ご家族やご親族の中で、封筒のあて名の方の介護を主な理由として、過去1年に仕事を辞めた方、転職した方はいますか。(〇は1つ)

※ 白営業や炭林水産業のお仕事を辞めた方、転職した方を含みます。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた | 5. 介護のために仕事を辞めたり、転職した家族・親族はいない |
| 3. 主な介護者が転職した | 6. わからない |

問59 主な介護者の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 6. 60代 |
| 2. 20代 | 7. 70代 |
| 3. 30代 | 8. 80歳以上 |
| 4. 40代 | 9. わからない |
| 5. 50代 | |

問60 主な介護者の方の現在の勤務などの形態について、ご回答ください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. フルタイムで働いている | 4. 学生(年齢 歳) |
| 2. パートタイムで働いている | 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |
| 3. 働いていない | |

※問61と問62は、問60で「1」又は「2」を選択した方に伺います。

問61 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために労働時間を調整しながら、働いている |
| 3. 介護のために休暇を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために在宅勤務を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、その他の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問62 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 2. 問題はあがるが、何とか続けていける | 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | |

問63 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護などについて、お答えください。(現状で行っているか否かは問いません)(〇は3つまで)

- | | |
|---|--|
| <p>[身体介護]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | <p>[生活援助]</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事
(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き <p>[その他]</p> <ol style="list-style-type: none"> 15. その他() 16. 不安を感じていることは特にない 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |
|---|--|

問64 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| <p>[身体介護]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | <p>[生活援助]</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事
(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き <p>[その他]</p> <ol style="list-style-type: none"> 15. その他() 16. 主な介護者に確認しないと、わからない |
|---|---|

7. 介護保険制度全般について

問65 介護保険料の額は、利用できる介護サービスの水準によって決まる仕組みとなっています。介護保険料と介護サービスの水準とのバランスについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 介護サービスの水準を今より充実させることを優先し、介護保険料が上がることはやむを得ない
2. 介護サービスの水準を現状維持することを優先し、介護保険料が上がるのは最小限に抑える
3. 介護保険料を現状のまま維持することを優先し、介護サービスの水準が下がるのは最小限に抑える
4. 介護保険料を今より安くすることを優先し、介護サービスの水準が下がることはやむを得ない
5. わからない

問66 港区の介護保険料額は、所得水準に応じ、年額19,200円(世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得と年金収入金額の合計が、80.9万円以下の人など)～472,320円(合計所得1億円以上の人)の19段階に分けて設定しています。この介護保険料の所得段階の設定について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 現在の19段階のままよい
2. 現在よりも段階を増やし、所得水準に応じた保険料額を更に細かく設定する
3. その他 ()
4. わからない

問67 高齢化が進むことで介護サービスを利用する人が増えると、介護保険料の負担が大きくなることが見込まれます。介護保険料の負担を抑えるためには、どのような対策をすることが効果的だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 公費(税金)の負担割合を引き上げる | 4. 40歳未満の若年層からも保険料を徴収する |
| 2. 介護サービス利用者の負担割合を引き上げる | 5. その他 () |
| 3. 保険料の上昇は、やむを得ない | 6. わからない |

8. 情報通信機器の利活用について

問68 あなたは次の情報通信機器を所有していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. スマートフォン | 4. ガラケー |
| 2. タブレット端末 | (従来のボタン式携帯電話) |
| 3. パソコン | 5. 1~4のものは持っていない |

※問69は、問68で「1」～「3」のいずれかを選択した方に伺います。

問69 スマートフォン等をどのようなことに活用していますか(活用できますか)。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 音声通話 | 7. キャッシュレス決済 |
| 2. カメラ、動画撮影 | 8. オンライン講座や会議 |
| 3. メール | 9. テレビ電話 |
| 4. 情報の検索 | 10. その他() |
| 5. SNSの利用(LINE・X等) | 11. 特にない |
| 6. 動画サイトの利用(YouTube等) | |

※問70は、問68で「1」～「3」を選択していない方に伺います。

問70 スマートフォン等を所有していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 興味がないから | 6. 興味はあるがきっかけがないから |
| 2. 保有する必要性を感じないから | 7. 使い方を教えてくれる人がいないから |
| 3. 機器の購入や手続きが面倒だから | 8. 詐欺などの被害が怖いから |
| 4. 機器の操作が難しそうだから | 9. その他() |
| 5. 機器の価格や通信料金が安いから | 10. 特にない |

問71 スマートフォン等を活用して次のうち行ってみたい(行っている)ものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. オンラインによるいきいきプラザ等の教室事業 | 5. 使用料等のキャッシュレス決済 |
| 2. オンラインによる介護予防事業 | 6. スマートフォン等による区政情報の取得、広報みなど等の閲覧 |
| 3. 高齢者サービス等の電子申請 | 7. その他() |
| 4. 画面提示でのサービス利用
(例:入浴券、バス乗車券など) | 8. 行ってみたいものはない |

※問72は、問71で「8」を選択した方に伺います。

問72 行ってみたいものがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. スマートフォン等をもっていないから | 4. 対面での参加や申請の方が安心できるから |
| 2. スマートフォン等の操作方法がわからないから | 5. 書面を見た方が良いから |
| 3. スマートフォン等の操作が面倒だから | 6. その他 () |
| | 7. 特にない |

9. 地域での支え合いや地域活動について

問73 住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりすることは必要だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても必要だと思う | 3. あまり必要だと思わない |
| 2. まあまあ必要だと思う | 4. 必要だと思わない |

問74は、問73で「1」又は「2」を選択した方に伺います。

問74 地域で起こる様々な生活の課題について、住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりするためには、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 町会・自治会が中心となって住民相互の交流活動を進めること |
| 2. 自ら進んで日ごろから住民相互のつながりを持つようにすること |
| 3. ボランティアやNPOの活動を盛んにすること |
| 4. 民間企業と連携した地域住民との活動を盛んにすること |
| 5. 地域の人が気軽に集まれる場所をつくること |
| 6. 社会福祉協議会において地域活動をする上での相談体制や地域活動への支援を充実させていくこと |
| 7. 行政において地域活動をする上での相談体制や地域活動への支援を充実させていくこと |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |

※問75は、問73で「3」又は「4」を選択した方に伺います。

問75 地域のボランティアや住民と支え合ったり、助け合ったりすることは必要ではないと思う理由はなんですか。(〇は3つまで)

1. 地域社会の課題は、行政が対応すべきだから
2. 既存の行政サービスや、民間の事業者等を使えば解決できるから
3. 他人と関わりを持たなくても生活に支障がないから
4. 個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから
5. 住民相互が協力して行う活動に期待していないから
6. 友人、知人との結びつきがあれば十分だから
7. 地域の人に、自分の困りごとや生活などを知られたくないから
(又は、地域の人の困りごとや生活などを知りたくないから)
8. 介助や介護等の専門職ではないボランティアや地域活動団体等に、
謝礼や報酬を払いたくない、もしくは受け取りづらいから
9. トラブルや事故など、何かあったときに誰が責任をとるのが心配だから
10. その他 ()

問76 以下のような地域活動等に対して、どのように感じていますか。

(①～⑦の項目ごとに○は1つ)

	楽しさや、やりがいを感じる	すでに参加・活動していて、参加・活動してみたい	興味・関心がある(今後、新規で参加しにくい)	興味はあるが、既存の活動に	活動に関わる時間がない	忙しくて、そのような	興味・関心がない、面倒だ
① 町会・自治会の活動	1	2	3	4	5		
② 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5		
③ ボランティア活動	1	2	3	4	5		
④ 趣味関係のグループ、サロン活動	1	2	3	4	5		
⑤ 学習・教養関係のグループやサロン活動	1	2	3	4	5		
⑥ 介護予防や健康維持のグループ	1	2	3	4	5		
⑦ 老人クラブ	1	2	3	4	5		

問77 インターネットで地域の活動情報が検索できる、港区地域活動情報サイト「スタみな！」を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っているし、サイトを見たり、活動情報を検索又は掲載したことがある
2. この調査票を見て初めて知ったが、使ってみたい
3. 知っているが使ったことはない又はこの調査票を見て初めて知ったが、使ってみたいとは思わなかった
4. 知らなかったし、今後も使おうつもりはない



スタみな！
二次元バーコード

問78 人ととのつきあがりについて教えてください。(○は1つ)

(1) 親戚とのつきあいについて。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 礼儀を尽くす程度のつきあい | 4. 疎遠 |
| 2. 気軽に行き来できるつきあい | 5. その他 () |
| 3. 何かにつけて相談できるつきあい | |

(2) 隣近所とのつきあいについて。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 会った時に挨拶する程度のつきあい | 4. 疎遠 |
| 2. 堅苦しくなく話し合えるつきあい | 5. その他 () |
| 3. 何かにつけて相談できるつきあい | |

問79 お住まいの地域や様々な交流の場等で、気になる人や不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※問80は、問79で「2」を選択した方に伺います。

問80 その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 自分には役に立てることがない | 6. どのように接してよいかわからない |
| 2. 自分が何をすればよいかわからない | 7. 誰かがやってくれると思う |
| 3. そのようなことに自分の時間や労力をかけたくない・面倒 | 8. 興味・関心がない |
| 4. 自分で解決すべき | 9. そのような余裕はない |
| 5. 人に声をかけづらい | 10. その他 () |

問81 最近、5年間において、公衆浴場(銭湯)を利用したこと又は利用したいと思ったことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 利用した | 3. 特に利用を考えたことがない |
| 2. 利用したいと思ったことがある | 4. その他 () |

※問82は、問81で「1」又は「2」を選択した方に伺います。

問82 その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 住居にお風呂がないから | 8. 健康増進のため |
| 2. 住居にあるお風呂の掃除が大変だから | 9. 無料入浴券を受給しているから |
| 3. 広いお風呂に入りたいから | 10. 区民無料開放デーだったから |
| 4. 住居のお風呂を使うより経済的だから | 11. 一人での入浴に不安があるから |
| 5. 家族や友人等と一緒に入浴できるから | 12. その他 |
| 6. 銭湯の雰囲気が好きだから | () |
| 7. 地域の人たちなどとのふれあいがあるから | |

問83 「民生委員・児童委員」を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 役割や活動内容まで知っている | 3. 名称は聞いたことがある |
| 2. 少しは知っている | 4. まったく知らない |

問84 今後、仕事をしたい、又は、続けたいと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 自営業としての仕事をしたい | 5. シルバー人材センターの会員として仕事を |
| 2. 正規の職員・従業員として | したい |
| 3. 会社などの役員として仕事をしたい | 6. 仕事をするつもりはない・する必要がない |
| 4. 契約・派遣・臨時・パートとして | 7. 仕事はできない |
| 8. その他() | |
| 仕事をしたい | |

10. 災害に対する備えと災害時の行動について

問85 災害が発生したときは、ご自宅での在宅避難が基本となりますが、あなた(あて名のご本人)は日頃から災害に備えて特別な対策を取っていますか。(〇はいくつでも)

1. 必要な医薬品、食料等を用意している
2. 家具の転倒防止対策をしている
3. 家族と安否確認方法などを日頃から話し合っている
4. お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している
5. 自宅周辺での浸水等の被害想定を把握している
6. 避難場所を知っている
7. 地域や自治体で作る避難行動要支援者名簿に名前、住所等を登録している
8. 地域の総合防災訓練に参加している
9. 区から災害情報を得られるメールやアプリを利用している
10. その他 ()
11. 特に対策をとっていない又はどんな対策をすればよいかわからない

問86 あなた(あて名のご本人)には災害が発生したときに安全な場所への避難を支援してくれる支援者はいますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 同居人 | 5. 民生委員・児童委員 |
| 2. 区内在住の家族、親戚 | 6. 施設や事業所の職員 |
| 3. 区外在住の家族、親戚 | 7. その他 () |
| 4. 近所の方 | 8. 特になし |

問87 災害が発生したときにあなた(あて名のご本人)が行政や地域から必要とする支援を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 必要な医薬品、食料等の手配 | 5. 避難所への移動の介助 |
| 2. 災害や避難指示等の正確な情報を適時に取得できること | 6. 医療面についての相談窓口 |
| 3. 個別の安否確認 | 7. 医療機関の受入態勢 |
| 4. 家族や大切な人の安否連絡 | 8. その他 () |
| | 9. 特になし |

問88 あなた（あて名のご本人）は避難所（福祉避難所を含む）をご存じですか。（〇は1つ）

1. 知っていて、自分が避難する避難所も把握している
2. 知っているが、自分が避難する避難所はわからない
3. 知らない

問89 あなた（あて名のご本人）が避難所（福祉避難所を含む）で望む支援は何ですか。

（〇はいくつでも）

1. 避難所まで安全に移動できること
2. 避難所において、必要な相談、介護、看護を受けられること
3. 避難所で、災害の内容などの情報を正確に把握できるための意思疎通支援の態勢が整っていること
4. 避難所に、必要な設備、食料、医薬品等があること
5. 感染症対策が適切にとられていること
6. その他（ ）
7. 特にない

問90 港区災害時避難行動要支援者登録事業をご存じですか。（〇は1つ）

※港区災害時避難行動要支援者登録事業とは

区では、災害時に自力で避難することは困難な方で、特に支援が必要な方を対象に「港区災害時避難行動要支援者登録名簿」を作成しています。平常時から地域の支援関係者に自らの情報を提供しておくことに同意された方には、一人ひとりの個別避難計画を区が作成し、災害時の支援体制の整備に取り組んでいます。

※登録の対象になる方（登録要件）

・介護保険の要介護認定において要介護3から5までのいずれかに認定されている方（要介護3の場合は、一人暮らしまたは他の世帯員全てが65歳以上である場合に限ります）

1. 知っていて、支援関係者への事前情報提供に同意し、個別避難計画を作成している
2. 知っていて、支援関係者への事前情報提供に同意しているが、個別避難計画は作成していない
3. 知っているが、支援関係者への事前情報提供に同意していない
4. 知っているが、登録要件に当てはまっていない
5. 知らない又は分からない

※問91は、問90で「3」を選択した方に伺います。

問91 支援関係者への情報提供に同意していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 家族等の災害発生時に支援してくれる人が既にいるので、行政や地域の支援関係者の支援を必要としていない
2. 事業の内容が理解できるが、行政や地域の支援関係者に支援してほしくない
3. 事業の内容をよく理解できないので、同意できない
4. その他 ()

11. 不安や悩みの相談について

問92 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(〇は1つ)

1. いる
2. いない

※問93は、問92で「1」を選択した方に伺います。

問93 あなたは誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 区役所・福祉総合窓口
4. 相談せずにインターネットや書籍等で調べる
5. 民間の福祉施設
6. 社会福祉協議会
7. 近隣の住民
8. 町会・自治会
9. 民生委員・児童委員
10. NPO等の民間団体・ボランティア団体
11. その他 ()
12. わからない

問94 今後、福祉に関する相談をすることになった時、区の相談機関にはどのようなことを求めますか。(〇はいくつでも)

1. ひとつの窓口でいろいろな相談ができる
2. 予約なしで相談ができる
3. 専門性の高い相談ができる
4. 区役所に行かなくても、リモート等で相談ができる
5. 相談員が訪問してくれる
6. 気軽に相談できる雰囲気がある
7. 土日や祝日、仕事帰りに相談ができる
8. 相談の際、同行している子どもや高齢者の面倒をみってくれる
9. その他 ()
10. 特に要望はない
11. わからない

12. 孤独・孤立について

問95 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 決してない | 4. 時々ある |
| 2. ほとんどない | 5. しばしばある・常にある |
| 3. たまにある | |

問96 現在の孤独感(問95で回答した状況)に強く影響を与えたと思われる出来事はどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 一人暮らし | 12. 家族間の重大なトラブル
(家庭内別居・DV・虐待を含む) |
| 2. 転居 | 13. 心身の重大なトラブル
(病気・怪我等) |
| 3. 転校・転職・離職・退職
(失業を除く) | 14. 仕事上の重大なトラブル |
| 4. 失業・休職・退学・休学
(中退・不登校を含む) | 15. 人間関係による重大なトラブル
(いじめ・ハラスメント等を含む) |
| 5. 妊娠・出産・子育て | 16. 金銭による重大なトラブル |
| 6. 介護・介助 | 17. 生活困窮・貧困 |
| 7. 子どもの独り立ち | 18. 自然災害の被災・犯罪の被害等 |
| 8. 家族の病気・障害 | 19. その他の出来事
() |
| 9. 家族との離別 | 20. 特に影響を与えたと思われる出来事はない |
| 10. 家族との死別 | |
| 11. 家族以外の親しい知人等との死別 | |

問97 ①～③について、最も当てはまる数字をお選びください。(〇はそれぞれ1つ)

①～③について、それぞれ1つに〇	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
① あなたは、自分には人とのつきあいが ないと感じるがありますか。	1	2	3	4
② あなたは、自分は取り残されていると 感じるがありますか。	1	2	3	4
③ あなたは、自分は他の人たちから孤立 していると感じるがありますか。	1	2	3	4

問98 あなたは不安や悩みを相談することについて、どのように感じますか。(〇はいくつでも)

1. 相談することで解決できる、又は解決の手掛かりが得られる
2. 適切な相談先が思い浮かばない
3. 相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる
4. 相手に連絡を取ることや、不安や悩みを説明するのが面倒である
5. 相談することが恥ずかしい
6. 相談すると相手の負担になる
7. 相談しても無駄である(相談しても解決しない・自分で解決できる)
8. その他(感じること:)

13. ひきこもりについて

問99 同居のご家族にひきこもりの状態にある方がいますか。

(回答者ご本人がひきこもりの状態にある場合を含みます)(〇は1つ)

※ひきこもり状態とは

「就学、就労、家族以外での交流を避けるなど、社会的参加を避け、家庭にとどまり続けている状態」を指します。
けがや疾病等の理由で自宅を中心とした生活をされている方は除きます。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

※問100～105は、問99で「1」を選択した方に伺います。

問100 ひきこもりの状態の方との関係を教えてください。

(〇は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 本人 2. 配偶者(夫・妻) 3. 父親・母親 4. 兄弟姉妹 5. 祖父・祖母 | <ol style="list-style-type: none"> 6. 叔父叔母 7. 甥姪 8. その他親族() 9. その他同居人() |
|---|---|

と、い
問101 ひきこもりの状態じょうたいの方かたの年齢ねんれいを教えてください。

(○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

- | | |
|---|--|
| 1. 20歳 <small>さい</small> 未満 <small>まん</small> | 6. 40～44歳 <small>さい</small> |
| 2. 20～24歳 <small>さい</small> | 7. 45～49歳 <small>さい</small> |
| 3. 25～29歳 <small>さい</small> | 8. 50～54歳 <small>さい</small> |
| 4. 30～34歳 <small>さい</small> | 9. 55～59歳 <small>さい</small> |
| 5. 35～39歳 <small>さい</small> | 10. 60歳 <small>さい</small> 以上 <small>いじょう</small> |

と、い
問102 ひきこもりの状態じょうたいの期間きかんはどれくらいですか。

(○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

- | | |
|---|--|
| 1. 6か月 <small>げつ</small> 未満 <small>まん</small> | 5. 10年 <small>ねん</small> ～20年 <small>ねん</small> 未満 <small>まん</small> |
| 2. 6か月～1年 <small>ねん</small> 未満 <small>まん</small> | 6. 20年 <small>ねん</small> 以上 <small>いじょう</small> |
| 3. 1年 <small>ねん</small> ～5年 <small>ねん</small> 未満 <small>まん</small> | 7. わからない |
| 4. 5年 <small>ねん</small> ～10年 <small>ねん</small> 未満 <small>まん</small> | |

と、い
問103 その方がひきこもり状態じょうたいになったきっかけは何なんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 学校 <small>がっこう</small> になじめなかったこと | 10. 病気 <small>びょうき</small> |
| 2. 小学校 <small>しょうがっこう</small> 時代の不登校 <small>ふとうこう</small> | 11. 妊娠 <small>にんしん</small> したこと |
| 3. 中学校 <small>ちゅうがっこう</small> 時代の不登校 <small>ふとうこう</small> | 12. 退職 <small>たいしよく</small> したこと |
| 4. 高校 <small>こうこう</small> 時代の不登校 <small>ふとうこう</small> | 13. 介護・看護 <small>かいご・かんご</small> を担うことになったこと |
| 5. 大学 <small>だいがく</small> 時代の不登校 <small>ふとうこう</small> | 14. 新型コロナウイルス <small>しんがた</small> 感染症 <small>かんせんしやう</small> が流行 <small>しやうこう</small> したこと |
| 6. 受験 <small>じゆけん</small> に失敗 <small>しっぱい</small> したこと | 15. その他 <small>た</small> () |
| 7. 就職 <small>しゆうしやく</small> 活動 <small>かつどう</small> がうまくいかなかったこと | 16. 特に理由 <small>とく りゆう</small> はない |
| 8. 職場 <small>しよくば</small> になじめなかったこと | 17. わからない |
| 9. 人間関係 <small>にんげんかんけい</small> がうまくいかなかったこと | |

と、い
問104 その方は普段ふだんどのくらい外がいしゆつ出でしますか。(○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

- | |
|---|
| 1. 自室 <small>じしつ</small> からほとんど出 <small>で</small> ない |
| 2. 自室 <small>じしつ</small> からは出 <small>で</small> るが、家 <small>いえ</small> からは出 <small>で</small> ない |
| 3. 普段 <small>ふだん</small> は家 <small>いえ</small> にいるが、近所 <small>きんじよ</small> のコンビニなどには出 <small>で</small> かける |
| 4. 普段 <small>ふだん</small> は家 <small>いえ</small> にいるが、自分 <small>じぶん</small> の趣味 <small>しゆみ</small> に関する用事 <small>ようじ</small> の時 <small>とき</small> だけ外 <small>がいしゆつ</small> 出 <small>で</small> する |

問105 その方にとって必要なものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 友人・仲間づくり | 5. 収入面についての相談 |
| 2. 趣味などの生きがいづくり | 6. 気楽に立ち寄ることのできる居場所 |
| 3. 健康面での相談 | 7. その他 () |
| 4. 就労についての支援や相談 | 8. 特になし |

※問106 から問108 は、全ての方がお答えください。

問106 ひきこもりについて相談したことがある、又は相談するとしたら、どの機関等に相談したいと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. ひきこもり支援専用相談窓口 | 9. 社会福祉協議会 |
| 2. 総合支所窓口 | 10. ひきこもり当事者の会・家族会 |
| 3. ハローワークなどの就労関係機関 | 11. NPO・ボランティア団体 |
| 4. 港区生活・就労支援センター | 12. 民生委員・児童委員 |
| 5. みなと保健所 | 13. 弁護士など司法関係の専門家 |
| 6. 障害保健福祉センター等の
障害者関係施設 | 14. 東京都ひきこもりサポートネット |
| 7. 病院・診療所 | 15. その他 () |
| 8. 地域包括支援センター等の
高齢者関係施設 | 16. 相談したいと思わない |

問107 ひきこもりについて相談したことがある、又は相談するとしたら、どのように相談したいと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 窓口での相談 | 5. オンラインでの相談 |
| 2. 訪問での相談 | 6. 仮想空間での相談(メタバース等) |
| 3. 電話での相談 | 7. その他 () |
| 4. メールでの相談 | 8. 相談したいと思わない |

問108 ひきこもりについて相談するとしたら、どのような相手に相談したいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 家族・親族 | 6. 相談できる場所にいる専門家 |
| 2. 友人・知人 | 7. ピアサポーターやひきこもり経験者 |
| 3. 地域の人 | 8. AI |
| 4. 学校の先生・職場の上司や先輩等 | 9. その他 () |
| 5. 医師・カウンセラー等 | 10. 相談したいと思わない |

※問109は、問99で「2」を選択した方に伺います。

問109 回答者ご本人、又は同居のご家族が過去にひきこもりの状態になったことはありますか。

(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※問110と問111は、問109で「1」を選択した方に伺います。

問110 ひきこもりの状態の期間はどれくらいですか。

(○は1つ、ただし2人以上いる場合は人数分)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 6か月未満 | 5. 10年～20年未満 |
| 2. 6か月～1年未満 | 6. 20年以上 |
| 3. 1年～5年未満 | 7. わからない |
| 4. 5年～10年未満 | |

問111 その方がひきこもりの状態を改善したきっかけや改善に役立ったことは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 家族や親戚の助け | 9. SNSやメール相談などを利用したこと |
| 2. 友人の助け | 10. 同じようにうまくいかなかった経験を
した人に話してみたこと |
| 3. 学校の先生に相談したこと | 11. 就職・転職したこと |
| 4. スクールカウンセラーなど
学校にいる専門家に相談したこと | 12. 趣味の活動に参加したこと |
| 5. 地域の人の助け | 13. 時間がたって状況が変化したこと |
| 6. 病院に行って相談したこと | 14. 自分の努力で乗り越えたこと |
| 7. 相談できる場所に行って相談したこと | 15. その他 () |
| 8. 電話相談を利用したこと | 16. わからない、答えられない |

14. 人生の最終段階における医療と介護及び在宅療養について

問112 人生会議（※アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）を知っていますか。（○は1つ）

※最期まで自分らしく暮らすために医療や介護をどのように受けたいか、ご家族や医療・介護の担当者とあらかじめ話し合い、共有する取組を指します。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 知っているし、実践したことがある | 3. 知らないが、実践してみたい |
| 2. 知っているが、実践したことはない | 4. 知らないし、実践したくない |

問113 人生の終末期をどこで過ごしたいですか。（○は1つ）

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 自宅 | 3. 医療機関 |
| 2. 介護施設 | 4. その他（ ） |

※問114は、問113で「1」を選択した方に伺います。

問114 なぜ、自宅を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。（○はいくつでも）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから |
| 2. 住み慣れた場所で最期を迎えたいから |
| 3. 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから |
| 4. 家族等に看取られたいから |
| 5. 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから |
| 6. 在宅医療や在宅介護の体制が整っているから |
| 7. 医療機関や介護施設で過ごすより経済的に負担が大きいと思うから |
| 8. その他（ ） |

※問115は、問113で「2」～「4」のいずれかを選択した方に伺います。

問115 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|----------------------------|
| 1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから | 5. 症状が急に悪くなったときの対応に不安があるから |
| 2. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから | 6. 居住環境が整っていないから |
| 3. 介護してくれる家族がないから | 7. 自宅で過ごすとき経済的に負担が大きいと思うから |
| 4. 家族等に負担をかけたくないから | 8. その他 () |

問116 万が一、何かあった時(緊急入院など)に頼れる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 父親・母親 | 6. 祖父・祖母 |
| 2. 配偶者(夫・妻) | 7. 叔父叔母、甥姪 |
| 3. 子ども | 8. 友人 |
| 4. 兄弟姉妹 | 9. 近所の人 |
| 5. 孫 | 10. その他 () |
| | 11. 頼れる人はいない |

問117 港区在宅療養相談センターを知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 知っているし、相談したことがある | 3. 知らない |
| 2. 知っているが、相談したことはない | |

15. 終活について

問118 終活について不安を感じることがありますか。(〇は1つ)

※終活とは

自身の意思に沿った将来の生活と終末期に備えられるよう準備する活動のことです。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても不安を感じる | 3. あまり不安を感じない |
| 2. 少し不安を感じる | 4. 全く不安を感じない |

※問119は、問118で「1」又は「2」を選択した方に伺います。

問119 なぜ不安に感じますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------|
| 1. 頼れる人や面倒を見てくれる人がいない |
| 2. 相談する先がない |
| 3. 情報がなくて何となく不安を感じる |
| 4. 何から手をつけて良いかわからない |
| 5. その他 () |

問120 終活を実施していますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 実施している | 3. 予定はないが時期が来たら始めたい |
| 2. 近いうちに始める予定 | 4. 実施する予定はない |

※問121は、問120で「1」～「3」のいずれかを選択した方に伺います。

問121 実施していること、今後実施する予定があること、興味があることを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 家の中の荷物整理 | 7. 紙面による治療の意思表示(延命治療等) |
| 2. 財産の整理 | 8. 葬儀の準備 |
| 3. パソコンや携帯電話などのデータ整理 | 9. お墓の準備 |
| 4. 携帯電話など、加入サービスの情報整理 | 10. ペットの引き取り先 |
| やまとめ | 11. その他 () |
| 5. エンディングノートの作成 | |
| 6. 遺言書の作成 | |

※エンディングノートとは、

自分自身を振り返り、今後の人生を考えるためのものであり、個人を特定する基本情報などが書き込めるものです。

問122 令和7年10月から港区エンディングプラン登録事業（※）を実施します。

このサービスを利用したいと思いますか？（○は1つ）

※港区エンディングプラン登録事業とは

事前に緊急連絡先や生前契約等の終活情報を登録し、病気や事故等で意思表示ができなくなった時又は亡くなった時に、指定した開示先（警察、消防、医療機関、親族など）からの照会に基づき登録者の情報を開示するサービスです。

1. 利用したい
2. すでに他の同様サービスを利用している
3. 興味がない

16. 保健福祉サービスに対するご意見・ご要望等について

問123 港区の保健福祉サービスに対するご意見・ご要望や、今後充実して欲しいサービス、普段の生活で困っていることなどがあれば、ご自由にお書きください。

※介護を行っているご家族の方のご意見も、あわせてお書きください。

<自由記述欄>

設問は以上です。回答ありがとうございました。

区では、各種サービスの一覧やホームページで情報発信をしています。ぜひご覧ください。



介護保険・高齢者
サービスの手引き



障害者
サービス一覧



健康・医療
について



福祉の相談は
福祉総合窓口へ

2 介護サービス事業所を対象とした調査票

ア-02：介護サービス事業所

港区保健福祉基礎調査

■ 回答にあたってのお願い

- 郵送又はインターネットのいずれか1つの方法でご回答ください。
- できるだけ事業所・施設の管理者の方がご回答ください。
- インターネットで回答する場合は、同封の「ご協力のお願い」記載のURL・二次元コードからアクセスしてください。

ユーザID：

パスワード：

■ 調査票記入にあたってのお願い

- えんぴつやボールペン等でこの調査票に直接ご記入ください。
- 選択式の設問では、あてはまる選択肢の番号に○をご記入ください。
- 選択式ではない設問では、文字や数字を回答欄にご記入ください。
- 「その他」の回答については、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和7年10月10日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。(切手不要、氏名等記入不要です)

1. 回答者について

問1 このアンケート調査のご回答者様について記入してください。

ご回答担当者様(役職・氏名)	
電話番号	
Eメールアドレス	

2. 貴事業所について

問2 事業所名を教えてください。

--

問3 サービス種別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1. 居宅介護支援事業所 | 3. 介護保険施設・居住系施設（特定施設、グループホーム等） |
| 2. 居宅サービス事業所 | |

問4 事業所所在地を教えてください。

郵便番号： —

住所：

問5 事業所で提供している介護サービス事業を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 訪問介護（ホームヘルプサービス） | 13. 夜間対応型訪問介護 |
| 2. 訪問入浴介護 | 14. 地域密着型通所介護 |
| 3. 訪問看護 | 15. 認知症対応型通所介護 |
| 4. 訪問リハビリテーション | 16. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 居宅療養管理指導 | 17. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 福祉用具貸与 | 18. 居宅介護支援 |
| 7. 特定福祉用具販売 | 19. 特定施設入居者生活介護 |
| 8. 通所介護（デイサービス） | 20. 認知症対応型共同生活介護
（グループホーム） |
| 9. 通所リハビリテーション（デイケア） | 21. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| 10. 短期入所生活介護（ショートステイ） | 22. 介護老人保健施設 |
| 11. 短期入所療養介護（ショートステイ） | |
| 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |

問6 令和7年8月1日現在の利用者数を教えてください。(数字を記入)

約（ ）人

問7 貴事業所を運営する法人等の概要をご記入ください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 法人名（ ） | |
| 2. 法人所在地（ ） | |
| 3. 代表者名（ ） | |
| 4. 法人格（○は1つ） | |
| 1. 株式会社（特例有限会社を含む） | 5. 財団法人 |
| 2. 合名・合資会社 | 6. 医療法人 |
| 3. 社団法人 | 7. 特定非営利活動法人（NPO法人） |
| 4. 社会福祉法人 | 8. その他（ ） |

3. 組織・体制・人材について

問8 貴事業所における職員の充足度はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 充足している | 3. あまり充足していない |
| 2. まあ充足している | 4. 充足していない |

※問9は、問8で「3」又は「4」を選択した方に伺います。

問9 不足している職種は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 訪問介護員 | 5. 事務職員 |
| 2. 介護職員 | 6. 生活相談員、支援相談員 |
| 3. 看護職員 | 7. 理学療法士、作業療法士 |
| 4. 介護支援専門員 | |

問10 貴事業所には「訪問介護員」はいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

※問11～問13は、問10で「1」を選択した方に伺います。

問11 訪問介護員について、人数をご記入ください。(数字を記入)

全体の人数	()人		
(うち正規職員数)	()人		
(うち年代別人数)	29歳以下()人	30～39歳()人	40～49歳()人
	50～59歳()人	60～64歳()人	65歳以上()人

問12 過去1年間の訪問介護員の採用者について、人数をご記入ください。(数字を記入)

採用者数	()人		
(うち正規職員数)	()人		
(うち年代別人数)	29歳以下()人	30～39歳()人	40～49歳()人
	50～59歳()人	60～64歳()人	65歳以上()人
(うち採用方法)	1. ハローワーク・求人情報サイト	()人	
	2. 職業紹介事業者	()人	
	3. 合同就職説明会	()人	
	4. 学校・リクルーター	()人	
	5. 知人等の紹介	()人	
	6. その他(具体的に:)	()人	

問13 過去1年間の訪問介護員の離職者数について、人数をご記入ください。(数字を記入)

離職者数	()人		
(うち正規職員数)	()人		
(うち年代別人数)	29歳以下()人	30～39歳()人	40～49歳()人
	50～59歳()人	60～64歳()人	65歳以上()人

問14 貴事業所には「介護職員」がいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

※問15～問17は、問14で「1」を選択した方に伺います。

問15 介護職員について、人数をご記入ください。(数字を記入)

全体の人数	()人		
(うち資格取得者数)	()人	(うち正規職員数)	()人
(うち年代別人数)	29歳以下()人	30～39歳()人	40～49歳()人
	50～59歳()人	60～64歳()人	65歳以上()人

問16 過去1年間の介護職員の採用者について、人数をご記入ください。(数字を記入)

採用者数	()人		
(うち資格取得者数)	()人	(うち正規職員数)	()人
(うち年代別人数)	29歳以下()人	30～39歳()人	40～49歳()人
	50～59歳()人	60～64歳()人	65歳以上()人
(うち採用方法)	1. ハローワーク・求人情報サイト	()人	
	2. 職業紹介事業者	()人	
	3. 合同就職説明会	()人	
	4. 学校・リクルーター	()人	
	5. 知人等の紹介	()人	
	6. その他(具体的に:)	()人	

問17 過去1年間の介護職員の離職者数について、人数をご記入ください。(数字を記入)

離職者数	()人		
(うち資格取得者数)	()人	(うち正規職員数)	()人
(うち年代別人数)	29歳以下()人	30～39歳()人	40～49歳()人
	50～59歳()人	60～64歳()人	65歳以上()人

問 18 貴事業所には「介護支援専門員」がいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

※問 19～問 21 は、問 18 で「1」を選択した方に伺います。

問 19 介護支援専門員について、人数をご記入ください。(数字を記入)

全体の人数	()人		
(うち正規職員数)	()人		
(うち年代別人数)	29 歳以下()人	30～39 歳()人	40～49 歳()人
	50～59 歳()人	60～64 歳()人	65 歳以上()人

問 20 過去 1 年間の介護支援専門員の採用者について、人数をご記入ください。(数字を記入)

採用者数	()人		
(うち正規職員数)	()人		
(うち年代別人数)	29 歳以下()人	30～39 歳()人	40～49 歳()人
	50～59 歳()人	60～64 歳()人	65 歳以上()人
(うち採用方法)	① ハローワーク・求人情報サイト	()人	
	② 職業紹介事業者	()人	
	③ 合同就職説明会	()人	
	④ 学校・リクルーター	()人	
	⑤ 知人等の紹介	()人	
	⑥ その他(具体的に：)	()人	

問 21 過去 1 年間の介護支援専門員の離職者数について、人数をご記入ください。(数字を記入)

離職者数	()人		
(うち正規職員数)	()人		
(うち年代別人数)	29 歳以下()人	30～39 歳()人	40～49 歳()人
	50～59 歳()人	60～64 歳()人	65 歳以上()人

問 22 常勤の介護職員等(※)の 1 人あたり、1 か月の平均残業時間<約 5 年前>を数値で記入してください。

(算出方法) 令和元年度対象従業員年間残業時間÷対象従業員数÷12 か月

※ヘルパー、介護支援専門員を含みます

※データが無い場合はおよその数値でも可

() 時間

問23 常勤の介護職員等（※）の1人あたり、1か月の平均残業時間＜現在＞を数値で記入してください。

（算出方法）令和6年度対象従業員年間残業時間÷対象従業員数÷12か月

※ヘルパー、介護支援専門員を含みます

※データが無い場合はおよその数値でも可

() 時間

問24 貴事業所では、介護職員等処遇改善加算を取得（届出）しましたか。（○は1つ）

1. 加算Ⅰを取得（届出）している	4. 加算Ⅳを取得（届出）している
2. 加算Ⅱを取得（届出）している	5. 取得（届出）する予定
3. 加算Ⅲを取得（届出）している	6. 取得（届出）する予定はない

※問25と問26は、問24で「1」から「5」のいずれかを選択した方に伺います。

問25 職員への還元方法はどのような手段ですか。（予定含む）（○はいくつでも）

1. 給与	3. 賞与（一時金）
2. 諸手当	4. その他（ ）

問26 処遇改善加算の取得（届出）による職員一人あたりの賃金改善月額はいくらですか。（予定含む）（○は1つ）

1. 1～10,000円	4. 30,001～40,000円
2. 10,001～20,000円	5. 40,001～50,000円
3. 20,001～30,000円	6. 50,001円以上

※問27は、問24で「6」を選択した方に伺います。

問27 介護職員等処遇改善加算を取得（届出）しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他（ ）

問 28 貴事業所の職員に対する給与等の引き上げ以外の処遇に関して、対応の実施状況について、当てはまる番号をお答えください。(○はそれぞれ1つ)

①～⑩について、それぞれ1つに○	実施している	今は実施していないが、今後実施する予定	実施しておらず、今後も実施する予定なし
① 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針などの明確化（入職促進に向けた取組）	1	2	3
② 資格取得や研修受講への費用助成等による支援（資質の向上やキャリアアップに向けた支援）	1	2	3
③ 有給休暇が取得しやすい環境の整備（両立支援・多様な働き方の推進）	1	2	3
④ 出産・子育て・家族等の介護を行う職員への支援（両立支援・多様な働き方の推進）	1	2	3
⑤ 腰痛対策、メンタルケア等を含めた健康管理の充実（心身の健康管理）	1	2	3
⑥ 事故やトラブルへの対応体制の整備（心身の健康管理）	1	2	3
⑦ 介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等による業務負担の軽減（生産性向上のための業務改善の取組）	1	2	3
⑧ ミーティング等による仕事上のコミュニケーションの充実（やりがい・働きがいの醸成）	1	2	3
⑨ 個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善（やりがい・働きがいの醸成）	1	2	3
⑩ 時間外労働の削減	1	2	3

4. 外部の評価について

問 29 貴事業所では、東京都の福祉サービス第三者評価制度を受審したことはありますか。(○は1つ)

1. 3年に一回以上受審している
2. 受審したことがあるが、3年に一回未満の受審である
3. 受審したことはない

※問 30 は、問 29 で「2」又は「3」を選択した方に伺います。

問 30 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 受審のメリットを感じられないから
2. 受審費用が高いから
3. 自治体の補助が少ないから
4. 受審の手続き方法がわからないから
5. どこの評価機関で受審したらよいか判断できないから
6. 他事業所が受審していないから
7. 別途、自主的に自己評価を実施しているから
8. その他 ()
9. 特にな

問 31 貴事業所では、地域で起こる様々な生活の課題について、住民同士が自主的に支え合ったり、助け合ったりするために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

1. 町会・自治会への加入
2. 地域の行事への参加(例：お祭り、防災訓練、清掃活動)
3. 地域の人からの相談への対応や相談窓口の設置
4. 地域の人向けの勉強会等の開催
5. 生活支援コーディネーターとの連携(例：サロン等地域活動の紹介や参加支援)
6. 事業所に運営推進会議がある場合、会議への参加依頼
7. その他 ()
8. 取り組みたいと思っているが、どうしたらよいかわからない
9. 現在、特に取り組んでいることはないが、今後取り組んでいきたい
10. 取り組んでいることはない

5. サービス全般について

問 32 貴事業所では、月におよそ何件程度、利用者やその家族からの苦情を受けていますか。
(数字を記入)

() 件/月

問 33 貴事業所では、利用者やその家族からどのような苦情を受けることがありますか。
(〇はいくつでも)

1. サービスの質に関する事
2. ケアプランに関する事
3. 職員の対応に関する事
4. 説明や提供される情報の不足に関する事
5. 利用者負担に関する事
6. その他 ()
7. 特にな(苦情を受けることはない)

問 34 貴事業所では、利用者や家族等からの苦情を一貫して把握する責任者を配置していますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 事業所の管理者が対応 | 4. その他 |
| 2. サービス提供責任者が対応 | () |
| 3. 苦情・トラブル対応専門の担当者を配置 | 5. 特に配置していない |

問 35 貴事業所では、利用者や家族等からの苦情を事業所内で対応できなかった場合、
どこが関わって解決していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1. 法人本部 | 5. 東京都社会福祉協議会の福祉サービス運営
適正化委員会 |
| 2. 港区介護保険課 | 6. 東京都介護保険課 |
| 3. 高齢者相談センター
(地域包括支援センター) | 7. 警察 |
| 4. 東京都国保連合会の介護サービス苦情相談
窓口 | 8. その他 () |
| | 9. 特に取り次いでいない |

問 36 貴事業所では、過去1年間で、利用者やその家族から、以下のハラスメントを受けた職員は
いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 利用者からの身体的な暴力 | 6. 利用者の家族からの
セクシュアルハラスメント |
| 2. 利用者からの精神的な暴力 | 7. 利用者からのカスタマーハラスメント |
| 3. 利用者からのセクシュアル
ハラスメント | 8. 利用者の家族からのカスタマー
ハラスメント |
| 4. 利用者の家族からの身体的な暴力 | 9. いない |
| 5. 利用者の家族からの精神的な暴力 | |

問 37 貴事業所では、利用者やその家族等からのハラスメントに備え、どのような準備をしてい
ますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 職員にハラスメントの発生後の報告ルート等について周知している |
| 2. 職員は緊急コールができる機器を携帯している |
| 3. ハラスメントの被害を受けた職員に対し、必要なケアを提供する体制がある |
| 4. 弁護士にアドバイスを受ける体制がある |
| 5. ハラスメント発生時に協力してくれる他施設・事業所の資源やサービスがある |
| 6. ハラスメント行為を行った当事者への対応策を検討する体制がある |
| 7. ハラスメントの行為によって、警察に被害届を出す (又は出すことを検討する) 体制がある |
| 8. サービスの提供を終了する場合であっても、利用者へのサービス提供が中断しないように
検討・対応する体制がある |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

問 38 貴事業所では、利用者やその家族等からのハラスメントに対し、どのような防止対策を整備していますか。(〇はいくつでも)

1. ハラスメントのリスクを事前に検討する体制がある
2. ハラスメント発生のリスクが高い場合、複数人で対応する体制としている
3. 特定の職員が長期間固定して特定の利用者を担当することがないように職員を配置している
4. 同性介助が実施できるように職員配置している
5. 安全確認の為、施設・事業所から施設・事業所外にいる職員に連絡をするシステムがある
6. ハラスメントの発生ケースについて他の事業者と情報共有する体制がある
7. ハラスメントの発生ケースについて利用者の主治医に報告し連携をとる体制がある
8. 苦情対応に当たっては、不適切な対応からハラスメントに発展しないよう複数の職員が同席して対応している
9. 苦情対応に当たっては、対応方法について定期的に職員研修を実施している
10. その他 ()
11. 特にない

問 39 貴事業所では、ハラスメントについて利用者・家族等に対しどのような事前説明をしていますか。(〇はいくつでも)

1. サービスの適正な範囲を契約書(重要事項説明書)に明記して、説明している
2. 重要事項説明等の際にハラスメント行為の例を示し、ハラスメントの禁止について伝えている
3. 職員と利用者の双方が、ハラスメント又はこれと同様の行為をしないことを相互的な義務として契約書(重要事項説明書)に明記している
4. 事業所が担当職員を決定および変更することを契約書(重要事項説明書)に明記している
5. ハラスメントによる解約について契約書(重要事項説明書)に明記している
6. その他 ()
7. 特にない

問 40 貴事業所では、介護ロボットやICT機器を導入していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 移乗支援系の介護ロボット | 9. 介護業務支援のための介護ソフトウェア・ICT機器 |
| 2. 移動支援系の介護ロボット | 10. 掃除等ロボット |
| 3. 排泄支援系の介護ロボット | 11. 配膳等ロボット |
| 4. 見守り・コミュニケーション系の介護ロボット | 12. その他の介護ロボット又はICT機器(名称:) |
| 5. 入浴支援系の介護ロボット | 13. 導入していないが、今後導入したい |
| 6. 機能訓練系の介護ロボット | 14. 導入しておらず、当面導入するつもりはない |
| 7. 食事・栄養管理系の介護ロボット | |
| 8. 認知症生活支援・認知症ケア系の介護ロボット | |

※問 41 は、問 40 で「13」を選択した方に伺います。

問 41 どのような介護ロボットや ICT 機器を導入したいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 移乗支援系の介護ロボット | 8. 認知症生活支援・認知症ケア系の
介護ロボット |
| 2. 移動支援系の介護ロボット | 9. 介護業務支援のための介護ソフトウェア
・ ICT 機器 |
| 3. 排泄支援系の介護ロボット | 10. 掃除等ロボット |
| 4. 見守り支援・コミュニケーション系の
介護ロボット | 11. 配膳等ロボット |
| 5. 入浴支援系の介護ロボット | 12. その他 () |
| 6. 機能訓練系の介護ロボット | |
| 7. 食事・栄養管理系の介護ロボット | |

※問 42 は、問 40 で「13」又は「14」を選択した方に伺います。

問 42 現在、介護ロボットや ICT 機器を導入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 1. 導入に経費がかかる | 4. 業務効率化・業務負担軽減などの効果に
疑問を感じる |
| 2. 導入後に経費がかかる | 5. その他 () |
| 3. 使いこなせるかが不安 | |

6. 経営全般について

問 43 令和 6 年度の事業の採算はいかがでしたか。(〇は 1 つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 黒字 | 3. 赤字 |
| 2. 損益なし | 4. その他 () |

問 44 貴事業所では、事業運営上で、どのようなことを課題と感じますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 職員の確保が難しい | 8. 必要な情報の入手に支障がある |
| 2. 職員への教育が難しい | 9. 苦情処理対応が難しい |
| 3. 外国人介護職員のキャリアアップ支援 | 10. 虐待防止の取り組みが難しい |
| 4. 職員の定着が難しい | 11. 医療機関と連携を図ることが難しい |
| 5. 利用者の確保が難しい | 12. その他 () |
| 6. 事務作業量が多い | 13. 特にない |
| 7. 事業所の家賃等、資金的継続が難しい | |

7. 介護事業者に対する行政支援について

問 45 介護保険事業を安定的に運営していくために、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 介護報酬の引き上げ
2. 低所得者の利用者支援策
3. 総合的な介護予防のシステムづくり
4. 地域でのケアマネジメント・システムの構築
5. 事業者の不適切な行為を指導・摘発する仕組みづくり
6. 第三者評価の受審支援・受審後の経営改善支援
7. 在宅高齢者を見守り・支援するための体制づくり
8. 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の権利擁護の仕組みづくり
9. ハラスメント対策
10. その他 ()

問 46 事業者の立場から、行政に対して望むことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 介護保険に関する情報提供
2. 不正な事業所の指導
3. 利用者への適正なサービス利用の啓発
4. 防災対策
5. 地域包括支援センターの機能の充実
6. その他 ()
7. 特にない

問 47 介護人材の確保策（育成・定着に繋がる取組を含む）について、行政に対して望むことは何ですか。(〇は3つまで)

1. マッチング（求人者と事業所とを繋ぐ場）の設定
2. 求人にかかる経費（求人媒体掲載の経費等）の補助
3. 運営に必要な経費等の補助
4. 住宅に要する経費等の補助（宿舍借上を含む）
5. 資格取得や法定研修に要する経費等の補助
6. サービスの質の向上のための研修の実施
7. 間接業務や事務作業を行う職員の雇用支援
8. 外国人材受け入れのための支援
9. その他 ()

問 48 介護保険制度に関する区へのご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

<自由記述欄>

区 の 木



ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

刊行物発行番号 2025244-3711

港区保健福祉基礎調査 報告書 (高齢者調査)

令和8年(2026年)3月発行

発行・編集 港区保健福祉支援部保健福祉課
港区芝公園一丁目5番25号
03-3578-2111 (代表)



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。